

令和04年度 魚住陸橋修繕耐震（その4）工事

工事設計図書
（当初設計）

工事番号

路線名等 市道魚住210号線

工事箇所 明石市魚住町西岡地内

工 種 橋梁保全

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
本工事費					
橋梁保全工事					
舗装工					
薄層カー舗装工					
舗装版破碎		式		1	
コンクリートはつり	平均はつり厚->3cmを超え6cm以下	m2		33	
積込(コンクリート殻)		m3		1	
薄層カー舗装		式		1	
モルタル練	高炉 混合比->1:3	m3		1	
樹脂モルタル舗装工		m2		28	
ノンスリップ	ハイステップスリム同等品以上	m		74	
端部処理		m		59	
桝清掃(人力清掃工)	有蓋 25cm未満	箇所		1	
橋梁付属物工					
伸縮継手工					
目地補修		式		1	
目地補修工		m		6	
横断歩道橋工					

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
横断歩道橋工					
側板		式		1	
側板取外し	37.9+7.7=45.6	m2		45	
側板取付	側板の加工費を含む	m2		45	
ポリカーボネート樹脂版(PC)	t=3.0mm (特寸)	m2		45	
Uボルト	呼び径80(75)	個		694	
防鳥対策工		式		1	
既設スパイク撤去		m		92	
鳥害対策スパイク設置	ピーコンスパイクVST同等品以上	m		92	
鳥害対策スパイク	ピーコンスパイクVST同等品以上	m		92	
既設ネット撤去		m2		54	
鳥害対策ネット設置	ピーコンネット50同等品以上	m2		54	
鳥害対策ネット	ピーコンネット50同等品以上	m2		54	
橋梁補修工					
ひび割れ補修工					
低圧注入工法		式		1	
ひび割れ補修工(低圧注入工法)		構造物		1	
断面修復工					

契約数量表

頁0-0003/0015

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
左官工法		式		1	
断面修復工(左官工法)		構造物		1	
表面被覆工					
下地処理		式		1	
下地処理工	足場施工・既設	m2		120	
剥落防止		式		1	
コンクリート剥落防止工	超薄膜スカルトンはく落防災コーティング 同等品以上	m2		120	
紫外線硬化型FRPシート設置工					
FRPシート設置		式		1	
紫外線硬化型FRPシート設置	施工区分B(0.07m2以上0.15m2未満/枚)	m2		11	
紫外線硬化型FRPシート設置	施工区分A(0.07m2未満/枚)	m2		0.3	
現場塗装工					
橋梁塗装工					
既設塗膜撤去工		式		1	
水系塗膜剥離剤	ネオリバー泥パック橋梁用TypeⅡ 同等品以上	kg		1,250	
塗膜除去工(塗膜剥離剤)	機材・労務	m2		97	
塗膜除去工(塗膜剥離剤)	機材・労務	m2		990	
廃材の回収・積込	手間のみ	m2		1,090	

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
素地調整		式		1	
塗替塗装 [清掃・水洗い]		m2		48	
塗替塗装 [清掃・水洗い]		m2		490	
塗替塗装 [素地調整]	2種ケレン (動力工具と手工具の併用)	m2		48	
塗替塗装 [素地調整]	2種ケレン (動力工具と手工具の併用)	m2		490	
下塗		式		1	
塗替塗装 [下塗り]	有機ゾンクリッチェ イント(ハケ・ローラーⅡ)2回塗り/層	m2		48	
塗替塗装 [下塗り]	有機ゾンクリッチェ イント(ハケ・ローラーⅡ)2回塗り/層	m2		490	
塗替塗装 [下塗り]	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(ハケ・ローラー)2層	m2		48	
塗替塗装 [下塗り]	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(ハケ・ローラー)2層	m2		460	
中塗		式		1	
塗替塗装 [中塗り]	弱溶剤形ふっ素樹脂[淡彩]	m2		48	
塗替塗装 [中塗り]	弱溶剤形ふっ素樹脂[淡彩]	m2		460	
上塗		式		1	
塗替塗装 [上塗り]	弱溶剤形ふっ素樹脂[淡彩]	m2		48	
塗替塗装 [上塗り]	弱溶剤形ふっ素樹脂[淡彩]	m2		460	
構造物撤去工					
運搬処理工					

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
殻運搬		式		1	
殻運搬	コンクリート(無筋)構造物とりこわし	m3		1	
殻処分		式		1	
処分費	コンクリート殻(無筋)	式		1	
仮設工					
足場工					
単管足場		式		1	
足場工設置・撤去					
吊足場		式		1	
足場工 (足場)					
足場工 (床面シート張り防護)					
足場・防護(橋梁地覆補修工)					
養生		式		1	
足場工 (湿式塗膜剥離剤工用養生シート工)					
足場工 (湿式塗膜剥離剤工用養生シート工)					
防塵対策工					
ばく露防止対策		式		1	
化学防護服					

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
シューズカバー					
ニトリル手袋					
廃棄袋					
負圧集じん機賃料					
負圧集じん機基本管理料					
負圧集じん機用1次フィルター					
負圧集じん機用2次フィルター					
負圧集じん機用HEPAフィルター					
排気用ポリチューブ					
吸気用PETクリアダクト					
吸気用インタークチャンバー					
エアーシャワー賃料					
エアーシャワー基本管理料					
エアーシャワー用プレフィルター					
エアーシャワー用HEPAフィルター					
セキュリティールームセット					
出入口用ファスナー					
足拭マット					

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
真空クリーナー賃料					
真空クリーナー基本管理料					
プラホース・パイプ・ノズル3点セット					
ダストパック					
真空クリーナー用HEPAフィルター					
交通管理工					
交通誘導警備員		式		1	
交通誘導警備員 B					
土質等試験費		式		1	
塗膜有害物質調査 (含有量試験)					
塗膜有害物質調査 (溶出試験)					
塗膜有害物質調査 (含有量試験)					
塗膜有害物質調査 (溶出試験)					
塗膜有害物質調査 (含有量試験)					
塗膜有害物質調査 (溶出試験)					
鉛等呼吸用保護具等費用		式		1	
全面型電動ファンマスク					
吸収缶					

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
附帯工事費(1)					
道路維持					
道路清掃工					
排水施設清掃工					
側溝清掃(人力)		式		1	
側溝清掃(人力清掃工)	側溝蓋無し	m		4	
管渠清掃		式		1	
管渠清掃作業(組合せ作業)	φ200mm以上400mm未満	m		200	
枿清掃		式		1	
枿清掃(人力清掃工)	有蓋 25cm未満	箇所		24	
橋梁清掃工					
排水管清掃		式		1	
管渠清掃作業(組合せ作業)	φ200mm以上400mm未満	m		130	
橋梁保全工事					
舗装工					
舗装打換え工					
舗装版切断		式		1	
舗装版切断(アスファルト舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	m		85	

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
舗装版破碎		式		1	
舗装版破碎(アスファルト舗装版)		m2		229	
殻運搬		式		1	
殻運搬	舗装版破碎	m3		11	
殻処分		式		1	
処分費	アスファルト殻	式		1	
表層		式		1	
不陸整正	補足材料->有り(29mm以上34mm未満)	m2		229	
表層(車道・路肩部)	t = 50mm	m2		229	
橋梁付属物工					
落橋防止装置工					
RC反力壁		式		1	
型枠	一般型枠	m2		2	
鉄筋工	異形棒鋼 (SD345) D19mm	t		0.05	
コンクリート	小型構造物	m3		0.3	
クロロブレンゴム	単層 50mm	m2		1	
削孔		式		1	
コンクリート削孔(さく岩機[ハンドドリル])(落橋防止)	削孔深->500mmを超え800mm以下	孔		12	

契約数量表

頁0-0011/0015

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
アンカー(落橋防止)		式		1	
アンカー(落橋防止)	適用アンカー径->25mm以下	本		12	
アンカー取付(エポキシ)用注入材	(エポキシ樹脂系)	kg		3	
橋梁用防護柵工					
落下物等防止柵		式		1	
落下物防止柵取替工	勾配 3%以上	m		78	
落下物防止柵取替工	道路照明部	箇所		2	
アンカーキャップ設置工		本		180	
橋梁防護柵工					
防護柵補強		式		1	
舗装版切断(アスファルト舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	m		61	
舗装版破碎(アスファルト舗装版)		m2		10	
土砂等運搬 (As)	土質->軟岩	m3		0.5	
処分費	アスファルト殻	式		1	
床掘り	土砂 現場制約あり	m3		3	
土砂等運搬	土質->土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		3	
処分費	土 砂	式		1	
型枠	一般型枠	m2		23	

契約数量表

頁0-0012/0015

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
コンクリート	小型構造物	m3		4	
現場塗装工					
橋梁附属物塗装工					
落下物等防止柵		式		1	
素地調整	防護柵類	m2		110	
附属構造物塗替	塗料(各種)	m2		110	
道路附属構造物塗装工					
素地調整		式		1	
素地調整	防護柵類	m2		270	
下塗		式		1	
附属構造物塗替(鋼材露出部)	鉛・クロム酸・さび止めペイント 下塗	m2		270	
附属構造物塗替	鉛・クロム酸・さび止めペイント 下塗	m2		270	
附属構造物塗替	鉛・クロム酸・さび止めペイント 下塗	m2		270	
中塗		式		1	
附属構造物塗替	長油性フタル酸樹脂塗料 中塗 黄・橙系	m2		270	
上塗		式		1	
附属構造物塗替	長油性フタル酸樹脂塗料 上塗 黄・橙系	m2		270	
構造物撤去・復旧工					

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
標識撤去・復旧工					
標識撤去・復旧		式		1	
標識板撤去 [添架式標識板]		基		7	
添架式標識取付金具設置	照明柱, 既設標識柱	基		7	
標識板設置		基		7	
警戒標識板 (アルミ全面反射)	耐食アルミ板 2mm厚	m2		10	
排水構造物撤去工					
蓋版撤去		式		1	
蓋版 機械・労務		枚		13	
鋼製グレーチング 柵蓋 (T - 25)	700×700×75mm 落とし込み鎖付	組		13	
道路付属施設撤去・復旧工					
立入防止柵復旧		式		1	
アルミ大型門扉	JM1N型同等品以上	セット		4	
道路植栽撤去		式		1	
抜根・除草	植込み地	m2		150	
処分費	木の枝、幹、根	式		1	
掘削	土砂 上記以外(小規模)	m3		30	
土砂等運搬	土質->土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		30	

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
処分費	土 砂	式		1	
下層路盤(歩道部)	全仕上り厚 t = 100 1層施工	m2		153	
上層路盤(歩道部)	全仕上り厚 t = 100 1層施工	m2		153	
表層(歩道部)	t = 50mm	m2		153	
運搬処理工					
殻運搬		式		1	
現場発生品・支給品運搬	塗膜くず等	回		1	
殻処分		式		1	
処分費	塗膜くず等	式		1	
仮設工					
足場工					
高所作業車		式		1	
高所作業車(自走式リフト)					
交通管理工					
交通誘導警備員		式		1	
交通誘導警備員 B					
土質等試験費		式		1	
押抜き試験 (剥落防止工)					

数 量 計 算 書

魚住陸橋修繕耐震(その4)工事

【全体数量総括表】

明石市都市局道路安全室道路整備課

魚住陸橋修繕耐震（その4）工事 数量総括表（本工事）

工事区分 L1	工種 L2	種別 L3	細別 L4	規格 L5	数量計算 単位	合計	設計数量	備考
橋梁保全工事 【本工事】	舗装工	舗装打換え工	【コンクリートはつり】	ノンスリップタイル t=25mm セメントモルタル t=25mm	m2	33.075	33	
				積込（コンクリート殻）	m3	1.654	1	
			【コンクリート工】	踊り場：セメントモルタル t=42mm（想定）	m3	0.407	1	
				階段部：セメントモルタル t=33～42mm（想定）	m3	0.889		
			【薄層カラー舗装工】	樹脂モルタル舗装 厚6mm超え8mm以下	m2	28.395	28	
			【ノンスリップ設置】	ノンスリップゴム	m	74.200	74	
			【端部処理】	シーリング材（ハンチ 20×20）	m	59.900	59	
	【排水施設清掃工】	有蓋 土砂厚 25cm未満	箇所	1	1			
	橋梁付属物工	目地補修工	【目地補修工】	シール材充てん	m	6.200	6	
				横断歩道橋側板工	【側板取外し】	裾隠し板・目隠し板（ポリカーボネート樹脂板）	m2	37.927
		裾隠し板（ポリカーボネート樹脂板）	m2			7.732		
		横断歩道橋用 Uボルト（SUS）	個		694	694		
		【側板取付】	裾隠し板・目隠し板（ポリカーボネート）	m2	37.927	45		
			裾隠し板（ポリカーボネート）	m2	7.732			
			横断歩道橋用 Uボルト（SUS）	個	694		694	
		防鳥対策工	【防鳥対策工】	スパイク（サイズ80×106×505）	m	92.270	92	
				防鳥ネット ビーコンネット50 2500D（ポリエチレンネット50mm）同等品以上	m2	54.695	54	
		橋梁補修工	ひび割れ補修工	【低圧注入工法】	ひび割れ延長14.6m	構造物	1	1
	→ 注入材				kg	0.35	0.3	※2倍計上
	→ シール材				kg	7.45	7	※2倍計上
	→ 低圧注入器具				個	50	50	※2倍計上

魚住陸橋修繕耐震（その4）工事 数量総括表（本工事）

工事区分 L1	工種 L2	種別 L3	細別 L4	規格 L5	数量計算 単位	合計	設計数量	備考	
橋梁保全工事 【本工事】	橋梁補修工	断面修復工	【左官工法】	鉄筋ケレン・防錆処理有 1橋当り延べ施工量0.038(m3)	構造物	1	1	※2倍計上	
		表面保護工	【表面被覆工(はく落防止工)】	下地処理工		m2	120.461	120	
				超薄膜スケルトンはく落防災コーティング同等品以上		m2	120.461	120	
		紫外線硬化型 FRPシート設置 工	【FRPシート設置】	施工区分B (0.07m2以上0.15m2未満/枚)		m2	11.925	11	
				施工区分A (0.07m2未満/枚)		m2	0.356	0.3	
	現場塗装工	塗膜除去工	【塗膜剥離剤塗布・塗膜除去】	塗膜剥離剤(水系) 2回塗り		kg	1257.730	1250	
				【本橋部】塗膜剥離工 2回塗り		m2	97.976	97	
				【側道橋】塗膜剥離工 2回塗り		m2	995.702	990	
			【廃材の回収・積込】	剥離塗膜 回収・積込		m2	1093.678	1090	
		橋梁塗装工	【水洗い・清掃】	【本橋部】水洗い・清掃		m2	48.988	48	
				【側道橋】水洗い・清掃		m2	497.851	490	
			【素地調整】	【本橋部】2種ケレン		m2	48.988	48	
				【側道橋】2種ケレン		m2	497.851	490	
			【防食下地】	【本橋部】有機ジンクリッチペイント (2回塗り)		m2	48.988	48	
				【側道橋】有機ジンクリッチペイント (2回塗り)		m2	497.851	490	
			【下塗】	【本橋部】弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗(2回塗り)		m2	48.988	48	
				【側道橋】弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗(2回塗り)		m2	464.776	460	
			【中塗】	【本橋部】弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗		m2	48.988	48	
				【側道橋】弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗		m2	464.776	460	
			【上塗】	【本橋部】弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗		m2	48.988	48	
	【側道橋】弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗			m2	464.776	460			

魚住陸橋修繕耐震（その4）工事 数量総括表（本工事）

工事区分 L1	工種 L2	種別 L3	細別 L4	規格 L5	数量計算 単位	合計	設計数量	備考	
橋梁保全工事 【本工事】	構造物撤去工	運搬処理工	【殻運搬】	構造物とりこわしコンクリート（無筋・鉄筋）（m3）	m3	1.692	1		
			【現場発生品運搬】	塗膜くず（廃プラスチック）	回	1	1	附帯工事計上	
			【殻処分】	コンクリート殻（無筋）	m3	1.692	1		
				塗膜くず（廃プラスチック）	m3	2.165	2	附帯工事計上	
	仮設工	足場工	【単管足場】	単管足場	式	1	1	440掛m2	
				上空シート養生（単管足場）	式	1	1	100m2	
			【吊り足場】	主体吊り足場（板張防護含む）	式	1	1	40m2	
				主体吊り足場（床面シート張防護工）	式	1	1	40m2	
				地覆吊り足場（板張+シート張防護含む）	式	1	1	40m2	
			防じん対策工	【暴露防止対策】		式	1	1	
			交通管理工	【交通誘導警備員】		式	1	1	
	共通仮設費	技術管理費	【試験費】	含有量試験（PCB）	箇所	1	1	P2橋脚	
				含有量試験（鉛）	箇所	1	1	P2橋脚	
				含有量試験（六価クロム）	箇所	1	1	P2橋脚	
				溶出試験（PCB）	箇所	1	1	P2橋脚	
				溶出試験（鉛）	箇所	1	1	P2橋脚	
				溶出試験（六価クロム）	箇所	1	1	P2橋脚	
安全費		【鉛等呼吸用保護具等】		式	1	1			

魚住陸橋修繕耐震（その4）工事 数量総括表（附帯工事）

工事区分 L1	工種 L2	種別 L3	細別 L4	規格 L5	数量計算 単位	合計	設計数量	備考
道路維持工事 【附帯工事】	道路清掃工	排水施設清掃工	【側溝清掃】	人力	m	4.2	4	付帯工図より
			【管渠清掃】	機械	m	202.1	200	付帯工図より
			【集水桝清掃】	人力	個	24	24	付帯工図より
		橋梁清掃工	【排水管清掃】	機械	m	138.0	130	付帯工図より
橋梁保全工事 【附帯工事】	舗装工	舗装打換え工	【舗装版切断】	舗装切断 15cm以下	m	85.9	85	付帯工図より
			【舗装版破碎】	舗装版破碎 t=50mm	m ²	229.3	229	付帯工図より
			【殻処分】	As殻運搬	m ³	11.5	11	229.3*0.05
				As殻処分	式	1	1	
			【表層】	表層工	m ²	229.3	229	付帯工図より
				不陸整正 補充材有り 粒調碎石 t=30mm	m ²	229.3	229	付帯工図より
	橋梁付属物工	橋梁用防護柵工	【落下物等防止柵】	落下物防止柵取替工 勾配3%以上	m	78.4	78	
				落下物防止柵取替工 道路照明部	箇所	2	2	
				アンカーキャップ設置工	本	180	180	
		耐震補強工	【RC反力壁】	型枠工 小型構造物	m ²	2.2	2	
				コンクリート 24-12-20BB 小型構造物	m ³	0.3	0.3	
				鉄筋 SD345 D19	t	0.050	0.05	
				Co削孔 φ29×675mm	孔	12	12	
				アンカー工	本	12	12	
注入材 エポキシ樹脂	kg	3.6	3					
鉄筋探査 下向き	m ²	2.0	2	技術管理費				
緩衝材 クロロブレンゴム t=50mm	m ²	1.9	1					

魚住陸橋修繕耐震（その4）工事 数量総括表（附帯工事）

工事区分 L1	工種 L2	種別 L3	細別 L4	規格 L5	数量計算 単位	合計	設計数量	備考		
橋梁保全工事 【附帯工事】	橋梁付属物工	橋梁防護桁工	【防護桁補強工】（根巻補強）	舗装切断 15cm以下	m	61.6	61			
				舗装版破碎	m2	10.24	10			
				As殻運搬	m3	0.503	0.5			
				As殻処分	式	1	1			
				床掘	m3	3.569	3			
				残土運搬	m3	3.569	3			
				残土処分	式	1	1			
				型枠工 小型構造物	m2	23.60	23			
				保護コンクリート 小型構造物 18-8-40BB	m3	4.070	4			
	現場塗装工	落下物等防止柵 塗装工	【素地調整】	3種ケレン	3種ケレン	m2	118.5	110		
					【下塗】	亜鉛メッキ塗料（使用量250g/m2）	m2	118.5	110	
					【上塗】	亜鉛メッキ塗料（使用量250g/m2）	m2	118.5	110	
		橋梁防護桁塗装工	【素地調整】	3種ケレン	3種ケレン	m2	276.7	270		
					【下塗】	鉛・クロムフリーさび止めペイント（使用量140g/m2）	m2	276.7	270	鋼材露出部
					【下塗】	鉛・クロムフリーさび止めペイント（使用量140g/m2）	m2	276.7	270	
					【下塗】	鉛・クロムフリーさび止めペイント（使用量140g/m2）	m2	276.7	270	
					【中塗】	長油性フタル酸樹脂塗料用中塗（使用量120g/m2）	m2	276.7	270	
					【上塗】	長油性フタル酸樹脂塗料上塗（使用量110g/m2）	m2	276.7	270	

魚住陸橋修繕耐震（その4）工事 数量総括表（附帯工事）

工事区分 L1	工種 L2	種別 L3	細別 L4	規格 L5	数量計算 単位	合計	設計数量	備考	
橋梁保全工事 【附帯工事】	構造物撤去 ・復旧工	標識撤去・復旧工	【標識撤去復旧】	撤去	基	7	7		
				取付金具設置	基	7	7		
				標識板設置	基	7	7		
				設置 H 0.7 × W 2.1	m2	10.29	10		
		集水柵蓋取替工	【集水柵蓋】	撤去	箇所	13	13	付帯工図より	
				設置 700×700	箇所	13	13	付帯工図より	
		道路付属施設工	【立入防止柵復旧】	【植栽撤去】	大型門扉設置 W=4.0	箇所	4	4	付帯工図より
					伐根・除草	m2	153.3	150	
					植栽処分	t	50.5	50	
					掘削	m3	38.3	30	
	残土運搬				m3	38.3	30		
	残土処分				式	1	1		
	下層路盤工 再生切込碎石 t=100				m2	153.3	153		
	上層路盤工 粒調碎石 t=100				m2	153.3	153		
	表層工 再生密粒度As t=50	m2	153.3	153					
	仮設工	足場工	【高所作業車】	防護桁塗装塗替、標識撤去復旧、ひび割れ注入工、断面修復工	式	1	1		
		交通管理工	【交通誘導警備員】		式	1	1		
	共通仮設費	技術管理費	【試験費】	押抜き試験（剥落防止工）	式	1	1		
				付着試験（剥落防止工）	式	1	1		

数 量 計 算 書

魚住陸橋修繕耐震(その4)工事

【1.舗装打替え工(本工事)】

明石市都市局道路安全室道路整備課

数 量 計 算 書

レベル1 工事区分： 橋梁保全工事

レベル2 工 種： 舗装工

レベル3 種 別： 舗装打換え工

【細 別】／規 格	算 式	数 量
【コンクリートはつり】	ノンスリップタイル t=25mm セメントモルタル t=25mm 2径間目 踊り場 $A = 1.500 \times 1.600 = 2.400$	
	2径間目 階段部 $A = 6.000 \times 1.500 = 9.000$	
	3径間目 踊り場 $A = 1.500 \times 1.500 = 2.250$	
	3径間目 階段部 $A = 3.000 \times 1.500 = 4.500$	
	4径間目 踊り場 $A = 1.500 \times 3.350 = 5.025$	
	4径間目 階段部 $A = 6.600 \times 1.500 = 9.900$	
	合計 $\Sigma = 33.075$	33.075 m2
【殻運搬処理工】	コンクリート（無筋） ノンスリップタイル t=25mm セメントモルタル t=25mm $V = 33.075 \times 0.050 = 1.654$	1.654 m3 (運搬処理工にて計上)

数 量 計 算 書

レベル1 工事区分： 橋梁保全工事

レベル2 工 種： 舗装工

レベル3 種 別： 舗装打換え工

【細 別】／規 格	算 式	数 量	
【コンクリート工】	踊り場：セメントモルタル t=42mm (想定)		
	2径間目		
	$A = 1.500 \times 1.600 \times 0.042 = 0.101$		
	3径間目		
	$A = 1.500 \times 1.500 \times 0.042 = 0.095$		
	4径間目		
	$A = 1.500 \times 3.350 \times 0.042 = 0.211$		
	合計	$\Sigma = 0.407$	0.407 m3
	階段部：セメントモルタル t=33~42mm (想定) 平均：38mm		
	2径間目		
	$A = 6.000 \times 1.500 \times 0.038 = 0.342$		
	3径間目		
	$A = 3.000 \times 1.500 \times 0.038 = 0.171$		
	4径間目		
$A = 6.600 \times 1.500 \times 0.038 = 0.376$			
合計	$\Sigma = 0.889$	0.889 m3	

数 量 計 算 書

レベル1 工事区分： 橋梁保全工事

レベル2 工 種： 舗装工

レベル3 種 別： 舗装打換え工

【細 別】／規 格	算 式	数 量
【薄層カラー舗装工】	樹脂モルタル舗装 厚6mm超え8mm以下	
	2径間目 踊り場	
	$A = 1.450 \times 1.550 = 2.248$	
	2径間目 階段部	
	$A = 6.000 \times 1.400 = 8.400$	
	3径間目 踊り場	
	$A = 1.500 \times 1.500 = 2.250$	
	3径間目 階段部	
	$A = 3.000 \times 1.400 = 4.200$	
	4径間目 踊り場	
$A = 1.500 \times 3.350 = 5.025$		
4径間目 階段部		
$A = 6.600 \times 1.400 = 9.240$		
合計	$\Sigma = 31.363$	
	ノンスリップ設置面積控除	
	$A = 31.363 - 74.200 \times 0.040 = 28.395$	28.395 m ²
【ノンスリップ設置】	ノンスリップゴム	
	2径間目 階段部	
	$L = 1.400 \times 20 \text{ 箇所} = 28.000$	
	3径間目 階段部	
	$L = 1.400 \times 10 \text{ 箇所} = 14.000$	
4径間目 階段部		
$L = 1.400 \times 23 \text{ 箇所} = 32.200$		
合計	$\Sigma = 74.200$	74.200 m

数 量 計 算 書

レベル1 工事区分： 橋梁保全工事

レベル2 工 種： 舗装工

レベル3 種 別： 舗装打換え工

【細 別】／規 格	算 式	数 量
<p>【端部処理】</p>	<p>シーリング材 (ハンチ 20×20)</p> <p>2径間目 踊り場</p> <p style="margin-left: 20px;">$L = 1.500 \times 1$ 箇所 = 1.500</p> <p style="margin-left: 20px;">$L = 1.600 \times 1$ 箇所 = 1.600</p> <p>2径間目 階段部</p> <p style="margin-left: 20px;">$L = 9.000 \times 2$ 箇所 = 18.000</p> <p>3径間目 踊り場</p> <p style="margin-left: 20px;">$L = 1.500 \times 2$ 箇所 = 3.000</p> <p>3径間目 階段部</p> <p style="margin-left: 20px;">$L = 4.500 \times 2$ 箇所 = 9.000</p> <p>4径間目 踊り場</p> <p style="margin-left: 20px;">$L = 1.500 \times 2$ 箇所 = 3.000</p> <p style="margin-left: 20px;">$L = 3.350 \times 1$ 箇所 = 3.350</p> <p style="margin-left: 20px;">$L = 0.350 \times 1$ 箇所 = 0.350</p> <p>4径間目 階段部</p> <p style="margin-left: 20px;">$L = 10.050 \times 2$ 箇所 = 20.100</p> <p>合計 $\Sigma = 59.900$</p>	<p>59.900 m</p>
<p>使用材料</p>	<p>シリコーン系 1液型 ロス率：30%</p> <p style="margin-left: 20px;">$L = 0.020 \times 0.020 \div 2 \times 59.900 \times 1000 \times 1.30$ = 15.574 L</p>	
<p>【排水施設清掃工】</p>	<p>有蓋 土砂厚 25cm未満</p> <p style="margin-left: 20px;">$A = 1$ 箇所</p>	<p>1 箇所</p>

数 量 計 算 書

魚住陸橋修繕耐震(その4)工事

【2.目地補修工】

明石市都市局道路安全室道路整備課

数 量 計 算 書

レベル1 工事区分： 橋梁保全工事

レベル2 工 種： 橋梁附属物工

レベル3 種 別： 目地補修工

【細 別】／規 格	算 式	数 量
<p>【目地補修工】</p>	<p>シール材充てん</p> <p>2径間目</p> $L = 1.500 \times 1 \quad \text{箇所} = 1.500$ <p>3径間目</p> $L = 1.500 \times 1 \quad \text{箇所} = 1.500$ <p>4径間目</p> $L = 1.600 \times 2 \quad \text{箇所} = 3.200$ <p>合計</p> $\Sigma = 6.200$	<p>6.200 m</p>
<p>使用材料</p>	<p>シール材 (L) 変性シリコン系シール ロス率：20%</p> <p>1m当たりの使用量は</p> $V = 0.015 \times 0.030 \times 1000 \times 1.2 \quad (\text{ロス率})$ $= 0.540 \quad \text{L}$ <p>よって、使用数量は</p> $V = 0.540 \times 6.200 = 3.348 \quad \text{L}$ <p>バックアップ材 (L) ウレタンフォーム ロス率：20%</p> <p>1m当たりの使用量は</p> $V = 0.015 \times 0.030 \times 1000 \times 1.2 \quad (\text{ロス率})$ $= 0.540 \quad \text{L}$ <p>よって、使用数量は</p> $V = 0.540 \times 6.200 = 3.348 \quad \text{L}$	

数 量 計 算 書

魚住陸橋修繕耐震(その4)工事

【3.横断歩道橋側板工】

明石市都市局道路安全室道路整備課

数 量 計 算 書

レベル1 工事区分： 橋梁保全工事

レベル2 工 種： 橋梁附属物工

レベル3 種 別： 横断歩道橋側板工

【細 別】／規 格	算 式	数 量
【側板取外し】	裾隠し板・目隠し板（ポリカーボネート樹脂板）	
	2径間目	
	$A = 1.670 \times 6.400 = 10.688$	
	3径間目	
	$A = 1.670 \times 1.230 = 2.054$	
	3径間目	
	$A = 1.670 \times 3.050 = 5.094$	
	4径間目	
$A = 1.670 \times 1.400 = 2.338$		
4径間目		
$A = 1.670 \times 3.380 = 5.645$		
4径間目		
$A = 1.670 \times 7.250 = 12.108$		
合計	$\Sigma = 37.927$	37.927 m2

数 量 計 算 書

レベル1 工事区分： 橋梁保全工事
 レベル2 工 種： 橋梁附属物工
 レベル3 種 別： 横断歩道橋側板工

【細 別】／規 格	算 式	数 量	
【側板取外し】	裾隠し板（ポリカーボネート樹脂板）		
	2径間目		
	$A = 0.400 \times 6.400 = 2.560$		
	3径間目		
	$A = 0.400 \times 1.230 = 0.492$		
	3径間目		
	$A = 0.400 \times 3.050 = 1.220$		
	4径間目		
	$A = 0.400 \times 1.400 = 0.560$		
	4径間目		
	$A = 0.400 \times 7.250 = 2.900$		
	合計	$\Sigma = 7.732$	7.732 m2
	横断歩道橋用 Uボルト（SUS）		
	裾隠し板・目隠し板（ポリカーボネート）		
	$A = \frac{140}{2\text{径間目}} + \frac{98}{3\text{径間目}} + \frac{273}{4\text{径間目}} = 511 \text{ 個}$		
裾隠し板（ポリカーボネート）			
$A = \frac{60}{2\text{径間目}} + \frac{42}{3\text{径間目}} + \frac{81}{4\text{径間目}} = 183 \text{ 個}$			
合計	$\Sigma = 694 \text{ 個}$	694 個	

数 量 計 算 書

レベル1 工事区分： 橋梁保全工事

レベル2 工 種： 橋梁附属物工

レベル3 種 別： 横断歩道橋側板工

【細 別】／規 格	算 式	数 量
【側板取付】	裾隠し板・目隠し板（ポリカーボネート）	
	2径間目	
	$A = 1.670 \times 6.400 = 10.688$	
	3径間目	
	$A = 1.670 \times 1.230 = 2.054$	
	3径間目	
	$A = 1.670 \times 3.050 = 5.094$	
	4径間目	
$A = 1.670 \times 1.400 = 2.338$		
4径間目		
$A = 1.670 \times 3.380 = 5.645$		
4径間目		
$A = 1.670 \times 7.250 = 12.108$		
合計	$\Sigma = 37.927$	37.927 m2

数 量 計 算 書

レベル1 工事区分： 橋梁保全工事
 レベル2 工 種： 橋梁附属物工
 レベル3 種 別： 横断歩道橋側板工

【細 別】／規 格	算 式	数 量	
【側板取付】	裾隠し板（ポリカーボネート）		
	2径間目		
	$A = 0.400 \times 6.400 = 2.560$		
	3径間目		
	$A = 0.400 \times 1.230 = 0.492$		
	3径間目		
	$A = 0.400 \times 3.050 = 1.220$		
	4径間目		
	$A = 0.400 \times 1.400 = 0.560$		
	4径間目		
	$A = 0.400 \times 7.250 = 2.900$		
	合計	$\Sigma = 7.732$	7.732 m2
	横断歩道橋用 Uボルト（SUS）		
	裾隠し板・目隠し板（ポリカーボネート）		
	$A = \frac{140}{2径間目} + \frac{98}{3径間目} + \frac{273}{4径間目} = 511$ 個		
裾隠し板（ポリカーボネート）			
$A = \frac{60}{2径間目} + \frac{42}{3径間目} + \frac{81}{4径間目} = 183$ 個			
合計	$\Sigma = 694$ 個	694 個	

数 量 計 算 書

魚住陸橋修繕耐震(その4)工事

【4.防鳥対策工】

明石市都市局道路安全室道路整備課

数 量 計 算 書

レベル1 工事区分： 橋梁保全工事

レベル2 工 種： 橋梁附属物工

レベル3 種 別： 防鳥対策工

【細 別】／規 格	算 式	数 量										
【防鳥対策工】	スパイク (サイズ80×106×505) 施工面積 1. 損傷数量表より	92.27 m										
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">位置</th> <th style="width: 50%;">延長 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主桁下フランジ上面</td> <td style="text-align: center;">67.020</td> </tr> <tr> <td>橋脚 梁部上面</td> <td style="text-align: center;">15.500</td> </tr> <tr> <td>高欄 笠木上面</td> <td style="text-align: center;">9.750</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">小計</td> <td style="text-align: center;">92.270</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">A = 92.270 m</p>		位置	延長 (m)	主桁下フランジ上面	67.020	橋脚 梁部上面	15.500	高欄 笠木上面	9.750	小計	92.270
位置	延長 (m)											
主桁下フランジ上面	67.020											
橋脚 梁部上面	15.500											
高欄 笠木上面	9.750											
小計	92.270											
【防鳥対策工】	防鳥ネット ピーコネット50 2500D(ポリエチレンネット50mm)同等品以上 施工面積 1. 損傷数量表より	54.695 m2										
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">位置</th> <th style="width: 50%;">面積 (m2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1径間目</td> <td style="text-align: center;">39.240</td> </tr> <tr> <td>2径間目</td> <td style="text-align: center;">4.930</td> </tr> <tr> <td>3径間目</td> <td style="text-align: center;">4.845</td> </tr> <tr> <td>4径間目</td> <td style="text-align: center;">5.680</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">小計</td> <td style="text-align: center;">54.695</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">A = 54.695 m2</p>		位置	面積 (m2)	1径間目	39.240	2径間目	4.930	3径間目	4.845	4径間目	5.680
位置	面積 (m2)											
1径間目	39.240											
2径間目	4.930											
3径間目	4.845											
4径間目	5.680											
小計	54.695											

1. 補修対象損傷数量

スパイク 数量表

径 間	延長 (m)	箇所数	総延長 (m)	備考
主桁 下フランジ上面				
1径間	21.000	2	42.000	
	2.600	2	5.200	
2径間	3.260	2	6.520	
3径間	1.500	2	3.000	
4径間	1.600	2	3.200	
	3.550	2	7.100	
合計			67.020	
橋脚 梁部上面				
1径間 (P8)	2.450	2	4.900	
	2.000	1	2.000	
1径間 (P9)	2.450	2	4.900	
	2.000	1	2.000	
2径間 (P9)	1.700	1	1.700	
合計			15.500	
高欄 笠木上面				
3径間	1.500	2	3.000	
4径間	1.600	2	3.200	
	3.550	1	3.550	
合計			9.750	

防鳥ネット 数量表

径 間	縦 (m)	横 (m)	箇所数	面積 (m2)	備考
桁下					
1径間	1.720	21.000	1	36.120	
	2.600	1.200	1	3.120	
2径間	1.700	2.900	1	4.930	
3径間	1.700	2.850	1	4.845	
4径間	3.550	1.600	1	5.680	
合計				54.695	

総合計

スパイク 数量表

位置	延長 (m)
主桁 下フランジ上面	67.020
橋脚 梁部上面	15.500
高欄 笠木上面	9.750
合計	92.270

総合計

防鳥ネット 数量表

位置	面積 (m2)
桁下	54.695
合計	54.695

数 量 計 算 書

魚住陸橋修繕耐震(その4)工事

【5.ひび割れ補修工】

明石市都市局道路安全室道路整備課

・ 下部工

径間 (脚)	番号	箇所	幅 (mm)	長さ (m)	延長 (m)
P10	1	1	0.20	0.40	0.40
	2	1	0.20	1.50	1.50
	3	1	0.20	0.40	0.40
	4	1	0.20	1.50	1.50
	5	1	0.20	0.60	0.60
	6	1	0.20	1.20	1.20
	7	1	0.20	0.50	0.50
合計			0.20		6.10

補修タイプ A : ひびわれ注入 / エポキシ樹脂

ひびわれ深さ D=100mm 想定

W = 0.20mm L = 6.10 m

径間 (脚)	番号	箇所	幅 (mm)	長さ (m)	延長 (m)
A2	1	1	0.20	1.20	1.20
合計			0.20		1.20

補修タイプ A : ひびわれ注入 / エポキシ樹脂

ひびわれ深さ D=100mm 想定

W = 0.20mm L = 1.20 m

ひび割れ注入工

(1) 損傷数量

- ・ ひび割れ(幅0.2mm以上)、遊離石灰を伴わないもの

$$\text{総延長} \quad \Sigma L = 7.300 \quad \text{m}$$

$$\text{平均ひび割れ幅} \quad w = 0.20 \quad \text{mm}$$

(2) 施工延長

$$L = \text{(1) 損傷数量: } \Sigma L \text{ 同様} = 7.300 \quad \text{m}$$

特記仕様書に基づき2倍の数量を計上するため

$$L = 7.300 \times 2 = 14.600 \quad \text{m}$$

(3) 自動式低圧注入器

$$ctc = 300 \quad \text{mm}$$

$$N = L / ctc + 1$$

$$= 14.600 / 0.30 + 1 = 50 \quad \text{本}$$

(4) シール材

$$\text{エポキシ樹脂系} \quad (\gamma = 1.7)$$

$$w = 100 \quad \text{mm}$$

$$t = 3 \quad \text{mm}$$

$$W = 0.100 \times 0.003 \times 14.600 \times 1700 = 7.45 \quad \text{kg}$$

(5) 注入材

$$\text{エポキシ樹脂系} \quad (\gamma = 1.2)$$

$$w = 0.20 \quad \text{mm} \quad (\text{平均})$$

$$t = 100 \quad \text{mm} \quad (\text{仮定})$$

$$W = 0.00020 \times 0.100 \times 14.600 \times 1200 = 0.35 \quad \text{kg}$$

平均ひび割れ幅

	L	W×L	(W×L)/L
W = 0.20mm	7.300	1.460	0.20
W = 0.30mm	0.000	0.000	
W = 0.40mm	0.000	0.000	
W = 0.80mm	0.000	0.000	
合計	7.300	1.460	

数 量 計 算 書

魚住陸橋修繕耐震(その4)工事

【6.断面修復工】

明石市都市局道路安全室道路整備課

数 量 計 算 書

レベル1 工事区分： 橋梁保全工事

レベル2 工 種： 橋梁補修工

レベル3 種 別： 断面修復工

【細 別】／規 格	算 式	数 量										
	2. 損傷数量表より (鉄筋ケレン・防錆処理 有) <table border="1" style="margin: 5px auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">損傷部位</th> <th style="width: 50%;">断面修復体積 (m3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>P10-A2</td> <td style="text-align: center;">0.005</td> </tr> <tr> <td>側道橋上部工</td> <td style="text-align: center;">0.008</td> </tr> <tr> <td>側道橋下部工</td> <td style="text-align: center;">0.006</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">0.019</td> </tr> </tbody> </table>	損傷部位	断面修復体積 (m3)	P10-A2	0.005	側道橋上部工	0.008	側道橋下部工	0.006	合計	0.019	
損傷部位	断面修復体積 (m3)											
P10-A2	0.005											
側道橋上部工	0.008											
側道橋下部工	0.006											
合計	0.019											
【左官工法】	ポリマーセメントモルタル (鉄筋ケレン・防錆処理 有) 修復延べ体積 $V = 0.019$ 特記仕様書に基づき2倍の数量を計上するため $V = 0.019 \times 2 = 0.038 \text{ m}^3$	0.038 m3										
	ポリマーセメントモルタル (ロス率18%) $V = 0.038$ $V = 0.038 \times 1.18 = 0.044 \text{ m}^3$											
【殻運搬処理工】	コンクリート (無筋) $V = 0.038$	0.038 m3 (運搬処理工にて計上)										

断面修復工数量

・上部工

径間 (脚)	番号	箇所	幅 (m)	長さ (m)	面積 (m ²)	露出鉄筋長 (m)	カッター工 (m)	備考
P10-A2	1	1	0.05	0.05	0.003	0.02	0.20	下面
	2	1	0.10	0.20	0.020	0.13	0.60	
	3	1	0.10	0.50	0.050	0.33	1.20	
	1	1	0.20	0.25	0.050	0.33	0.90	壁高欄
	2	1	0.15	0.15	0.023	0.15	0.60	
	3	1	0.10	0.10	0.010	0.07	0.40	
	4	1	0.10	0.15	0.015	0.10	0.50	
	5	1	0.05	0.10	0.005	0.03	0.30	
合計					0.176	1.17	4.70	

注記) カッター延長 $L = 2 \times (\text{幅} + \text{長さ})$
 鉄筋露出長 $L = \text{幅} \div \text{鉄筋間隔} \times \text{長さ}$ (鉄筋間隔 150 mm想定)

標準タイプ

- ・カッター $L = 4.70 \text{ m}$
- ・コンクリート撤去 $A = 0.18 \text{ m}^2$
- ・錆除去 (想定鉄筋径 D16)
 $A = 1.17 \times 0.016 \times \pi = 0.059 \text{ m}^2$
- ・防錆材塗布 (防錆材塗布量 1.0 kg/m^2)
 $W = 0.059 \times 1.0 = 0.059 \text{ kg}$
- ・プライマー塗布 / エポキシ樹脂系 (プライマー材塗布量 0.1 kg/m^2)
 $W = 0.18 \times 0.1 = 0.018 \text{ kg}$
- ・断面修復 / ポリマーセメントモルタル (平均断面修復厚 30 mm)
 $V = 0.176 \times 0.03 = 0.005 \text{ m}^3$

2. 補修対象損傷数量

1) 断面修復工（鉄筋ケレン・防錆処理 有）

上部工

損傷部位	番号	損傷種類	幅 (mm)	延長 (mm)	箇所数	面積 (m2)	深さ (mm)	断面修復体積 (m3)	備考
地覆	A-1	剥離・鉄筋露出	200	550	1	0.110	50	0.006	1径間目
地覆	A-2	剥離・鉄筋露出	150	200	1	0.030	50	0.002	1径間目
合計						0.140		0.008	

下部工

損傷部位	番号	損傷種類	幅 (mm)	延長 (mm)	箇所数	面積 (m2)	深さ (mm)	断面修復体積 (m3)	備考
橋台	A-3	うき	60	900	1	0.054	50	0.003	4径間目
橋台	A-4	うき	600	100	1	0.060	50	0.003	4径間目
合計						0.114		0.006	

損傷部位	断面修復体積 (m3)
上部工	0.008
下部工	0.006
合計	0.014

数 量 計 算 書

魚住陸橋修繕耐震(その4)工事

【7.表面保護工】

明石市都市局道路安全室道路整備課

数 量 計 算 書

レベル1 工事区分： 橋梁保全工事

レベル2 工 種： 橋梁補修工

レベル3 種 別： 表面保護工

【細 別】／規 格	算 式	数 量
【表面被覆工(はく落防止工)】	表面被覆工法 (超薄膜スケルトンはく落防災コーティング同等品以上) 施工面積 3. 損傷数量表より A = 120.461 m ²	120.461 m ²
【下地処理】	サンダーケレン シンナー清掃 A = 120.461 m ²	
【ベースコーティング工】	コーティング材下塗り 標準使用量 (0.25L/m ²) A = 120.461 m ²	
	ガラス連続繊維シート貼付け A = 120.461 m ²	
	コーティング材上塗り 標準使用量 (0.25L/m ²) A = 120.461 m ²	
【ファイナルコーティング工】	コーティング材上塗り 標準使用量 (0.2L/m ²) A = 120.461 m ²	
使用材料	コーティング材 m ² あたりの標準使用量 (0.7 L / m ²) ロス率： 20 % 120.461 × 0.7 × 1.2 = 101.187 L ガラス連続繊維シート m ² あたりの標準使用量 (1.0 m / m ²) ロス率： 10 % 120.461 × 1.0 × 1.1 = 132.507 m	

3. 補修対象損傷数量

地覆

部 位	縦 (m)	横 (m)	箇所数	面積 (m2)	備考
P10-A2	2.000	20.100	2	80.400	
小計				80.400	
起点側 外側面	1.200	2.800	1	3.360	
控除	0.050	0.390	1	-0.010	三角形面積
終点側 外側面	1.200	2.450	1	2.940	
控除	0.050	0.390	1	-0.010	三角形面積
側面	0.330	16.640	1	5.491	
	1.150	21.000	1	24.150	
下面	0.110	16.640	1	1.830	
	0.110	21.000	1	2.310	
小計				40.061	
合計				120.461	

数 量 計 算 書

魚住陸橋修繕耐震(その4)工事

【8.紫外線硬化型FRPシート設置工】

明石市都市局道路安全室道路整備課

数量計算書

レベル1 工事区分： 橋梁保全工事

レベル2 工 種： 橋梁補修工

レベル3 種 別： 紫外線硬化型FRPシート設置工

【細 別】／規 格	算 式	数 量
【FRPシート設置】	施工区分B (0.07m ² 以上0.15m ² 未満/枚) 施工面積 4. 損傷数量表より $A = 11.925 \text{ m}^2$	11.925 m ²
	施工区分A (0.07m ² 未満/枚) 施工面積 4. 損傷数量表より $A = 0.356 \text{ m}^2$	0.356 m ²

4. 補修対象損傷数量

蹴上げ（橋面）

部 位	幅 (m)	高さ (m)	箇所当り面積 (m ²)	備考
蹴上1段	1.500	0.150	0.225	

径 間	箇所当り面積 (m ²)	段数	面積 (m ²)	施工区分	備考
2径間	0.225	20	4.500	区分B (0.07m ² 以上0.15m ² 未満/枚)	シート1枚当り 0.75×0.15=0.1125m ² 箇所当り 0.1125m ² ×2枚=0.225m ²
3径間		10	2.250	区分B (0.07m ² 以上0.15m ² 未満/枚)	
4径間		23	5.175	区分B (0.07m ² 以上0.15m ² 未満/枚)	
合計			11.925		

蹴上げ（桁下）

径 間	番号	幅 (m)	高さ (m)	箇所数	面積 (m ²)	施工区分
2径間	2-1	0.300	0.150	1	0.045	区分A (0.01m ² 以上0.07m ² 未満/枚)
	2-2	0.200	0.150	1	0.030	区分A (0.01m ² 以上0.07m ² 未満/枚)
	2-3	0.200	0.150	1	0.030	区分A (0.01m ² 以上0.07m ² 未満/枚)
	2-4	0.200	0.150	1	0.030	区分A (0.01m ² 以上0.07m ² 未満/枚)
	2-5	0.300	0.150	1	0.045	区分A (0.01m ² 以上0.07m ² 未満/枚)
	2-6	0.300	0.150	1	0.045	区分A (0.01m ² 以上0.07m ² 未満/枚)
3径間	3-1	0.150	0.150	1	0.023	区分A (0.01m ² 以上0.07m ² 未満/枚)
4径間	4-1	0.350	0.150	1	0.053	区分A (0.01m ² 以上0.07m ² 未満/枚)
	4-2	0.250	0.100	1	0.025	区分A (0.01m ² 以上0.07m ² 未満/枚)
	4-3	0.300	0.100	1	0.030	区分A (0.01m ² 以上0.07m ² 未満/枚)
合計					0.356	

総合計

種類	面積 (m ²)	施工区分
蹴上げ（橋面）	11.925	区分B (0.07m ² 以上0.15m ² 未満/枚)
蹴上げ（桁下）	0.356	区分A (0.01m ² 以上0.07m ² 未満/枚)

数 量 計 算 書

魚住陸橋修繕耐震(その4)工事

【9.現場塗装工】

明石市都市局道路安全室道路整備課

数 量 計 算 書

レベル1 工事区分： 橋梁保全工事

レベル2 工 種： 現場塗装工

レベル3 種 別： 塗膜除去工

【細 別】／規 格	算 式	数 量
【殻運搬処理工】	塗膜くず（廃プラスチック） 塗膜くず（1.00kg/m ² ）と想定する	
1回目	塗膜剥離剤 m ² あたりの標準使用量（ 1.00 kg / m ² ） 546.839 m ² × 2.00 kg = 1093.678 kg	
2回目	塗膜剥離剤 m ² あたりの標準使用量（ 1.00 kg / m ² ） 546.839 m ² × 2.00 kg = 1093.678 kg	
	合計 $\frac{1093.678}{1\text{回目}} + \frac{1093.678}{2\text{回目}} = 2187.356 \text{ kg}$	
	2187.356 kg ÷ 1000 = 2.187 t	2.187 t (運搬処理工にて計上)
使用材料	塗膜剥離剤（水系） 2回塗り ロス率：15%	
1回目	塗膜剥離剤 m ² あたりの標準使用量（ 1.00 kg / m ² ） 546.839 m ² × 1.00 kg × 1.15 = 628.865 kg	
2回目	塗膜剥離剤 m ² あたりの標準使用量（ 1.00 kg / m ² ） 546.839 m ² × 1.00 kg × 1.15 = 628.865 kg	
	合計 $\frac{628.865}{1\text{回目}} + \frac{628.865}{2\text{回目}} = 1257.730 \text{ kg}$	1257.730 kg
鉛対応環境対策資機材	塗膜除去工47日間想定	
負圧集塵機	N = 2.7 台・月	
1次フィルター	N = 47 枚 交換目安 1枚/日	
2次フィルター	N = 16 枚 交換目安 1枚/3日	
HEPAフィルター	N = 1 個 交換目安 3ヶ月/個	
排気用ポリチューブ	N = 1 本 (必要時)	
吸気用PETクリアダクト	N = 1 本 (必要時)	
吸気用インタークチャンバー	N = 1 個 (必要時)	
エアーシャワー	N = 2.7 台・月	
プレフィルター	N = 7 枚 交換目安 1枚/週	
HEPAフィルター	N = 1 個 交換目安 3ヶ月/個	

数 量 計 算 書

レベル1 工事区分： 橋梁保全工事

レベル2 工 種： 現場塗装工

レベル3 種 別： 塗膜除去工

【細 別】／規 格	算 式	数 量
鉛対応環境対策資機材	塗膜除去工47日間想定	
セキュリティルーム	N = 1 set	
出入り口用ファスナー	N = 2 個	
足拭き用拭きシート	N = 1 個	
真空クリーナー	N = 2.7 台・月	
消耗品	N = 1 set (プラホース・Tノズル・パイプ)	
ダストパック	N = 47 枚	
HEPAフィルター	N = 1 個 交換目安 3ヶ月/個	
鉛対応安全衛生保護具	塗膜除去工47日間想定	
電動ファン付呼吸用保護具	N = 6 台 (6名/組、1組での作業を想定)	
吸収缶	N = 564 個 交換目安 2個/日×作業員6名×47日間	
フィルターガード	N = 6 個	
カバーグラス	N = 96 枚 交換目安 1枚/3日	
呼吸用保護具バッテリー	N = 6 個	
化学防護服	N = 1128 枚 交換目安 4枚/日×作業員6名×47日間	
化学防護シューズカバー	N = 1128 足 交換目安 4足/日×作業員6名×47日間	
防護手袋	N = 1128 双 交換目安 4双/日×作業員6名×47日間	
廃棄袋	N = 256 枚 目安10kg/袋	

数 量 計 算 書

レベル1 工事区分： 橋梁保全工事

レベル2 工 種： 現場塗装工

レベル3 種 別： 橋梁塗装工

【細 別】／規 格	算 式	数 量																														
【塗装塗替工】	Rc-Ⅱ 塗装系（はけ、ローラー）																															
	5. 損傷数量表より																															
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">径間</th> <th style="width: 25%;">位置</th> <th style="width: 60%;">面積 (m2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">2径間目</td> <td>踏み板(橋面)</td> <td style="text-align: center;">9.000</td> </tr> <tr> <td>踊り場</td> <td style="text-align: center;">2.400</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">小計</td> <td style="text-align: center;">11.400</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">3径間目</td> <td>踏み板(橋面)</td> <td style="text-align: center;">4.500</td> </tr> <tr> <td>踊り場</td> <td style="text-align: center;">2.250</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">小計</td> <td style="text-align: center;">6.750</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">4径間目</td> <td>踏み板(橋面)</td> <td style="text-align: center;">9.900</td> </tr> <tr> <td>踊り場</td> <td style="text-align: center;">5.025</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">小計</td> <td style="text-align: center;">14.925</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">合計</td> <td style="text-align: center;">33.075</td> </tr> </tbody> </table>	径間	位置	面積 (m2)	2径間目	踏み板(橋面)	9.000	踊り場	2.400	小計		11.400	3径間目	踏み板(橋面)	4.500	踊り場	2.250	小計		6.750	4径間目	踏み板(橋面)	9.900	踊り場	5.025	小計		14.925	合計		33.075	
	径間	位置	面積 (m2)																													
	2径間目	踏み板(橋面)	9.000																													
		踊り場	2.400																													
	小計		11.400																													
	3径間目	踏み板(橋面)	4.500																													
		踊り場	2.250																													
	小計		6.750																													
	4径間目	踏み板(橋面)	9.900																													
		踊り場	5.025																													
	小計		14.925																													
	合計		33.075																													
	【本橋部】 下塗～上塗面積 $A = 48.988 \text{ m}^2$	48.988 m2																														
【側道橋】 下塗～上塗面積 $A = 497.851 \text{ m}^2 - 33.075 = 464.776 \text{ m}^2$	464.776 m2																															
下塗(2層)～上塗 ※踏み板(橋面)、踊り場を除く $A = 546.839 \text{ m}^2 - 33.075 = 513.764 \text{ m}^2$																																
【下塗】 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗(1回目) $A = 513.764 \text{ m}^2$	513.764 m2																															
【下塗】 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗(2回目) $A = 513.764 \text{ m}^2$	513.764 m2																															
【中塗】 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 $A = 513.764 \text{ m}^2$	513.764 m2																															
【上塗】 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 $A = 513.764 \text{ m}^2$	513.764 m2																															

数 量 計 算 書

レベル1 工事区分： 橋梁保全工事

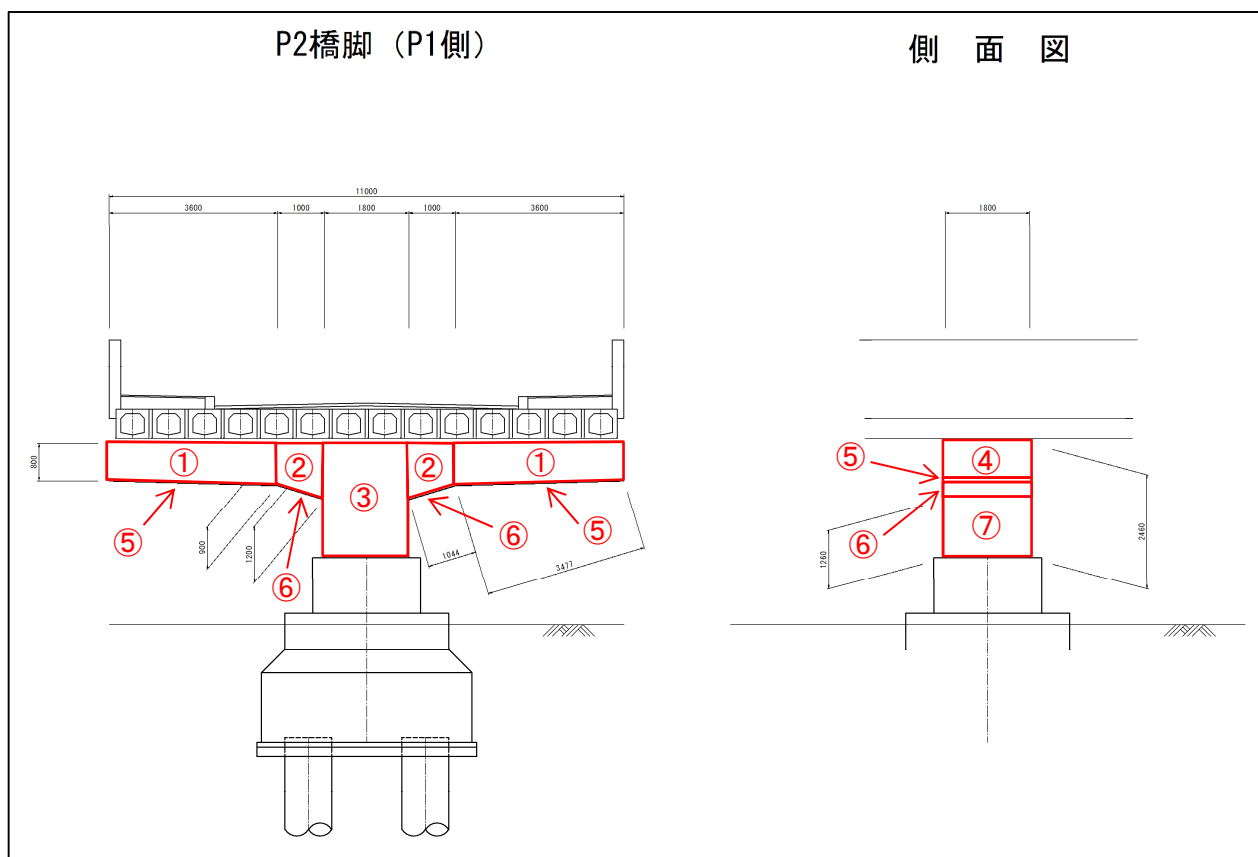
レベル2 工 種： 現場塗装工

レベル3 種 別： 橋梁塗装工

【細 別】／規 格	算 式	数 量
使用材料	<p>有機ジンクリッチペイント</p> <p>m2あたりの標準使用量 (0.24 kg / m2)</p> <p>546.839 m2 × 0.24 kg = 131.241 kg</p> <p>弱溶剤形変形エポキシ樹脂塗料下塗 (1回目)</p> <p>m2あたりの標準使用量 (0.20 kg / m2)</p> <p>513.764 m2 × 0.20 kg = 102.753 kg</p> <p>弱溶剤形変形エポキシ樹脂塗料下塗 (2回目)</p> <p>m2あたりの標準使用量 (0.20 kg / m2)</p> <p>513.764 m2 × 0.20 kg = 102.753 kg</p> <p>弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗</p> <p>m2あたりの標準使用量 (0.14 kg / m2)</p> <p>513.764 m2 × 0.14 kg = 71.927 kg</p> <p>弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗</p> <p>m2あたりの標準使用量 (0.12 kg / m2)</p> <p>513.764 m2 × 0.12 kg = 61.652 kg</p>	

塗装塗替

(2) P2橋脚(鋼製橋脚)



上図のように区分すると、①～⑦の1箇所当たりの面積は

①	$a1 = (0.800 + 0.900) \times 3.600 \times 1/2$	=	3.060 m ²
②	$a2 = (0.900 + 1.200) \times 1.000 \times 1/2$	=	1.050 m ²
③	$a3 = 1.800 \times 2.460$	=	4.428 m ²
④	$a4 = 1.800 \times 0.800$	=	1.440 m ²
⑤	$a5 = 1.800 \times 3.477$	=	6.259 m ²
⑥	$a6 = 1.800 \times 1.044$	=	1.879 m ²
⑦	$a7 = 1.800 \times 1.260$	=	2.268 m ²

以上より、塗装塗替面積は

No.	面積	箇所数	合計
①	3.060	4	12.240
②	1.050	4	4.200
③	4.428	2	8.856
④	1.440	2	2.880
⑤	6.259	2	12.518
⑥	1.879	2	3.758
⑦	2.268	2	4.536
Σ			48.988

A= 48.988 m²

また、作業兼養生のため必要な単管足場工は

$$A = (1.800 + 11.000) \times 2 \times 4.010 = 102.656 \text{ 掛m}^2$$

同様に上空シート養生面積は

$$A = (1.800 + 0.6 \times 2) \times (11.000 + 0.6 \times 2) - (1.800 \times 1.800) = 33.360 \text{ m}^2$$

5. 補修対象損傷数量

1) 1径間目

1径間 桁下1 数量表

名称	位置	呼 称		箇所数	塗装単位面積 (m ²) 1m当り	面積 (m ²)	備考	
		高さ(幅) (m)	長さ (m)					
主桁	側面	1.300	21.000	2	-	54.600	外内	
	下面	0.220	21.000	1	-	4.620		
	端部外側面	1.290	1.490	1	-	1.922		
	上フランジ	0.104	21.000	2	-	4.368	外内	
	下フランジ	0.104	21.000	2	-	4.368	外内	
合計						69.878		
主桁 総合計						139.756	主桁G1, G2	
垂直補剛材	内側	1.280	0.100	56	-	7.168	裏表×28箇所	
	切欠部控除	控除面積		0.001	56	-	-0.056	
	外側1	0.150	0.100	56	-	0.840	裏表×28箇所	
	切欠部控除	控除面積		0.005	56	-	-0.280	
	外側2	1.280	0.100	12	-	1.536	裏表×6箇所	
	切欠部控除	控除面積		0.001	12	-	-0.012	
垂直補剛材 合計						9.196		
横桁	正面・背面	1.250	1.490	2	-	3.725		
	開口部控除	0.600	0.800	2	-	-0.960		
	下面	0.200	1.490	1	-	0.298		
	上フランジ	0.094	1.280	2	-	0.241	正面・背面	
	下フランジ	0.094	1.490	2	-	0.280	正面・背面	
	開口部外側	0.094	2.500	2	-	0.470	正面・背面 ※長さはCAD求積	
	開口部内側	0.200	2.500	1	-	0.500	※長さはCAD求積	
合計						4.554		
横桁 総合計						13.662	横桁 3箇所	
上横構	L-100×75×7	-	2.170	2	0.341112	1.480		
		-	2.200	2		1.501		
		-	2.230	2		1.521		
		-	2.200	2		1.501		
		-	2.270	2		1.549		
	GPL1	0.190	0.250	4	-	0.190	裏表×2箇所	
	溶接部控除	0.100	0.150	2	-	-0.030		
	GPL2	0.190	0.300	8	-	0.456	裏表×4箇所 長さ=(0.220+0.380)/2=0.300	
	溶接部控除	0.100	0.150	8	-	-0.120		
	GPL3	0.180	0.185	4	-	0.133	裏表×2箇所 長さ=(0.150+0.220)/2=0.185	
	溶接部控除	0.100	0.170	2	-	-0.034		
	GPL4	0.190	0.420	10	-	0.798	裏表×5箇所 長さ=(0.340+0.500)/2=0.420	
	溶接部控除	0.100	0.190	10	-	-0.190		
	下横構	L-100×75×7	-	2.170	2	0.341112	1.480	
-			2.200	2	1.501			
-			2.230	2	1.521			
-			2.200	2	1.501			
-			2.270	2	1.549			
GPL1		0.190	0.250	4	-	0.190	裏表×2箇所	
溶接部控除		0.100	0.150	2	-	-0.030		
GPL2		0.190	0.300	8	-	0.456	裏表×4箇所 長さ=(0.220+0.380)/2=0.300	
溶接部控除		0.100	0.150	8	-	-0.120		
GPL3		0.180	0.185	4	-	0.133	裏表×2箇所 長さ=(0.150+0.220)/2=0.185	
溶接部控除		0.100	0.170	2	-	-0.034		
GPL4		0.190	0.420	10	-	0.798	裏表×5箇所 長さ=(0.340+0.500)/2=0.420	
溶接部控除		0.100	0.190	10	-	-0.190		
横構 合計						17.510	塗装単位面積=9.32×0.0366=0.341112 デザインブック'16より	
対傾構	L-100×75×7	-	0.770	2	0.341112	0.525		
		-	1.290	2		0.880		
	GPL5	0.250	0.100	4	-	0.100	裏表×2箇所	
	溶接部控除	0.100	0.090	2	-	-0.018		
	GPL6	0.120	0.150	4	-	0.036	裏表×2箇所	
	溶接部控除	0.100	0.280	2	-	0.056	裏表	
合計						1.563	塗装単位面積=9.32×0.0366=0.341112 デザインブック'16より	
対傾構 総合計						6.252	対傾構 4箇所	
支承	固定支承 全面	-	-	2	-	0.560	塗装単位面積=0.28/m ² デザインブック'93より	
	可動支承 全面	-	-	2	-	0.480	塗装単位面積=0.24/m ² デザインブック'93より	
支承 合計						1.040		
桁下1 総合計						187.416		

1径間 桁下2 数量表

名称	位置	呼 称		箇所数	塗装単位面積 (m ²) 1m当り	面積 (m ²)	備考
		高さ<幅> (m)	長さ (m)				
主桁	側面	0.440	0.750	2	-	0.660	外内 高さ=(0.500+0.380)/2=0.440
		0.460	1.850	2	-	1.702	外内 高さ=(0.310+0.610)/2=0.460
	下面	0.200	2.600	1	-	0.520	
	端部	0.310	0.094	2	-	0.058	外内
	上フランジ上面	0.094	0.300	2	-	0.056	外内
	上フランジ下面	0.094	1.050	2	-	0.197	外内
	下フランジ上面	0.094	2.600	2	-	0.489	外内
合計						3.682	
主桁 総合計						7.364	主桁G1, G2
PL	内側	0.230	0.990	1	-	0.228	
PL 合計						0.228	
横桁	側面	0.310	0.990	1	-	0.307	内
	下面	0.200	0.800	1	-	0.160	
	下フランジ	0.094	0.800	1	-	0.075	上面内
横桁 合計						0.542	
対傾構	L-100×75×7	-	1.330	2	0.341112	0.907	
	GPL1	0.290	0.360	2	-	0.209	裏表 長さ=(0.280+0.440)/2=0.360
	溶接部控除	0.100	0.180	2	-	-0.036	
	GPL2	0.230	0.160	4	-	0.147	裏表×2箇所
	溶接部控除	0.100	0.090	2	-	-0.018	
対傾構 合計						1.209	塗装単位面積=9.32×0.0366=0.341112 デザインブック
補剛材	床版	0.200	2.600	1	-	0.520	
	側面	0.310	2.600	1	-	0.806	内
	端部	0.200	0.310	1	-	0.062	内
	PL	0.200	0.310	10	-	0.620	裏表×5箇所
補剛材 合計						2.008	
床版	-	0.990	1.850	1	-	1.832	
床版 合計						1.832	
桁下2 総合計						13.183	

1径間 橋面 数量表

名称	位置	呼 称		箇所数	塗装単位面積 (m ²) 1m当り	面積 (m ²)	備考
		高さ<幅> (m)	長さ (m)				
地覆	下面	0.094	1.850	1	-	0.174	
	側面	0.100	1.850	2	-	0.370	
	上面	0.200	1.850	1	-	0.370	
地覆 合計						0.914	

1径間 高欄 (H1100) 数量表

名称	位置	高さ<幅> (m)	長さ (m)	箇所数	面積 (m ²)	備考
上棧	上下面	0.090	2.080	2	0.374	
	支柱部控除	0.075	0.075	1	-0.006	
	縦棧部控除	0.005	0.050	12	-0.003	
支柱	側面	0.050	2.080	2	0.208	
	全面	0.075	1.050	4	0.315	
縦棧	下棧部控除	0.030	0.065	2	-0.004	
	側面	0.005	0.970	24	0.116	
	正面・背面	0.050	0.970	24	1.164	
下棧	側面	0.030	2.005	2	0.120	
	上下面	0.065	2.005	2	0.261	
	縦棧部控除	0.005	0.050	12	-0.003	
標準区間 (2.08m) 当り塗装面積 合計					2.542	
1m当り塗装面積 合計					1.222	

高欄端部

名称	位置	高さ<幅> (m)	長さ (m)	箇所数	面積 (m ²)	備考
上棧	端部	0.050	0.090	2	0.009	
両端支柱	下棧部対面	0.030	0.065	2	0.004	加算部控除にて支柱両側を控除しているため(端部は片側)
1m当り塗装面積 合計					0.013	

名称	長さ (m)	箇所数	塗装単位面積 (m ²) 1m当り	面積 (m ²)	備考
高欄	17.460	1	1.222	21.336	長さ=15.070+2.260+0.130=17.460
高欄端部	上表より			0.013	
高欄 総合計				21.349	

2) 2径間目

2径間 桁下 数量表

名称	位置	呼 称		箇所数	塗装単位面積 (m ²) 1m当り	面積 (m ²)	備考
		高さ<幅> (m)	長さ (m)				
ささら桁 (階段部)	側面	0.330	6.000	2	-	3.960	外内
	上面	0.100	6.700	1	-	0.670	
	支柱部控除	0.075	0.075	7	-	-0.039	
	下面	0.100	5.880	1	-	0.588	
	上フランジ	0.090	6.700	1	-	0.603	下面
	端部プレート部控除	0.090	0.220	1	-	-0.020	
	下フランジ	0.090	6.700	1	-	0.603	上面
	端部プレート部側面	0.090	0.220	1	-	-0.020	
合計						6.375	
ささら桁 (階段部) 総合計						12.750	2本
蹴上げ	-	0.150	1.500	40	-	9.000	裏表
蹴上げ 合計						9.000	
踏み板 (桁下)	-	0.300	1.500	20	-	9.000	
踏み板 (桁下) 合計						9.000	
主桁	側面	0.370	0.730	2	-	0.270	外内 三角形の面積
		0.550	2.630	2	-	2.893	外内
	下面	0.200	3.360	1	-	0.672	
	下フランジ	0.094	3.360	2	-	0.632	上面
合計						4.467	
主桁 総合計						8.934	2本
横桁	正面・背面	0.550	1.500	2	-	1.650	裏表
	下面	0.150	1.300	1	-	0.195	
	下フランジ	0.069	1.300	2	-	0.179	上面
合計						2.024	
横桁 総合計						6.072	3本
補剛材	側面	0.120	2.230	2	-	0.535	裏表
合計						0.535	
補剛材 総合計						1.070	2本
床版	-	1.490	2.630	1	-	3.919	
床版 合計						3.919	
支承	固定支承 全面	-	-	2	-	0.560	塗装単位面積=0.28/m ² デザインブック'93より
支承 合計						0.560	
桁下 総合計						51.305	

2径間 橋面 数量表

名称	位置	呼 称		箇所数	塗装単位面積 (m ²) 1m当り	面積 (m ²)	備考
		高さ<幅> (m)	長さ (m)				
踏み板 (橋面)	-	0.300	1.500	20	-	9.000	
踏み板 (橋面) 合計						9.000	(素地調整、防食下地のみ)
踊り場	-	1.600	1.500	1	-	2.400	
踊り場 合計						2.400	(素地調整、防食下地のみ)
地覆1	上面	0.100	1.700	1	-	0.170	
	下面	0.094	1.700	1	-	0.160	
	側面	0.150	1.700	1	-	0.255	外
		0.100	1.500	1	-	0.150	内
支柱部控除	0.075	0.075	3	-	-0.017		
地覆2	上面	0.200	1.600	1	-	0.320	
	側面	0.100	1.700	1	-	0.170	外
		0.100	1.600	1	-	0.160	内
	支柱部控除	0.075	0.075	3	-	-0.017	
端部	0.100	0.200	1	-	0.020		
地覆 合計						1.371	
橋面 総合計						12.771	

2径間 高欄1 (H1800) 数量表

名称	位置	高さ<幅> (m)	長さ (m)	箇所数	面積 (m2)	備考
上棧	上下面	0.090	1.120	4	0.403	上下×2箇所
	支柱部控除	0.075	0.080	3	-0.018	
	縦棧部控除	0.005	0.050	15	-0.004	
	側面	0.050	1.000	4	0.200	左右×2箇所
支柱	全面	0.075	0.650	4	0.195	
		0.075	1.050	4	0.315	
	下棧部控除	0.030	0.065	2	-0.004	
縦棧	側面	0.005	0.650	10	0.033	
		0.005	0.970	10	0.049	
	正面・背面	0.050	0.650	10	0.325	
		0.050	0.970	10	0.485	
下棧	側面	0.030	1.000	2	0.060	
	支柱部控除	0.075	0.030	2	-0.005	
	上下面	0.065	1.120	2	0.146	
	支柱部控除	0.075	0.080	2	-0.012	
	縦棧部控除	0.005	0.050	5	-0.001	
1m当り塗装面積 合計					2.167	

2径間 高欄2 (H1100) 数量表

名称	位置	高さ<幅> (m)	長さ (m)	箇所数	面積 (m2)	備考
上棧	上下面	0.090	1.120	2	0.202	
	支柱部控除	0.075	0.080	1	-0.006	
	縦棧部控除	0.005	0.050	5	-0.001	
	側面	0.050	1.000	2	0.100	
支柱	全面	0.075	1.050	4	0.315	
	下棧部控除	0.030	0.065	2	-0.004	
縦棧	側面	0.005	0.970	10	0.049	
	正面・背面	0.050	0.970	10	0.485	
下棧	側面	0.030	1.000	2	0.060	
	支柱部控除	0.075	0.030	2	-0.005	
	上下面	0.065	1.120	2	0.146	
	支柱部控除	0.075	0.080	2	-0.012	
	縦棧部控除	0.005	0.050	5	-0.001	
1m当り塗装面積 合計					1.328	

2径間 端部数量表

名称	位置	高さ<幅> (m)	長さ (m)	箇所数	面積 (m2)	備考
上棧 (H1800)	端部	0.050	0.090	4	0.018	2箇所
支柱 (H1800)	下棧部対面	0.030	0.065	2	0.004	加算部控除にて支柱両側を控除しているため(端部は片側)
上棧 (H1100)	端部	0.050	0.090	2	0.009	
支柱 (H1100)	下棧部対面	0.030	0.065	2	0.004	加算部控除にて支柱両側を控除しているため(端部は片側)
1m当り塗装面積 合計					0.035	

2径間 高欄 総数量表

名称	長さ (m)	箇所数	塗装単位面積 (m2) 1m当り	面積 (m2)	備考
高欄1	6.700	1	2.167	14.519	
高欄2	9.960	1	1.328	13.227	長さ=6.700+1.560+1.700=9.960
高欄端部	上表より			0.035	
高欄 総合計				27.781	

3) 3径間目

3径間 桁下 数量表

名称	位置	呼 称		箇所数	塗装単位面積 (m ²) 1m当り	面積 (m ²)	備考	
		高さ<幅> (m)	長さ (m)					
ささら桁 (階段部)	側面	0.330	2.560	2	-	1.690	外内	
		0.440	0.440	2	-	0.387	外内 高さ=(0.330+0.550)/2=0.440	
	上面	0.100	3.350	1	-	0.335		
	支柱部控除	0.075	0.075	4	-	-0.023		
	下面	0.100	3.300	1	-	0.330	長さ=2.860+0.440=3.300	
	上フランジ	0.090	3.350	1	-	0.302	下面	
	端部プレート部控除	0.090	0.560	1	-	-0.050	長さ=0.220+0.340=0.560	
	下フランジ	0.090	3.300	1	-	0.297	上面 長さ=2.860+0.440=3.300	
	端部プレート部控除	0.090	0.520	1	-	-0.047	長さ=0.220+0.300=0.520	
端部プレート部側面	0.090	0.330	2	-	0.059			
合計						3.280		
ささら桁(階段部) 総合計						6.560	2本	
蹴上げ	-	0.150	1.500	20	-	4.500	裏表	
蹴上げ 合計						4.500		
踏み板(桁下)	-	0.300	1.500	10	-	4.500		
踏み板(桁下) 合計						4.500		
主桁	側面	0.550	1.500	2	-	1.650	外内	
	梁部控除	控除面積		0.005	1	-	-0.005	
	排水桶部控除	0.080	0.150	1	-	-0.012		
	上面	0.100	1.500	1	-	0.150		
	支柱部控除	0.075	0.075	3	-	-0.017		
	下面	0.100	1.500	1	-	0.150		
	上フランジ	0.044	1.500	1	-	0.066	下面外	
	下フランジ	0.044	1.500	2	-	0.132	上面外内	
合計						2.114		
主桁 総合計						4.228	2本	
横桁	外側面	0.220	1.590	1	-	0.350		
	内側面	0.550	1.590	1	-	0.875		
	梁部控除	控除面積		0.005	3	-	-0.015	
	下面	0.100	1.590	1	-	0.159		
	下フランジ	0.044	1.590	2	-	0.140	上面外内	
合計						1.509		
横桁 総合計						3.018	2本	
床版	-	1.590	1.390	1	-	2.210		
床版 合計						2.210		
排水桶	側面	0.105	1.590	2	-	0.334	裏表 高さ=(0.080+0.130)/2=0.105	
	下面	0.150	1.590	1	-	0.239		
排水桶 合計						0.573		
桁下 総合計						25.589		

3径間 橋面 数量表

名称	位置	呼 称		箇所数	塗装単位面積 (m ²) 1m当り	面積 (m ²)	備考
		高さ<幅> (m)	長さ (m)				
踏み板(橋面)	-	0.300	1.500	10	-	4.500	
踏み板(橋面) 合計						4.500	(素地調整、防食下地のみ)
踊り場	-	1.500	1.500	1	-	2.250	
踊り場 合計						2.250	(素地調整、防食下地のみ)
橋面 総合計						6.750	(素地調整、防食下地のみ)

3径間 橋脚 数量表

名称	位置	呼 称		箇所数	塗装単位面積 (m ²) 1m当り	面積 (m ²)	備考
		高さ<幅> (m)	長さ (m)				
橋脚	柱部	4.690	1.884	1	-	8.836	長さ=φ600円周
	梁部控除	控除面積		8	-	-0.040	
	梁部	0.250	0.390	4	-	0.390	裏表×2箇所
		0.250	0.490	4	-	0.490	裏表×2箇所
		0.250	0.720	8	-	1.440	裏表×4箇所
	梁部下面	0.100	0.390	2	-	0.078	2箇所
		0.100	0.490	2	-	0.098	2箇所
		0.100	0.720	4	-	0.288	4箇所
	梁部下フランジ	0.044	0.390	4	-	0.069	上面左右×2箇所
		0.044	0.490	4	-	0.086	上面左右×2箇所
0.044		0.720	8	-	0.253	上面左右×4箇所	
橋脚 合計						11.988	

3径間 高欄1 (H1800) 数量表

名称	位置	高さ<幅> (m)	長さ (m)	箇所数	面積 (m ²)	備考
上棧	上下面	0.090	1.120	4	0.403	上下×2箇所
	支柱部控除	0.075	0.080	3	-0.018	
	縦棧部控除	0.005	0.050	15	-0.004	
	側面	0.050	1.000	4	0.200	左右×2箇所
支柱	全面	0.075	0.650	4	0.195	
		0.075	1.050	4	0.315	
	下棧部控除	0.030	0.065	2	-0.004	
縦棧	側面	0.005	0.650	10	0.033	
		0.005	0.970	10	0.049	
	正面・背面	0.050	0.650	10	0.325	
下棧	側面	0.030	1.000	2	0.060	
		支柱部控除	0.075	0.030	2	-0.005
	上下面	0.065	1.120	2	0.146	
	支柱部控除	0.075	0.080	2	-0.012	
	縦棧部控除	0.005	0.050	5	-0.001	
1m当り塗装面積 合計					2.167	

3径間 高欄2 (H1100) 数量表

名称	位置	高さ<幅> (m)	長さ (m)	箇所数	面積 (m ²)	備考
上棧	上下面	0.090	1.120	2	0.202	
	支柱部控除	0.075	0.080	1	-0.006	
	縦棧部控除	0.005	0.050	5	-0.001	
	側面	0.050	1.000	2	0.100	
支柱	全面	0.075	1.050	4	0.315	
	下棧部控除	0.030	0.065	2	-0.004	
縦棧	側面	0.005	0.970	10	0.049	
	正面・背面	0.050	0.970	10	0.485	
下棧	側面	0.030	1.000	2	0.060	
		支柱部控除	0.075	0.030	2	-0.005
	上下面	0.065	1.120	2	0.146	
	支柱部控除	0.075	0.080	2	-0.012	
	縦棧部控除	0.005	0.050	5	-0.001	
1m当り塗装面積 合計					1.328	

3径間 端部数量表

名称	位置	高さ<幅> (m)	長さ (m)	箇所数	面積 (m ²)	備考
上棧 (H1800)	端部	0.050	0.090	4	0.018	2箇所
支柱 (H1800)	下棧部対面	0.030	0.065	2	0.004	加算部控除にて支柱両側を控除しているため (端部は片側)
上棧 (H1100)	端部	0.050	0.090	2	0.009	
支柱 (H1100)	下棧部対面	0.030	0.065	2	0.004	加算部控除にて支柱両側を控除しているため (端部は片側)
1m当り塗装面積 合計					0.035	

3径間 高欄 総数量表

名称	長さ (m)	箇所数	塗装単位面積 (m ²) 1m当り	面積 (m ²)	備考
高欄1	4.850	1	2.167	10.510	長さ=3.350+1.500=4.850
高欄2	4.850	1	1.328	6.441	長さ=3.350+1.500=4.850
高欄端部	上表より			0.035	
高欄 総合計				16.986	

4) 4径間目

4径間 桁下 数量表

名称	位置	呼称		箇所数	塗装単位面積 (m ²) 1m当り	面積 (m ²)	備考	
		高さ<幅> (m)	長さ (m)					
ささら桁 (階段部)	側面	0.330	6.410	2	-	4.231	外内	
		0.440	0.440	2	-	0.387	外内 高さ=(0.330+0.550)/2=0.440	
	上面	0.100	7.660	1	-	0.766		
	支柱部控除	0.075	0.075	8	-	-0.045		
	下面	0.100	7.150	1	-	0.715	長さ=6.710+0.440=7.150	
	上フランジ	0.090	7.660	1	-	0.689	下面	
	端部プレート部控除	0.090	0.340	1	-	-0.031		
	下フランジ	0.090	7.150	1	-	0.644	上面 長さ=6.710+0.440=7.150	
	端部プレート部控除	0.090	0.300	1	-	-0.027		
端部プレート部側面	0.090	0.330	1	-	0.030			
合計						7.359		
ささら桁(階段部) 総合計						14.718	2本	
蹴上げ	-	3.450	1.500	2	-	10.350	裏表	
蹴上げ 合計						10.350		
踏み板(桁下)	-	1.500	6.600	1	-	9.900		
踏み板(桁下) 合計						9.900		
主桁	側面	0.550	1.600	2	-	1.760	外内	
	梁部控除	控除面積		0.005	1	-	-0.005	
	排水桶部控除	0.080	0.150	1	-	-0.012		
	上面	0.100	1.600	1	-	0.160		
	支柱部控除	0.075	0.075	3	-	-0.017		
	下面	0.100	1.600	1	-	0.160		
	上フランジ	0.044	1.600	1	-	0.070	下面外	
	下フランジ	0.044	1.600	2	-	0.141	上面外内	
合計						2.257		
主桁 総合計						4.514	2本	
横桁	起点側側面	0.550	3.440	2	-	3.784	外内	
	梁部控除	控除面積		0.005	3	-	-0.015	
	終点側側面	0.550	3.440	1	-	1.892	外	
	桁部控除	控除面積		0.456	1	-	-0.456	
		控除面積		0.498	1	-	-0.498	
	終点側側面	0.550	3.440	1	-	1.892	内	
	梁部控除	控除面積		0.005	3	-	-0.015	
	上面	0.100	3.350	1	-	0.335		
	支柱部控除	0.075	0.075	3	-	-0.017		
	下面	0.100	3.350	2	-	0.670		
	上フランジ	0.044	3.440	1	-	0.151	下面外	
下フランジ	0.044	3.350	2	-	0.295	上面外×2箇所		
	0.044	3.350	2	-	0.295	上面内×2箇所		
横桁 合計						8.313		
床版	-	3.440	1.490	1	-	5.126		
床版 合計						5.126		
排水桶	側面	0.105	3.440	2	-	0.722	裏表 高さ=(0.080+0.130)/2=0.105	
	下面	0.150	3.440	1	-	0.516		
排水桶 合計						1.238		
桁下 総合計						54.159		

4径間 橋面 数量表

名称	位置	呼称		箇所数	塗装単位面積 (m ²) 1m当り	面積 (m ²)	備考
		高さ<幅> (m)	長さ (m)				
踏み板(橋面)	-	1.500	6.600	1	-	9.900	
踏み板(橋面) 合計						9.900	(素地調整、防食下地のみ)
踊り場	-	3.350	1.500	1	-	5.025	
踊り場 合計						5.025	(素地調整、防食下地のみ)
PL	-	0.200	0.900	2	-	0.360	
	控除	控除面積		0.108	2	-	-0.216
PL 合計						0.144	
橋面 総合計						15.069	

4径間 橋脚 数量表

名称	位置	呼 称		箇所数	塗装単位面積 (m ²) 1m当り	面積 (m ²)	備考
		高さ<幅> (m)	長さ (m)				
橋脚	柱部	3.240	1.884	1	-	6.104	長さ=φ600円周
	梁部控除	控除面積		8	-	-0.040	
	梁部側面	0.250	0.440	4	-	0.440	裏表×2箇所
		0.250	1.420	4	-	1.420	裏表×2箇所
		0.250	1.560	8	-	3.120	裏表×4箇所
	梁部下面	0.100	0.440	2	-	0.088	2箇所
		0.100	1.420	2	-	0.284	2箇所
		0.100	1.560	4	-	0.624	4箇所
	梁部下フランジ	0.044	0.440	4	-	0.077	上面左右×2箇所
		0.044	1.420	4	-	0.250	上面左右×2箇所
0.044		1.560	8	-	0.549	上面左右×4箇所	
橋脚 合計						12.916	

4径間 高欄1 (H1800) 数量表

名称	位置	高さ<幅> (m)	長さ (m)	箇所数	面積 (m ²)	備考
上棧	上下面	0.090	1.120	4	0.403	上下×2箇所
	支柱部控除	0.075	0.080	3	-0.018	
	縦棧部控除	0.005	0.050	15	-0.004	
	側面	0.050	1.000	4	0.200	左右×2箇所
支柱	全面	0.075	0.650	4	0.195	
		0.075	1.050	4	0.315	
	下棧部控除	0.030	0.065	2	-0.004	
縦棧	側面	0.005	0.650	10	0.033	
		0.005	0.970	10	0.049	
	正面・背面	0.050	0.650	10	0.325	
下棧	側面	0.030	1.000	2	0.060	
		支柱部控除	0.075	0.030	2	-0.005
	上下面	0.065	1.120	2	0.146	
	支柱部控除	0.075	0.080	2	-0.012	
	縦棧部控除	0.005	0.050	5	-0.001	
1m当り塗装面積 合計					2.167	

4径間 高欄2 (H1100) 数量表

名称	位置	高さ<幅> (m)	長さ (m)	箇所数	面積 (m ²)	備考
上棧	上下面	0.090	1.120	2	0.202	
	支柱部控除	0.075	0.080	1	-0.006	
	縦棧部控除	0.005	0.050	5	-0.001	
	側面	0.050	1.000	2	0.100	
支柱	全面	0.075	1.050	4	0.315	
	下棧部控除	0.030	0.065	2	-0.004	
縦棧	側面	0.005	0.970	10	0.049	
	正面・背面	0.050	0.970	10	0.485	
下棧	側面	0.030	1.000	2	0.060	
		支柱部控除	0.075	0.030	2	-0.005
	上下面	0.065	1.120	2	0.146	
	支柱部控除	0.075	0.080	2	-0.012	
	縦棧部控除	0.005	0.050	5	-0.001	
1m当り塗装面積 合計					1.328	

4径間 端部数量表

名称	位置	高さ<幅> (m)	長さ (m)	箇所数	面積 (m ²)	備考
上棧 (H1800)	端部	0.050	0.090	4	0.018	2箇所
支柱 (H1800)	下棧部対面	0.030	0.065	2	0.004	加算部控除にて支柱両側を控除しているため (端部は片側)
上棧 (H1100)	端部	0.050	0.090	2	0.009	
支柱 (H1100)	下棧部対面	0.030	0.065	2	0.004	加算部控除にて支柱両側を控除しているため (端部は片側)
1m当り塗装面積 合計					0.035	

4径間 高欄 総数量表

名称	長さ (m)	箇所数	塗装単位面積 (m ²) 1m当り	面積 (m ²)	備考
高欄1	12.630	1	2.167	27.369	長さ=7.480+1.600+3.550=12.630
高欄2	9.240	1	1.328	12.271	長さ=7.480+1.600+0.160=9.240
高欄端部	上表より			0.035	
高欄 総合計				39.675	

数 量 計 算 書

魚住陸橋修繕耐震(その4)工事

【10.構造物撤去工】

明石市都市局道路安全室道路整備課

数 量 計 算 書

レベル1 工事区分： 橋梁保全工事

レベル2 工 種： 構造物撤去工

レベル3 種 別： 運搬処理工

【細 別】／規 格	算 式	数 量
【殻運搬】	構造物とりこわしコンクリート（無筋・鉄筋）（m3）	
	コンクリート（無筋）（m3）	
	断面修復工より = 0.038 m3	
	コンクリートはつりより = 1.654 m3	
	合計 $\Sigma = 1.692 \text{ m3}$	1.692 m3
【現場発生品運搬】	塗膜くず（廃プラスチック）	
	塗膜除去工より = 2.187 t	
	運搬（2t・3t ダンプ車）= 1 回	1 回
【殻処分】	コンクリート殻（無筋）（t） 単位体積重量（2.35t/m3）	
	$1.692 \times 2.35 = 3.976 \text{ t}$	3.976 t
	塗膜くず（廃プラスチック） 廃プラスチック換算係数（1.01）	
	$2.187 \div 1.01 = 2.165 \text{ m3}$	2.165 m3

数 量 計 算 書

魚住陸橋修繕耐震(その4)工事

【11.足場工】

明石市都市局道路安全室道路整備課

数 量 計 算 書

レベル1 工事区分： 橋梁保全工事

レベル2 工 種： 仮設工

レベル3 種 別： 足場工

【細 別】／規 格	算 式	数 量
<p>【単管足場】</p>	<p>単管足場</p> <p>6. 仮設工数量表より</p> $A = \frac{75.163}{4\text{径間目}} + \frac{224.935}{2, 3\text{径間目}} + \frac{39.060}{1\text{径間目}} = 339.158$ <p>P2橋脚塗装塗替工より</p> $A = \quad \quad \quad = 102.656$ <p style="text-align: right;">以上より、$\Sigma A = 441.814$</p>	<p>441.814 掛m2</p>
<p>【吊り足場】</p>	<p>上空シート養生（単管足場）</p> <p>6. 仮設工数量表より</p> $A = \frac{27.550}{4\text{径間目}} + \frac{31.000}{2, 3\text{径間目}} + \frac{8.680}{1\text{径間目}} = 67.230$ <p>P2橋脚塗装塗替工より</p> $A = \quad \quad \quad = 33.360$ <p style="text-align: right;">以上より、$\Sigma A = 100.590$</p>	<p>100.590 m2</p>
<p>【吊り足場】</p>	<p>主体吊り足場</p> <p>6. 仮設工数量表より</p> $A = \frac{41.650}{1\text{径間目}}$ <p>地覆吊り足場</p> <p>6. 仮設工数量表より</p> $A = \frac{17.336}{1\text{径間目}}$ <p>表面保護工（剥落防止工）について、P10-A2間で 施工延長×幅0.80mとして</p> $A = \frac{20.100}{\text{片面施工延長}} \times \frac{0.800}{\text{足場幅}} \times \frac{2}{\text{東西両面}} = 32.160$ $A = 17.336 + 32.160 = 49.496$	<p>41.650 m2</p> <p>49.496 m2</p>

6. 仮設工数量

単管足場

種類	位置	幅 (m)	高さ (m)	箇所数 (面)	面積 (掛m ²)	備考
単管足場	①	7.400	5.850 ----- 2.350	1	30.340	4径間目 階段部北側側面 台形にて算出
	②	2.200	5.850	2	25.740	〃 踊り場側面
	③	4.450	5.850	1	26.033	〃 踊り場背面
	④	2.400	2.350	1	5.640	〃 階段部入口正面
	①-④重複	0.600	2.350	1	-1.410	控除
	②-③重複	0.600	5.850	2	-7.020	控除
	②東面下	1.600	2.600	1	-4.160	控除
合計					75.163	

種類	位置	幅 (m)	高さ (m)	箇所数 (面)	面積 (掛m ²)	備考
単管足場	⑤	3.000	7.350 ----- 5.850	2	39.600	2,3径間目 階段部側面 台形にて算出
	⑥	1.500	7.350	2	22.050	〃 踊り場側面
	⑦	6.000	7.350 ----- 10.350	2	106.200	〃 階段部側面 台形にて算出
	⑧	1.900	10.350	2	39.330	〃 踊り場側面
	⑨	2.500	10.350	1	25.875	〃 踊り場背面
	⑧床版分	1.900	0.550	2	-2.090	控除
	⑨床版分	2.500	0.550	1	-1.375	控除
	⑧橋車道上	1.900	2.450	1	-4.655	控除
合計					224.935	

種類	位置	幅 (m)	高さ (m)	箇所数 (面)	面積 (掛m ²)	備考
単管足場	⑩	3.600	3.600	1	12.960	4径間目 P8橋脚
	⑩⑪-1	0.800	3.600	0	0.000	〃 重複のため控除
	⑩⑪-2	2.000	3.600	1	7.200	〃 重複の0.80m控除
	⑫	3.250	3.600	1	11.700	〃 P9橋脚
	⑫⑬-1	0.800	3.600	0	0.000	〃 重複のため控除
	⑫⑬-2	2.000	3.600	1	7.200	〃 重複の0.80m控除
合計					39.060	

吊り足場

種類	位置	幅 (m)	長さ (m)	箇所数 (面)	面積 (m ²)	備考
主体吊り足場	⑭	2.450	17.000	1	41.650	1径間目
合計					41.650	

種類	位置	幅 (m)	長さ (m)	箇所数 (面)	面積 (m ²)	備考
地覆吊り足場	⑮	0.800	17.000	1	13.600	1径間目
	⑯	0.800	3.270	1	2.616	〃
	⑰	0.800	1.400	1	1.120	〃
合計					17.336	

総合計

種類	面積 (掛m2)
単管足場	339.158
主体吊り足場	41.650
地覆吊り足場	17.336

上空シート養生 (単管足場)

種類	位置	延長 (m)	幅 (m)	箇所数 (面)	面積 (m2)	備考
単管足場	①④	7.400	2.400	1	17.760	4径間目 階段部
	②③	2.200	4.450	1	9.790	" 踊り場
合計					27.550	

種類	位置	延長 (m)	幅 (m)	箇所数 (面)	面積 (m2)	備考
単管足場	⑤⑨	3.000	2.500	1	7.500	2,3径間目 階段部
	⑥⑨	1.500	2.500	1	3.750	" 踊り場
	⑦⑨	6.000	2.500	1	15.000	" 階段部
	⑧⑨	1.900	2.500	1	4.750	" 踊り場
合計					31.000	

種類	位置	延長 (m)	幅 (m)	箇所数 (面)	面積 (m2)	備考
単管足場	⑩⑪-1	0.800	3.600	1	2.880	1径間目 P8橋脚
	⑩⑪-2	0.800	2.000	1	1.600	"
	⑫⑬-1	0.800	3.250	1	2.600	" P9橋脚
	⑫⑬-2	0.800	2.000	1	1.600	"
合計					8.680	

総合計

種類	面積 (m2)
単管足場	67.230

数 量 計 算 書

魚住陸橋修繕耐震(その4)工事

【12.落下物防止柵取替工】

明石市都市局道路安全室道路整備課

数量集計表

種 別	細 別	規 格	単 位	数 量	摘 要
塗替塗装工					
	素地調整	3種ケレン	m ²	118.5	
	下塗り	亜鉛メッキ塗料	m ²	118.5	
	上塗り	亜鉛メッキ塗料	m ²	118.5	
パネル取替工					
	既設枠取外し・設置	縦断勾配3.0%以上	枚	42	
			m	78.4	街灯部除く
		縦断勾配3.0%未満	枚	0	
			m	0.0	街灯部除く
		合計	枚	42	
			m	78.4	街灯部除く
	不燃アルミ樹脂積層複合 板枠取付及び加工費		枚	44	
	不燃アルミ樹脂 積層複合板	幅1.0m以下 1000×2000を分割	枚	2	
		幅1.0m～2.0m 1000×2000	枚	40	
		1000×2000 合計	枚	42	
	クッション材	ウレタン系 t=20mm	m ²	4.1	
	シーリング材	変性シリコン パネル下端	ℓ	29	ロス率15%
		変性シリコン 複合版取付け	ℓ	129	ロス率15%
	バネ金具		個	84	
	街灯部		箇所	2	
	ボルトキャップ		本	180	

西側塗装面積

支柱 間隔	パネル						□25×25材		
	枠	枚数	方向	周長	長さ	面積	周長	長さ	面積
0.600	0.560×1.000	0	縦	0.340	1.880	0.00	0.100	1.860	0.190
			横	0.290	0.950	0.00		0.880	0.090
1.000	0.960×1.000	2	縦	0.340	1.880	1.28	0.100	1.860	0.190
			横	0.290	1.750	1.02		1.680	0.170
1.050	1.010×1.000	0	縦	0.340	1.880	0.00	0.100	1.860	0.190
			横	0.290	1.850	0.00		1.780	0.180
1.060	1.020×1.000	0	縦	0.340	1.880	0.00	0.100	1.860	0.190
			横	0.290	1.870	0.00		1.800	0.180
1.150	1.110×1.000	0	縦	0.340	1.880	0.00	0.100	1.860	0.190
			横	0.290	2.050	0.00		1.980	0.200
1.200	1.160×1.000	0	縦	0.340	1.880	0.00	0.100	1.860	0.190
			横	0.290	2.150	0.00		2.080	0.210
1.230	1.190×1.000	0	縦	0.340	1.880	0.00	0.100	1.860	0.190
			横	0.290	2.210	0.00		2.140	0.210
1.250	1.210×1.000	0	縦	0.340	1.880	0.00	0.100	1.860	0.190
			横	0.290	2.250	0.00		2.180	0.220
1.280	1.240×1.000	1	縦	0.340	1.880	0.64	0.100	1.860	0.190
			横	0.290	2.310	0.67		2.240	0.220
1.320	1.280×1.000	2	縦	0.340	1.880	1.28	0.100	1.860	0.190
			横	0.290	2.390	1.39		2.320	0.230
1.410	1.370×1.000	0	縦	0.340	1.880	0.00	0.100	1.860	0.190
			横	0.290	2.570	0.00		2.500	0.250
1.500	1.460×1.000	3	縦	0.340	1.880	1.92	0.100	1.860	0.190
			横	0.290	2.750	2.39		2.680	0.270
1.520	1.480×1.000	0	縦	0.340	1.880	0.00	0.100	1.860	0.190
			横	0.290	2.790	0.00		2.720	0.270
2.000	1.960×1.000	34	縦	0.340	1.880	21.73	0.100	1.860	0.190
			横	0.290	3.750	36.98		3.680	0.370
合計		42				69.300			5.730

全44枚(街灯パネル含)

パネル枠

$$\text{縦周長} = (85+85) \times 2$$

$$\text{横周長} = (85+65) \times 2$$

$$\text{縦長さ} = 940 \times 2$$

$$\text{横長さ} = (\text{支柱間隔} - 0.125) \times 2$$

□25

$$\text{周長} = 25 \times 4$$

$$\text{縦長さ} = 930 \times 2$$

$$\text{横長さ} = (\text{枠幅} - 0.060 \times 2) \times 2$$

数量計算書				
名 称	算 式			数 量
パネル取替工				
既設枠		縦断勾配3.0%以上		
取外し・設置	n=	割付図より	= 42	42 枚
	西側	$1.000*4+1.280+1.320*2+1.500*3+2.000*34$	= 80.420	
	東側	0	= 0.000	
	L=	$80.420+0-1.0\times 2$	= 78.420	78.4 m
		縦断勾配3.0%未満		
	n=	割付図より	= 0	0 枚
	L=	0	= 0.000	0.0 m
不燃アルミ樹脂積層複合板枠 取付及び加工費	n=	割付図より	= 44	44 枚
不燃アルミ樹脂積層複合板		幅1.0m以下		
	n=	4/2	= 2	2 枚
		幅1.0m～2.0m		
	n=	1+2+3+34	= 40	40 枚
クッション材	A=	4.142	= 4.142	4.1 m ²
シーリング材	V=	$(25488) \div 1000 \times 1.15$ (ロス率)	= 29.311	29 l
シーリング材	V=	$(448.520) \times 10 \times 25 \div 1000 \times 1.15$ (ロス率)	= 128.950	129 l
バネ金具		2個/枚		
	n=	$(42+0) \times 2$	= 84	84 個
街灯部	n=	2+0	= 2	2 箇所
ボルトキャップ	n=	45×4	= 180	180 本

西側 クッション材

支柱 間隔	長さ	枚数	面積
0.600	0.250	0	0.000
1.000	0.650	2	0.085
1.050	0.700	0	0.000
1.060	0.710	0	0.000
1.150	0.800	0	0.000
1.200	0.850	0	0.000
1.230	0.880	0	0.000
1.250	0.900	0	0.000
1.280	0.930	1	0.060
1.320	0.970	2	0.126
1.410	1.060	0	0.000
1.500	1.150	3	0.224
1.520	1.170	0	0.000
2.000	1.650	34	3.647
合計		42	4.142

長さ=支柱間隔-プレート幅(0.35)

面積=長さ×幅(65)

西側 シーリング材

支柱 間隔	長さ	枚数	体積
0.600	0.250	0	0
1.000	0.650	2	520
1.050	0.700	0	0
1.060	0.710	0	0
1.150	0.800	0	0
1.200	0.850	0	0
1.230	0.880	0	0
1.250	0.900	0	0
1.280	0.930	1	372
1.320	0.970	2	776
1.410	1.060	0	0
1.500	1.150	3	1380
1.520	1.170	0	0
2.000	1.650	34	22440
合計		42	25488

長さ=支柱間隔-プレート幅(0.35)

体積(m³)=10×20×長さ(m)×2面

西側

支柱 間隔	枚数	□25×25材		
		方向	長さ	
0.600	0	縦	1.860	5.480
		横	0.880	
1.000	2	縦	1.860	14.160
		横	1.680	
1.050	0	縦	1.860	0.000
		横	1.780	
1.060	0	縦	1.860	0.000
		横	1.800	
1.150	0	縦	1.860	0.000
		横	1.980	
1.200	0	縦	1.860	0.000
		横	2.080	
1.230	0	縦	1.860	0.000
		横	2.140	
1.250	0	縦	1.860	0.000
		横	2.180	
1.280	1	縦	1.860	8.200
		横	2.240	
1.320	2	縦	1.860	16.720
		横	2.320	
1.410	0	縦	1.860	0.000
		横	2.500	
1.500	3	縦	1.860	27.240
		横	2.680	
1.520	0	縦	1.860	0.000
		横	2.720	
2.000	34	縦	1.860	376.720
		横	3.680	
合計	42			448.520

□25

縦長さ = 930×2

横長さ = $(\text{支柱間隔} - 0.040 - 0.060 \times 2) \times 2$

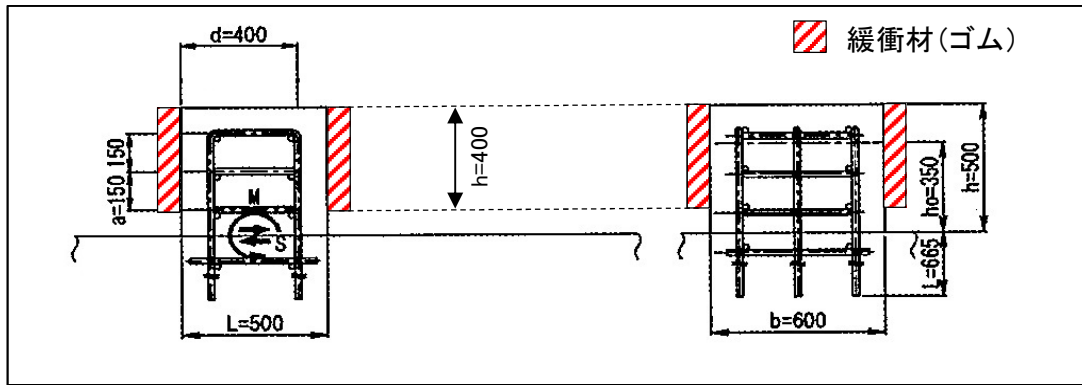
数 量 計 算 書

魚住陸橋修繕耐震(その4)工事

【13.RC反力壁工】

明石市都市局道路安全室道路整備課

RC反力壁



設置箇所は側道橋第1径間の両端支承付近

N = 2箇所

型枠工

$$A = (0.50 \times 0.50 \times 2 + 0.60 \times 0.50 \times 2) \times 2 = 2.20 \text{ m}^2$$

コンクリート(24-12-20BB)

$$V = (0.50 \times 0.60 \times 0.50) \times 2 = 0.30 \text{ m}^3$$

鉄筋(SD345)

D19 (2.25kg/m)

$$L1 = (0.665 + 0.350 + 0.300 + 0.350 + 0.665) \times 3 = 6.990 \text{ m}$$

$$L2 = 0.300 \times 6 = 1.800 \text{ m}$$

$$L3 = 0.400 \times 6 = 2.400 \text{ m}$$

$$L = \sum L_i \times 2 = 11.190 \times 2 = 22.380 \text{ m}$$

$$W = 2.25 \times 22.380 = 50.355 \text{ kg}$$

$$= 0.0504 \text{ t}$$

コンクリート削孔

アンカー材径D19 $\phi 29 \times 675\text{mm}$

$$N = 6 \times 2 = 12 \text{ 孔}$$

注入材

エポキシ樹脂 比重1.200

$$V = (\pi/4 \times 0.029^2 \times 0.675 - \pi/4 \times 0.019^2 \times 0.665) \times 12 = 0.003 \text{ m}^3$$

$$W = 0.003 \times 1200 = 3.6 \text{ kg}$$

鉄筋探査(下向き)

$$A = 1.00 \times 1.00 \times 2 = 2.00 \text{ m}^2$$

緩衝材(クロロブレンゴム) t=50mm

$$A = ((0.50 + 0.05 \times 2) \times 0.40 \times 2 + 0.60 \times 0.40 \times 2) \times 2 = 1.92 \text{ m}^2$$

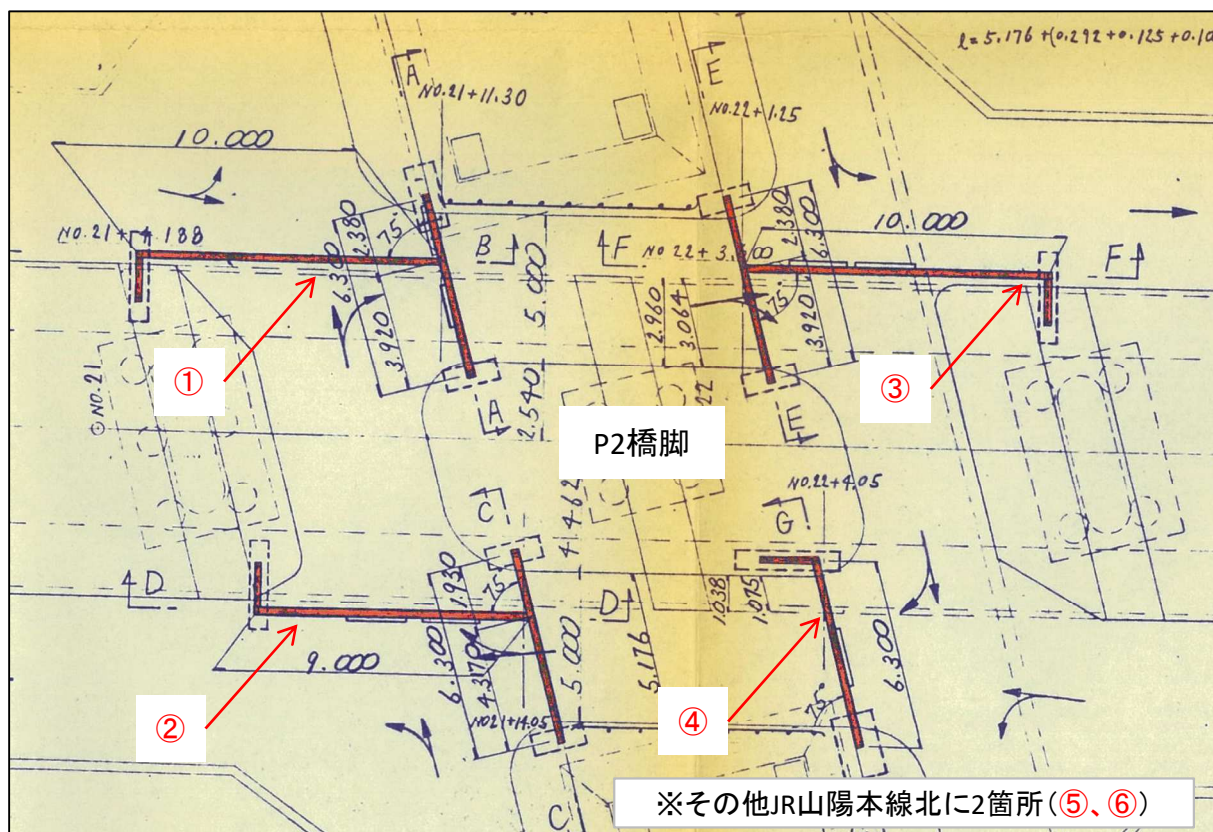
数 量 計 算 書

魚住陸橋修繕耐震(その4)工事

【14.防護柵補修工】

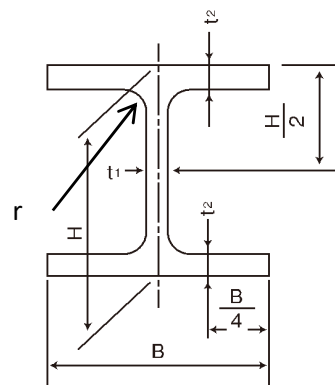
明石市都市局道路安全室道路整備課

塗装塗替
桁防護柱



H形鋼(広幅)の300×300の寸法は

- H = 0.300 m
- B = 0.300 m
- t1 = 0.010 m
- t2 = 0.015 m
- r = 0.013 m



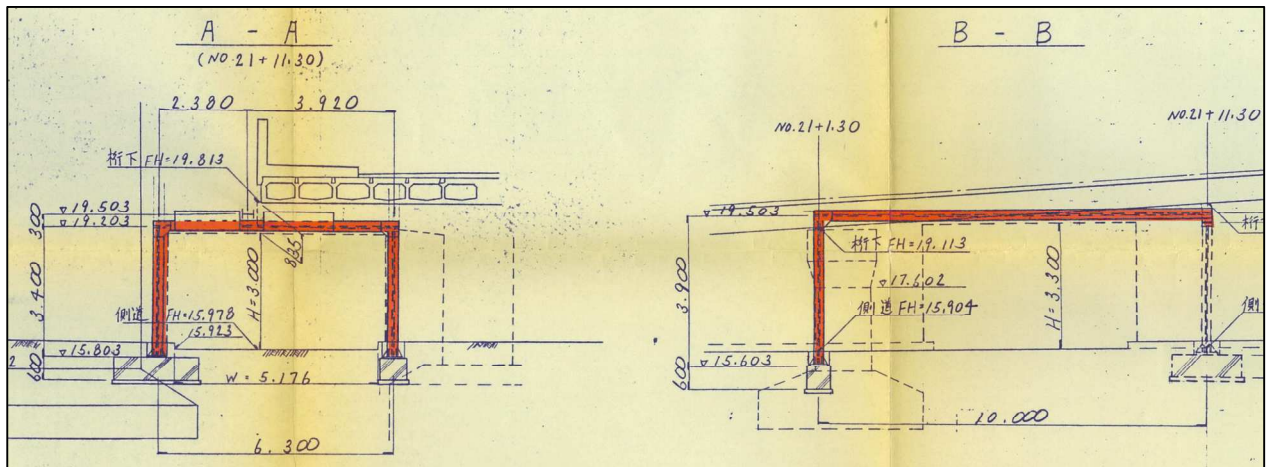
断面積Aは

$$\begin{aligned}
 A &= (t_2 \times B) \times 2 + \{(H - t_2 \times 2) \times t_1\} + \{(r \times 2)^2 - (r \times r \times \pi)\} \\
 &= (0.015 \times 0.300) \times 2 + \{(0.300 - 0.015 \times 2) \times 0.010\} + \{(0.013 \times 2)^2 - (0.013 \times 0.013 \times \pi)\} \\
 &= 0.01185 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

1mあたりの表面積Sは

$$\begin{aligned}
 S &= B \times 2 + t_2 \times 4 + [B - (r + t_1 + r)] \times 2 + [H - (t_2 + r) \times 2] \times 2 + (2 \times r \times \pi) \\
 &= 0.300 \times 2 + 0.015 \times 4 + [0.300 - (0.013 + 0.010 + 0.013)] \times 2 + [0.300 - (0.015 + 0.013) \times 2] \times 2 + (2 \times 0.013 \times \pi) \\
 &= 1.75768 \text{ m}^2/\text{m}
 \end{aligned}$$

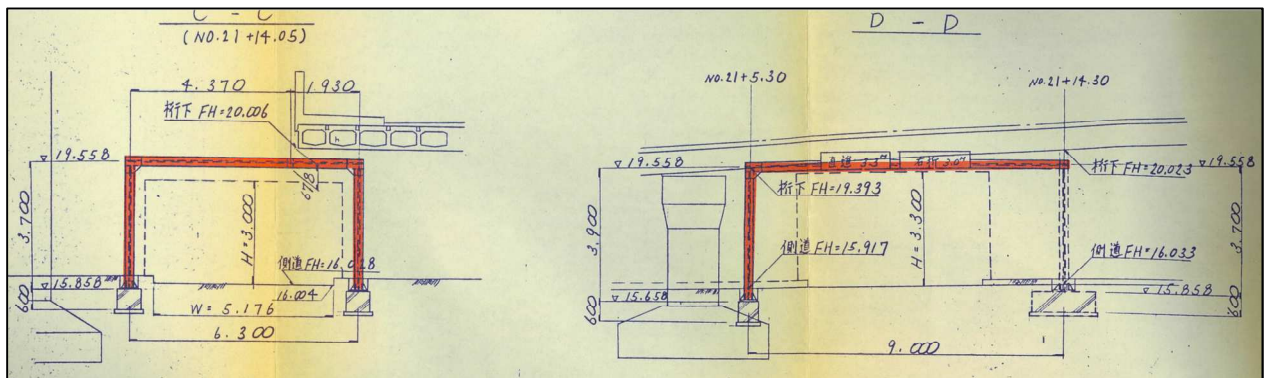
防護柱①



防護柱①の施工延長L1は

$$L1 = 3.400 + 6.300 + 3.400 + 3.900 + 10.000 = 27.000 \text{ m}$$

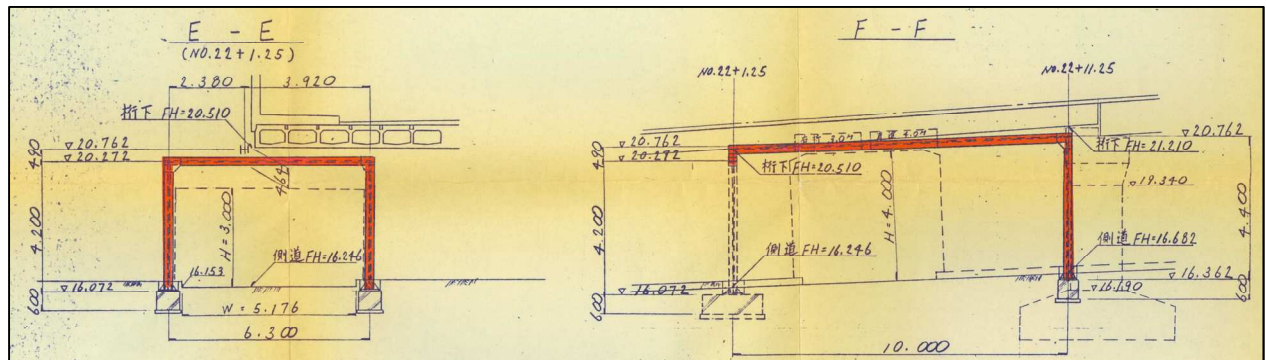
防護柱②



防護柱②の施工延長L2は

$$L2 = 3.700 + 6.300 + 3.700 + 3.900 + 9.000 = 26.600 \text{ m}$$

防護柱③



防護柱③の施工延長L3は

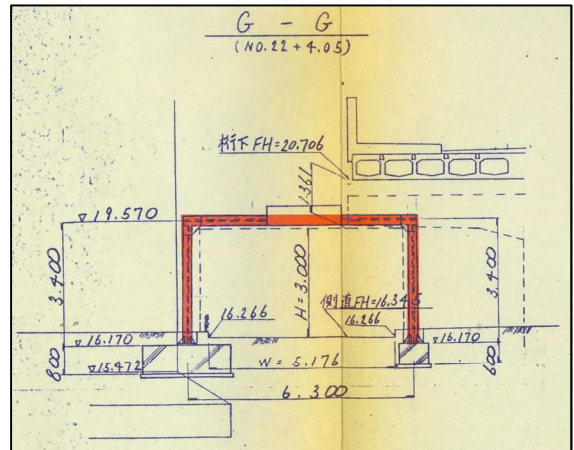
$$L3 = 4.200 + 6.300 + 4.200 + 10.000 + 4.400 = 29.100 \text{ m}$$

防護柱④

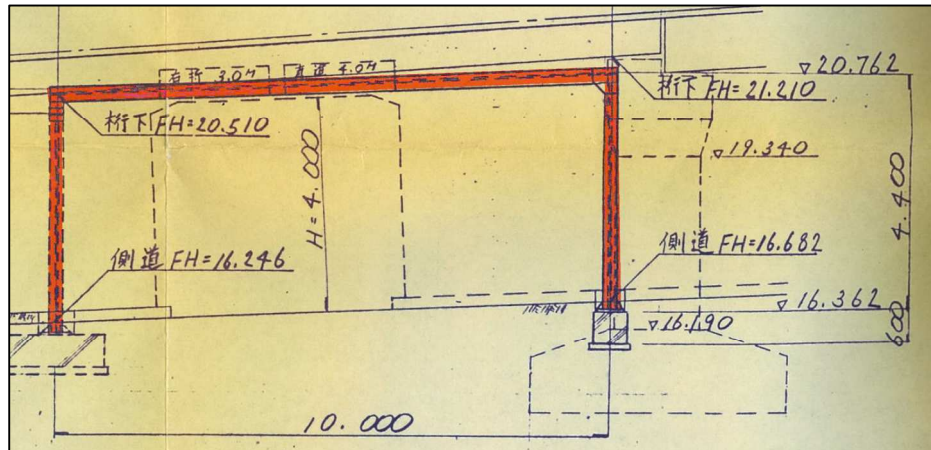
防護柱④の施工延長L4は

$$L4 = 3.400 + 6.300 + 3.400$$

$$= 13.100 \text{ m}$$



防護柱⑤、⑥



防護柱⑤、⑥の施工延長L56は

$$L56 = (4.400 + 10.000 + 4.400) / 1 \text{箇所}$$

$$= 18.800 \text{ m} / 1 \text{箇所}$$

●控柱

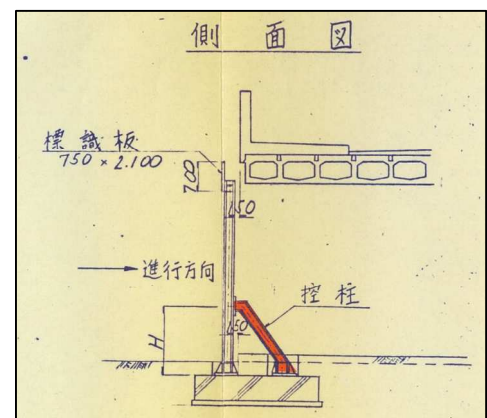
各控柱の高さは

H (m)	各控柱の場所
1.75	防護柱①、防護柱②、 防護柱⑤北側、防護柱⑥北側
2.50	防護柱③、防護柱④、 防護柱⑤南側、防護柱⑥南側

控柱の施工延長L'は

$$L' = (1.75 \times \sqrt{2}) \times 4 + (2.50 \times \sqrt{2}) \times 4$$

$$= 24.042 \text{ m}$$



以上より、防護柵の塗替面積は

防護柵No.	施工延長 (m)	塗装面積 (m ²)
①	27.000	47.457
②	26.600	46.754
③	29.100	51.148
④	13.100	23.026
⑤	18.800	33.044
⑥	18.800	33.044
控柱	24.042	42.258
	Σ	276.731

$$A = 276.73 \text{ m}^2$$

塗装仕様(Ra-Ⅲ)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	3種		4時間以内
下塗※	鉛・クロムフリーさび止めペイント	(140)	
下塗	鉛・クロムフリーさび止めペイント	140	1日～10日
下塗	鉛・クロムフリーさび止めペイント	140	1日～10日
中塗	長油性フタル酸樹脂塗料用中塗	120	1日～10日
上塗	長油性フタル酸樹脂塗料上塗	110	1日～10日

※鋼材露出部のみ

注:高所については自走式リフトによる作業とする。

標識撤去・復旧工

塗替作業に伴い、高さ制限の警戒標識の撤去復旧を実施する。

設置された標識(H 0.7m × W 2.1m)は

$$N = \quad \quad \quad = \quad \quad \quad 7 \text{ 箇所}$$

したがって、撤去・復旧面積は

$$A = 0.7 \quad \times \quad 2.1 \quad \times \quad 7 \quad = \quad 10.29 \text{ m}^2$$

根巻防護工

柱の種類	幅B	高さH
主	0.600	0.300
控	0.800	0.500

土工部の断面積は

断面積(主)

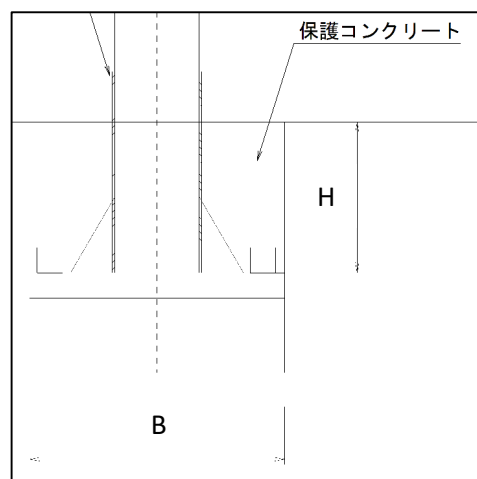
$$A = 0.600 \times 0.600 - 0.01185$$

$$= 0.34815 \text{ m}^2$$

断面積(控)

$$A = 0.800 \times 0.800 - 0.01185$$

$$= 0.62815 \text{ m}^2$$



それぞれの箇所数は

防護桁No.	主 (箇所)	控 (箇所)
①	3	1
②	3	1
③	3	1
④	2	1
⑤	2	2
⑥	2	2
Σ	15	8

1箇所当たりの施工数量は

	舗装切断 m	舗装版 破碎 m ²	残殻 m ³	床掘高 m	床掘 m ³	残土 m ³	保護Co高 m	型枠 m ²	保護Co m ³
主	2.400	0.348	0.017	0.250	0.087	0.087	0.300	0.720	0.104
控	3.200	0.628	0.031	0.450	0.283	0.283	0.500	1.600	0.314

以上より、防護桁の根巻防護工は

	舗装切断 m	舗装版 破碎 m ²	残殻 m ³	床掘高 m	床掘 m ³	残土 m ³	保護Co高 m	型枠 m ²	保護Co m ³
主	36.000	5.220	0.255	0.250	1.305	1.305	0.300	10.800	1.560
控	25.600	5.024	0.248	0.450	2.264	2.264	0.500	12.800	2.512
合計	61.600	10.244	0.503	0.700	3.569	3.569	0.800	23.600	4.072

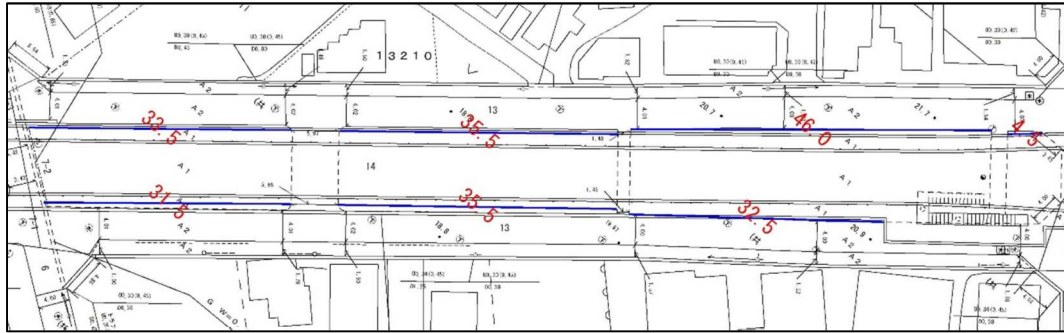
数 量 計 算 書

魚住陸橋修繕耐震(その4)工事

【15.植栽帯撤去工】

明石市都市局道路安全室道路整備課

植栽帯撤去



撤去延長

$$L = 33.5 + 35.5 + 46.0 + 4.5 + 31.5 + 35.5 + 32.5 = 219.0 \text{ m}$$

植栽帯の幅

$$W = 0.7 \text{ m}$$

撤去面積は

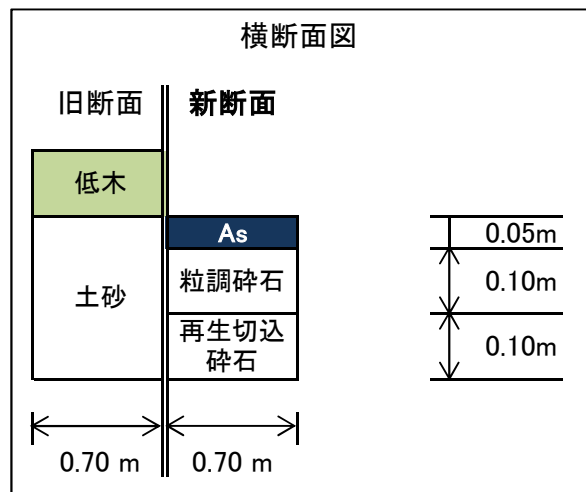
$$A = 219.0 \times 0.7 = 153.30 \text{ m}^2$$

処分量は低木(想定高さ60cm)より

$$V = 153.30 \times 0.60 = 91.98 \text{ m}^3$$

重量は単位堆積重量(想定0.55t/m³)より

$$W = 91.98 \times 0.55 = 50.59 \text{ t}$$



上図より、

土砂掘削

$$V = 153.30 \times 0.25 = 38.33 \text{ m}^3$$

残土処分

$$V = 38.33 \text{ m}^3$$

下層路盤工 (再生切込碎石 t=100)

$$A = 153.30 \text{ m}^2$$

上層路盤工 (粒調碎石 t=100)

$$A = 153.30 \text{ m}^2$$

表層工 (再生密粒度As t=50)

$$A = 153.30 \text{ m}^2$$

特記仕様書

工 事 名	魚住陸橋修繕耐震（その４）工事
工事場所	明石市魚住町西岡地内
工 期	契約締結日の翌日から令和 5 年 3 月 31 日まで ただし、令和 5 年 11 月 30 日まで工期延期予定（※） （※本件に係る予算について、市議会での次年度への繰越承認、 国庫補助事業等の繰越承認がされたとき）

第 1 条 総則

1-1. 適用

本仕様書は、明石市都市局道路安全室道路整備課が発注する、上記工事に適用する。

設計図書に記載されていない事項は、兵庫県土木請負工事必携（令和 4 年 10 月一部改定版）、兵庫県土木工事共通仕様書（令和 4 年 10 月一部改定版）、兵庫県土木工事施工管理基準（令和 4 年 10 月一部改定版）ならびに、「小型構造物標準図集」（H25. 12 月（第 3 回改訂版）兵庫県土木整備部）（以下、「小型図集」と称する。）によるものとする。（その他追加通知を含む）

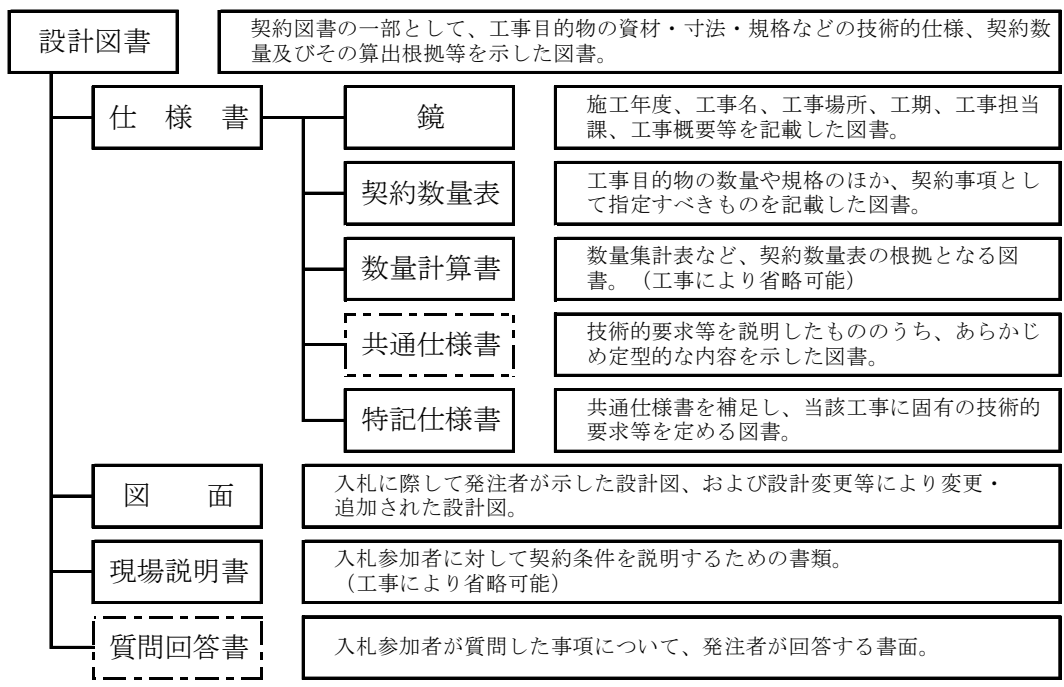
1-2. 設計図書

本工事においては、明石市工事請負契約約款第 1 条に規定するものを設計図書とする。

設計図書の他に交付する「見積参考図書」とは入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積に資するための資料であり、明石市工事請負契約約款第 1 条でいう設計図書ではない。

従って、「見積参考図書」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は施工条件及び地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段については、受注者の責任において定めるものとする。なお、「見積参考図書」の有効期限は本工事の入札（見積日）までとする。

設計図書と見積参考図書の構成は次頁に示す図のとおりである。



※ [破線] 破線で示す共通仕様書と質問回答書は案件により添付しない場合がある。

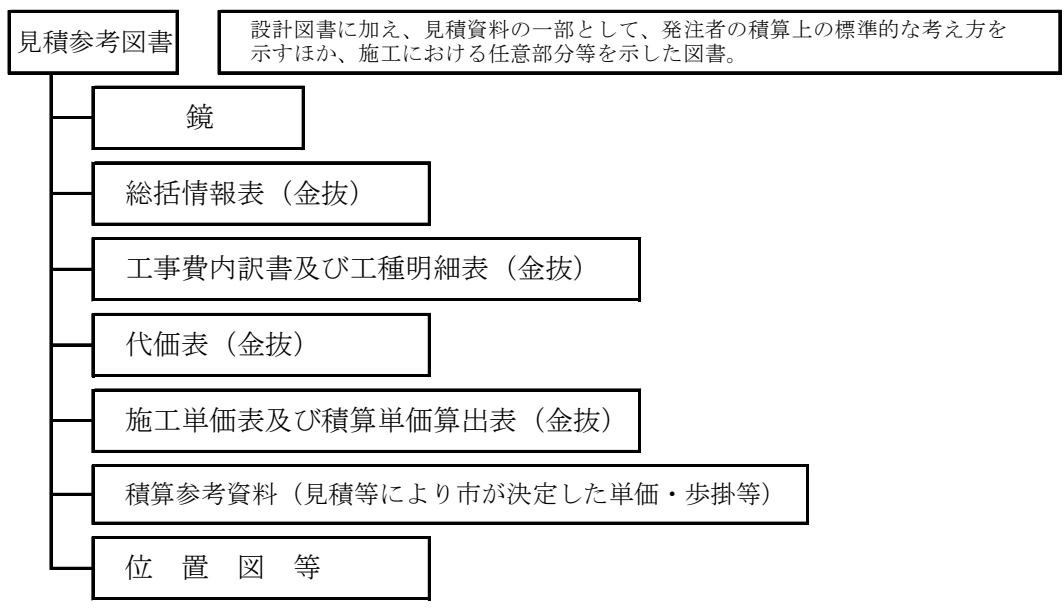


図. 設計図書と見積参考図書の構成

1-3. 現場代理人の兼務

本工事については、他工事との現場代理人の兼務を認めない。

1-4. 配置技術者

本工事の施工にあたり、以下の該当する技術者を配置すること。

- ・ 橋梁修繕工事に精通した技術者（受注者、下請け業者は問わない）

1-5. 施工範囲に関する留意事項

工事内容のうち、現場条件等により工事内容を一部変更する可能性がある。よって工事着手前に工事内容について監督員の確認を受けるものとする。なお、工事内容に変更を伴う場合は、監督員の指示によるものとし、設計変更の対象とする。

1-6. 設計図書の照査

受注者は、施工前及び施工途中において、自らの費用負担において設計図書の照査を行い、施工条件と工事現場が一致しない等の事実を発見したときは、監督員にその事実が確認できる資料を書面により提出し、確認を求めなければならない。

1-7. 施工計画書

受注者は、工事着手前に施工計画書を監督員に提出し、監督員の承諾を得た後に工事着手しなければならない。

1-8. 工事カルテ

受注者は、受注時または変更時において工事請負代金額が 500 万円以上の工事について、工事实績情報サービス（CORINS）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事实績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き 10 日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き 10 日以内に、完成時は工事完成後 10 日以内に、監督員の確認を受けたうえ、登録機関に登録申請しなければならない。なお、登録内容に訂正が必要な場合は、工事实績情報サービス（CORINS）に基づき、「訂正のための確認のお願い」を作成し、訂正があった日から 10 日以内に、監督員の確認を受けたうえ、登録機関に登録申請しなければならない。

変更登録は、工期又は技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみ変更の場合は、原則として登録を必要としない。ただし、工事請負代金額が 2,500 万円を跨いで変更があった場合には、変更後の請負代金額に則った登録を行うものとする。

また、登録機関発行の「登録内容確認書」が受注者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が 10 日に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

1-9. 施工体制台帳

(施工体制台帳)

受注者は、所定様式(工事担当技術者)を追加して施工体制台帳を作成し工事現場に備えるとともに、監督員に提出するものとする。

なお、様式には監理技術者、主任技術者(下請負を含む)及び元請負の専門技術者(専任している場合のみ)の顔写真、氏名、生年月日、所属会社名を記載するものとする。

下請負に関する契約書の写しは、施工体制台帳に添付するものとし、現地に備え付けるものとする。

(現場の管理)

受注者は監理技術者、主任技術者(下請負を含む)及び元請負の専門技術者(専任している場合のみ)に、工事現場内において、工事名、工期、顔写真、所属会社名及び社印の入った名札を着用させるものとする。

施工体系図は、現地の見やすい場所に掲示すること。

工事関係車両の夜間駐車及び現場外駐車を行わず適切な管理を行うこと。

1-10. 建設副産物

(再生資源の利用の促進)

受注者は、建設副産物適正処理推進要綱(建設事務次官通達、平成14年5月30日)を遵守して、建設副産物の適正な処理及び再生資源の活用を図らなければならない。

1. 提出様式

建設副産物等を工事現場から搬出する場合には、再生資源の活用の促進に関する法律に基づく再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成するものとする。

なお、再生資源利用計画、再生資源利用促進計画及びその実施状況を記載する様式については、国土交通省が公開している建設リサイクル報告様式(計画書・実施書)または「建設副産物実態調査情報交換システム(COBRIS)」で所定の様式を使用するものとする。

2. 提出方法

作成した再生資源利用【促進】計画書(実施書)は、1部は自社で工事完成後1年間保管し、計画書・実施書は各1部と電子データを監督員に提出するものとする。

- ・工事着手前:「再生資源利用促進計画書」

施工計画書に計画書を添付する。

- ・工事完成後:「再生資源利用促進実施書」

書面による計画書・実施書及び実施書の電子データを竣工図書として提出する。

(残土・ガラ処分について)

1. 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律「建設リサイクル法」に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

2. アスファルト・コンクリートガラは、中間処理（再資源化）とする。
 残土・ガラ運搬については処分地まで直接運搬とする。
 また、土砂・ガラの運搬に際し、シート等にて飛散しないようにし、一般利用者に迷惑のかからないように留意すること。
 交通法規を遵守し、特に過積載のないよう管理すること。
 受注者による施工計画書記載の処分地の変更時は、監督員との協議のこと。

1-11. 発生材の処分地例及び問合先

1. 特定建設資材廃棄物等

特定建設資材廃棄物等の搬出先は、積算条件として、以下を設定している。

再資源化等をする施設の名称及び所在地等

特定建設資材廃棄物の種類	土砂
施設の名称	田口建材(株)
運搬距離	6.5km以下
所在地	明石市大久保町大窪戌亥谷 2751 他
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による。

特定建設資材廃棄物の種類	アスファルト塊
施設の名称	中谷建材(株)
運搬距離	17.5km以下
所在地	高砂市梅井 5-2-10
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による。

特定建設資材廃棄物の種類	コンクリート塊（無筋）
施設の名称	田口建材(株)
運搬距離	8.0km以下
所在地	明石市大久保町松陰字堂屋敷 342-36
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による。

上表については、積算条件を明示しているものであり受入施設を指定するものではなく、受注者は、県登録施設から搬出先施設を選定し、共通仕様書に基づき施工計画書に含

め、監督員に提出しなければならない。なお、受注者の選定した施設が、積算条件と異なる場合においても設計変更は行わない。

ただし、上表の施設が工事発注後に県登録施設からの登録抹消等により受け入れ困難となった場合は、設計変更を行う。

2. その他の廃棄物（特別管理産業廃棄物を含む）

その他の廃棄物の搬出先は、積算条件として、以下を設定している。

施設の名称及び所在地等

廃棄物の種類	塗膜くず等
施設の名称	関西環境建設(株)
運搬距離	5.0km 以下
所在地	兵庫県神戸市西区岩岡町野中宇福吉 540 番地の 6
受入等諸条件	事前に分析結果表及びサンプルの提出が必要
その他	監督員の指示による。

廃棄物の種類	木の枝、幹、根
施設の名称	明石クリーンセンター
運搬距離	8.0km 以下
所在地	明石市大久保町松陰 1131
受入等諸条件	明石市の当該ホームページ（「明石クリーンセンターへの直接持ち込みについて」）に従うこと
その他	監督員の指示による。

上表については、積算条件を明示しているものであり受入施設を指定するものではなく、受注者は、搬出先施設を選定し、共通仕様書に基づき施工計画書に含め、監督員に提出しなければならない。なお、受注者の選定した施設が、積算条件と異なる場合においても設計変更は行わない。

ただし、「木の枝、幹、根」については「事業系ごみ」の「燃やせないごみ」としているが、受入施設により廃棄物の種類が「燃やせるごみ」となった場合には上記施設の「剪定くず等」の区分に設計変更を行うものとする。

1-12. 段階確認

受注者は、兵庫県土木工事共通仕様書に定める工種については、事前に立会願を監督員に提出し段階確認を受けなければならない。また、それ以外の工種においても、監督員が必要と判断した場合、協議の上、段階確認を受けなければならない。

1-13. 出来形、品質、写真管理基準

受注者は、兵庫県土木施工管理基準に定める以外の工種について、監督員が必要と判断した場合、協議の上、基準を定めるものとする。

1-14. 履行報告

受注者は、工事履行報告書を別添の様式に基づき作成し、工程表及び工事状況写真を添付し、毎月末に監督員に提出しなければならない。

1-15. 工事中の安全確保

(法令遵守)

受注者は、関係諸法規を遵守し、現場内外の安全管理に万全を期し、工事施工に伴う諸手続きは、請負人の責任において関係諸官庁に提出し許可を得ること。

(地下埋設物件の事故防止)

1. 工事の施工にあたって予想される地下埋設物件は、管理者と現地立会のうえ、当該物件の位置・深さを確認し、保安対策について十分打合せを行ない、事故の発生を防止すること。
2. 受注者の責により地下埋設物件に損害を与えた場合は、すみやかに監督員に報告するとともに関係機関に連絡し応急措置をとり、受注者の負担によりこれを補修しなければならない。
3. 埋設物件等の管理者不明のものがある場合は、監督員に報告し、その処置については、占有企業者全体の立会を求め、管理者を明確にしなければならない。その結果、未使用管の処置を受注者が企業者より依頼を受けた場合には、文書によってその責任を明確にしておかなければならない。

(道路付属物ならびに占有物件の処置)

工事施工のため支障となる道路の付属物並びに占有物件がある場合には、その処置について予め監督員と打合せを行うものとする。本工事箇所には架空線・鉄道高架があるので、工事に際しては事前調査を十分に行い、必要に応じて管理者と移設及び防護について立ち合い、協議のうえ施工を行うこと。

1-16. 環境対策

(低騒音型・超低騒音型の使用)

本工事箇所は、特に生活環境を保全する必要がある地域であるので、施工にあたっては、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定にもとづき指定された建設機械を使用すること。

(排出ガス対策型建設機械)

本工事において下表に示す建設機械を使用する場合は、排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。

なお、排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、「建設技術評価制度」又は「民間

開発建設技術の審査証明事業」により評価された「排出ガス浄化装置」を装着した建設機械を使用することで同等とみなす。

ただし、これにより難しい場合は、設計図書に関して監督員と協議するものとする。

上記において、「これにより難しい場合」とは、受注者の都合で調達できない場合を含むものとする。

なお、施工現場において使用する建設機械が排出ガス対策型建設機械であることを確認できる写真を撮影し、完成書類として監督員に提出するものとする。

機 種	備 考
<ul style="list-style-type: none"> ・バックホ ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザ ・発動発電機（可搬式、溶接兼用機含） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット <p>（以下に示す基礎工専用機械のうち、バースタシオンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの：</p> <p>油圧ハンマ、ハイブハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入・引抜機、アースオーガ、ホルケーシング掘削機、リバーサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型ホルケーシング掘削機）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ ・ホイールクレーン 	<p>ディーゼルエンジン （エンジン出力7.5kw以上、260kw以下） を搭載した建設機械に限る</p>

1-17. 交通安全管理

（安全対策費）

安全対策については、交通誘導警備員を計上しているが、道路管理者及び所轄警察署の打合わせの結果により変更等が生じた場合は監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。また、条件変更及び受注者にて特に必要と認めた場合は、その対策等について監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。歩行者や自転車等の通行については、十分に配慮し、交通誘導警備員にて的確に誘導させること。

（安全施設類）

標識類、防護柵等の安全施設類については、現場条件に応じて設置する他、道路管理者及び所轄警察署と打合わせを行い実施するものとする。なお、打合わせの結果又は条件変更等に伴い、道路保安施設設置基準（案）以上の保安施設類が必要な場合、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

(交通誘導警備員の配置)

交通誘導警備員については、道路管理者及び所轄警察署の打合せの結果に従い適正に配置し、道路使用許可証(警察署提出)を遵守すること。打合せの結果又は、条件変更等に伴い員数に増減が生じた場合は、設計図書に関して監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

なお、交通誘導警備員 A,B の定義は次のとおり。

交通誘導警備員 A :警備業者の警備員(警備業法第 2 条第 4 項に規定する警備員をいう。)

で、交通誘導警備業務(警備員等の検定等に関する規則第 1 条第 4 号に規定する交通誘導警備業務をいう。)に従事する交通誘導警備業務に係る 1 級検定合格警備員又は 2 級検定合格警備員

交通誘導警備員 B : 警備業者の警備員で、交通誘導警備員 A 以外の交通の誘導に従事するもの。

(交通誘導警備員の配置)

本工事における交通整理箇所については、作業中は交通誘導警備員を常時配置するものとし、休憩時等における交替要員を考慮するものとする。

施工内容	編成	昼夜間	備考
本工事	交通誘導警備員 B : 6 名	昼間	人数に交替要員 1 名含む
附帯工事	交通誘導警備員 B : 6 名	昼間	人数に交替要員 1 名含む

(安全教育・研修訓練)

工事現場における安全対策の重要性に鑑み、全工事・全作業員を対象とし、次の各号から実施する内容を選択し、定期的に安全教育・研修訓練を行うものとする。また、実施項目については、施工計画書に本工事の内容に即した安全・訓練等の具体的な計画を作成し、監督員に提出するものとする。

- 1) 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育
- 2) 当該工事内容等の周知徹底
- 3) 土木工事安全施工技術指針等の周知徹底
- 4) 当該工事における災害対策訓練
- 5) 当該工事現場で予想される事故対策
- 6) その他、安全・訓練等として必要な事項

安全教育・研修訓練は、工事期間中月 1 回(半日)以上実施し、監督員に実施状況報告書を提出するものとする。

なお、安全教育・研修訓練に要する必要な費用(労務者の日当)は、現場管理費に含んでいる。

1-18. 諸法令の遵守

(道路法等の遵守)

受注者は、道路法、道路運送車両法及び道路交通法の趣旨に基づき、資材運搬等に必要な車両の諸元について当該法律を遵守しなければならない。

(過積載による違法運行の防止について)

受注者は過積載防止について、その具体的対策方法を施工計画書に記載するものとする。

(不正軽油の使用の禁止)

1. 受注者は、工事の施工にあたり、使用する車両及び建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第 700 条の 22 の 2（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。
2. 受注者は、不正軽油の使用が判明した場合には、速やかに是正措置を講じなければならない。

(特殊車両通行許可制度の徹底)

道路法第 47 条の 2 に基づく通行許可の確認において、受注者は下記の資料を監督員に提出し、確認を得なければならない。

車両制限令第 3 条における一般制限値を超える車両について

- ① 施工計画書に一般的制限値を超える車両を記載
- ② 出発地点、走行途中、現場到着地点における写真（荷姿全景、ナンバープレート等通行許可書と照合可能な写真）なお、走行途中の写真撮影が困難な場合は監督員の承諾を得て省略できるものとする。
- ③ 通行許可書の写し
- ④ 夜間通行が条件の場合、車両通行記録計（タコグラフ）の写し

第 2 条 施工

2-1. 「同等品以上」について

本設計図書で「同等品以上」と示す場合、そこに示された工法や材料を参考に積算しているが、工事の施工に際し、工法や材料を指定するものではなく、発注者の求める基準を満たすものであれば他の工法や材料の採用を妨げるのではない。なお、受注者において他の工法や材料を採用する場合は、監督員の承諾を得た後に採用を決定するものとし、本設計の工法や材料と差異があっても設計変更の対象としない。ただし、事前測量等の設計照査により、当初設計の施工内容に変更が生じた場合は、当初設計工法による変更の対象とする。また、本条「2-2.」以降に特筆する場合はその記載内容に従うものとする。

2-2. 落下物防止柵取替工

落下物防止柵取替工の施工にあたっては、下記の点に留意すること。

- ① 本設計では委託成果に基づきアルミ樹脂積層複合板を採用している。材料の採用に

- あたっては厚み $t=4\text{mm}$ のプラメタル FRC405（不燃材）同等品以上を使用すること。
- ②アルミ樹脂積層複合板のカラーについては監督員と協議のうえ、決定すること。
 - ③既設枠寸法は現地支柱間隔から想定したものであるため、撤去時に確認すること。
 - ④支柱間隔 1m 以下のパネルは複合板 2m ものを切断し、パネル 2 枚／複合板 1 枚で使用すること。ただし、道路照明部は支柱間隔 1m であるが、高さ方向が 1.1m 程度のため、1 枚／1 箇所とする。
 - ⑤ワイヤーについては流用できるものとしているが、撤去時、ワイヤーに構造上問題があることが確認された場合は監督員と協議を行うこと。
 - ⑥ボルト頭部切断時の余長は 3 山以上を確保すること。
 - ⑦道路照明部は現地ボルト間隔に合わせて加工を行うこと。
 - ⑧アンカーキャップの設置時には充填材の充填が十分であることを後から確認できるように施工管理を実施すること。
 - ⑨既設枠については流用を予定しており、塗装の塗替え作業を見込んでいる。現在の塗装が亜鉛メッキであることから、3 種ケレンによる素地調整を実施した後、亜鉛メッキ塗料による下塗り・上塗りを想定している。亜鉛メッキ塗料の採用にあたっては亜鉛含有率が 95%以上であるものを使用すること。

2-3. ひび割れ補修工・断面修復工

ひび割れ補修工・断面修復工については、設計時の調査に比べ、数量が大幅に増加する事例が相次いでいることから、事前に確認されている数量の 2 倍を設計で計上している。施工にあたっては、設計照査の際に幅や大きさの確認を行い、監督員に報告すること。その後、監督員と数量変更協議および確認の立会を行い、作業を実施するものとする。

設計において、断面修復工は左官工法用のポリマーセメントモルタル、ひび割れ補修工は下記に示す材料同等品以上での施工を想定している。

- ・注 入 材：土木補修用エポキシ樹脂注入材 1 種適合品（※）同等品以上
（※コンクリートのひび割れ調査、補修・補強指針-2013- P128）

また、P10 橋脚～A2 橋台間の本作業は高所作業車作業を想定している。

2-4. 剥落防止工

コンクリートの剥落防止工においては、「2-1.」に基づき他工法を採用する場合、下記の基準を満たす工法を用いること。

- ・施工後にコンクリート表面を確認できるよう、透明であること。
- ・コンクリート内部の水蒸気に対する通気性が確保されていること。
- ・その他、超薄膜スケルトン防災コーティング工法と同等品以上であること。

2-5. アスファルト舗装

受注者は、「土木工事共通仕様書」によるものの他、プラント再生舗装技術指針及び本特記仕様書により施工するものとする。

また、加熱アスファルト混合物を使用する場合は、「加熱アスファルト混合物に関する特記仕様書」(別紙)のとおり、資料を提出すること。

2-6. FRP シート設置工

FRP シート設置工の施工にあたっては、下記の点に留意すること。

- ①本設計では委託成果に基づき UVPPS 工法を参考に積算している。
- ②FRP シート設置工について、他の工法を採用する場合は UVPPS 工法と同等品以上となる工法を採用すること。
- ③紫外線照射については「有り」としている。紫外線照射を実施しない場合は、実施せずとも品質が十分確保できることを証明した資料を作成の上、監督員と協議を行うこと。本内容は設計変更の対象とする。

2-7. 塗膜除去工 (塗膜剥離剤)

塗膜剥離剤を用いた湿式の塗膜除去工の施工にあたっては、下記の点に留意すること。

- ①本設計では委託成果に基づきネオリバー泥パック工法を参考に積算している。
- ②塗膜剥離剤について、他の材料を使用する場合はネオリバー泥パック工法同等品以上を採用すること。この材料変更は設計変更の対象としない。なお、同等品以上であることは、実際に試験塗布を行い比較確認すること。この試験費用は設計変更の対象としない。
- ③塗膜剥離剤の標準使用量は 1.0kg/m² としているが、事前に 0.5kg/m² と剥離試験を実施し、剥離剤塗布量が 0.5kg/m² で十分に剥離する場合は 0.5kg/m² で施工すること。また、後述のように 2 回の塗膜剥離剤塗布を行う場合については、2 回目についても同様の検討を実施すること。この使用量の変更は設計変更の対象とする。
- ④当初設計において、塗膜除去工は全面積 2 回の剥離剤塗布を見込んでいる。実際の施工において、1 回の塗布で十分に剥離する場合は 2 回目の塗膜除去工を減工するものとする。形状等により部分的に 2 回目が必要な場合は部分的な 2 回目の塗膜除去工を行う。どちらも 1 回目の除去工後に監督員による確認を行うものとし、本内容は設計変更の対象とする。

2-8. 仮設工

足場の設置・撤去時には陸橋下側道の通行規制が想定される。当該道路は一方通行の道路であるため、近隣住民に配慮し、早期に通行規制の周知等を行うこと。また、施工中は、側道橋第 1 径間直下が現道であることから、第三者被害の防止に努めること。

足場工図面はあくまで参考図であるため、施工にあたっては十分な検討を行うこと。

2-9. 既設鉄筋コンクリート構造物の削孔作業

受注者は、削孔作業については、鉄筋の損傷等により既設構造物の品質を低下することがないように、特に適切な施工に配慮すること。そのため、既設鉄筋コンクリート構造物の削孔作業にあたっては、以下を実施する。

なお、これによりがたい場合は監督員と協議することとする。

①事前調査

受注者は、設計図書による既設構造物の配筋状況を確認しなければならない。

また、工事着手前に鉄筋探査機等により調査し、削孔範囲周辺の配筋状況を確認しなければならない。ただし、設計図書において鉄筋探査等による既設構造物の配筋状況が確認されている場合はこの限りでない。

②削孔計画図の作成

受注者は、上記①の事前調査の結果を踏まえ、削孔計画図を作成し、監督員に提出すること。

③削孔作業の実施

受注者は、削孔計画図に基づき、削孔作業を実施することとする。

なお、施工中に鉄筋に接触するなどにより削孔計画図に修正が生じた際は監督員に変更削孔計画図を提出すること。また、必要な場合は、変更削孔計画図により構造計算を実施すること。

④段階確認

受注者は、削孔作業について、段階確認を受けなければならない。

また、受注者は、段階確認時まで、削孔によるコアを保存しなければならない。

段階確認の内容は以下のとおりとする。

- ・ 確認時期：削孔作業完了時
- ・ 確認事項：削孔計画図（変更削孔計画図）と削孔位置の照合、コアの状況、削孔長、削孔径、削孔の間隔、孔内状況
- ・ 確認数量：全数

第3条 その他

3-1. 産業廃棄物管理票

受注者は、本工事で排出される建設廃棄物を現場外に搬出して処理（再資源化施設、積み替え保管場所経由で最終処分）する場合、産業廃棄物管理票（マニフェスト）により、適正に処理されていることを確認するものとする。

3-2. 工事測量

工事着手後直ちに測量を実施し、測量結果が設計図書に示されている数値と差異を生じた場合は監督員の指示を受けること。

3-3. 写真管理

工事写真の管理については、写真管理基準(土木工事施工管理基準)に準じるものとし、デジタル写真で提出する場合は、デジタル写真管理情報基準(案)に準じること。

3-4. 注意事項

- ① 関係各署における各届出書は期限までに必ず提出すること。
- ② 関係機関における連絡は確実に実施すること。
特に地元自治会において工事のPRを市の監督員と協議し、徹底すること。
- ③ 地元及び周辺住民、学校への事前周知や工程調整等について、主体的に取り組むこと。本工事においては、足場設置・解体など、近隣住民が騒音と考える作業も含まれることから、施工計画に際しては、近隣住民に配慮した機械配置や養生方法を検討すること。
- ④ 本工事の施工上、知り得た情報を他人に漏えい、又は利用してはならない。
- ⑤ 各工種においては、現地の状況等により数量変更の可能性があることを認識すること。また、変更が生じた場合は図面、数量計算書を提出の上、監督員と協議し、速やかに対応すること。
- ⑥ 最終の設計変更に伴う資料については、施工期限の45日前までに施工者が十分精査したうえで提出すること。
- ⑦ 設計図書に変更が生じた場合や、その他、地元協議等によるものも含め変更に伴う測量・施工図面の修正・新規追加及び数量計算については、施工者の負担により行うものとする。
- ⑧ 工事中の工事予告看板の設置を徹底すること。
- ⑨ 工事完了時、出来形成果表及び完成図面、工事写真等の工事ダイジェスト版を紙ベース(各1部)及び電子データにて監督員へ提出するものとする。
- ⑩ 公共基準点(基準点、水準点、街区基準点、街区点等)の有無について事前に調査を行い監督員に報告すること。また、公共基準点の周辺にて施工する場合は、「明石市公共基準点管理保全要綱」に基づき適正に申請及び復元等の処理をすること。
- ⑪ 安全施設類においては、周辺住民の生活環境への配慮に努めること。
- ⑫ 電気設備等の機材の設置・保管のため、仮設建物を設置する場合には設置箇所等について、事前に監督員と協議すること。
- ⑬ 受注者は施工に際し周辺構造物等の保全について十分配慮し、事前・事後の確認を行い、損傷を及ぼした場合は、受注者の責において真摯に対応し、原形復旧すること。
- ⑭ 受注者は、工事用地以外の区域へ立入りする場合は、必ず所有者の承諾を得ること。
- ⑮ 本橋の落下物防止柵は近隣住宅の目隠しという役割も担っている。そのため、落下物防止柵の取替作業、柵の支柱部の塗替え作業に際しては、その養生方法について十分に検討し、事前に監督員の承諾を得たうえで作業を行うこと。

- ⑩ 側道橋における側板工について、当初設計では耐候グレードのポリカーボネート樹脂板を見込んでいるが、施工にあたっては設置目的を鑑み、使用材料や色を検討の上、事前に監督員と協議して施工すること。
- ⑪ 清掃工においては、作業前に現地確認を行い、堆積物がごく少量で、不要と判断できる個所については減工するものとする。また、集水枥清掃は全箇所人力清掃を見込んでいるが、機械清掃を実施する場合には監督員と協議の上、変更すること。本内容は設計変更の対象とする。
- ⑫ 塗装塗替工における面積は、代表箇所の断面積に基づき塗装面積を算出しているが、施工にあたっては、十分に設計照査を行い、実際の面積を確認の上施工すること。なお、実面積が設計数量と異なる場合は設計変更の対象とする。
- ⑬ 本橋梁は両側に住宅が近接している中で、鉛を含んだ塗膜の剥離を予定しているため、セキュリティールームや負圧集じん機といった、防じん対策工を見込んでいる。各機材については、それを指定するものではなく、実際の施工計画において、より簡易な設備で十分と考えられる場合には監督員と協議したうえで設置機材を変更するものとする。また、負圧集じん機の排気用ポリチューブや吸気用 PET クリアダクト、吸気用インテークチャンバー等、設置個所によって不要になるものは、実際の設置状況に合わせて減工するものとする。本内容は設計変更の対象とする。
- ⑭ 鉛を含んだ塗膜くずや、その剥離時に使用した防護服等は特別管理産業廃棄物となる。その管理にあたっては特別管理産業廃棄物管理責任者を配置し、飛散・漏出が無いよう十分注意して、処分まで適切な管理を行うこと。
- 21 P2 橋脚の塗装塗替え作業において、本工事で塗膜の PCB、六価クロム、鉛の含有量および溶出試験を見込んでいる。その結果に基づき、既存塗膜の剥離方法を監督員と協議すること。なお、当初発注においては鉛の含有を想定し、側道橋と同様に塗膜剥離剤による剥離で設計を行っている。本内容は設計変更の対象とする。
- 22 防護桁塗替工の塗装仕様は、「鋼道路橋防食便覧」（日本道路協会）を準用し、Ra-III 塗装系とする。そのため、3 回の下塗りのうち 1 回は素地調整後の鋼材露出部のみとなる。当初設計においては全面積を見込んでいるが、素地調整後に監督員と立会を行い、実際の施工面積を確認し、変更する。本内容は設計変更の対象とする。
- 23 警戒標識板等、新規材料費を見込んでいるものであっても、事前に流用可能か確認し、監督員に報告・協議を行うこと。流用した場合は設計変更の対象とする。
- 24 P2 橋脚・側道橋・防護桁等の塗装色、設置するノンスリップ（ハイステップスリム同等品以上）等の製品色については、事前に発注者と協議の上決定すること。
- 25 道路植栽撤去については、地元との調整により減工の可能性はある。施工計画時に施工時期等を監督員と協議し、施工前に施工範囲の確認を行うこと。
- 26 足場を解体する前に、足場を要する作業内容について本市工事検査課による随時検査を受けなければならない。随時検査の時期については、作業の進捗と足場の解体時期を見据えたうえで監督員と早期に調整を行うこと。

加熱アスファルト混合物に関する特記仕様書

(アスファルト混合物)

1. 受注者は、加熱アスファルト混合物を使用する場合は、以下の資料を提出し承諾を受けなければならない。
 - ① アスファルト合材配合統一用紙を提出した合材を使用する場合
アスファルト混合物配合設計総括表を提出すること。
ただし、監督員が必要を認めた場合には、アスファルト混合物設計のバックデータ及び使用材料の試験成績表の資料を提出しなければならない。
 - ② アスファルト混合物事前審査委員会が認定した合材を使用する場合
事前審査制度認定書（認定書、混合物総括表）の写しを監督員に提出しなければならない。
 - ③ 上記によらない場合
共通仕様書第2編材料編第2章材料第18節アスファルトコンクリートによらなければならない。
2. アスファルト合材統一用紙を提出した混合物またはアスファルト混合物事前審査制度認定混合物を使用する場合は、土木工事共通仕様書によらず、アスファルト混合物及びその材料に関する品質証明、試験成績表の提出並びに配合設計、試験練りを省略することができる。
3. 配合統一用紙または事前審査制度認定書による場合の「品質管理基準」の材料及びプラントについては、以下のとおりとする

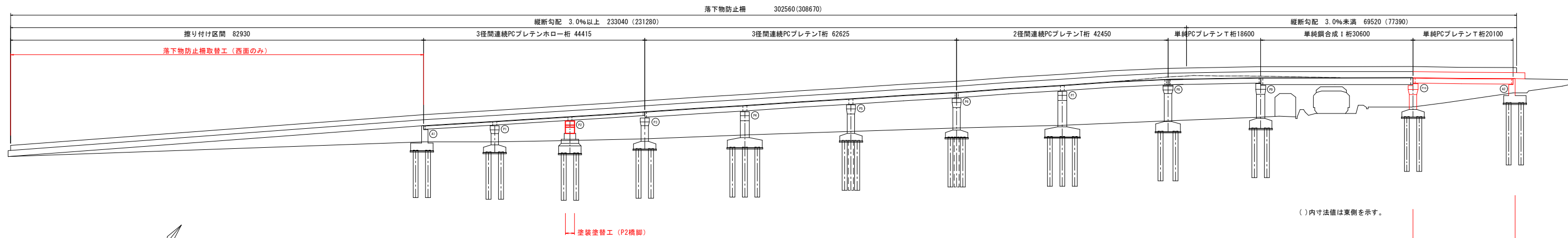
工種	種別	試験区分	試験項目	試験基準	
				配合統一用紙	事前審査制度認定書
アスファルト舗装	材料	必須	塑性変形輪数	混合所自主管理*1	混合所自主管理*2
			土木施工管理基準 「品質管理基準」の全項目	アスファルト混合物 配合設計総括表の提出にかえるものとする。	事前審査制度認定書 (認定書、混合物総括表)の提出にかえるものとする。
		その他	土木施工管理基準 「品質管理基準」の全項目		
	プラント	必須	試験配合		
			混合物のアスファルト量抽出 混合物の粒度分析試験 湿度測定(混合物)	混合所自主管理*1	混合所自主管理*2
			基準密度の決定	アスファルト混合物 配合設計総括表の提出にかえるものとする。	事前審査制度認定書 (認定書、混合物総括表)の提出にかえるものとする。

※1 監督員から指示のあった場合は、試験結果を提出するものとする。

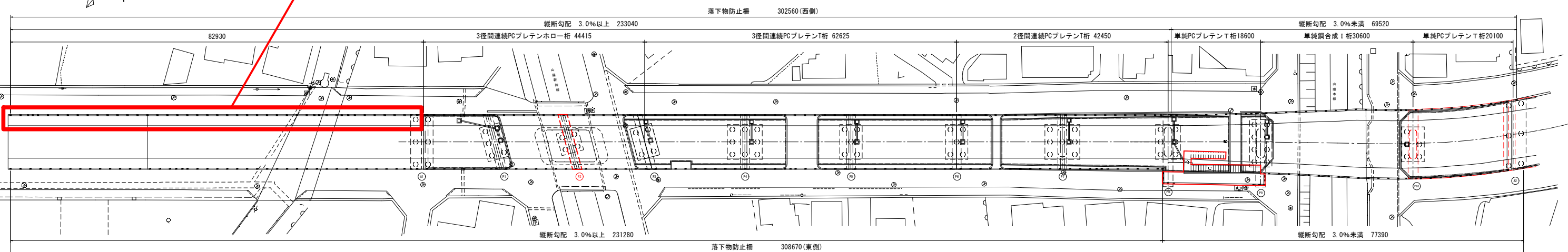
※2 監督員から指示のあった場合は、試験結果一覧表提出するものとする。

魚住陸橋（本橋）補修一般図

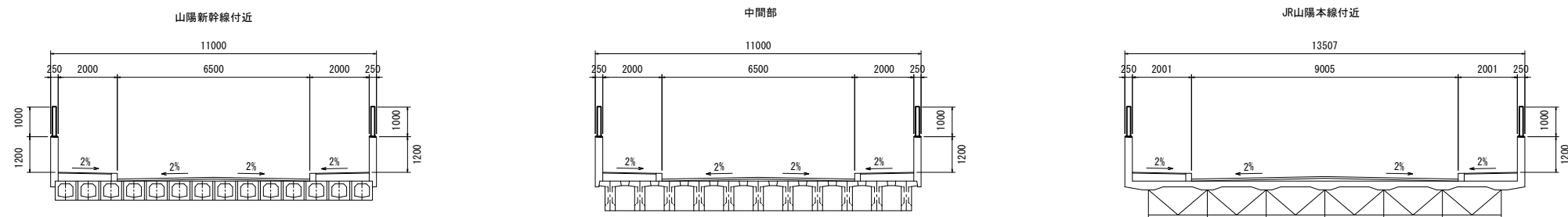
側面図 S=1:400



平面図 S=1:400



断面図 S=1:100

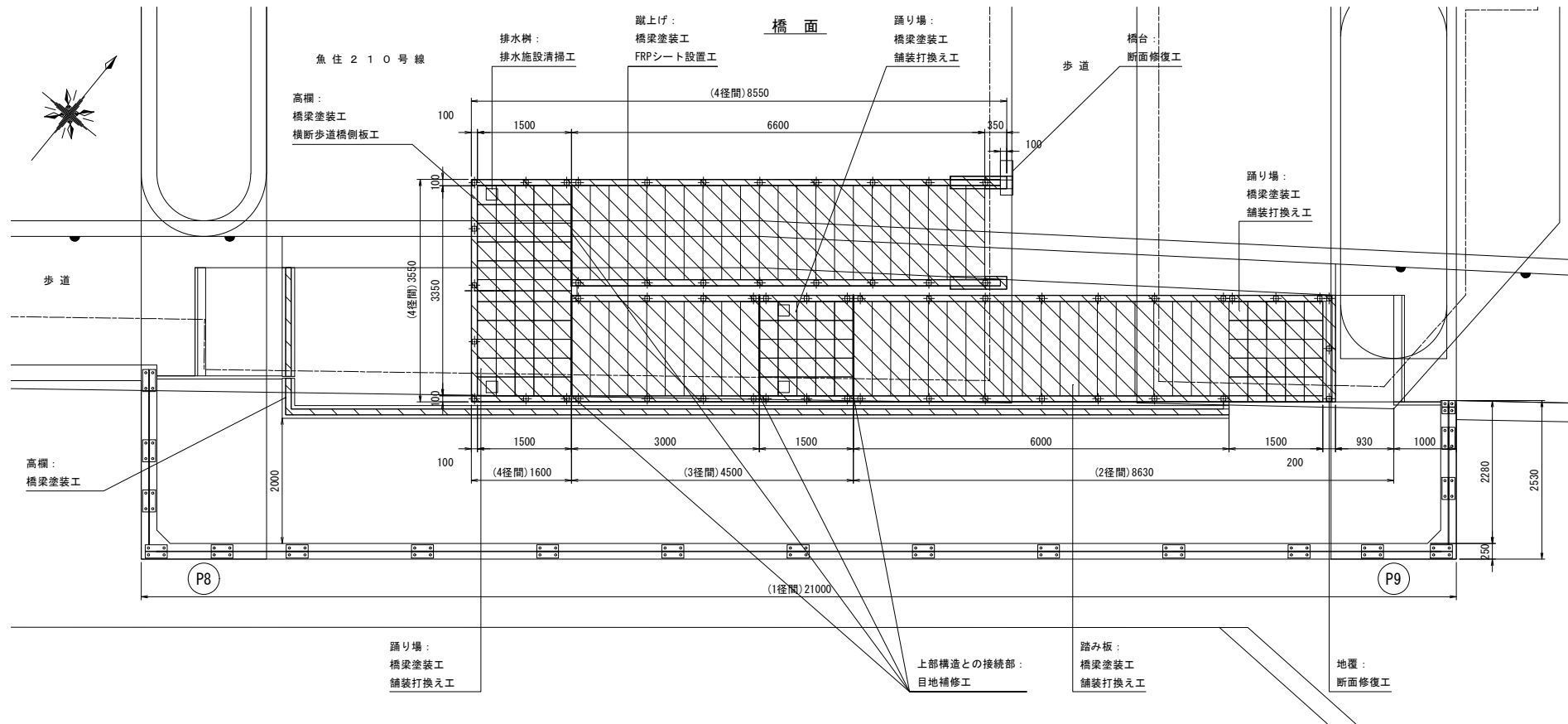


注) 1. 施工にあたっては再度補修寸法を確認の上行うこと。
2. 平面の現地形線は、実測ではないため注意すること。

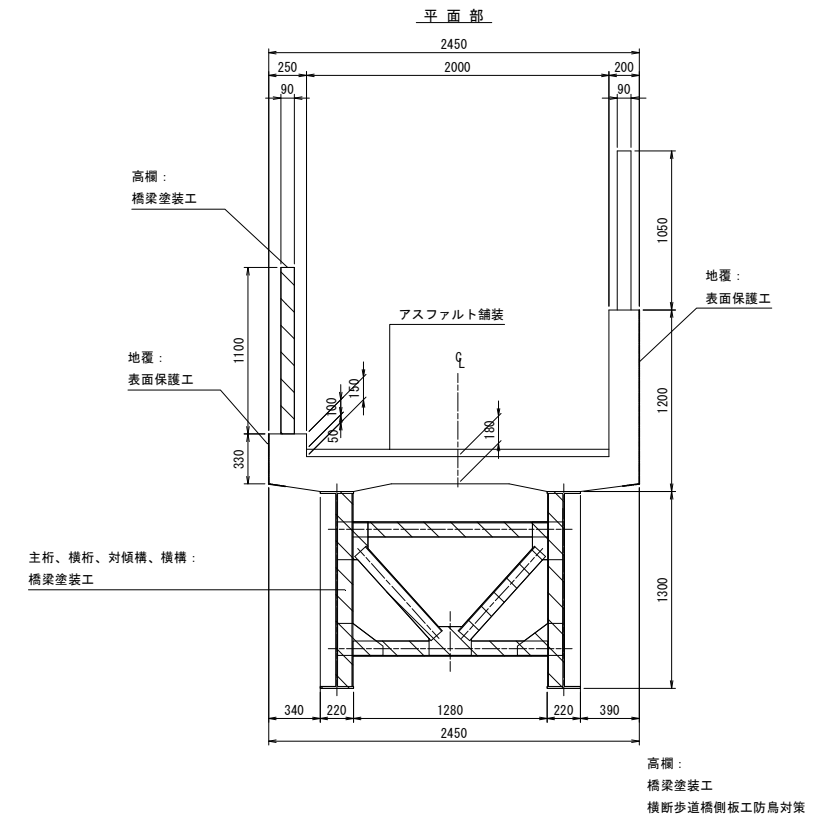
令和4年度 事業		魚住陸橋修繕耐震（その4）工事	
明石市魚住町西岡 地内		魚住陸橋（本橋）補修一般図	
縮尺	図示	1	30
明石市			

魚住陸橋側道橋 補修一般図

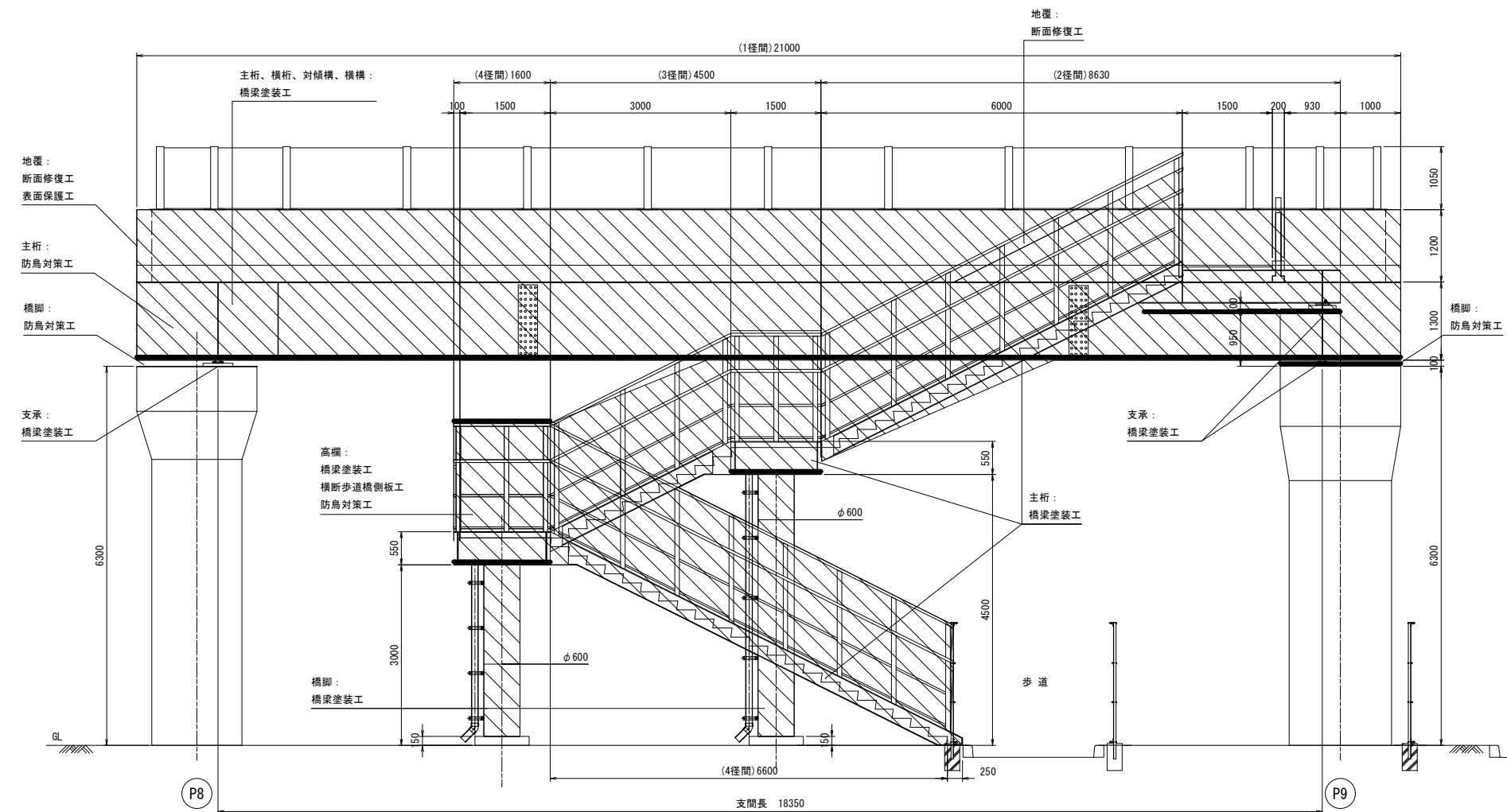
平面図 S=1:100



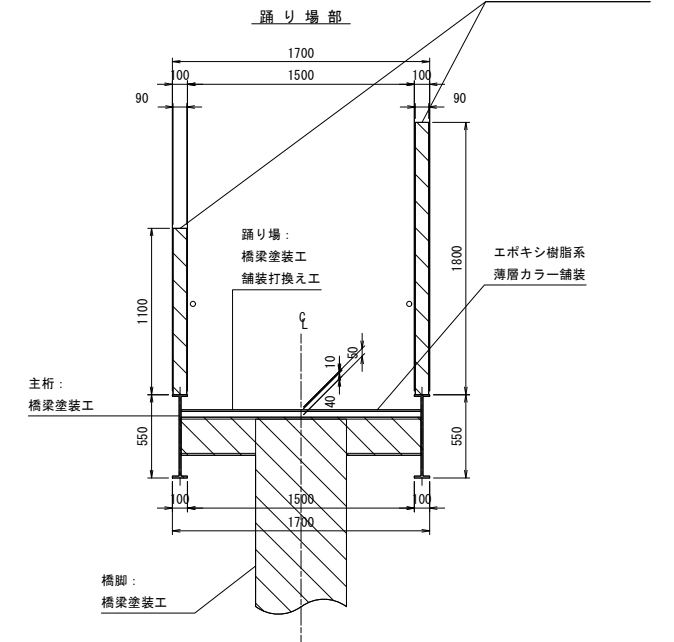
標準断面図 S=1:50



側面図 S=1:100



跳り場部



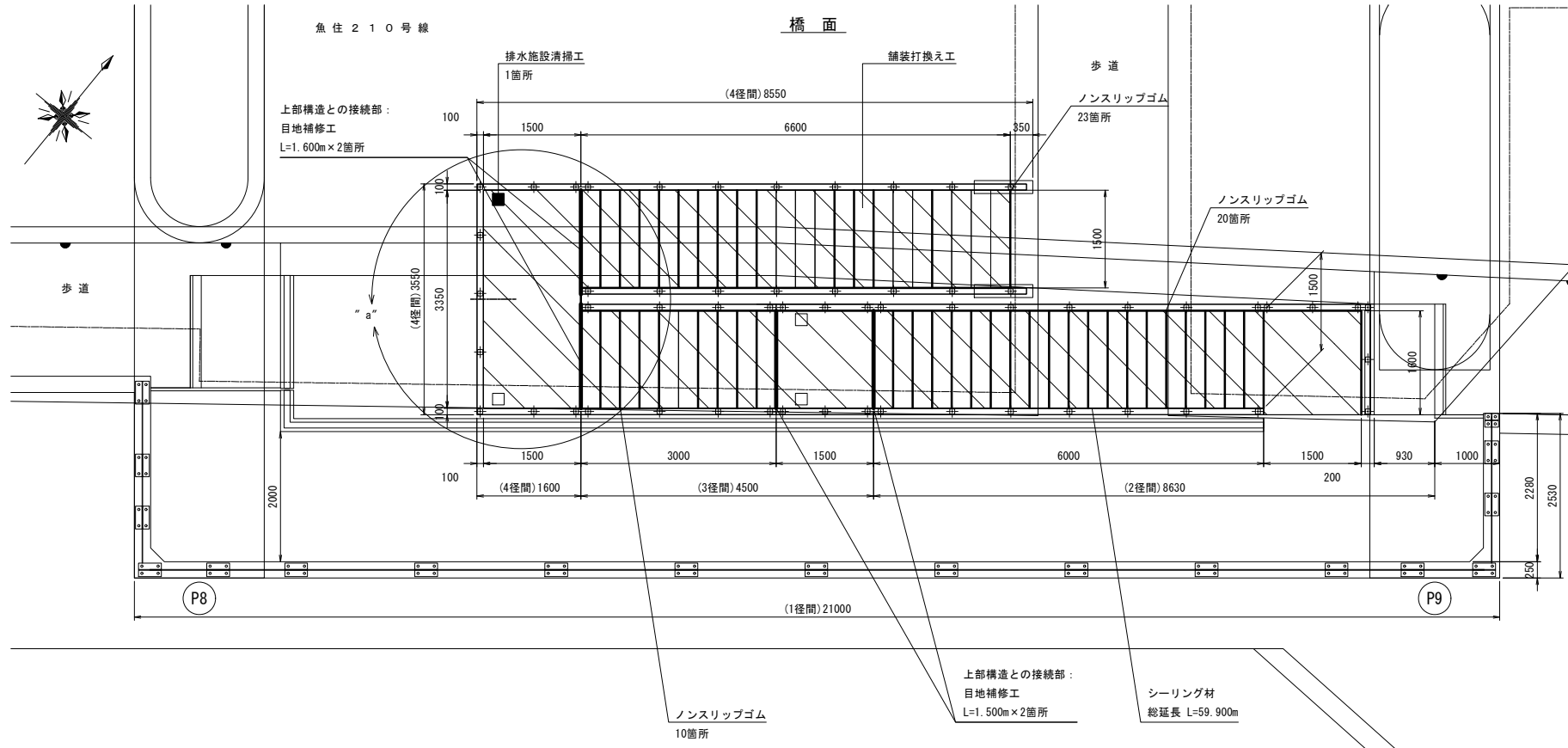
注記
この図面は、現地調査を基に作成したものであり、詳細寸法を確定したものではありません。
○内寸法は想定値を示す。

令和4年度 事業	魚住陸橋補修耐震（その4）工事
明石市魚住町西岡 地内	
魚住陸橋側道橋 補修一般図	2
縮尺 図示	30
明石市	

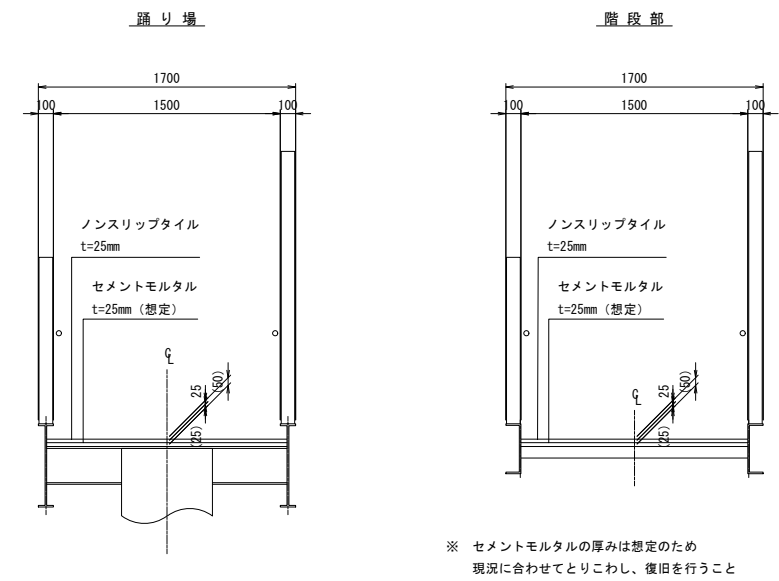
補修図 (1) 【側道橋】

舗装打換え工、目地補修工、排水施設清掃工 (その1)

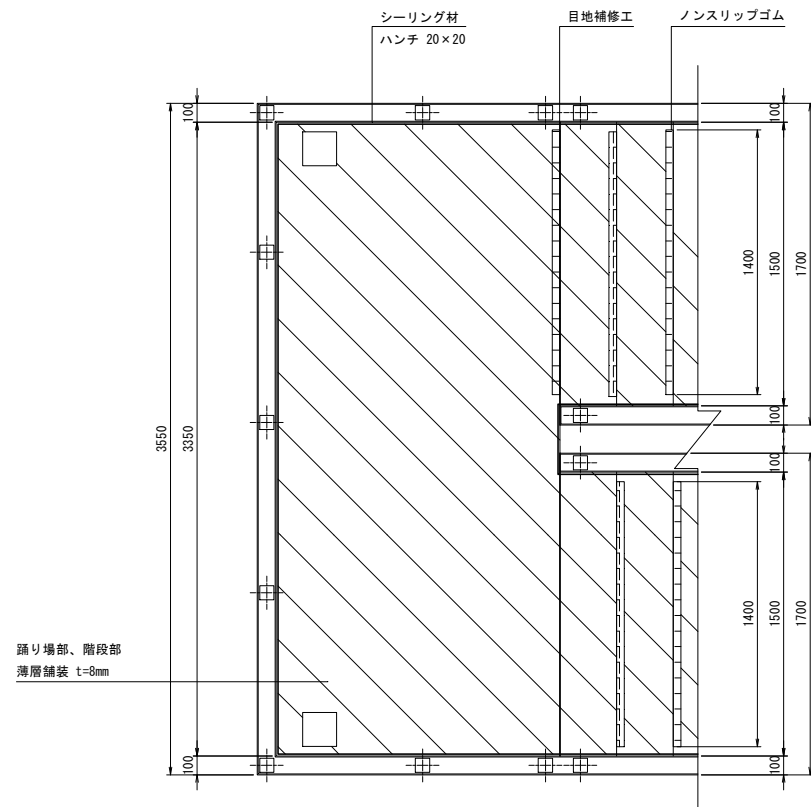
平面図 S=1:100



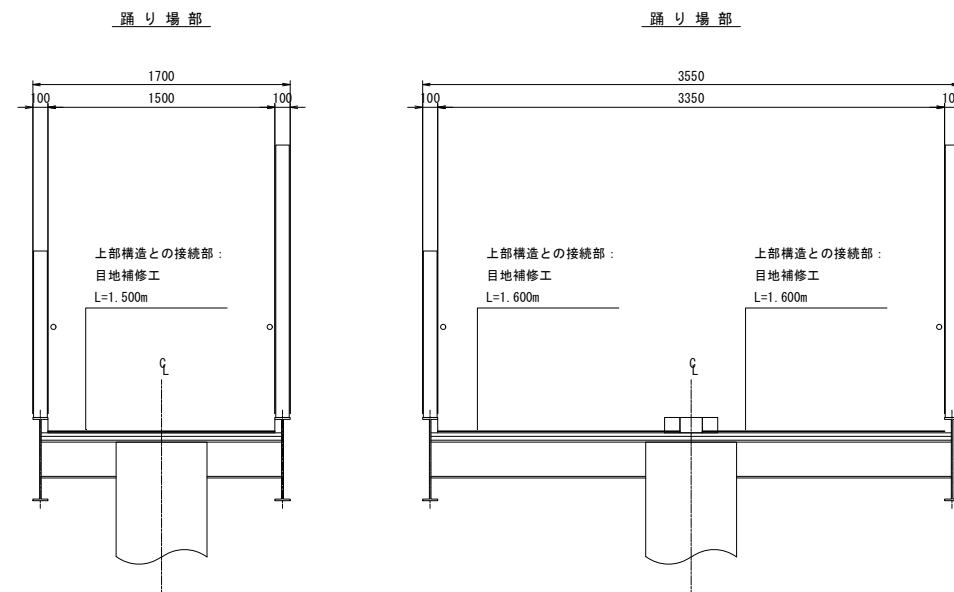
現況舗装詳細図 S=1:50



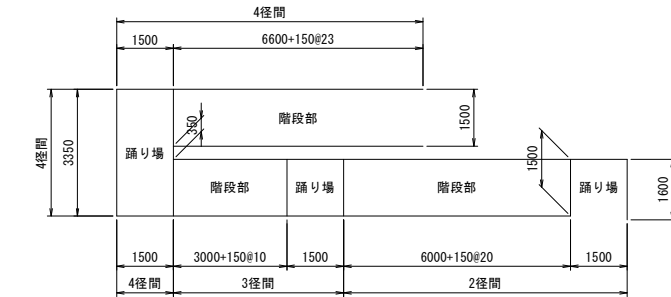
"a"部詳細図 S=1:40



目地補修工詳細図 S=1:50



端部処理 (シーリング材) S=1:100



舗装打換え工 数量表

補修工程	種別	単位	数量
コンクリートはつり	ノンスリップタイル t=25mm セメントモルタル t=25mm	m ²	33.075
コンクリート工	踊り場: セメントモルタル t=42mm (想定)	m ³	0.407
	階段部: セメントモルタル t=33mm~42mm (想定)		0.889
薄層カラー舗装工	薄層舗装 厚6mm超え8mm以下	m ²	31.028
ノンスリップ設置	ノンスリップゴム	m	74.200
端部処理	シーリング材 (ハンチ 20x20)	m	59.900

※明細は、数量計算書を参照のこと。

目地補修工 数量表

部位	総延長 (m)
上部構造との接続部	6.200

※明細は、数量計算書を参照のこと。

排水施設清掃工 数量表

部位	箇所数	区分
4径間 踊り場	1	有蓋 土砂厚 25cm未満

- 注記)
- この図面は、現地調査を基に作成したものであり、詳細寸法を確定したものである。○内寸法は想定値を示す。
 - 施工にあたっては、現地調査を行い再計測、再確認を実施し、数量を算出して工事に反映させること。

令和4年度事業	
魚住陸橋補修耐震 (その4) 工事	
明石市魚住町西岡 地内	
補修図 (1) 【側道橋】	3
縮尺 図示	30
明石市	

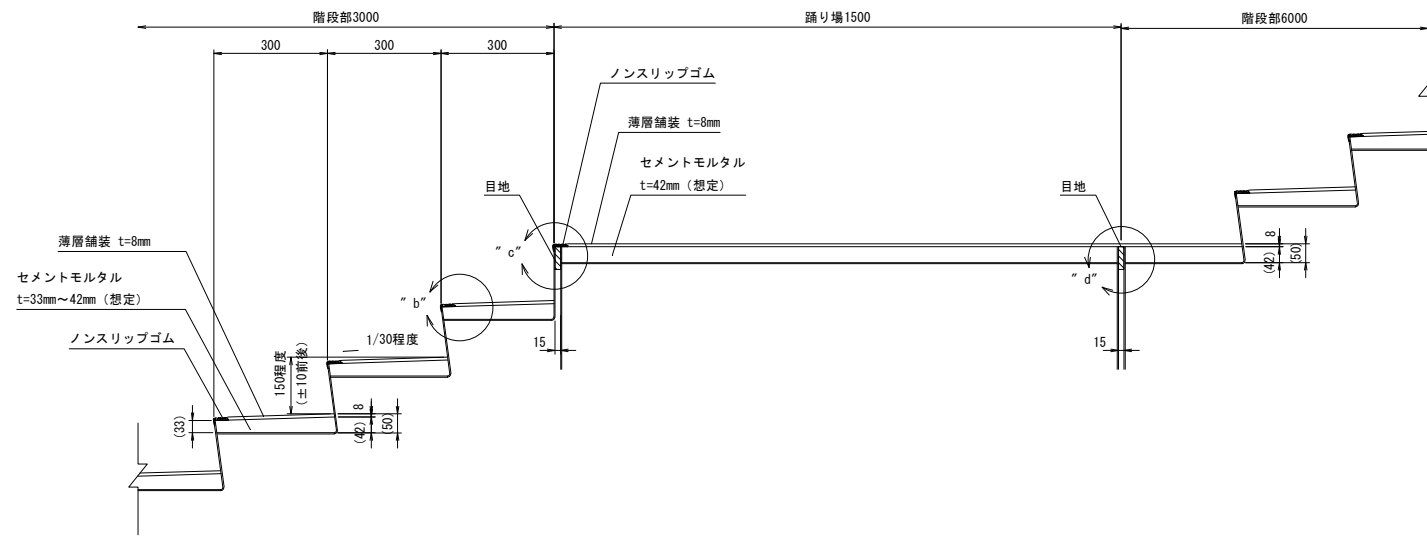
補修図(2) 【側道橋】

舗装打換え工、目地補修工、排水施設清掃工(その2)

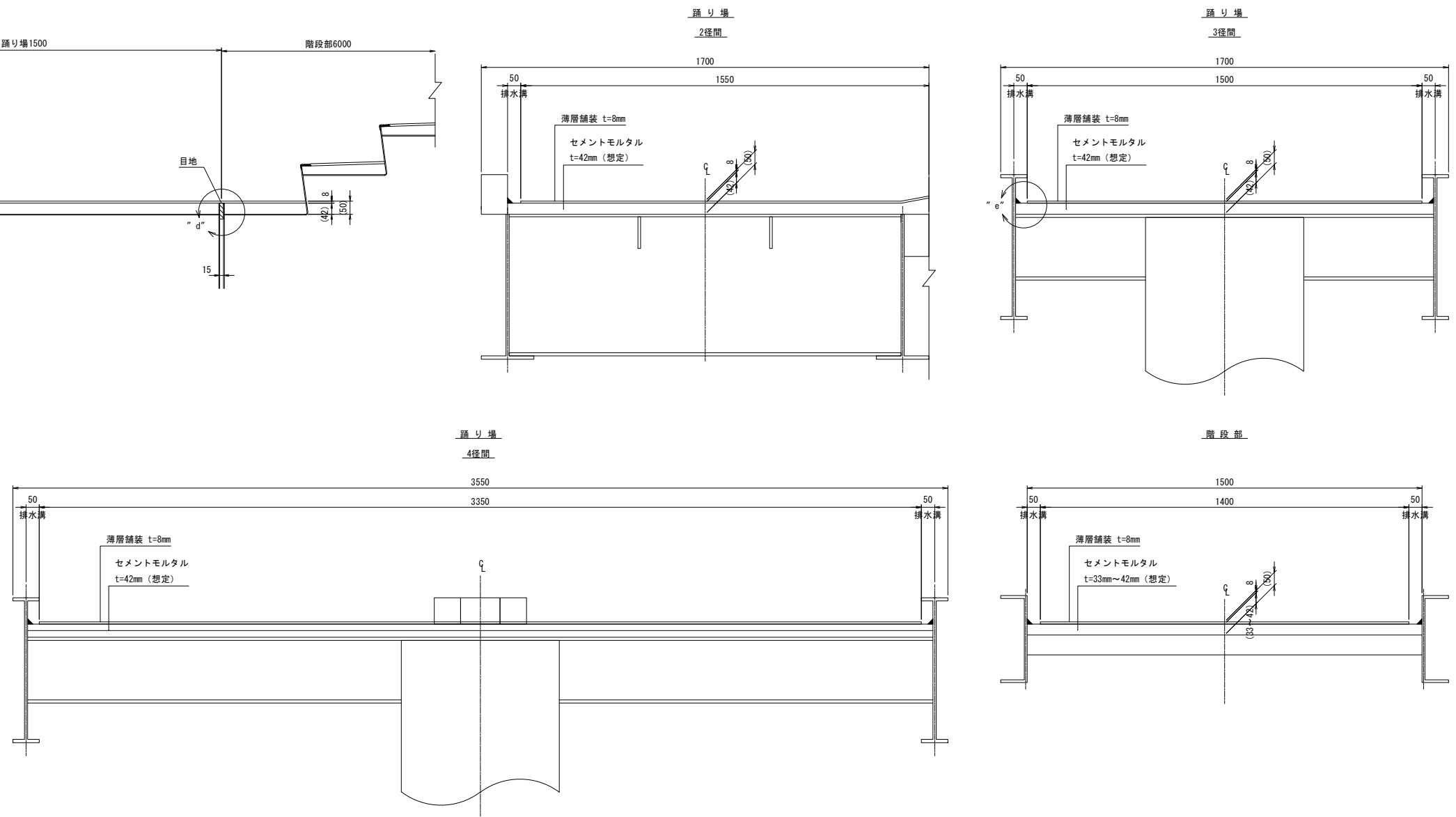
踊り場、階段部 舗装詳細図

S=1:20

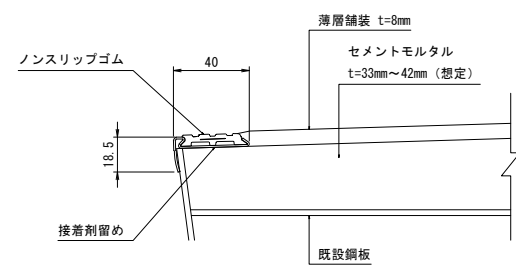
側面図



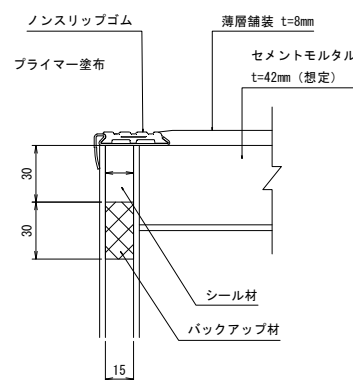
正面図



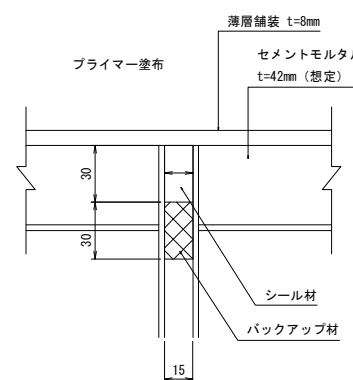
"b"部詳細図 S=1:4



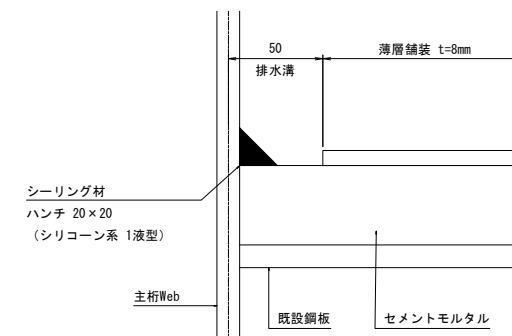
"c"部詳細図 S=1:4



"d"部詳細図 S=1:4



"e"部詳細図 S=1:4



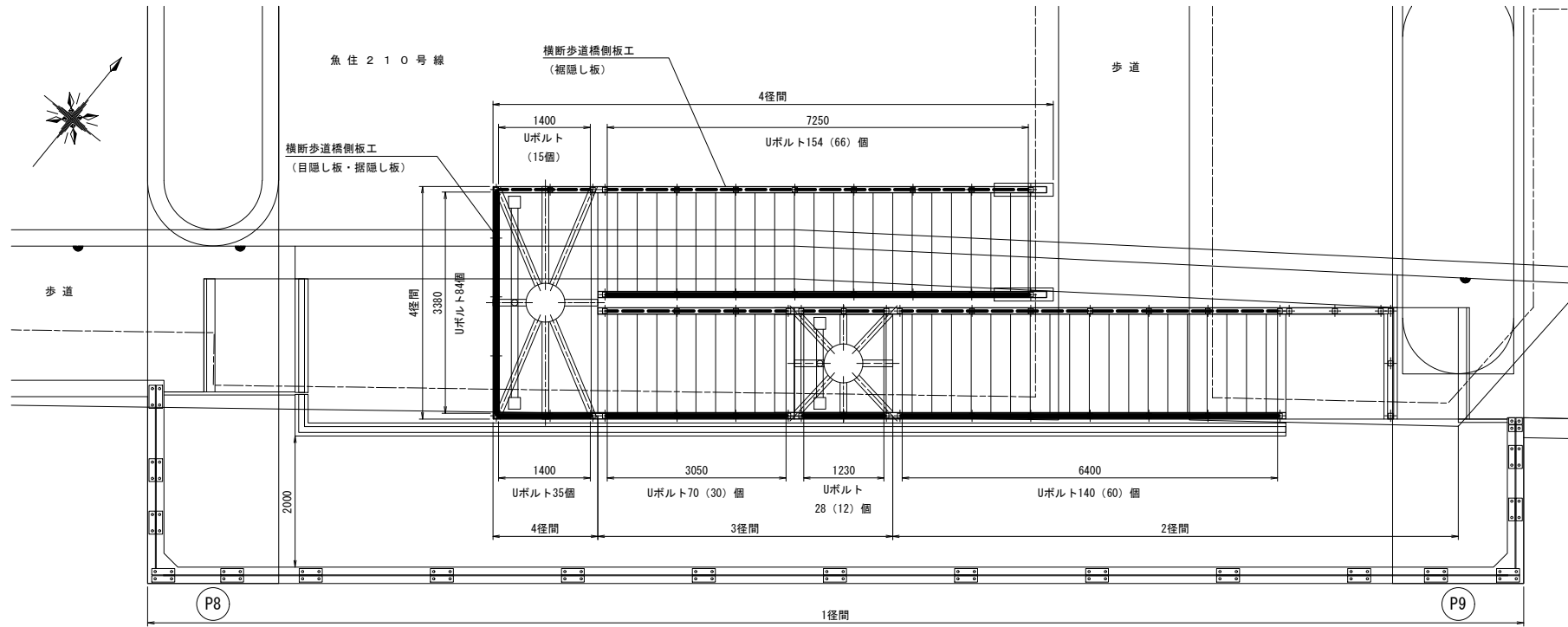
- 注記)
- この図面は、現地調査を基に作成したものであり、詳細寸法を確定したものではありません。
○内寸法は想定値を示す。
 - 施工にあたっては、現地調査を行い再計測、再確認を実施し、数量を算出して工事に反映させること。

令和4年度 事業	
魚住陸橋補修耐震(その4)工事	
明石市魚住町西岡 地内	
補修図(2)【側道橋】	4
縮尺 図示	30
明石市	

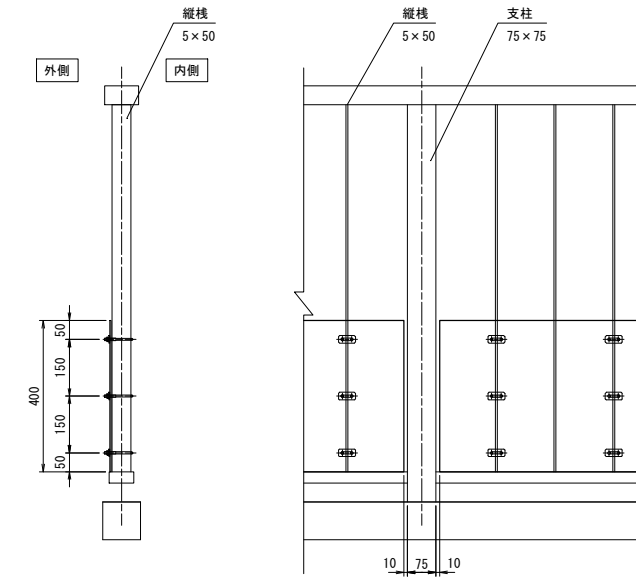
補修図 (3) 【側道橋】

横断歩道橋側板工

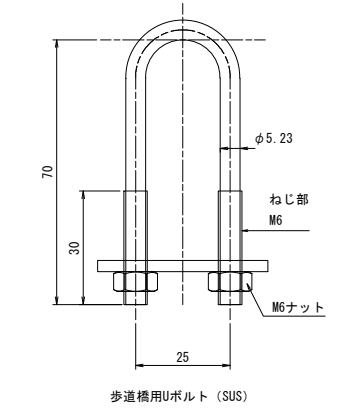
平面図 S=1:100



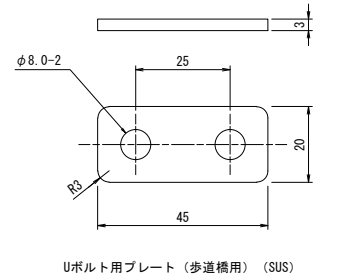
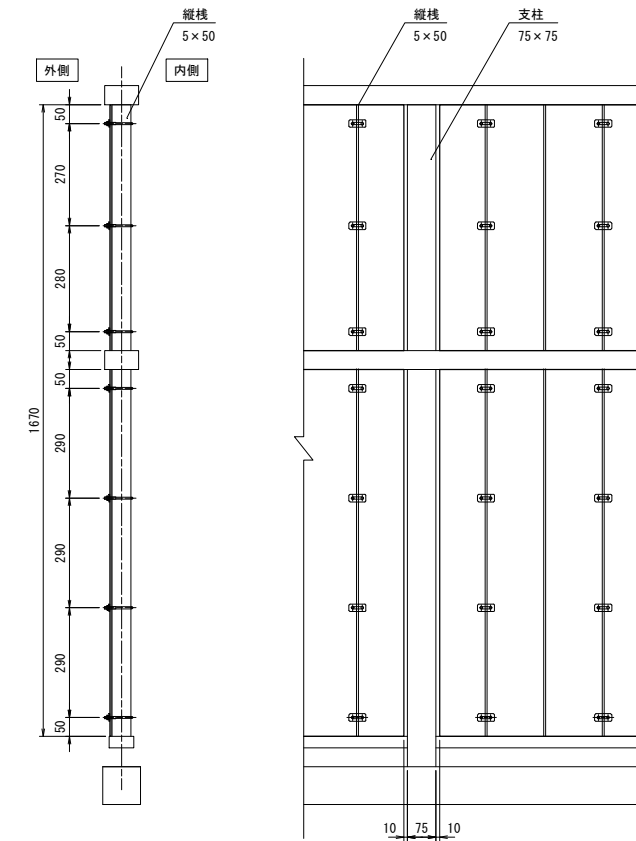
据隠し板詳細図 S=1:20



Uボルト詳細図 S=1:2

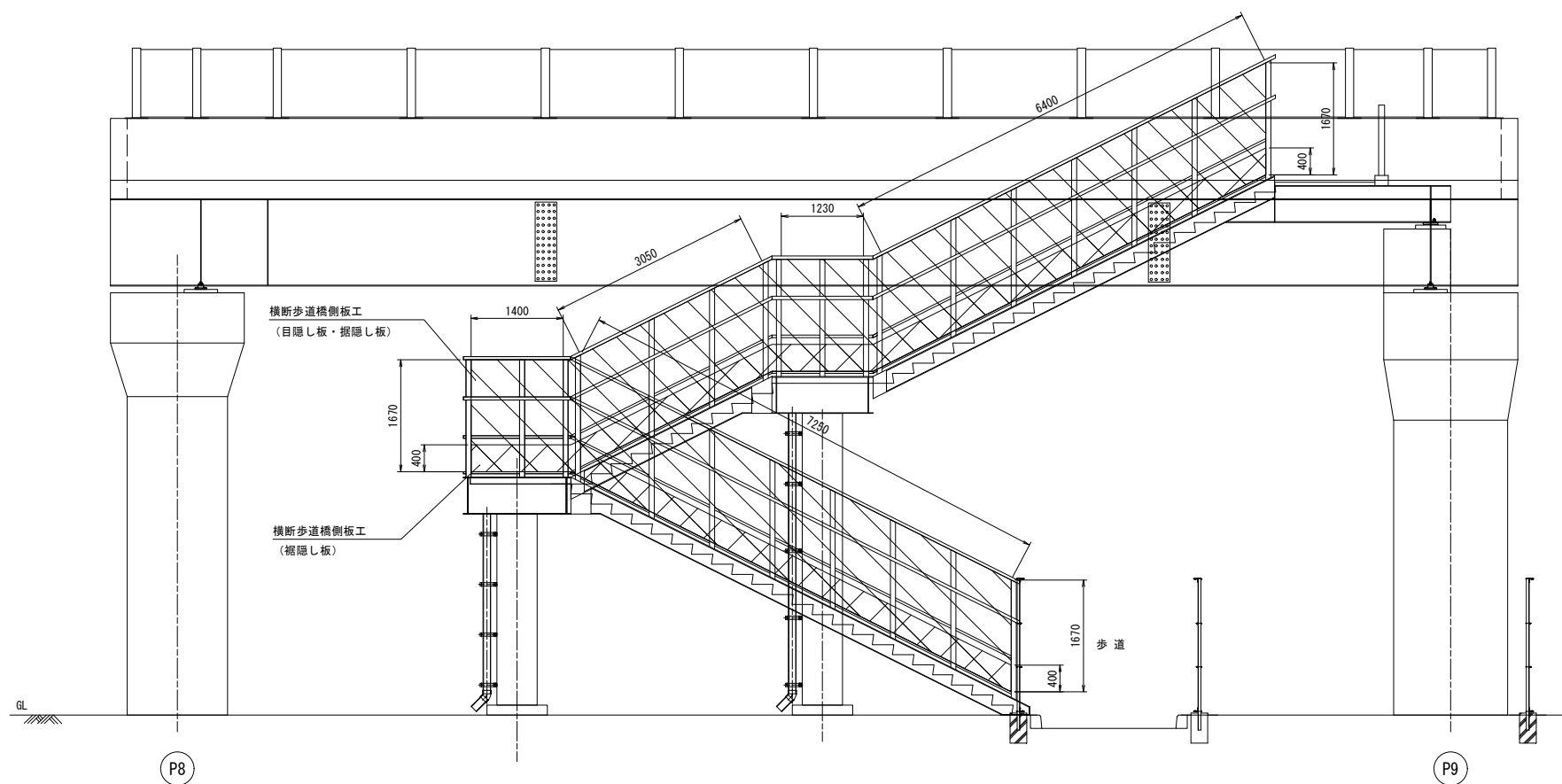


目隠し板・据隠し板詳細図 S=1:20



注) Uボルト () 個は、据隠し板の個数を示す

側面図 S=1:100



数量表

部位	面積 (m ²) / 個数	材質
据隠し板	7.732	ポリカーボネート
目隠し板・据隠し板	37.927	ポリカーボネート
Uボルト	694	SUS

※明細は、数量計算書を参照のこと。

- 注記)
- この図面は、現地調査を基に作成したものであり、詳細寸法を確定したものではありません。
() 内寸法は想定値を示す。
 - 施工にあたっては、現地調査を行い再計測、再確認を実施し、数量を算出して工事に反映させること。
 - 既設歩道橋用Uボルト及びプレートについては損傷が軽微な場合、可能な限り再利用すること。

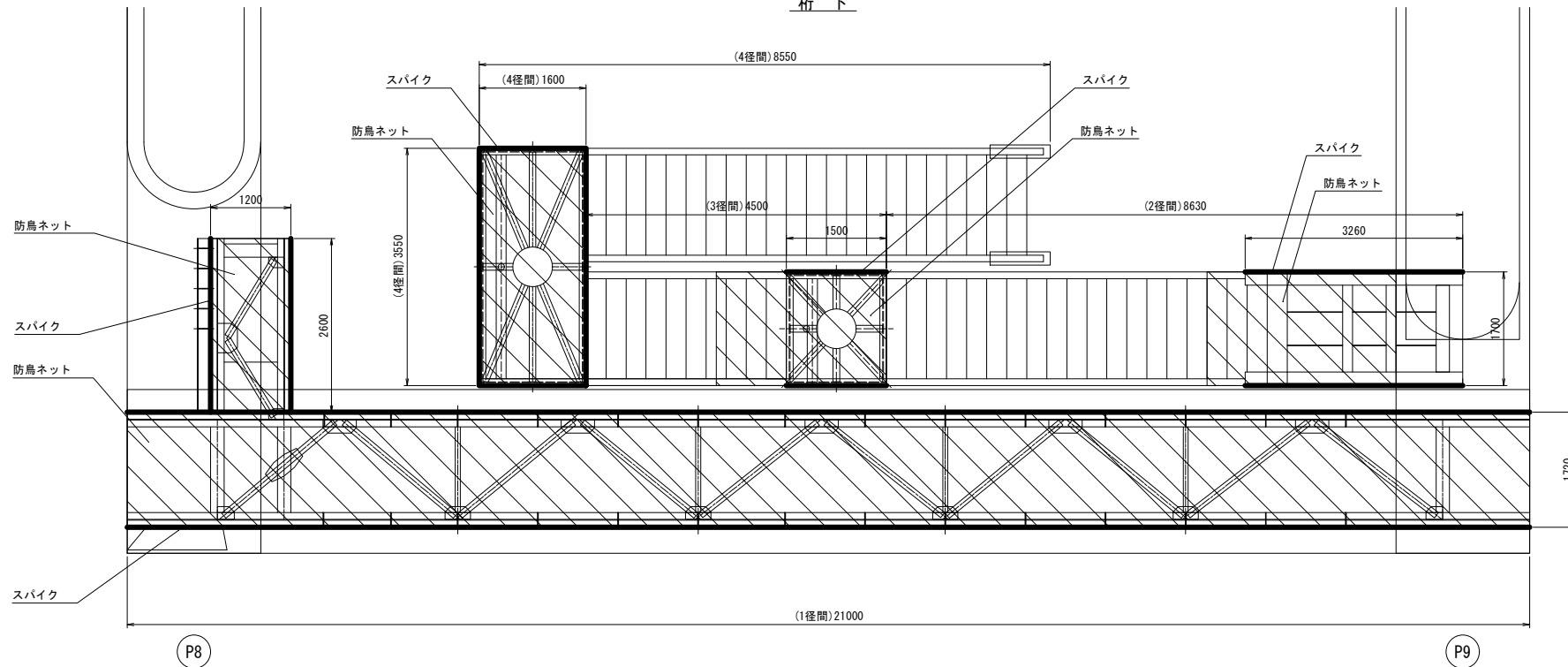
令和4年度 事業	魚住陸橋補修耐震 (その4) 工事	
	明石市魚住町西岡 地内	
補修図 (3) 【側道橋】	5	30
縮尺 図示		
明石市		

補修図(4) 【側道橋】

防鳥対策工(その1)

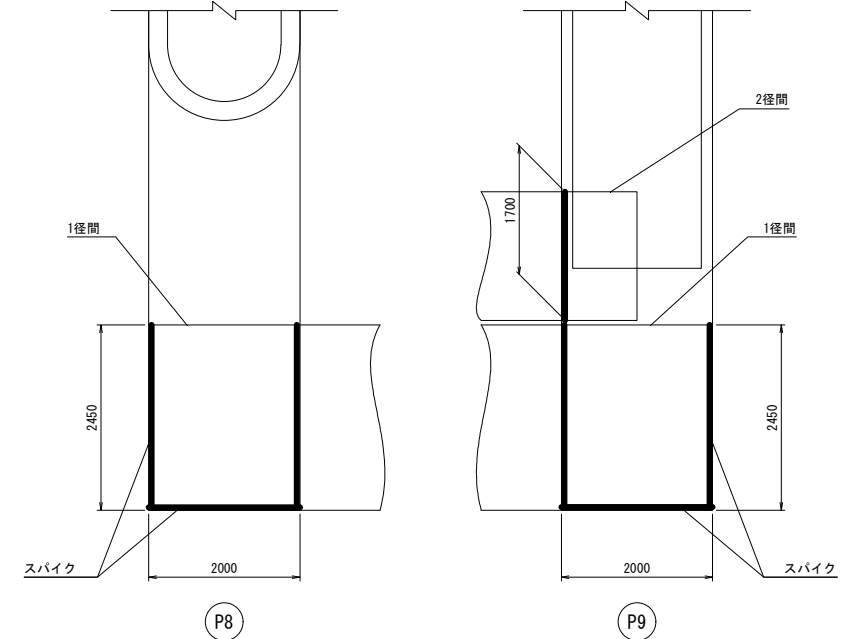
平面図 S=1:100

桁下

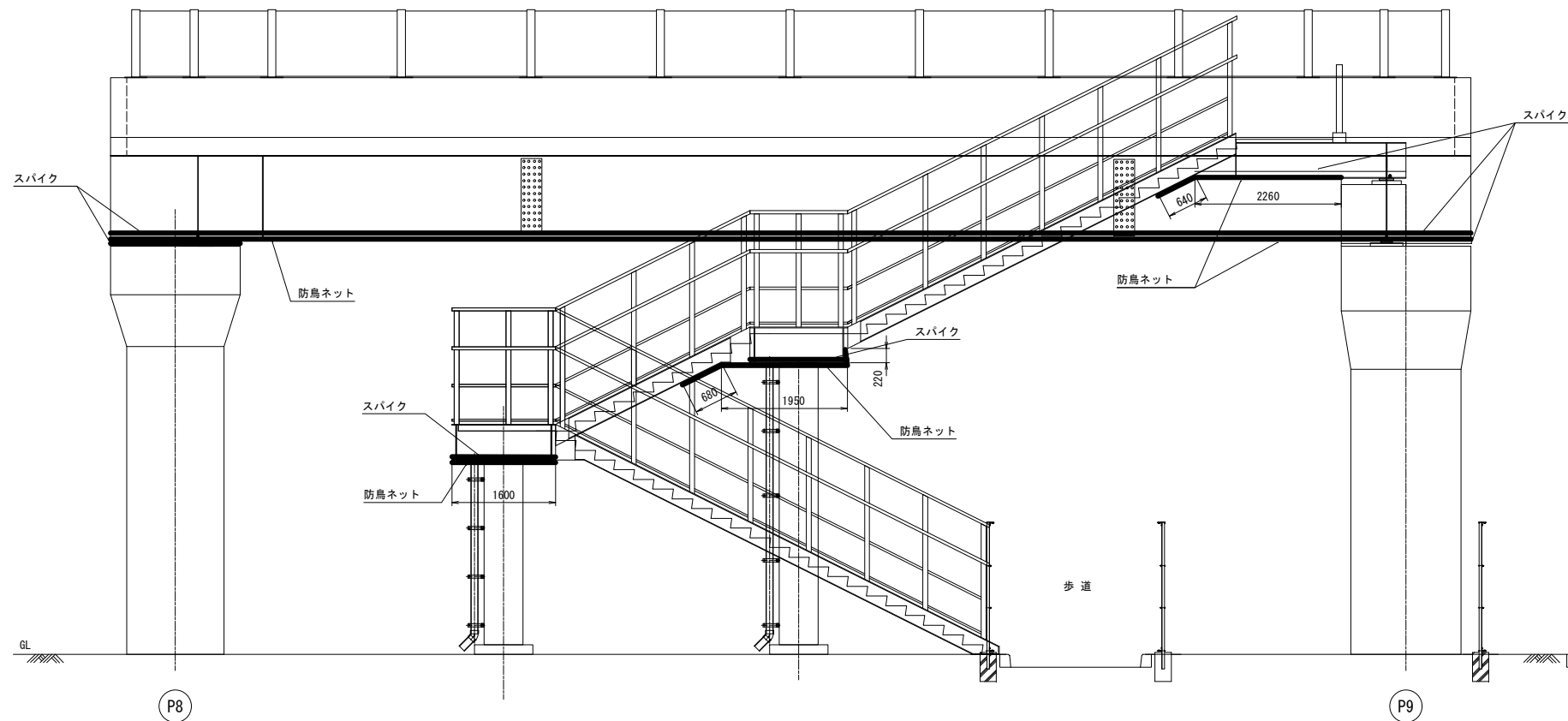


橋脚 S=1:100

梁部上面



側面図 S=1:100



スパイク 数量表

位置	延長(m)
主桁 下フランジ上面	67.020
橋脚 梁部上面	15.500
高欄 笠木上面	9.750
合計	92.270

※明細は、数量計算書を参照のこと。

防鳥ネット 数量表

位置	延長(m)
桁下	54.695
合計	54.695

※明細は、数量計算書を参照のこと。

注記)

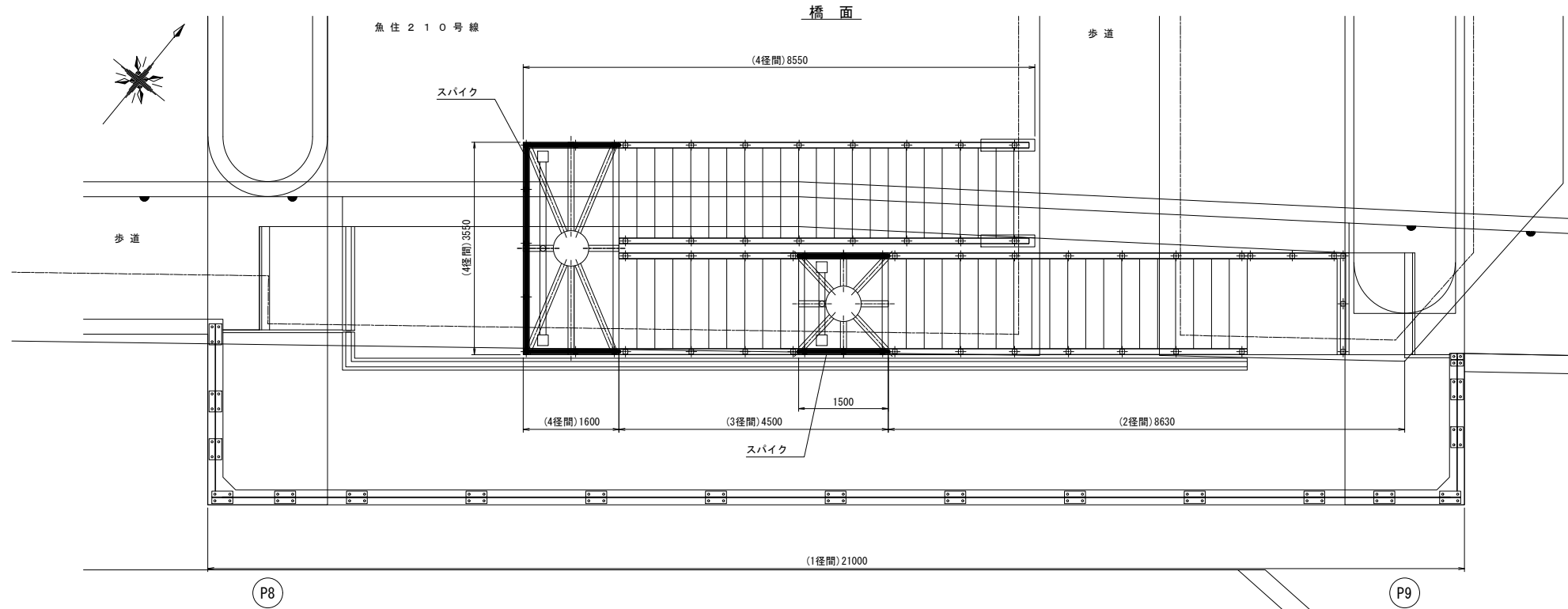
- この図面は、現地調査を基に作成したものであり、詳細寸法を確定したものではありません。
()内寸法は想定値を示す。
- 施工にあたっては、現地調査を行い再計測、再確認を実施し、数量を算出して工事に反映させること。

令和4年度 事業	
魚住陸橋補修耐震(その4)工事	
明石市魚住町西岡 地内	
補修図(4)【側道橋】	6
縮尺 図示	30
明石市	

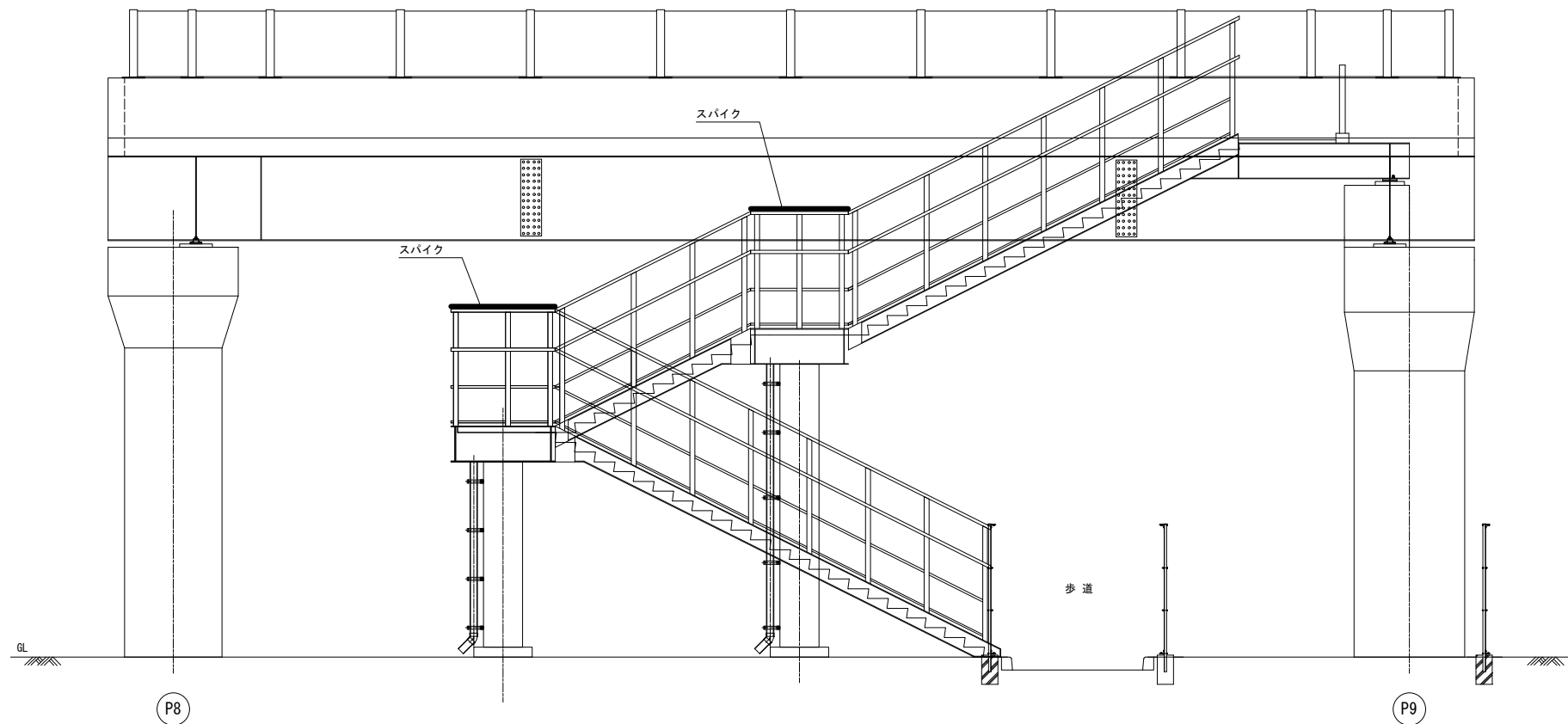
補修図(5)【側道橋】

防鳥対策工(その2)

平面図 S=1:100



側面図 S=1:100



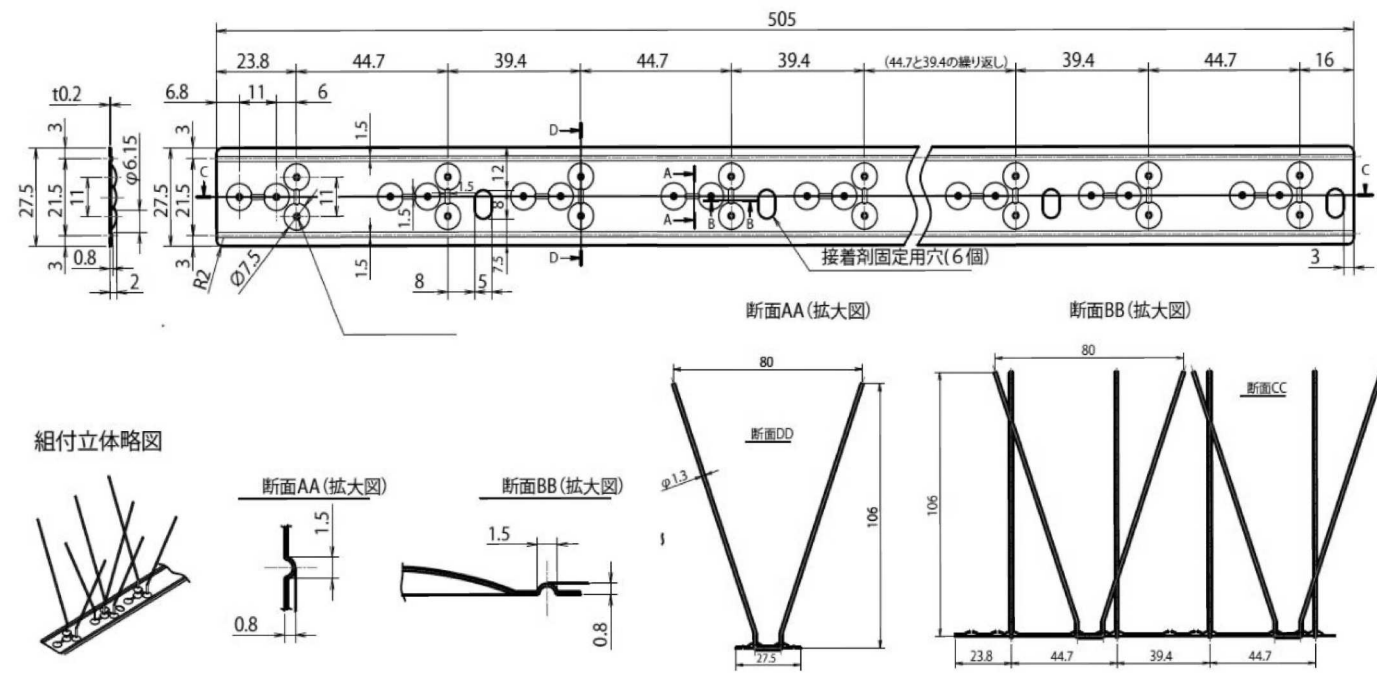
- 注記)
- この図面は、現地調査を基に作成したものであり、詳細寸法を確定したものではありません。
○内寸法は想定値を示す。
 - 施工にあたっては、現地調査を行い再計測、再確認を実施し、数量を算出して工事に反映させること。

令和4年度 事業		
魚住陸橋補修耐震(その4)工事		
明石市魚住町西岡 地内		
補修図(5)【側道橋】	7	30
縮尺 図示		
明石市		

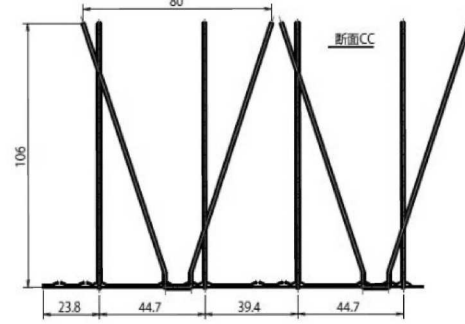
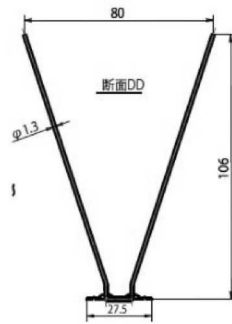
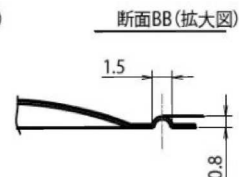
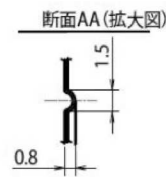
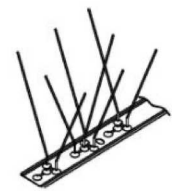
補修図（6）【側道橋】

防鳥対策工（その3）

スパイク詳細図

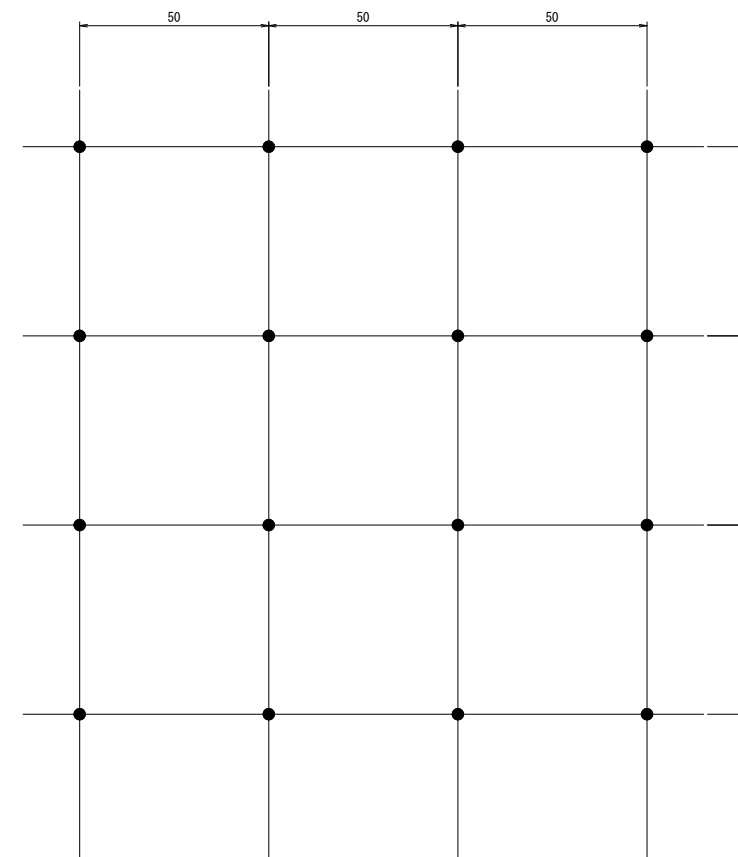


組付立体略図



サイズ	80 × 106 × 505
重量	約110g
c/s	50cm × 50本 = 25m
材質	台座：ステンレス 角：ステンレス

防鳥ネット詳細図



ビーコンネット50 25000（ポリエチレンネット50mm）同等品以上

仕様
 材質：ポリエチレン 難燃剤比率5%
 難燃剤：HIROMASTER C-510
 マス目：50mm × 50mm
 糸径：φ0.61mm
 規格：25000
 結節：有結節
 重量（m2あたり）：約13.3g

- 注記）
- この図面は、現地調査を基に作成したものであり、詳細寸法を確定したものではありません。
○内寸法は想定値を示す。
 - 施工にあたっては、現地調査を行い再計測、再確認を実施し、数量を算出して工事に反映させること。

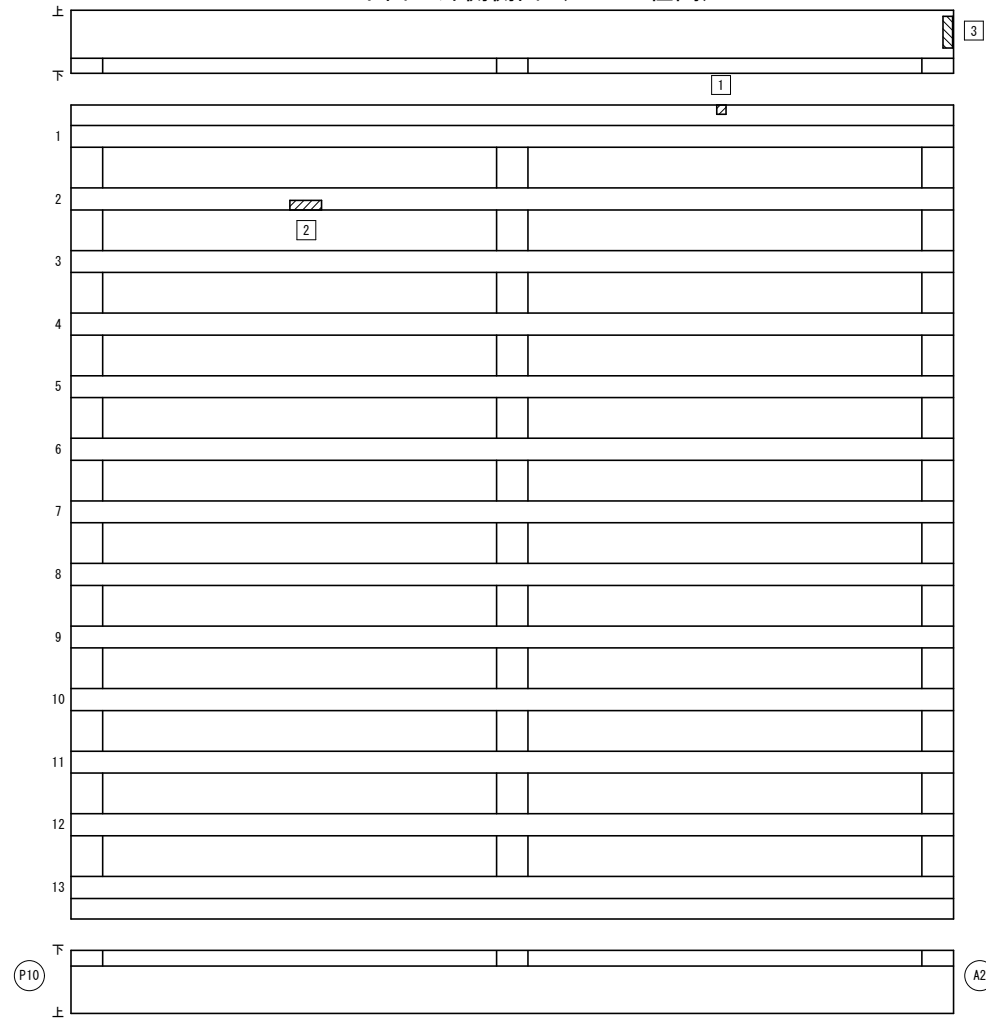
令和4年度 事業	
魚住陸橋修繕耐震（その4）工事	
明石市魚住町西岡 地内	
補修図（6）【側道橋】	8
縮尺 図示	30
明石市	

補修図 (7) 【本橋】

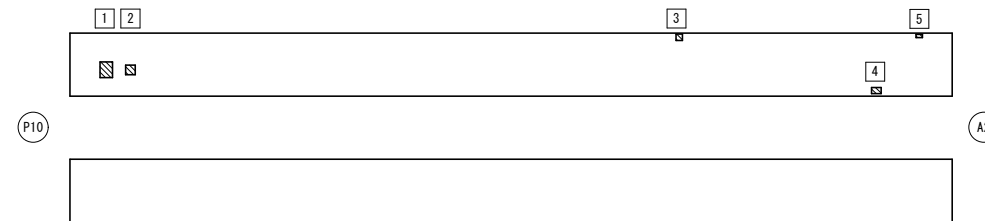
S=1:60

ひびわれ補修工・断面修復工図(その1)

下面・外側側面 (P10-A2径間)



壁高欄 (P10-A2径間)



断面修復工数量

上部工						
径間 (脚)	番号	箇所	幅 (m)	長さ (m)	面積 (m ²)	摘要
P10-A2	1	1	0.05	0.05	0.003	剥離
	2	1	0.10	0.20	0.020	剥離
	3	1	0.10	0.50	0.050	剥離
合計					0.073	

壁高欄

径間 (脚)	番号	箇所	幅 (m)	長さ (m)	面積 (m ²)	摘要
P10-A2	1	1	0.20	0.25	0.050	鉄筋露出
	2	1	0.15	0.15	0.023	鉄筋露出
	3	1	0.10	0.10	0.010	鉄筋露出
	4	1	0.10	0.15	0.015	鉄筋露出
	5	1	0.05	0.10	0.005	鉄筋露出
合計					0.103	

注 記

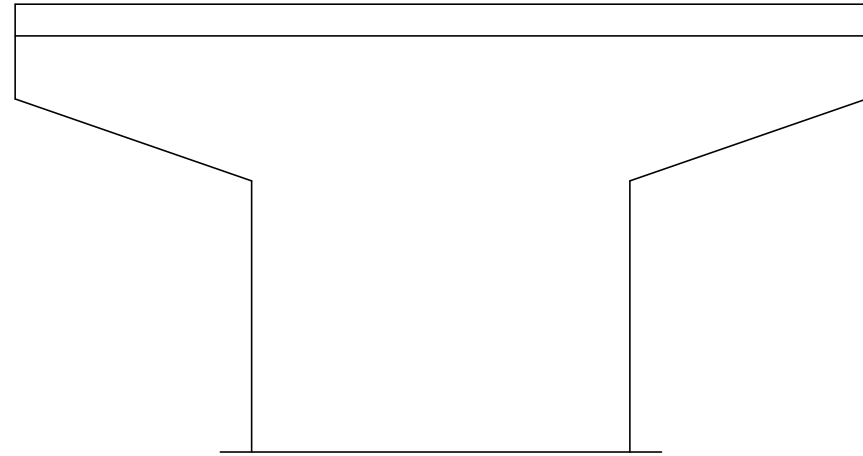
- 補修箇所は、必ず現地確認の上で施工を行うこと。
- 施工に際しては、必ず現地にて補修箇所及び寸法、数量を確認の上で行うこと。

凡例

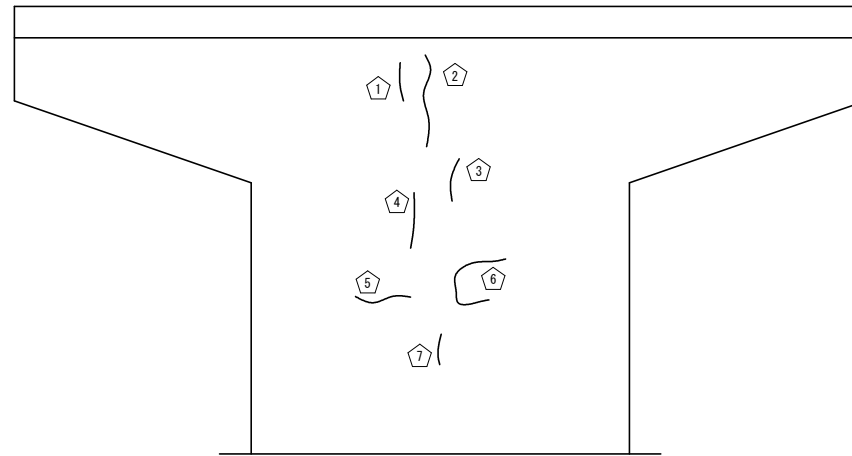
損傷の種類	表示
剥離・鉄筋露出・うき	
ひびわれ	

令和4年度 事業	
魚住陵橋補修耐震(その4)工事	
明石市魚住町西岡 地内	
補修図(7)【本橋】	9
縮尺 図示	30
明 石 市	

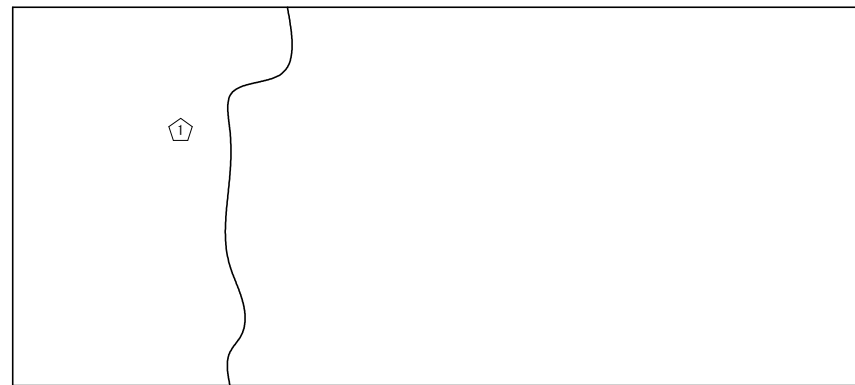
P10橋脚 (P9側)



P10橋脚 (A2側)

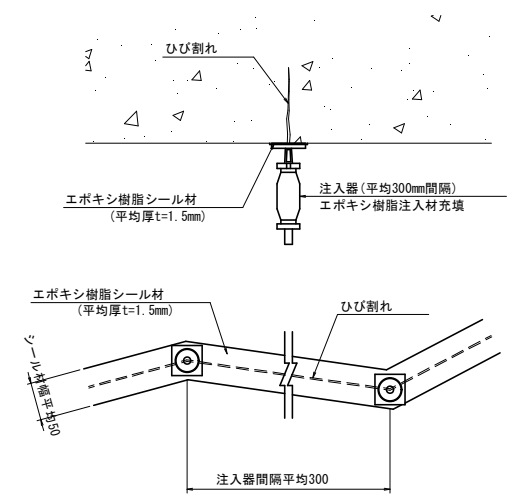


A2橋台



ひびわれ補修工詳細図

(ひび割れ幅0.2mm~1.0mm)



ひびわれ補修工数量(ひび割れ幅0.2~1.0mm)

下部工

径間 (脚)	番号	箇所	幅 (mm)	長さ (m)	延長 (m)
P10	1	1	0.2	0.40	0.40
	2	1	0.2	1.50	1.50
	3	1	0.2	0.40	0.40
	4	1	0.2	1.50	1.50
	5	1	0.2	0.60	0.60
	6	1	0.2	1.20	1.20
	7	1	0.2	0.50	0.50
合計					6.10

径間 (脚)	番号	箇所	幅 (mm)	長さ (m)	延長 (m)
A2	1	1	0.2	1.20	1.20
合計					1.20

注記

1. 補修箇所は、必ず現地確認の上で施工を行うこと。
2. 施工に際しては、必ず現地に補修箇所及び寸法、数量を確認の上で行うこと。

凡例

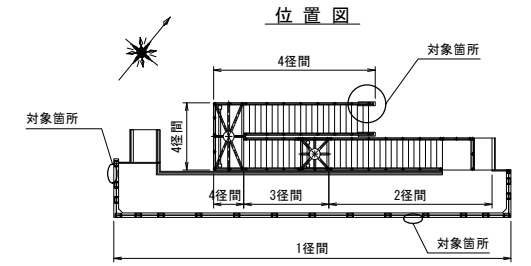
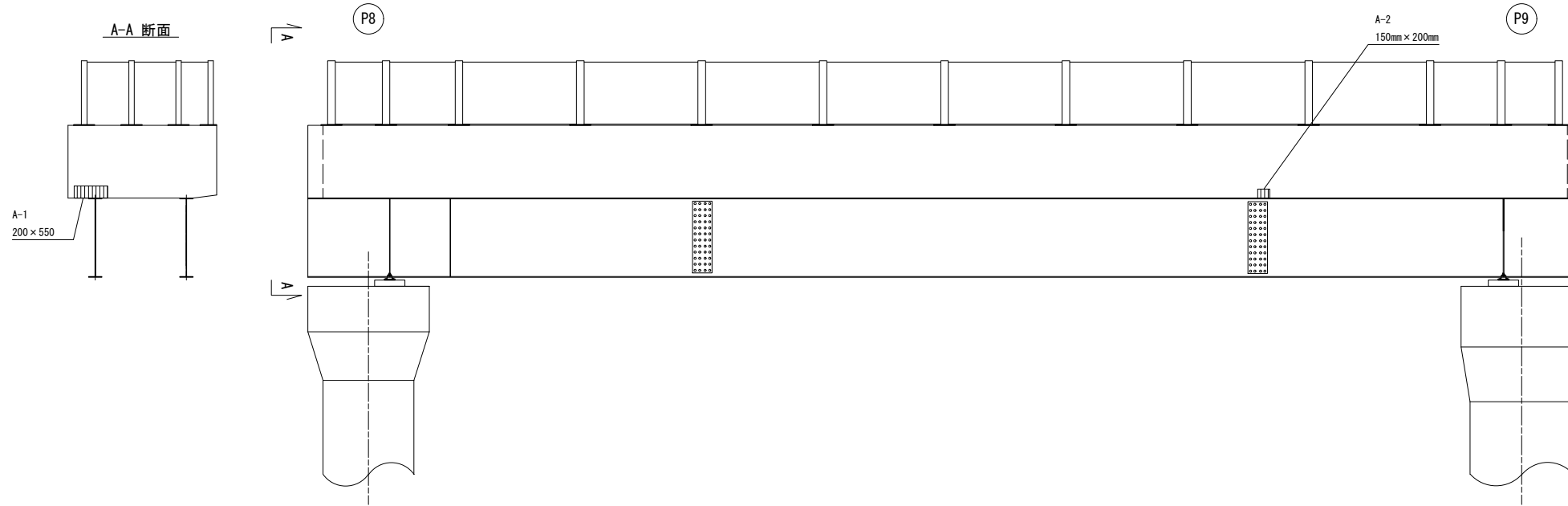
損傷の種類	表示
剥離・鉄筋露出・うき	
ひびわれ	

令和4年度 事業	
魚住陸橋補修耐震(その4)工事	
明石市魚住町西岡 地内	
補修図(8)【本橋】	10
縮尺 図示	30
明石市	

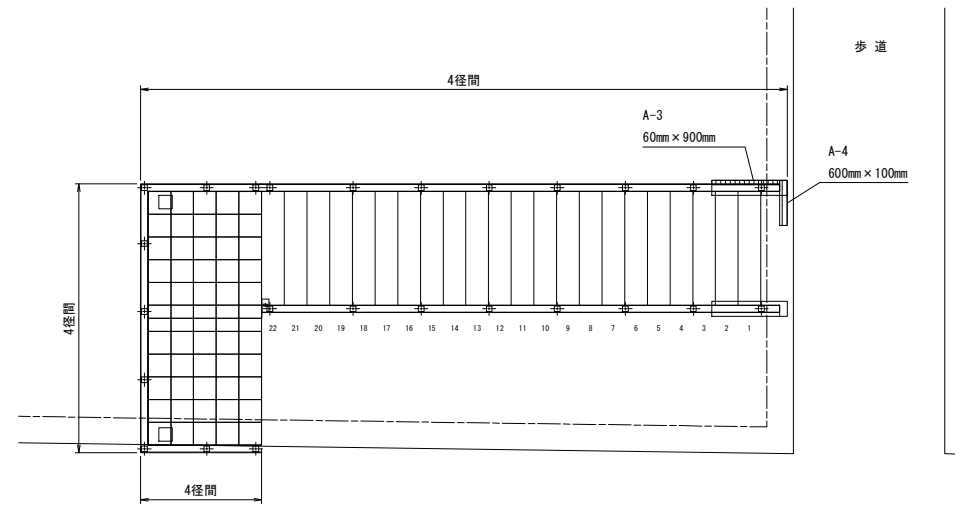
補修図(9) 【側道橋】

ひびわれ補修工・断面修復工図(その3)

1径間目 側面図 S=1:100

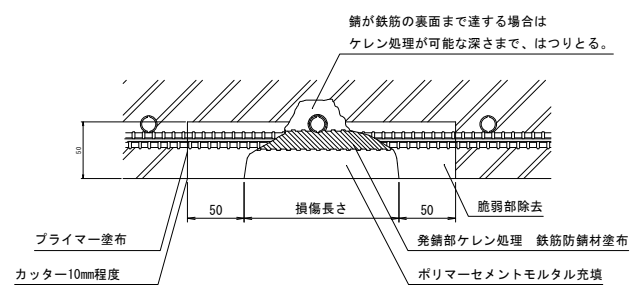


4径間目 平面図 S=1:100

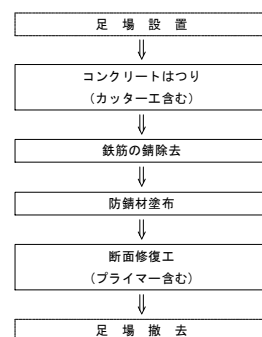


断面修復工 (A)

鉄筋ケレン・防錆処理 有



断面修復工 工程



注記

1. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認した上で各補修工事に反映のこと。
2. コンクリート研り工
研り作業は、電動チップパー等の小型機械および手研りにより慎重に行ない、作業の影響で健全部にクラック等が発生する事がないよう注意して行なう。
研り深さは、腐食した鉄筋の背面まで完全に露出するようにする。研り深さと面積をもとに修復に必要な体積を算出し、協議・確認を行なう。
3. 鉄筋の防錆処理
研りが完了した損傷部をフローで清掃した後、露出した鉄筋表面の錆びをサンダーブラシ、ワイヤーブラシ等を用いて除去し、鉄筋防錆材を塗布する。
4. 断面修復工
断面修復には、接着性に優れたポリマーセメントを使用し、こて塗りに(左工法)により施工する。
上向き施工の際、修復厚さが大きい場合は1回の厚さが10~20mm程度とし、重ね付けを行う。(詳細な手順は使用する材料が指定する施工要領を守ること)
施工後のだれ落ちに注意し、必要に応じて合板をあて養生する。

損傷凡例

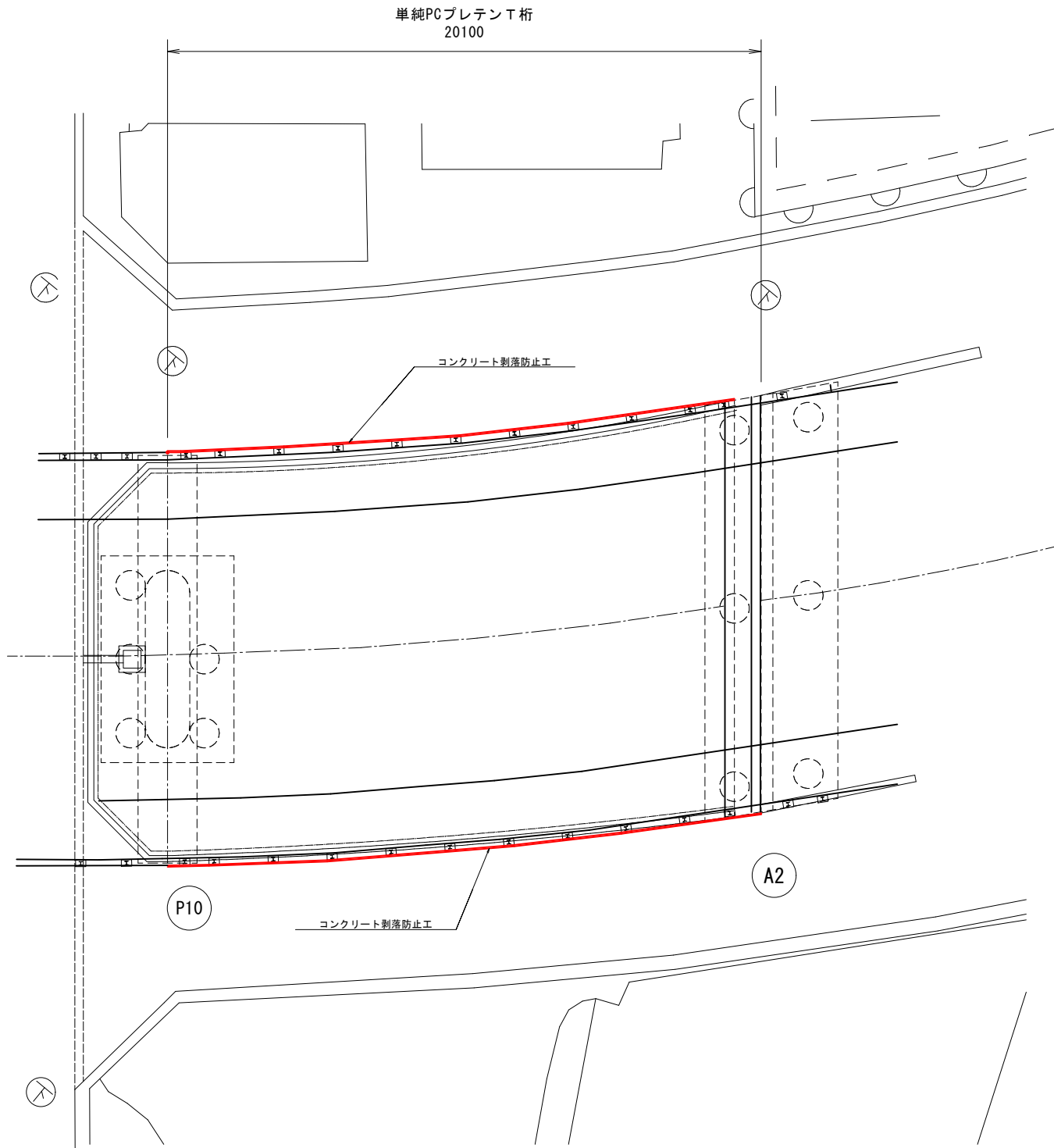
損傷の種類	記号	表示
断面修復工 (鉄筋ケレン・防錆処理 有)	A	

令和4年度 事業	
魚住陸橋補修耐震(その4)工事	
明石市魚住町西岡 地内	
補修図(9)【側道橋】	11
縮尺 図示	30
明石市	

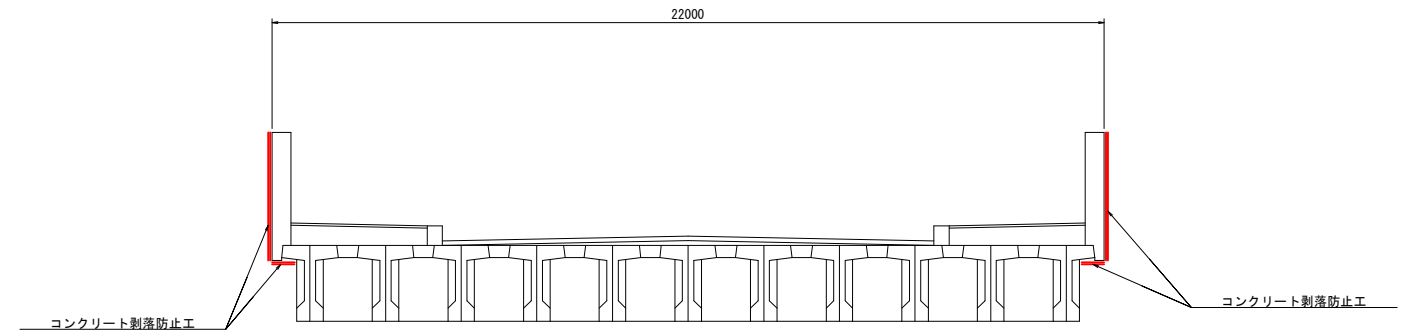
補修図(10)【本橋】

表面保護工図(その1)

s=1/100

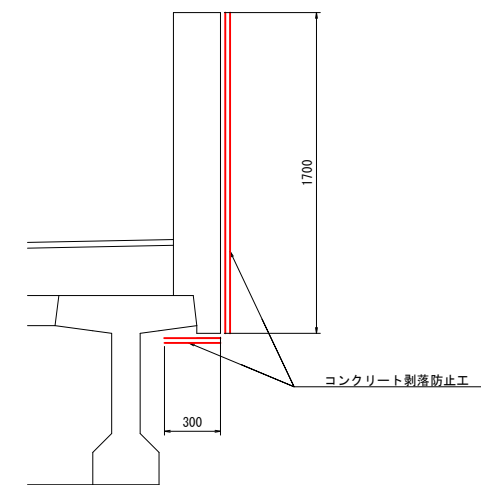


剥落防止工施工範囲図



剥落防止工寸法図

s=1/20

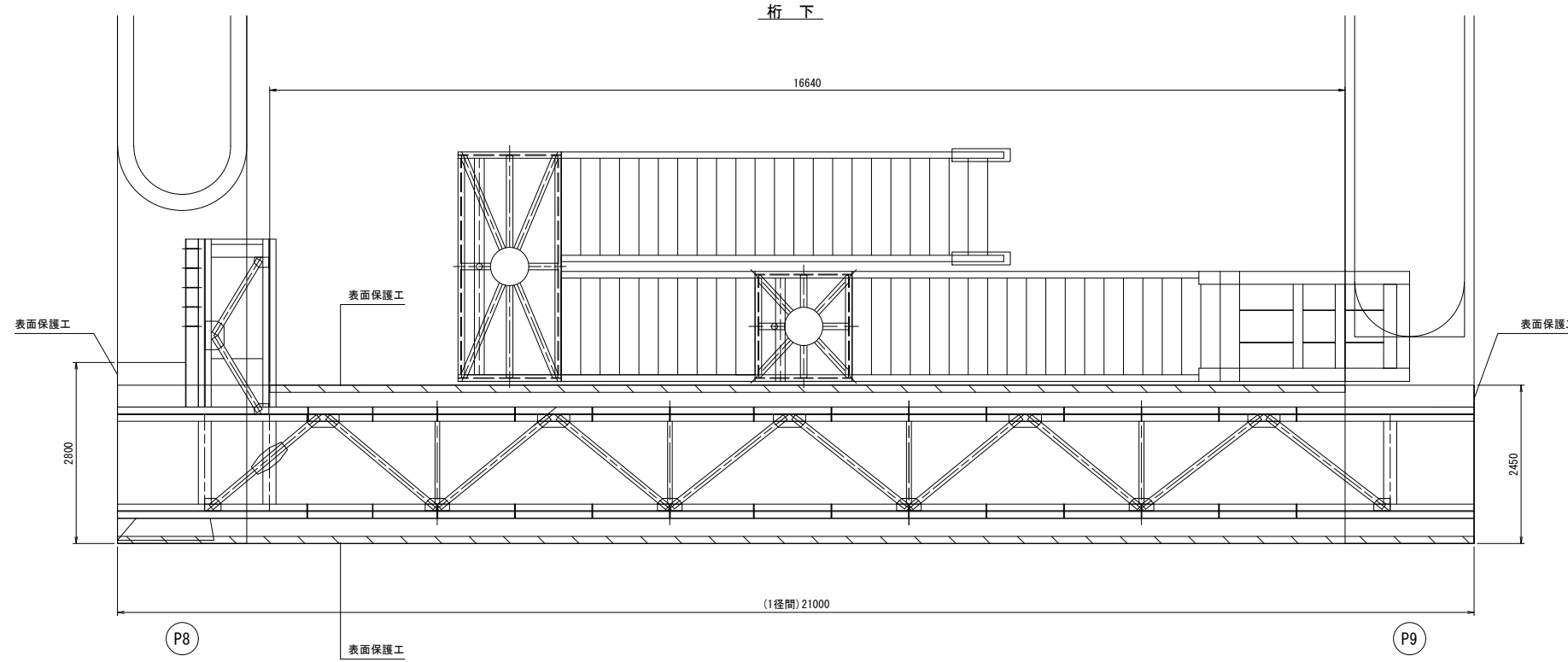


令和4年度 事業	
魚住陸橋修繕耐震(その4)工事	
明石市魚住町西岡 地内	
補修図(10)【本橋】	12
縮尺 図示	30
明石市	

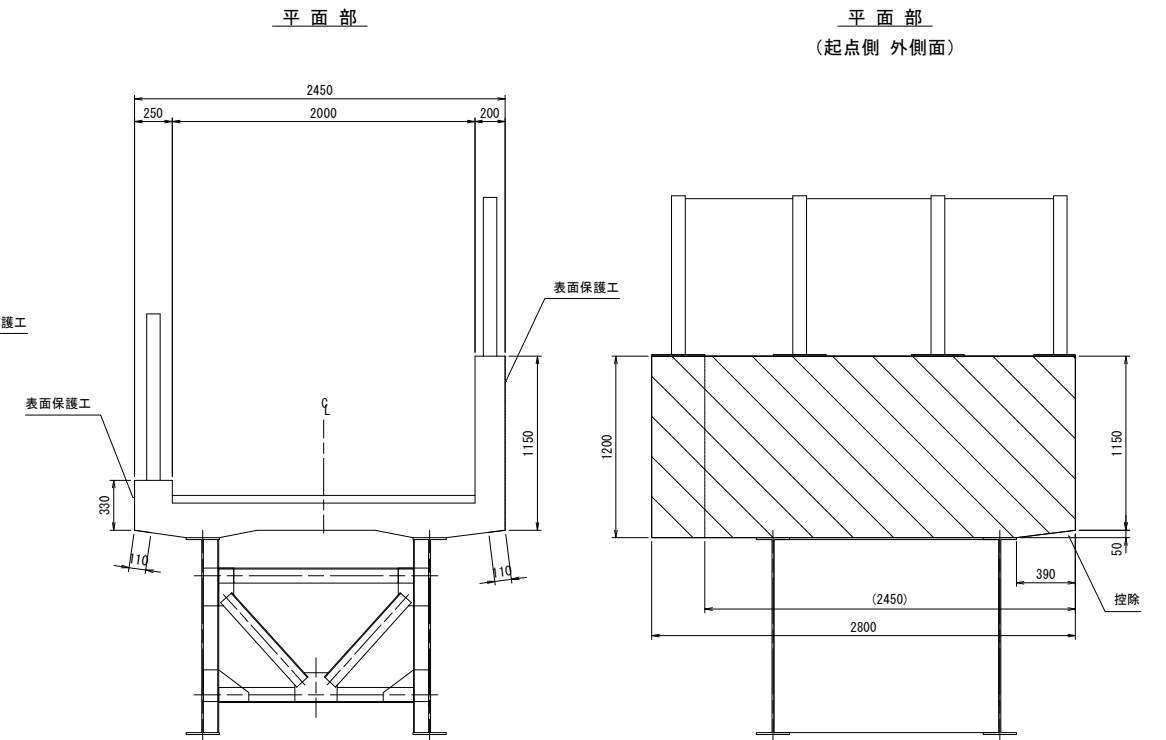
補修図 (1 1) 【側道橋】

表面保護工図 (その 2)

平面図 S=1:100

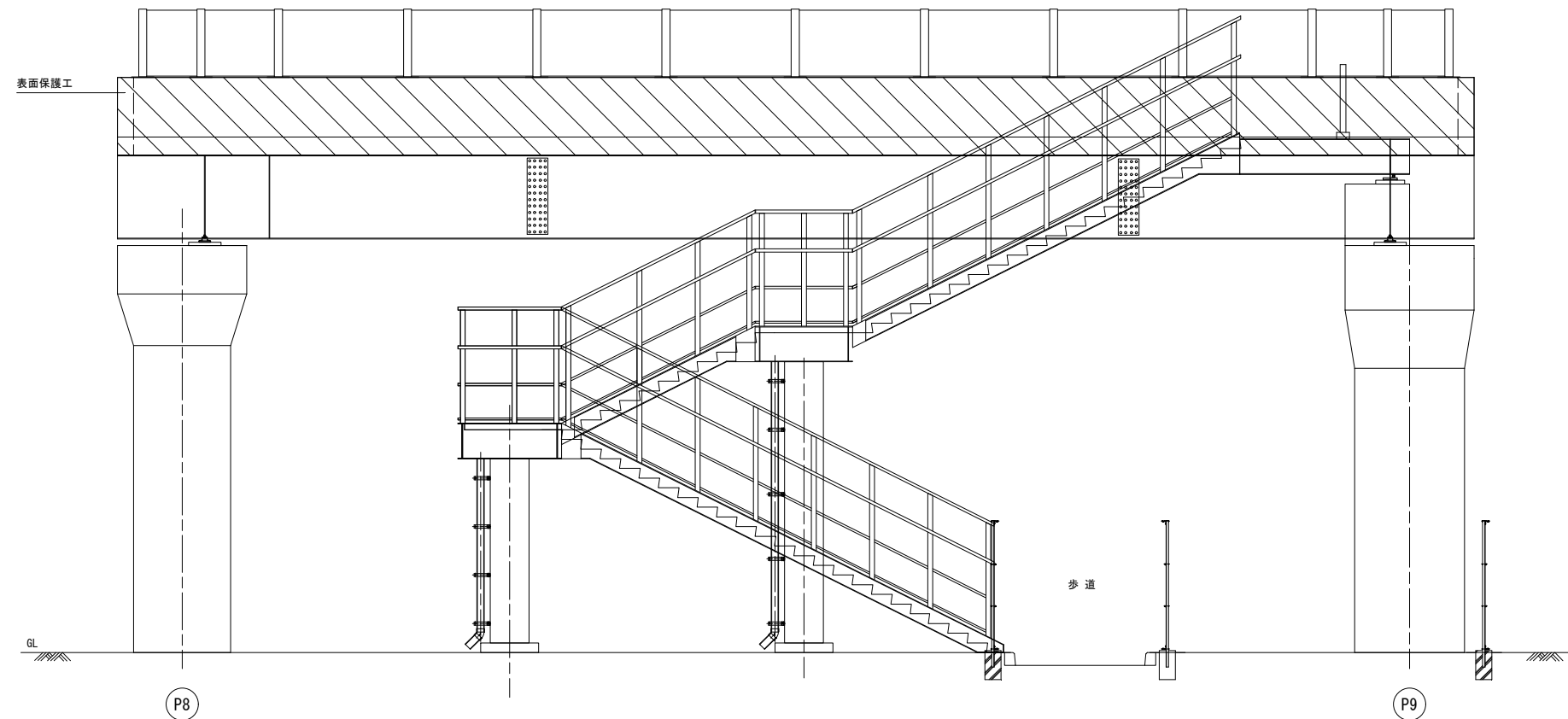


標準断面図 S=1:50



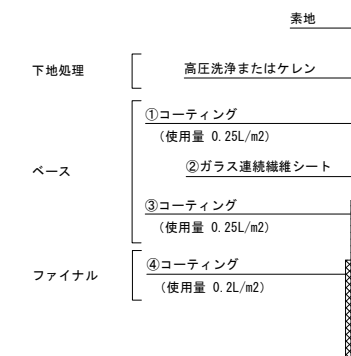
注 () 内数値は終点側を示す。

側面図 S=1:100

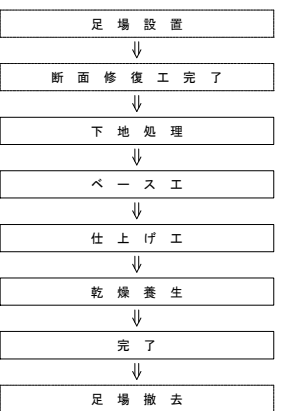


表面被覆工法

表面被覆工法 (メッシュ・シート工法)
※超薄膜スケルトンは落防災コーティング同等品以上
NETIS: CG-120025-VE



表面被覆工法 工程



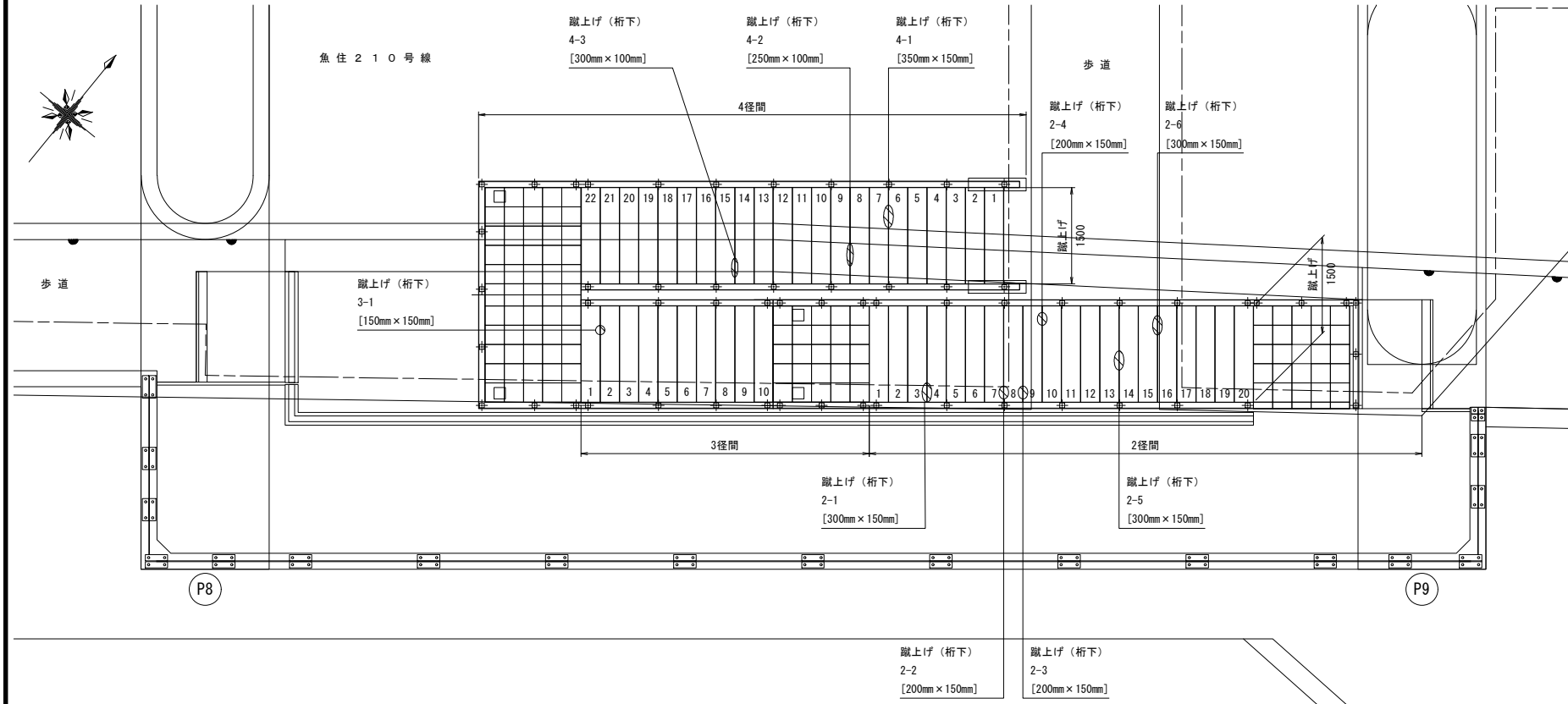
- 注記)
- この図面は、現地調査を基に作成したものであり、詳細寸法を確定したものではありません。
①内寸法は想定値を示す。
 - 施工にあたっては、現地調査を行い再計測、再確認を実施し、数量を算出して工事に反映させること。
 - 表面被覆工法は、施工後の可視性を損なわない工法を選定した。(参考) NETIS登録番号: CG-120025-VE
 - 繊維シートは目視可能なシートにする。
 - コーティング材は水蒸気透過性を有すること。

令和4年度 事業	
魚住陸橋補修耐震 (その4) 工事	
明石市魚住町西岡 地内	
補修図 (11) 【側道橋】	13
縮尺 図示	30
明石市	

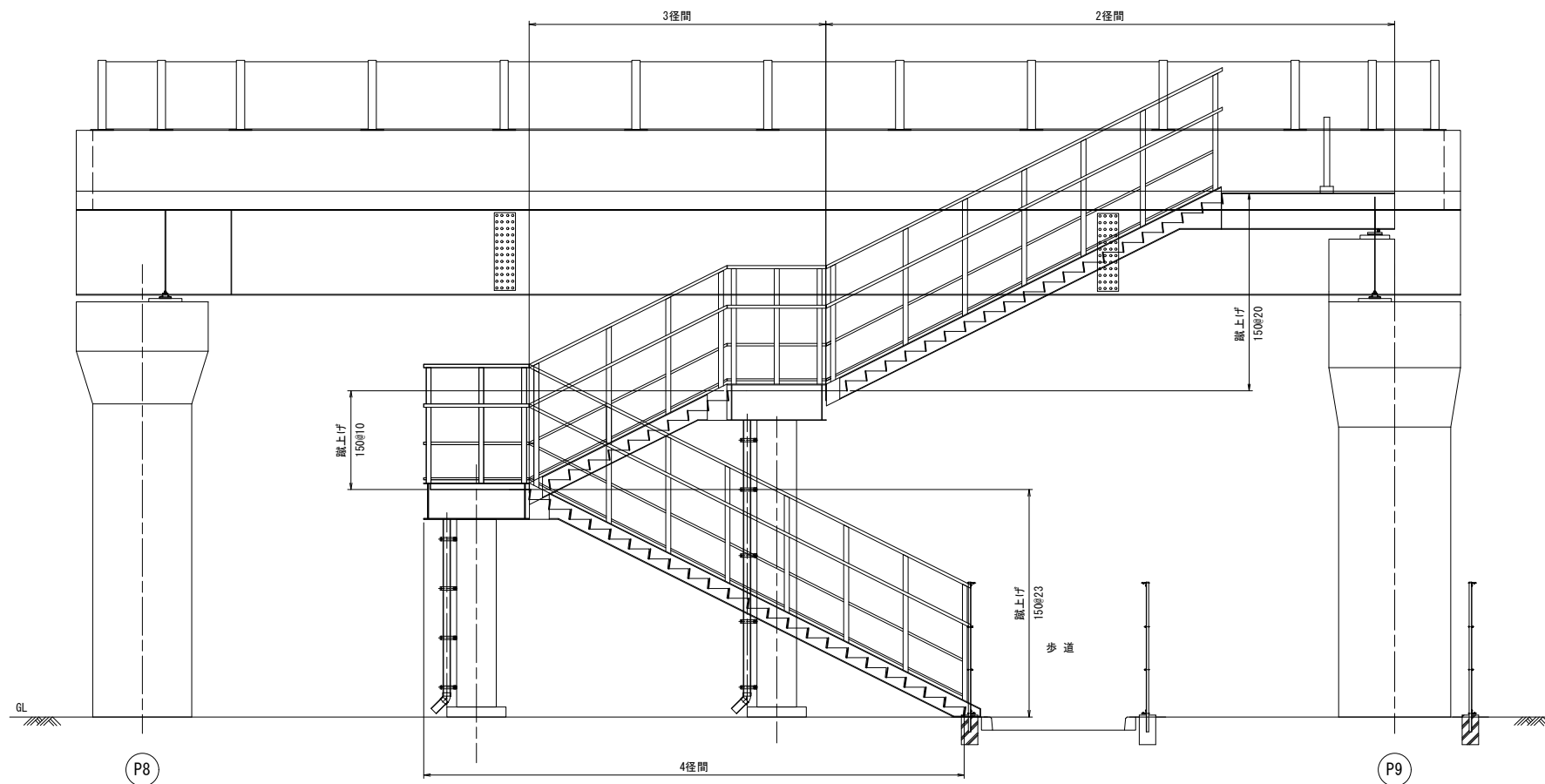
補修図(12)【側道橋】

FRPシート設置工

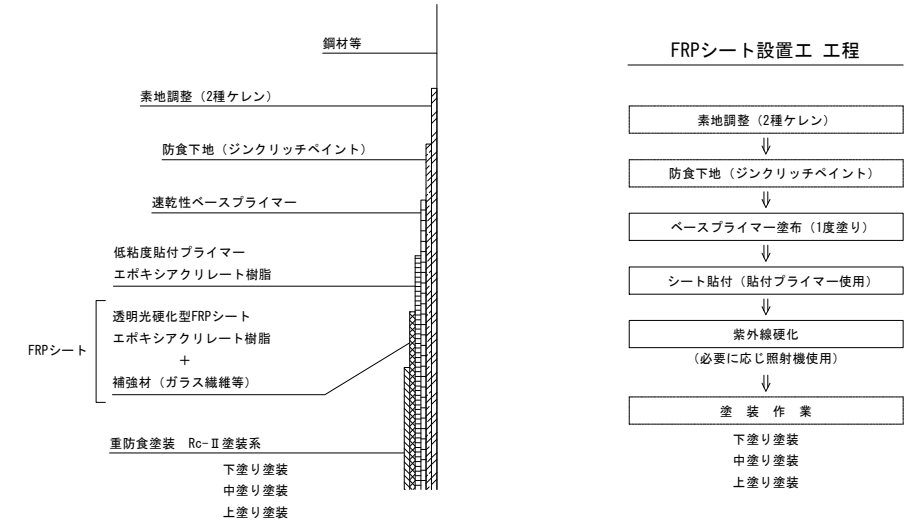
平面図 S=1:100



側面図 S=1:100



FRPシート設置工



総数量表

凡例	位置	面積 (m2)	施工区分
—	蹴上げ (橋面)	11.925	区分B (0.07m2以上0.15m2未満/枚)
⊘	蹴上げ (桁下)	0.356	区分A (0.01m2以上0.07m2未満/枚)

※詳細は、数量計算書を参照のこと。

注記

- この図面は、現地調査を基に作成したものであり、詳細寸法を確定したものではありません。
○内寸法は想定値を示す。
- 施工にあたっては、現地調査を行い再計測、再確認を実施し、数量を算出して工事に反映させること。
- FRPシート設置工は、硬化時間が短く、不陸調整が容易な工法を選定した。
(参考) NETIS登録番号: CG-140016-VR
- 貼付プライマーは、貼付面の不陸に対する追従性を有すること。
- FRPシートは透明で、貼付面の密着状態の可視性を有すること。

令和4年度 事業	
魚住陸橋補修耐震 (その4) 工事	
明石市魚住町西岡 地内	
補修図 (12) 【側道橋】	14
縮尺 図示	30
明石市	

補修図 (13) 【本橋】

橋梁塗装工 (その1)

S=1:60

P2橋脚

【塗装塗替工】

Rc-II 塗装系 (はけ、ローラー)

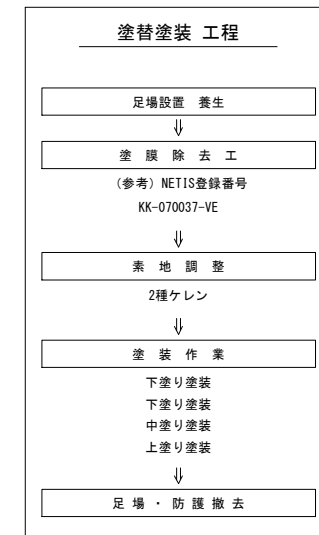
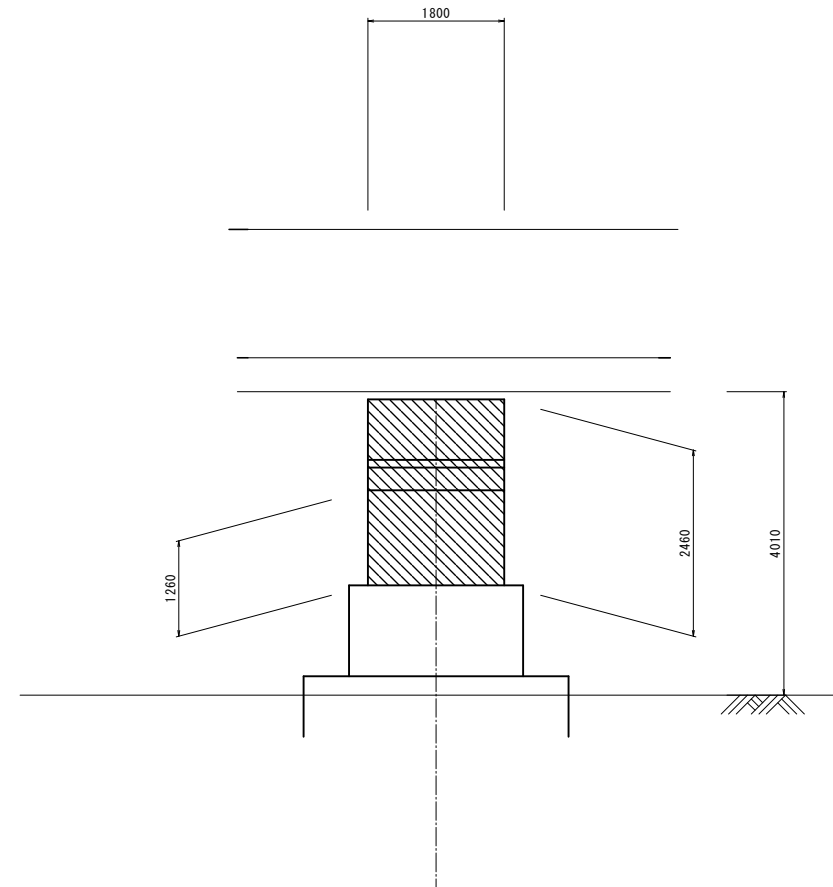
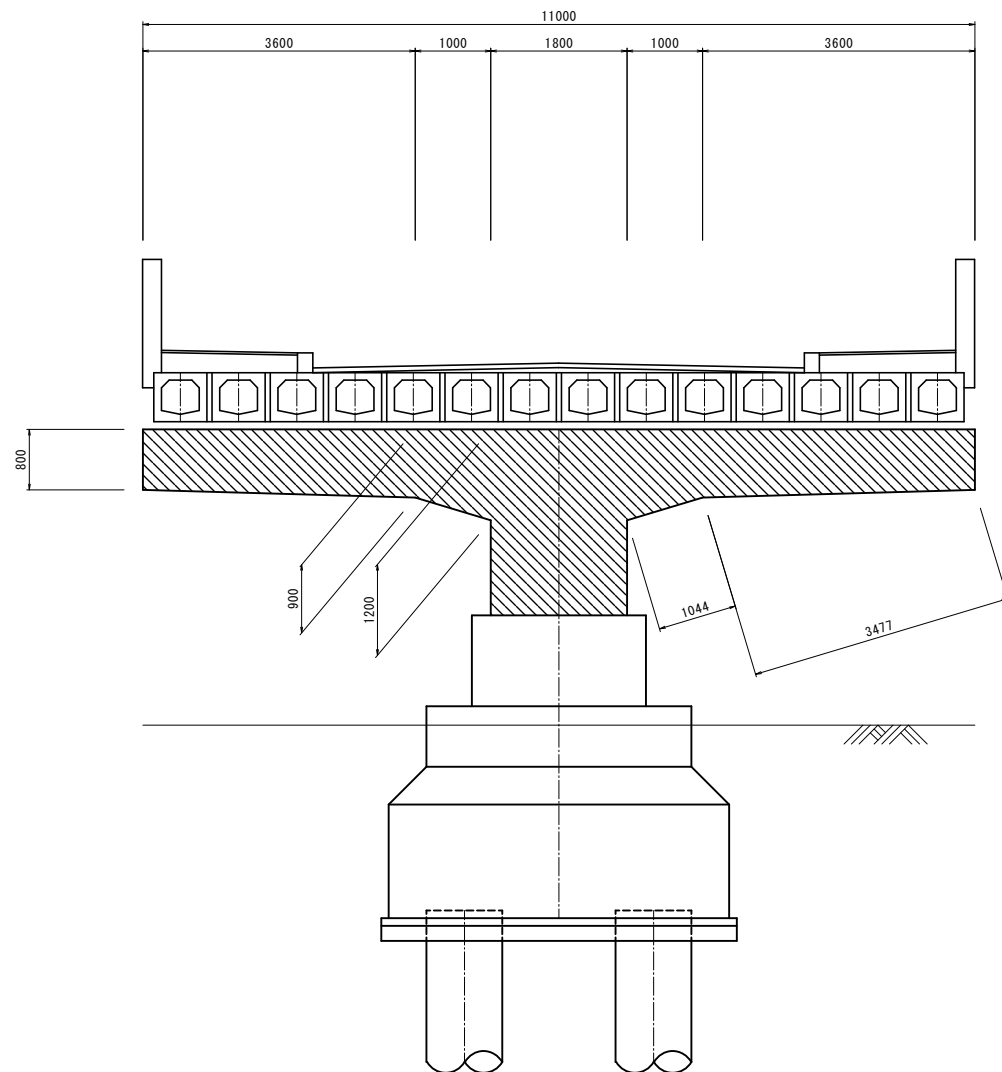
塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	2種ケレン		4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント ^{※1}	600	1日~10日 ^{※2}
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日~10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140	1日~10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120	1日~10日

※1: 素地調整程度2種ではあるが、健全なジンクリッチプライマーやジンクリッチペイントを残し、ほかの旧塗膜を全面除去した場合は、鋼材露出部のみ有機ジンクリッチペイントを塗付する。この際、使用量の目安は240g/m²程度とする。素地調整程度2種で旧塗膜を全面除去した場合は、有機ジンクリッチペイントの使用量が600g/m²とする。

※2: 現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。

P2橋脚 (P1側)

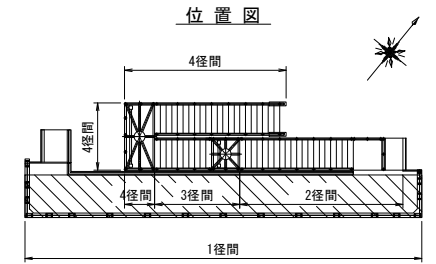
側面図



補修図 (14) 【側道橋】

橋梁塗装工 (その1)

1径間 桁下1



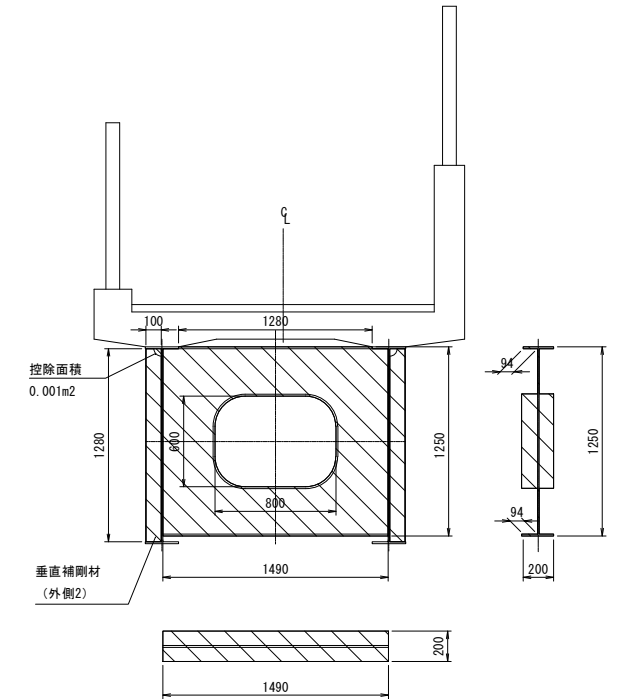
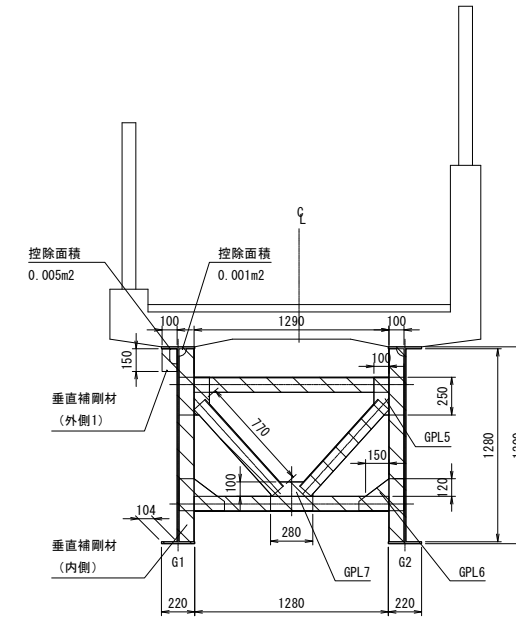
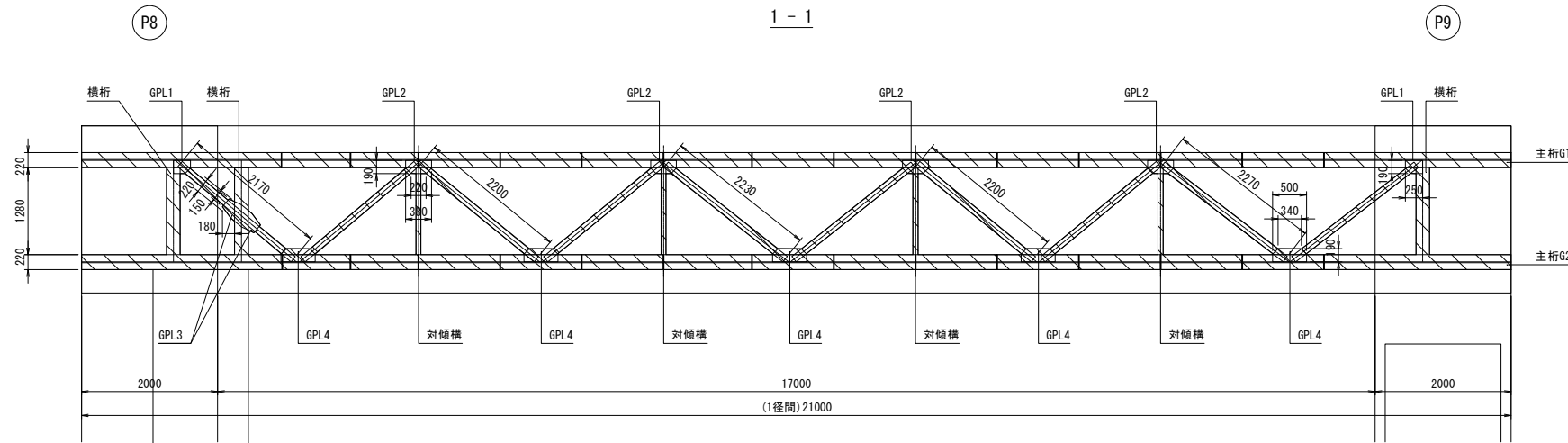
平面図 S=1:100

標準断面図 S=1:50

1-1

平面部 (中間部)

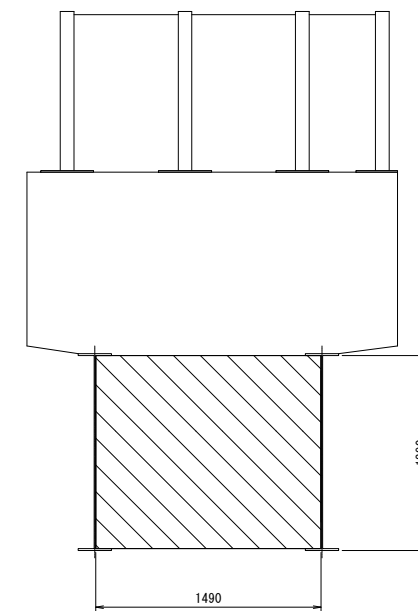
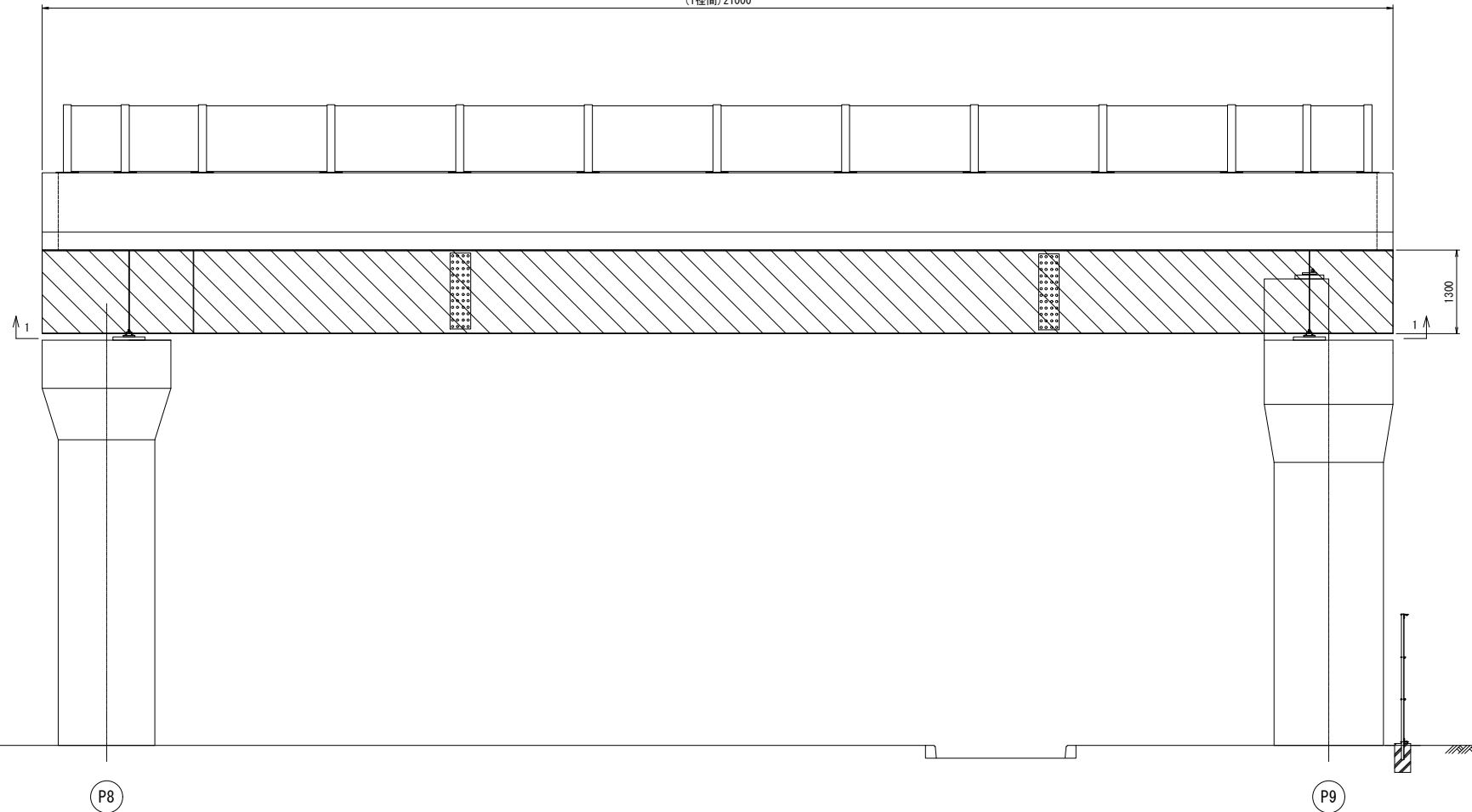
平面部 (端部)



側面図 S=1:100

平面部 (外側面)

(1径間) 21000



塗装塗替

1径間 桁下1 数量表

部位	面積 (m2)
主桁	139.756
垂直補剛材	9.196
横桁	13.662
横構	17.510
対横構	6.252

注記

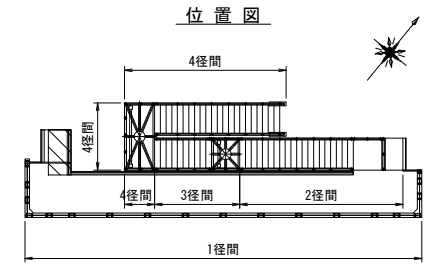
- この図面は、現地調査を基に作成したものであり、詳細寸法を確定したものではありません。
()内寸法は想定値を示す。
- 施工にあたっては、現地調査を行い再計測、再確認を実施し、数量を算出して工事に反映させること。

令和4年度 事業	
魚住陸橋修繕耐震 (その4) 工事	
明石市魚住町西岡 地内	
補修図 (14) 【側道橋】	16
縮尺 図示	30
明石市	

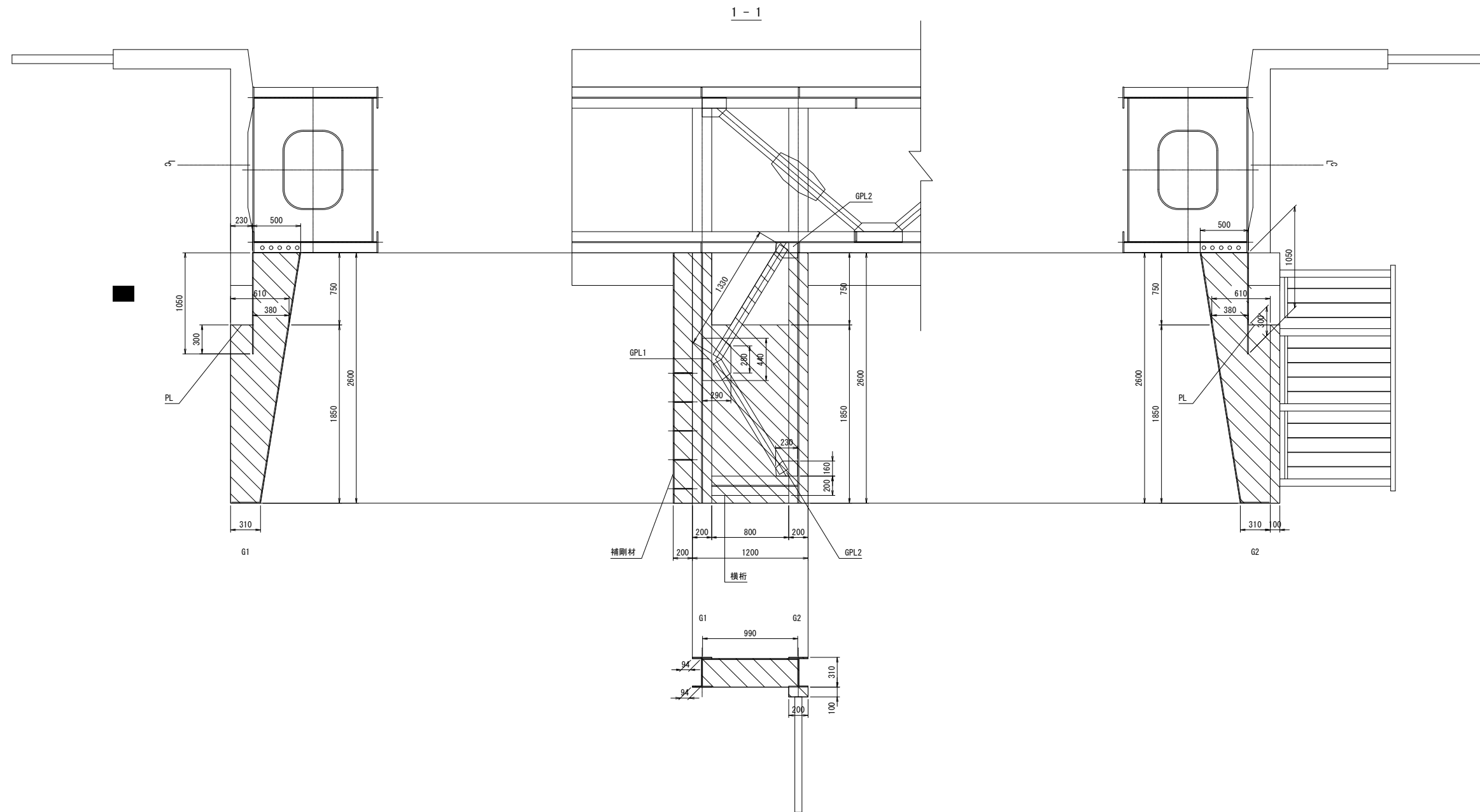
補修図(15) 【側道橋】

橋梁塗装工(その2)

1径間 桁下2、橋面



平面図 S=1:50



塗装塗替

1径間 桁下2 数量表

部位	面積(m2)
主桁	7.364
PL	0.228
横桁	0.542
対横構	1.209
補剛材	2.008
床版	1.832

1径間 橋面 数量表

部位	面積(m2)
地覆	0.914

注記

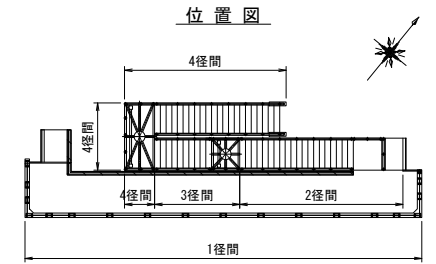
- この図面は、現地調査を基に作成したものであり、詳細寸法を確定したものではありません。
()内寸法は想定値を示す。
- 施工にあたっては、現地調査を行い再計測、再確認を実施し、数量を算出して工事に反映させること。

令和4年度 事業	
魚住陵橋補修耐震(その4)工事	
明石市魚住町西岡 地内	
補修図(15)【側道橋】	17
縮尺 図示	30
明石市	

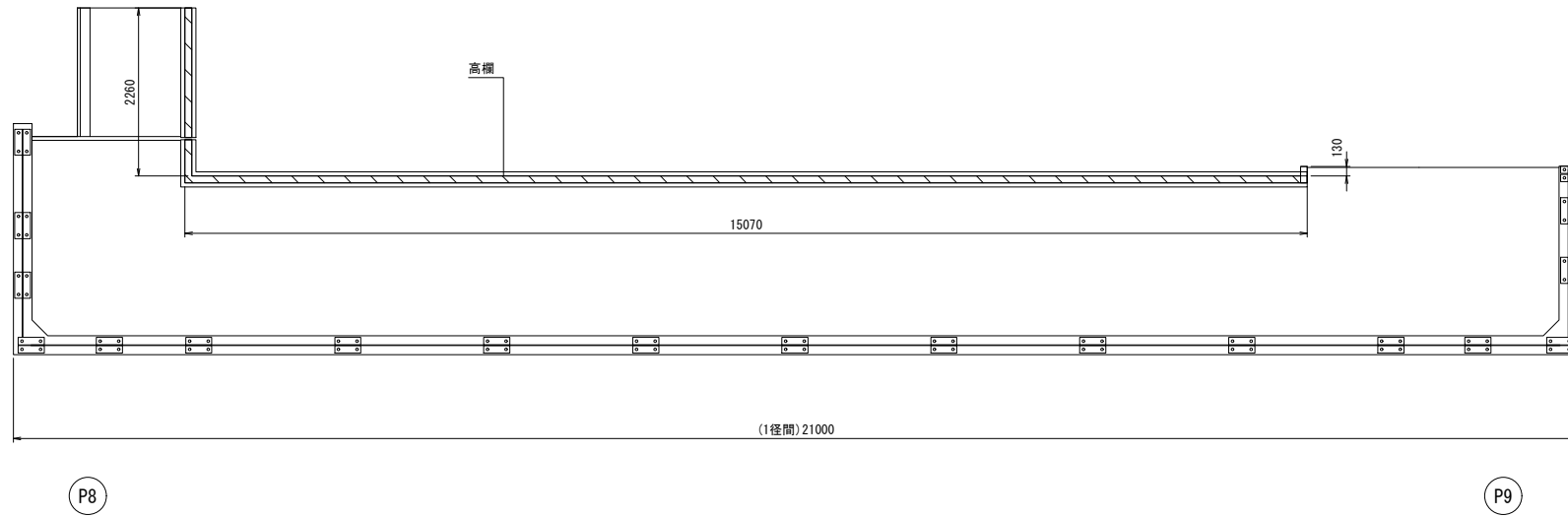
補修図(16)【側道橋】

橋梁塗装工(その3)

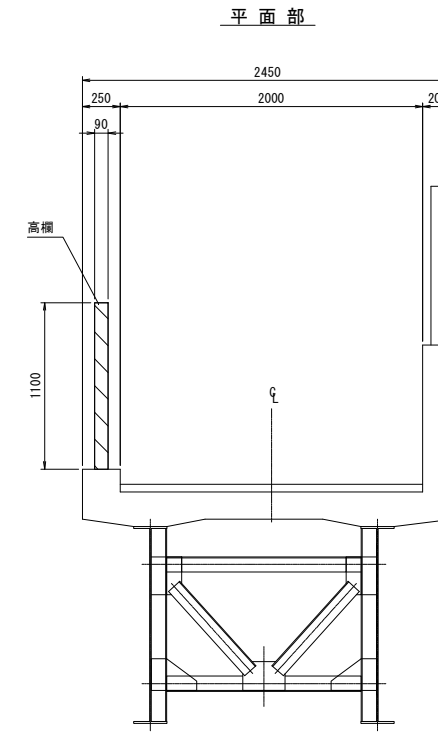
1径間 高欄



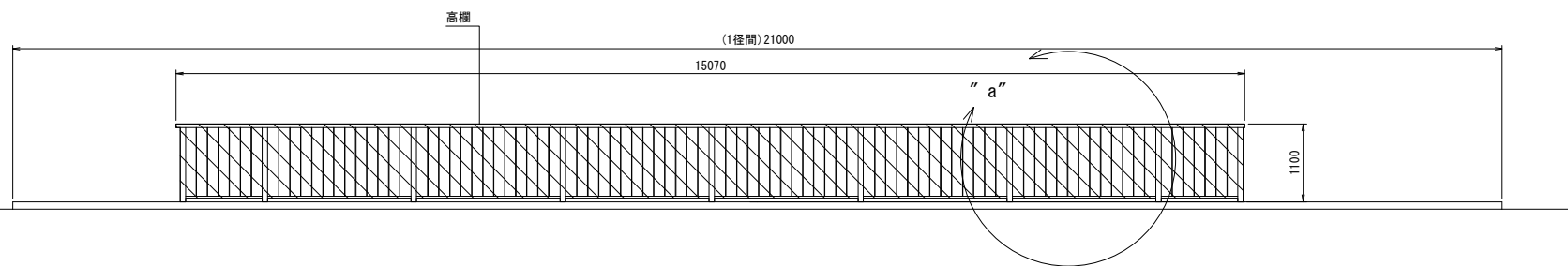
平面図 S=1:100



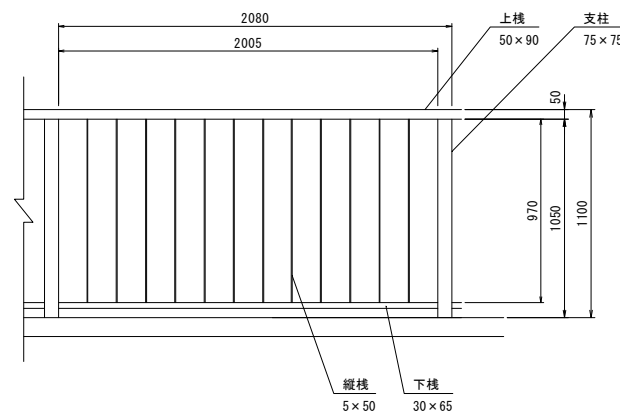
標準断面図 S=1:50



側面図 S=1:100



"a"部詳細図 S=1:40



高欄 塗装塗替 数量表

名称	規格	単位	1m当り塗装面積	延長	合計	摘要
高欄	H1100	m ²	1.222	17.460	21.336	15.070+2.260+0.130
高欄端部			数量計算書より		0.013	
				高欄 合計	21.349	

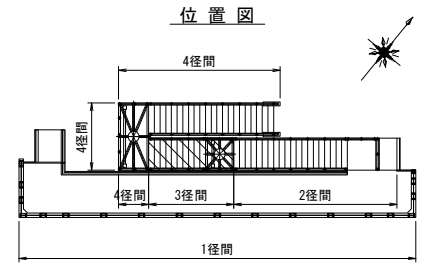
- 注記)
- この図面は、現地調査を基に作成したものであり、詳細寸法を確定したものではありません。
○内寸法は想定値を示す。
 - 施工にあたっては、現地調査を行い再計測、再確認を実施し、数量を算出して工事に反映させること。

令和4年度 事業	
魚住陵橋補修耐震(その4)工事	
明石市魚住町西岡 地内	
補修図(16)【側道橋】	18
縮尺 図示	30
明石市	

補修図(18) 【側道橋】

橋梁塗装工(その5)

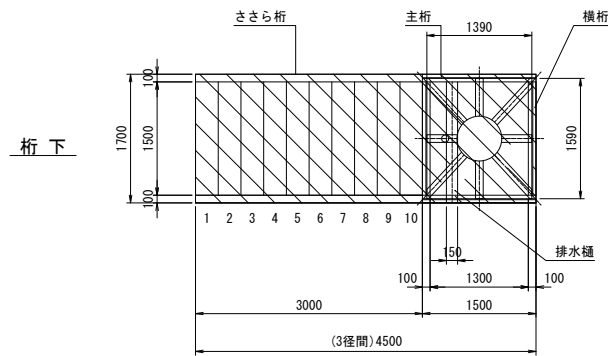
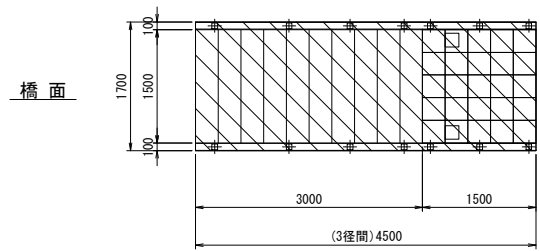
3径間 桁下、橋面、橋脚



平面図 S=1:100

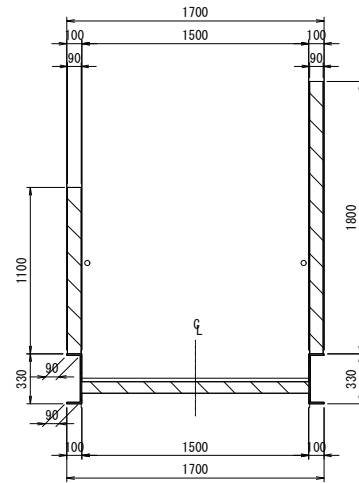
標準断面図 S=1:50

橋脚 S=1:50

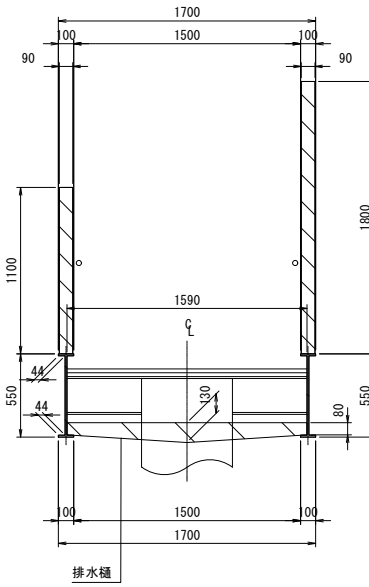


側面図 S=1:100

階段部

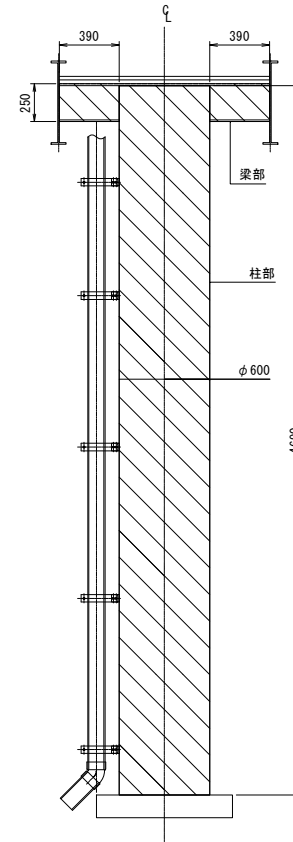


踊り場部

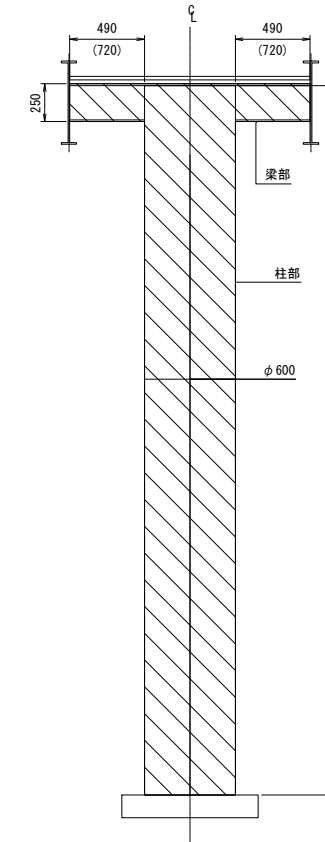


"a"部詳細図 S=1:40

側面図



正面図



控除面積
0.005m²

塗装塗替

3径間 桁下 数量表

部位	面積(m ²)
ささら桁(階段部)	6.560
蹴上げ	4.500
踏み板(桁下)	4.500
主桁	4.228
横桁	3.018
床版	2.210
排水樋	0.573

3径間 橋面 数量表

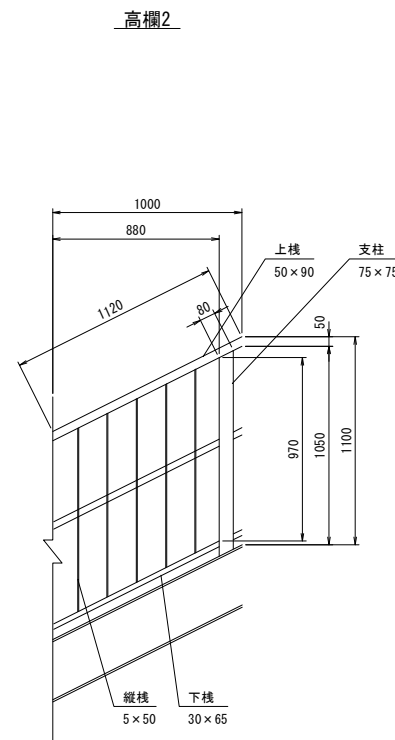
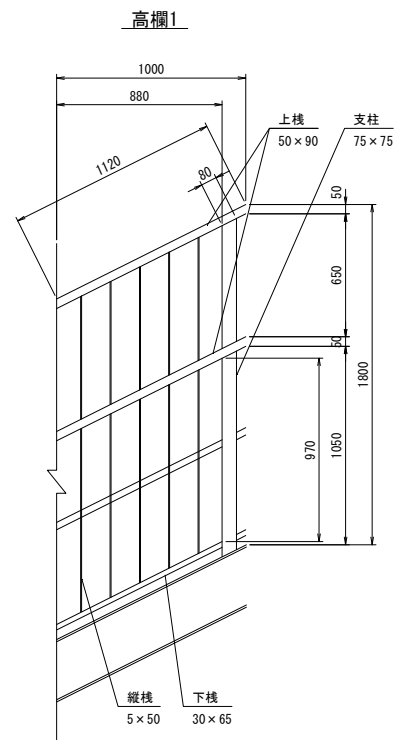
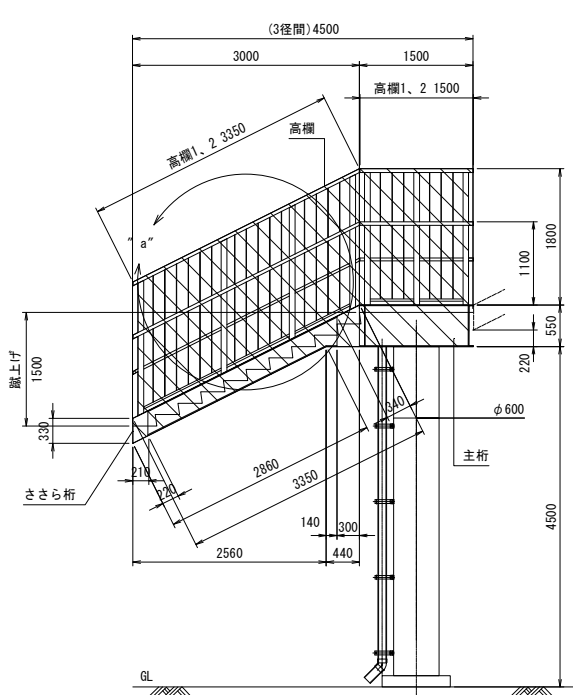
部位	面積(m ²)
踏み板(橋面)	4.500
踊り場	2.250

3径間 橋脚 数量表

部位	面積(m ²)
橋脚	11.988

高欄 塗装塗替 数量表

名称	規格	単位	1m当り塗装面積	延長	合計	摘要	
高欄1	H1800	m ²	2.167	4.850	10.510	3.550+1.500	
高欄2	H1100		1.328	4.850	6.441	3.550+1.500	
高欄端部			数量計算書より			0.035	
高欄 合計					16.986		



注記

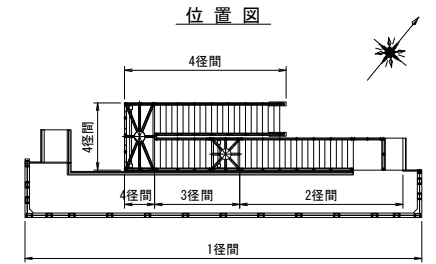
- この図面は、現地調査を基に作成したものであり、詳細寸法を確定したのではない。
○内寸法は想定値を示す。
- 施工にあたっては、現地調査を行い再計測、再確認を実施し、数量を算出して工事に反映させること。

令和4年度 事業	魚住陸橋修繕耐震(その4)工事
明石市魚住町西岡 地内	
補修図(18)【側道橋】	20
縮尺 図示	30
明石市	

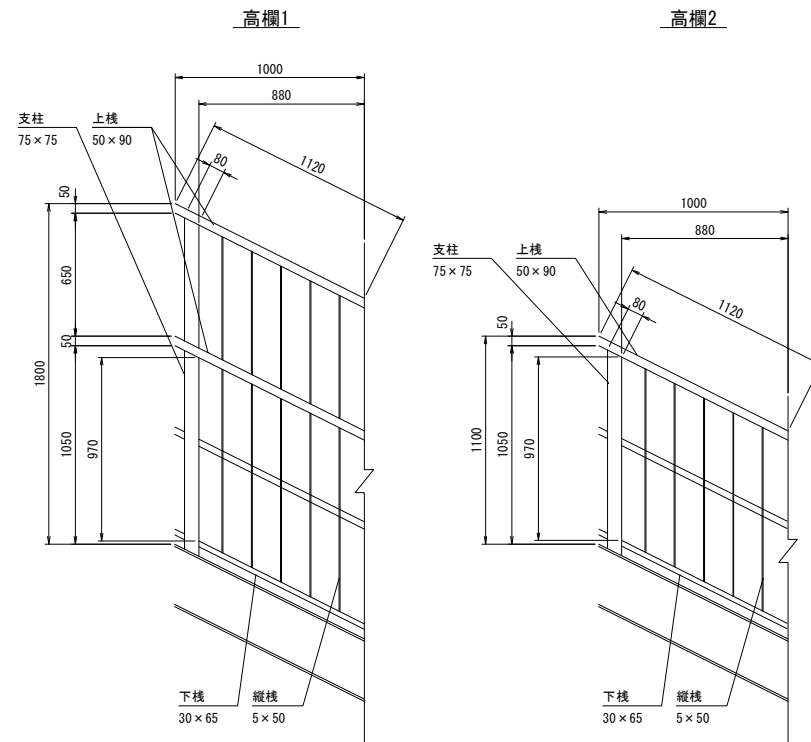
補修図(20)【側道橋】

橋梁塗装工(その7)

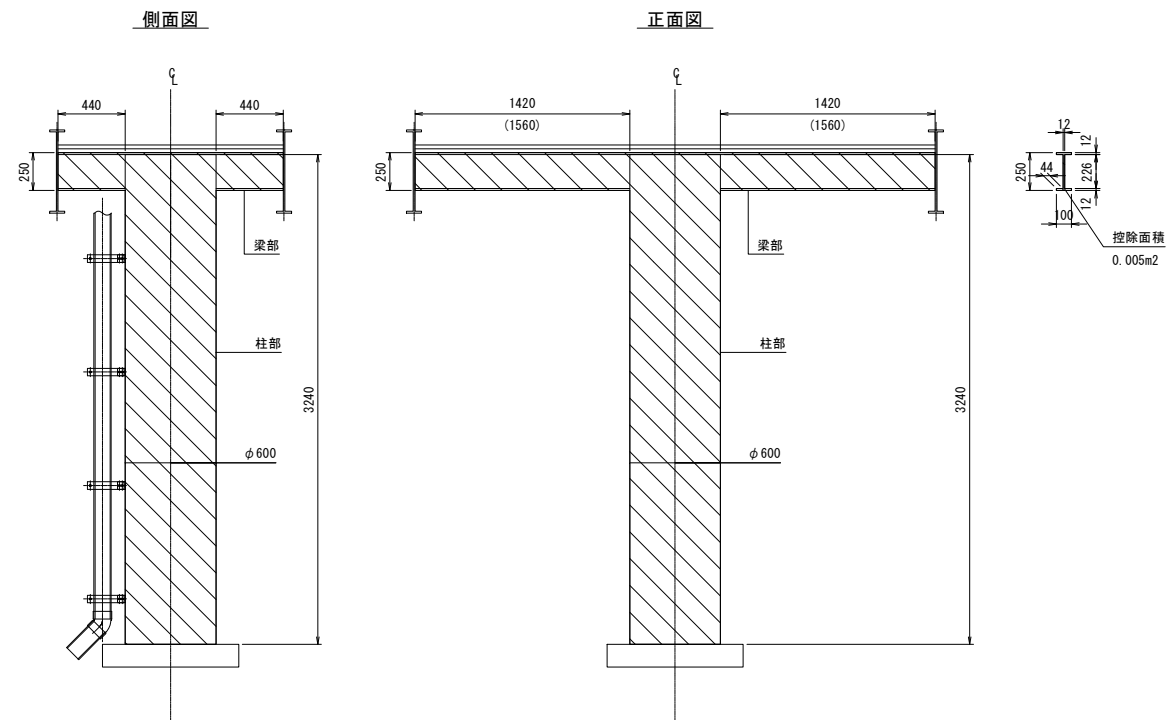
4径間 高欄、橋脚



“a”部詳細図 S=1:40



橋脚 S=1:50



塗装塗替
4径間 橋脚 数量表

部位	面積(m2)
橋脚	12.916

高欄 塗装塗替 数量表

名称	規格	単位	1m当り塗装面積	延長	合計	摘要
高欄1	H1800	m2	2.167	12.630	27.369	7.480+1.600+3.550
高欄2	H1100		1.328	9.240	12.271	7.480+1.600+0.160
高欄端部			数量計算書より		0.035	
高欄 合計					39.675	

注記)

- この図面は、現地調査を基に作成したものであり、詳細寸法を確定したものではない。
○内寸法は想定値を示す。
- 施工にあたっては、現地調査を行い再計測、再確認を実施し、数量を算出して工事に反映させること。

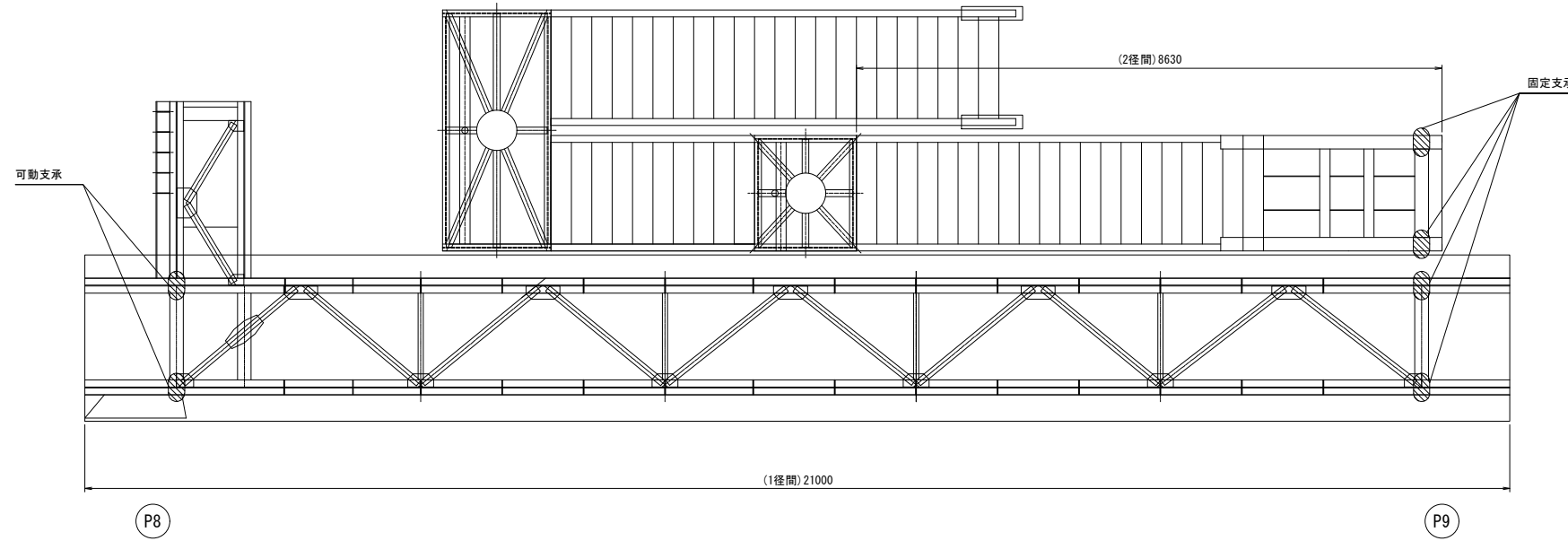
令和4年度 事業	
魚住陵橋補修耐震(その4)工事	
明石市魚住町西岡 地内	
補修図(20)【側道橋】	22
縮尺	図示
明石市	

補修図 (21) 【側道橋】

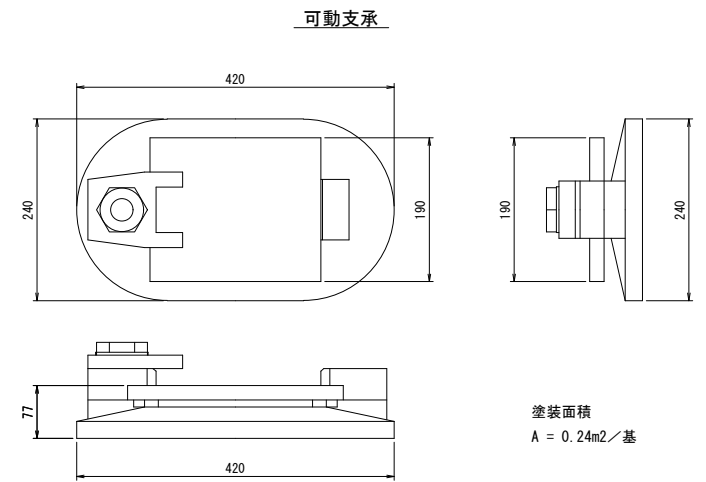
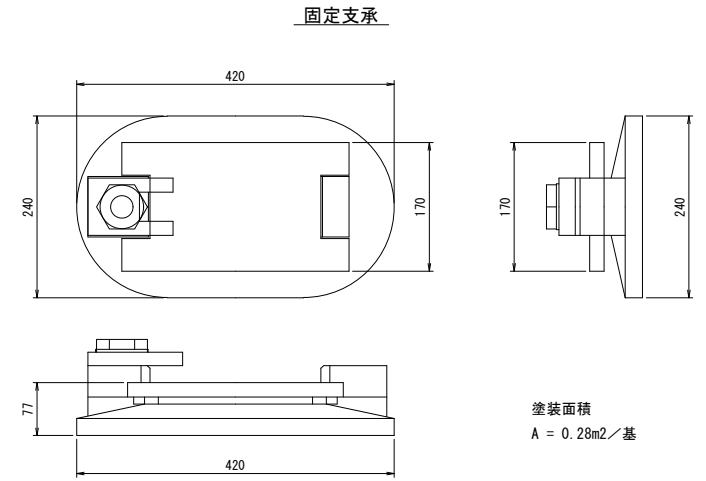
橋梁塗装工 (その8)

1径間、2径間 支承

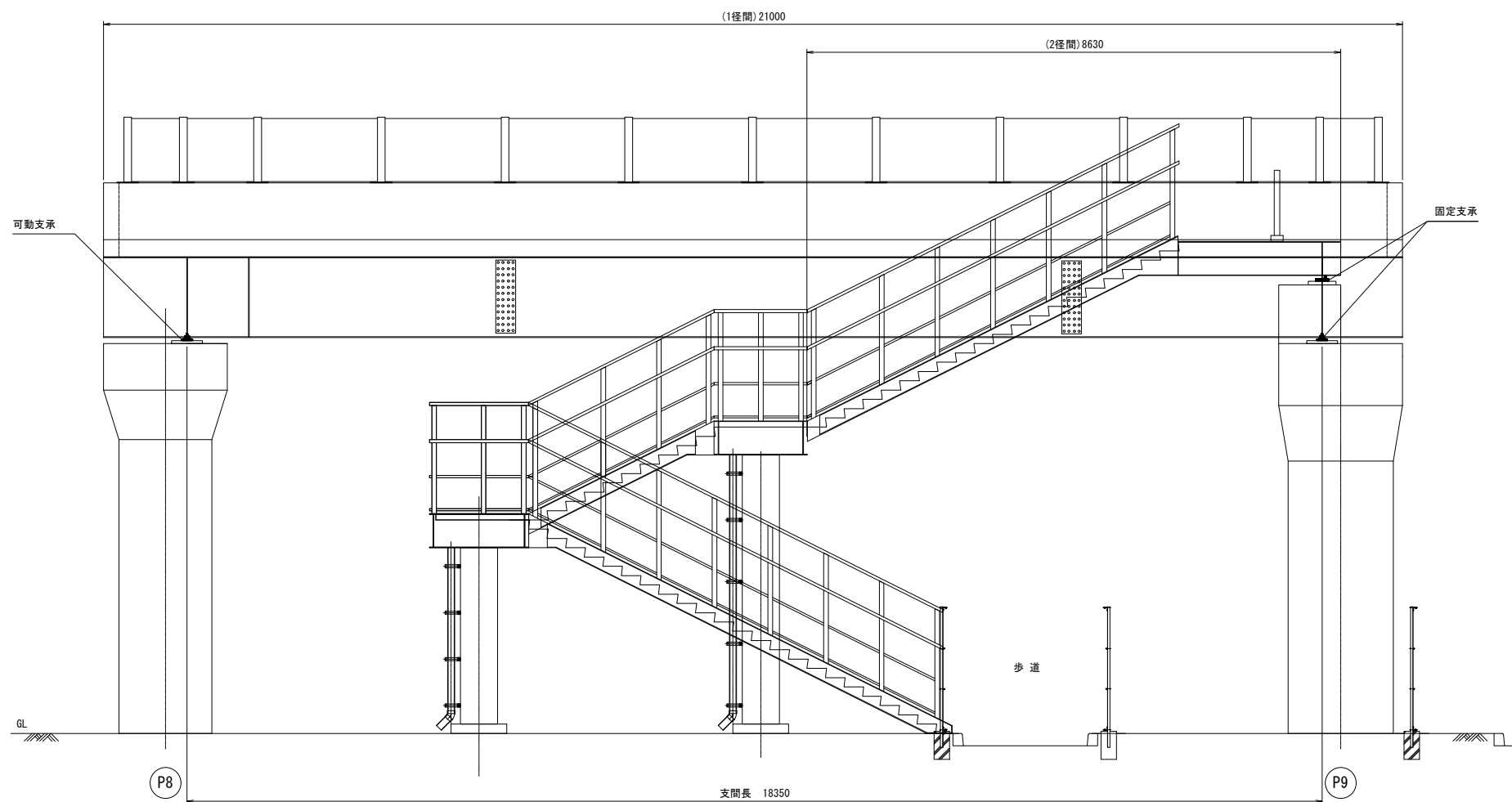
平面図 S=1:100



支承概要図 S=1:10



側面図 S=1:100



支承 塗装塗替 数量表

径間	種類	単位面積 (m ²)	箇所数	総面積 (m ²)
1	固定支承	0.28	2	0.56
	可動支承	0.24	2	0.48
2	固定支承	0.28	2	0.56

※ 単位面積はデザインデータブック'93より

注記)

- この図面は、現地調査を基に作成したものであり、詳細寸法を確定したのではない。
○内寸法は想定値を示す。
- 施工にあたっては、現地調査を行い再計測、再確認を実施し、数量を算出して工事に反映させること。

令和4年度 事業	
魚住陵橋補修耐震 (その4) 工事	
明石市魚住町西岡 地内	
補修図 (21) 【側道橋】	23
縮尺 図示	30
明石市	

補修図（22）【側道橋】

橋梁塗装工（その9）

【塗装塗替工】

Rc-II 塗装系（はけ、ローラー）

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m2)	塗装間隔
素地調整	2種ケレン		4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント ※1	600	1日～10日 ※2
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140	1日～10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120	1日～10日

※1：素地調整程度2種ではあるが、健全なジンクリッチプライマーやジンクリッチペイントを残し、ほかの旧塗膜を全面除去した場合は、鋼材露出部のみ有機ジンクリッチペイントを塗付する。この際、使用量の目安は240g/m2程度とする。素地調整程度2種で旧塗膜を全面除去した場合は、有機ジンクリッチペイントの使用量が600g/m2とする。

※2：現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。

径間	部位	面積 (m2)
1径間	主桁	139.756
	垂直補剛材	9.196
	横桁	13.662
	横構	17.510
	対傾構	6.252
	主桁	7.364
	PL	0.228
	横桁	0.542
	対傾構	1.209
	補剛材	2.008
	床版	1.832
	地覆	0.914
	高欄	21.349
支承	1.040	
1径間 合計	222.862	

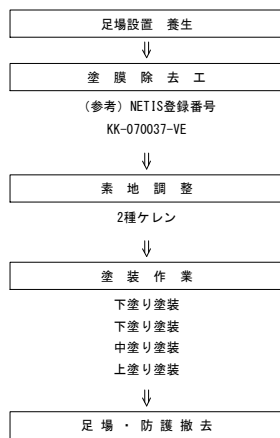
径間	部位	面積 (m2)
2径間	ささら桁(階段部)	12.750
	蹴上げ	9.000
	踏み板(桁下)	9.000
	主桁	8.934
	横桁	6.072
	補剛材	1.070
	床版	3.919
	地覆	1.371
	高欄	27.781
	支承	0.560
	踏み板(橋面) ※1	9.000
	踊り場 ※1	2.400
	2径間 合計	91.857

径間	部位	面積 (m2)
3径間	ささら桁(階段部)	6.560
	蹴上げ	4.500
	踏み板(桁下)	4.500
	主桁	4.228
	横桁	3.018
	床版	2.210
	排水桶	0.573
	橋脚	11.988
	高欄	16.986
	踏み板(橋面) ※1	4.500
踊り場 ※1	2.250	
3径間 合計	61.313	

径間	部位	面積 (m2)
4径間	ささら桁(階段部)	14.718
	蹴上げ	10.350
	踏み板(桁下)	9.900
	主桁	4.514
	横桁	8.313
	床版	5.126
	排水桶	1.238
	PL	0.144
	橋脚	12.916
	高欄	39.675
踏み板(橋面) ※1	9.900	
踊り場 ※1	5.025	
4径間 合計	121.819	

※1 踏み板(橋面)、踊り場の表面は薄層舗装のため、素地調整～防食下地のみ計上とする。

塗替塗装工程



塗替塗装工 総数量表 (側道橋)

塗装工程	施工面積 (m2)	備考
素地調整～防食下地	497.851	
下塗(2層)～上塗	464.776	踏み板(橋面)、踊り場を除く

※明細は、数量計算書を参照のこと。

注記)

- この図面は、現地調査を基に作成したものであり、詳細寸法を確定したものである。内寸法は想定値を示す。
- 施工にあたっては、現地調査を行い再計測、再確認を実施し、数量を算出して工事に反映させること。
- 旧塗膜除去前は、作業時に干渉する恐れのある防鳥ネット、スバイク、目隠し板、据隠し板を撤去すること。
- 旧塗膜除去は、水系の湿式塗膜剥離剤を選定した。(参考) NETIS登録番号：KK-070037-VE
- 塗膜剥離剤は2回塗りとし、1回当りの塗布量は1kg/m2を想定している。ただし、塗布量については剥離試験を実施し、適切な使用量を決定すること。
- 旧塗膜については、塗膜剥離剤により完全除去することを想定している。塗膜剥離剤2回塗りを行い、旧塗膜が除去しきれなかった場合は、部分的に3回塗りを実施すること。それでも除去しきれない場合は、作業者の安全確保、周辺環境への飛散防止対策を確実に講じた上でケレン作業を実施すること。
- 塗装前は、付着塩化物質が50mg/m2以下になっていることを確認したあと、塗装を実施すること。
- 塗替え色は現況を基本に考えるが、事前協議を実施した上で決定すること。

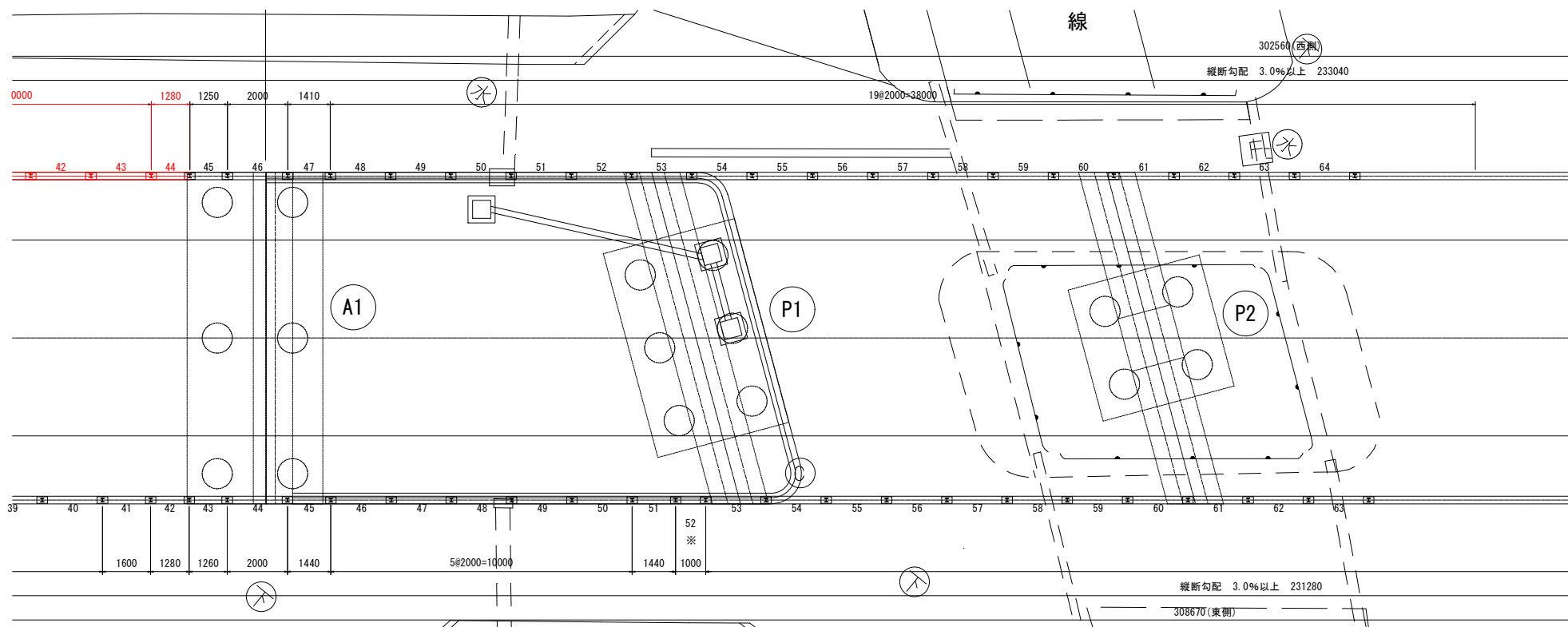
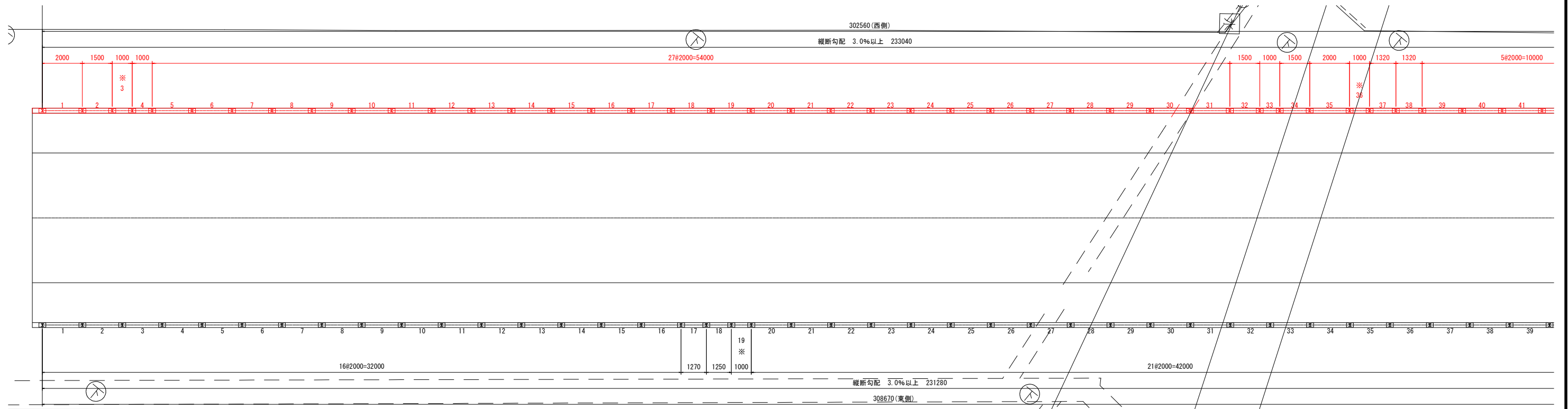
令和4年度 事業	
魚住陸橋補修耐震(その4)工事	
明石市魚住町西岡 地内	
補修図(22)【側道橋】	24
縮尺 図示	30
明石市	

補修図(23)【本橋】

落下物防止柵取替工(その1)

S=1:100

割付図(その1)



注)1. 施工にあたっては再度補修寸法を確認の上行うこと。
2. 平面の現地地形線は、実測ではないため注意すること。

令和4年度 事業	
魚住陸橋修繕耐震(その4)工事	
明石市魚住町西岡 地内	
補修図(23)【本橋】	25
縮尺 1:100	30
明石市	

補修図（24）【本橋】

落下物防止柵取替工（その2）

割付図（その2）

西側

パネル 番号	支柱 間隔	パネル 番号	支柱 間隔
1	2.000	31	2.000
2	1.500	32	1.500
3※	1.000	33	1.000
4	1.000	34	1.500
5	2.000	35	2.000
6	2.000	36※	1.000
7	2.000	37	1.320
8	2.000	38	1.320
9	2.000	39	2.000
10	2.000	40	2.000
11	2.000	41	2.000
12	2.000	42	2.000
13	2.000	43	2.000
14	2.000	44	1.280
15	2.000		
16	2.000		
17	2.000		
18	2.000		
19	2.000		
20	2.000		
21	2.000		
22	2.000		
23	2.000		
24	2.000		
25	2.000		
26	2.000		
27	2.000		
28	2.000		
29	2.000		
30	2.000		

※は街灯部を示す。

西側

支柱 間隔	縦断勾配 3.0%以上	縦断勾配 3.0%未満	街灯部	全体
0.600				
1.000	2		2	4
1.050				
1.060				
1.150				
1.200				
1.230				
1.250				
1.280	1			1
1.320	2			2
1.410				
1.500	3			3
1.520				
2.000	34			34
合計	42		2	44

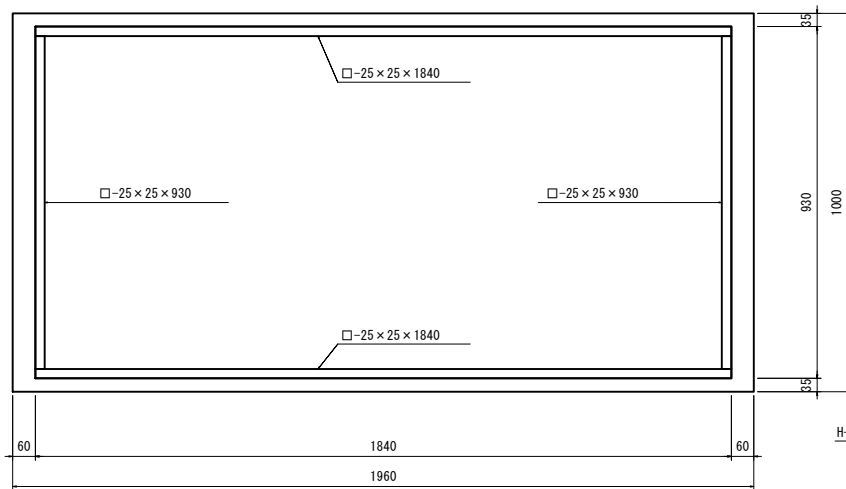
補修図(25)【本橋】

落下物防止柵取替工(その3)

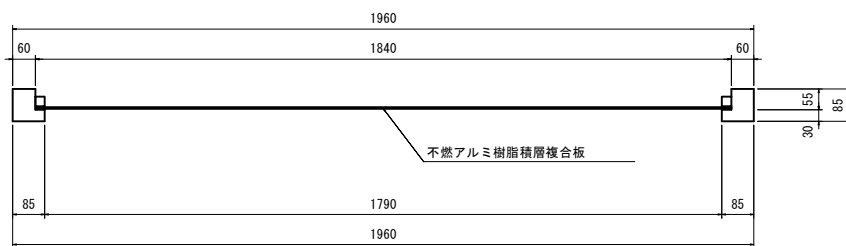
パネル正面図



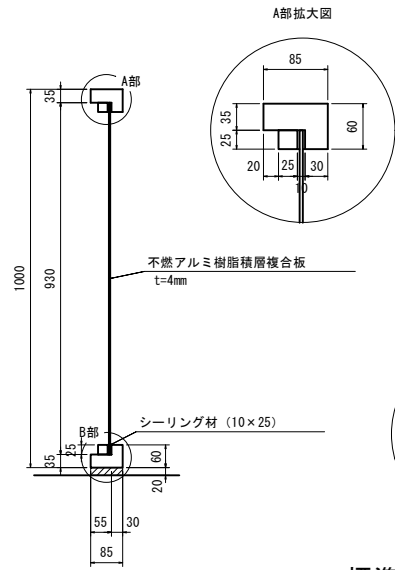
パネル背面図



B - B



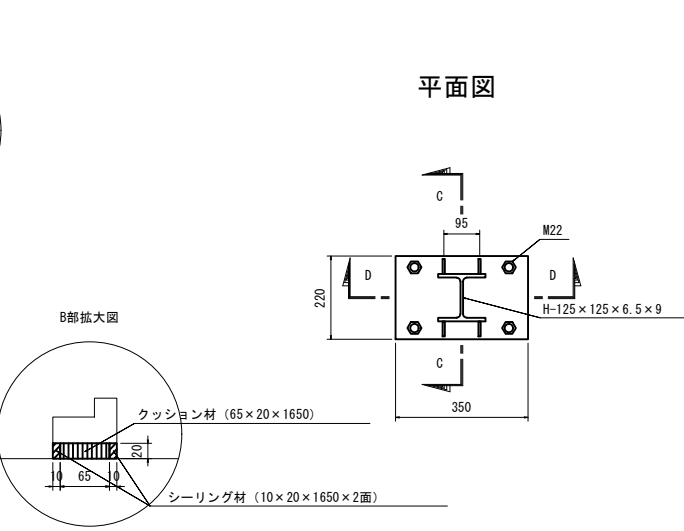
A - A



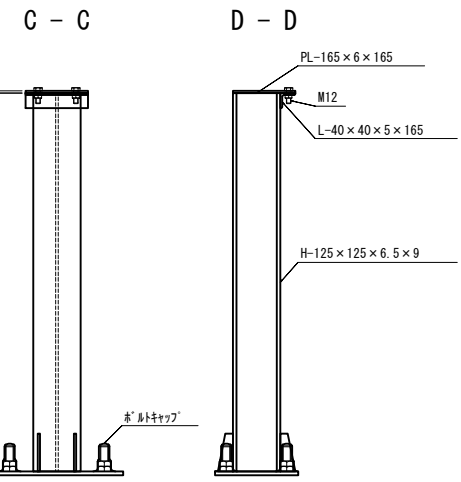
落下物防止柵詳細図

S=1:10

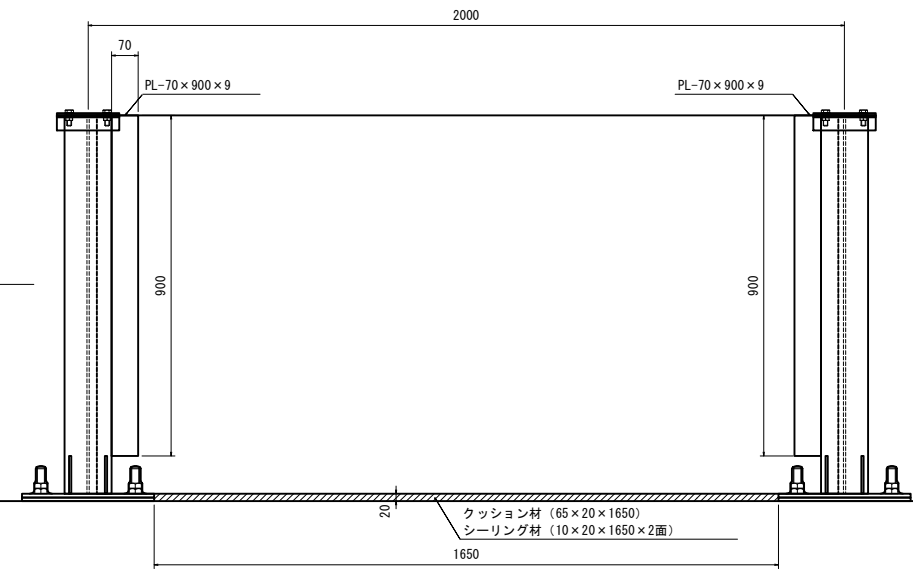
標準部詳細図



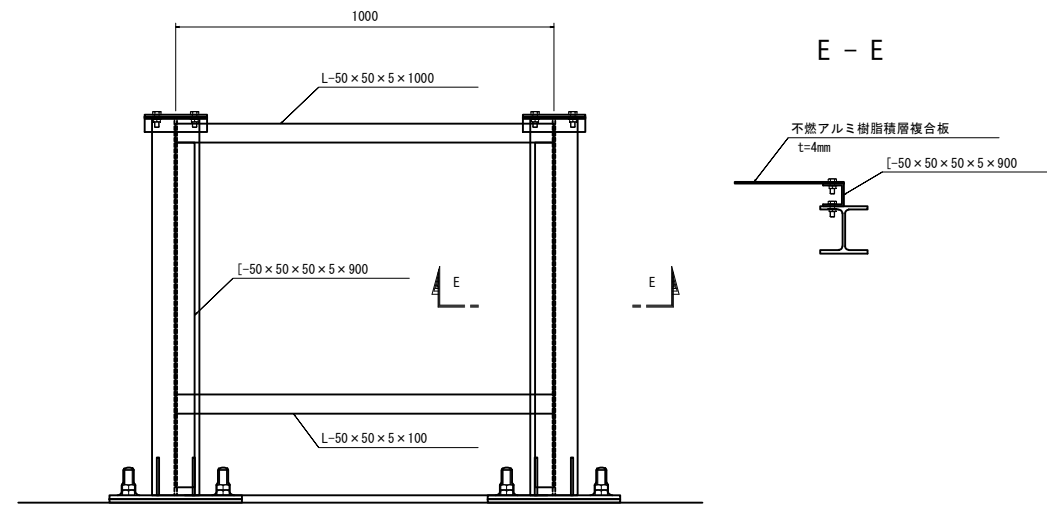
支柱詳細図



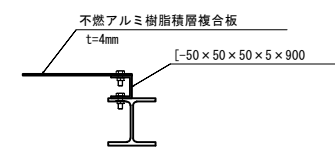
伸縮部詳細図



街灯部詳細図



E - E



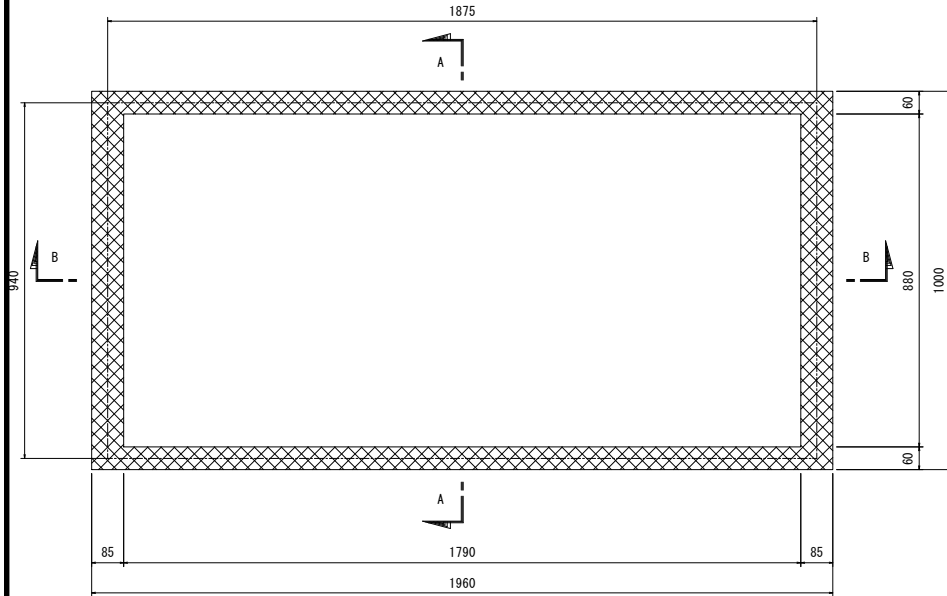
注)1. 施工にあたっては再度補修寸法を確認の上行うこと。

令和4年度 事業	
魚住陸橋修繕耐震(その4)工事	
明石市魚住町西岡 地内	
補修図(25)【本橋】	27
縮尺	1:10
明石市	

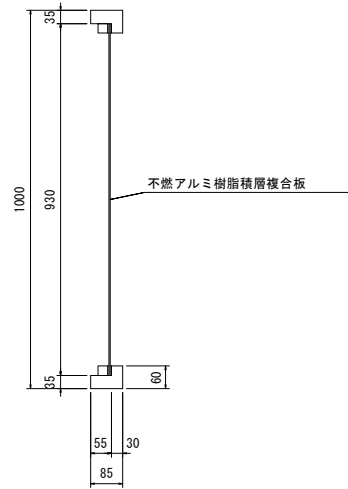
補修図(26)【本橋】

落下物防止柵取替工(その4)

パネル正面図



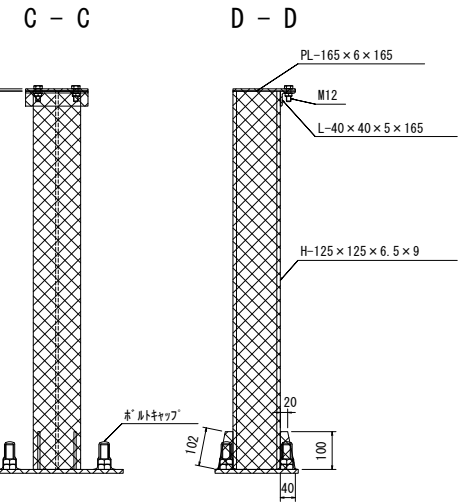
A - A



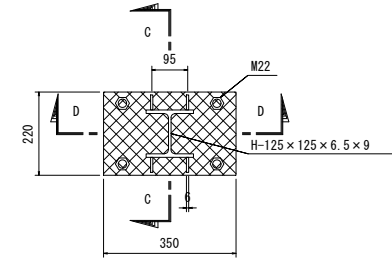
塗装塗替工図

S=1:10

支柱詳細図



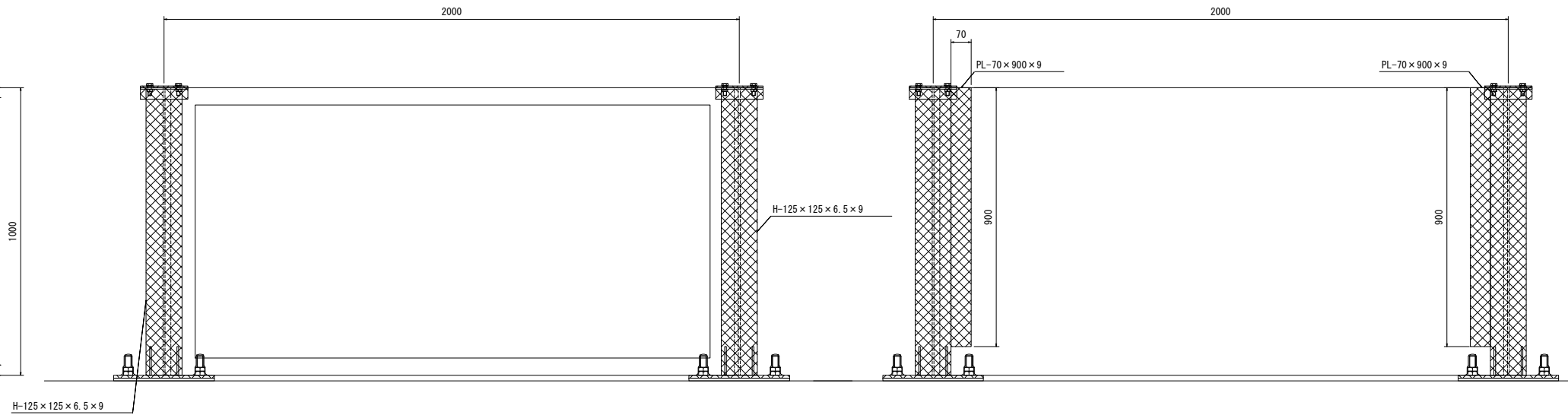
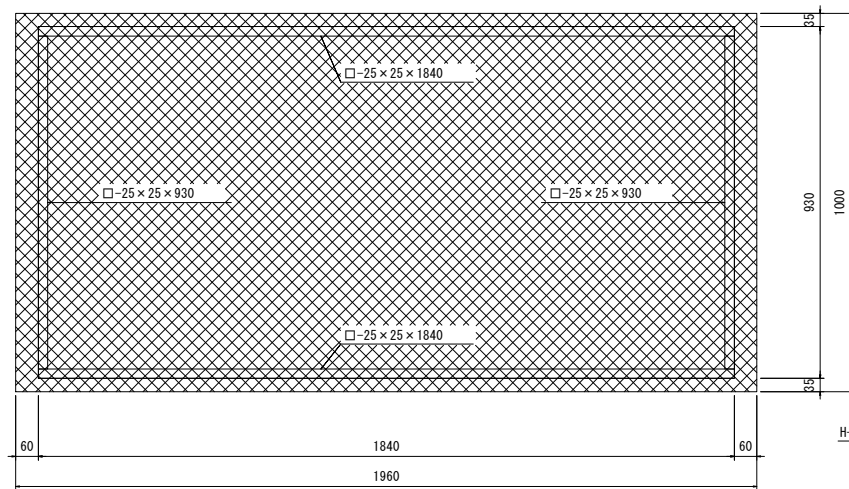
平面図



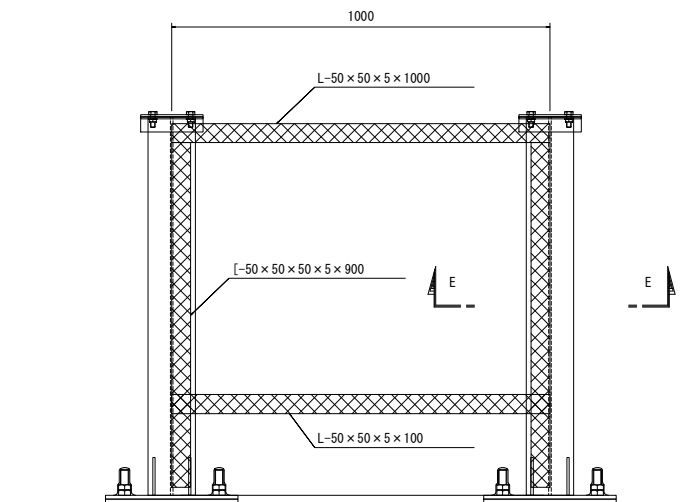
標準部詳細図

伸縮部詳細図

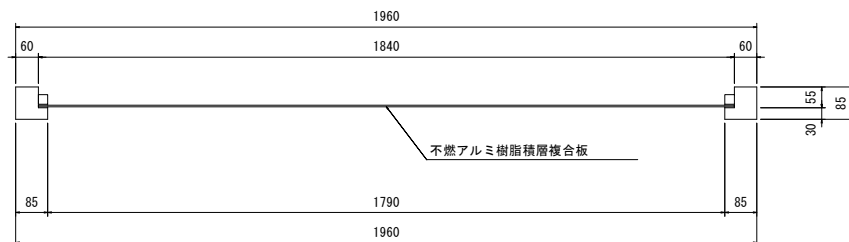
パネル背面図



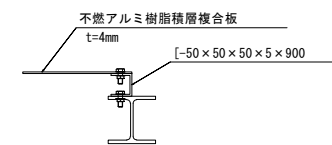
街灯部詳細図



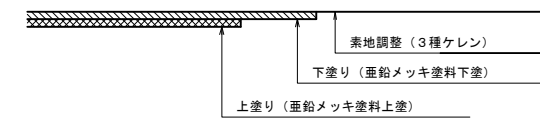
B - B



E - E



塗装塗替工 詳細図



塗装工程	塗料名	塗布量 (g/m ²)	実塗布量 (g/m ²)	
			ハケ	スプレー
素地調整	3種			
下塗り	亜鉛メッキ塗料下塗り	250	300	325
上塗り	亜鉛メッキ塗料上塗り	250	300	325

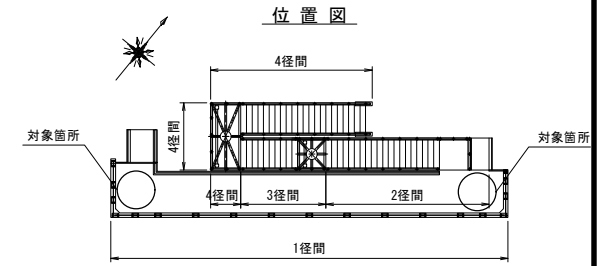
※ローバルカタログ値より

注)1. 施工にあたっては再度補修寸法を確認の上行うこと。

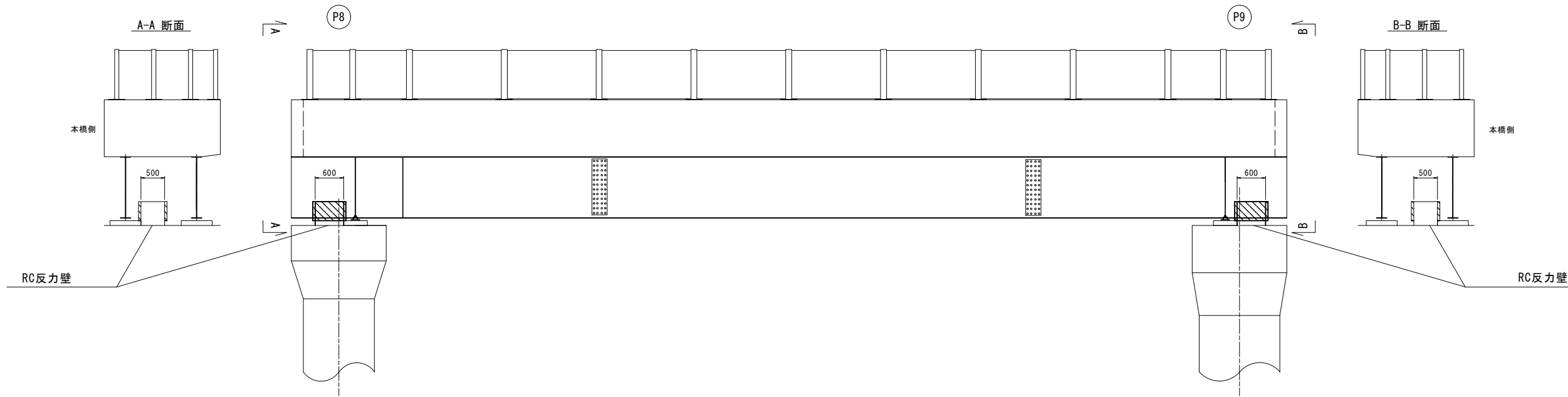
令和4年度 事業	
魚住陸橋修繕耐震(その4)工事	
明石市魚住町西岡 地内	
補修図(26)【本橋】	28
縮尺	1:10
明石市	

補修図 (27) 【側道橋】

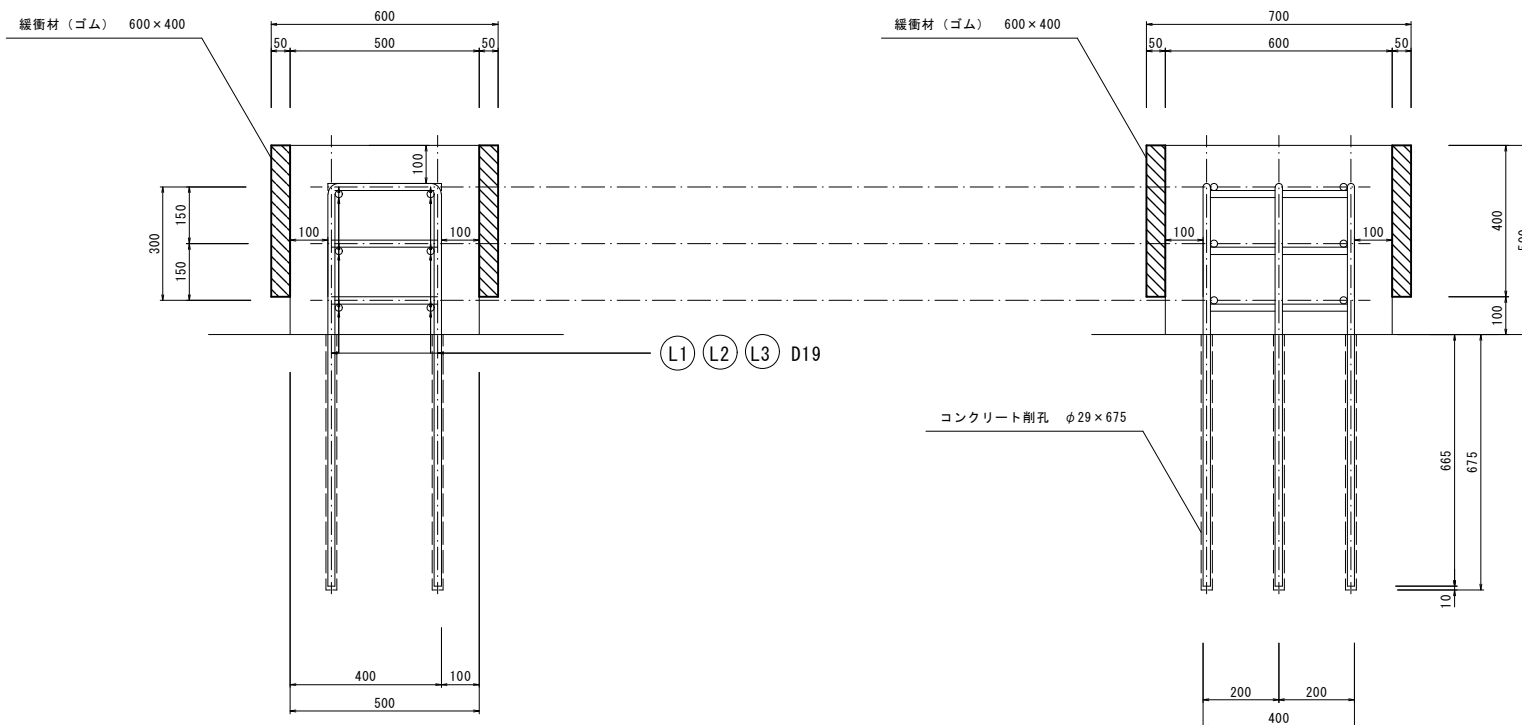
RC反力壁工図



1径間目 側面図 S=1:100



構造詳細図 S=1:20

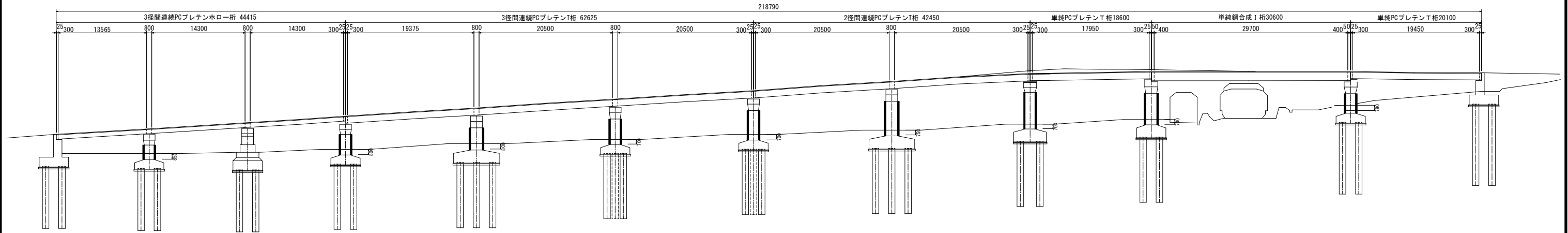


令和4年度 事業	
魚住陵橋修繕耐震 (その4) 工事	
明石市魚住町西岡 地内	
補修図 (27) 【側道橋】	29
縮尺 図示	30
明石市	

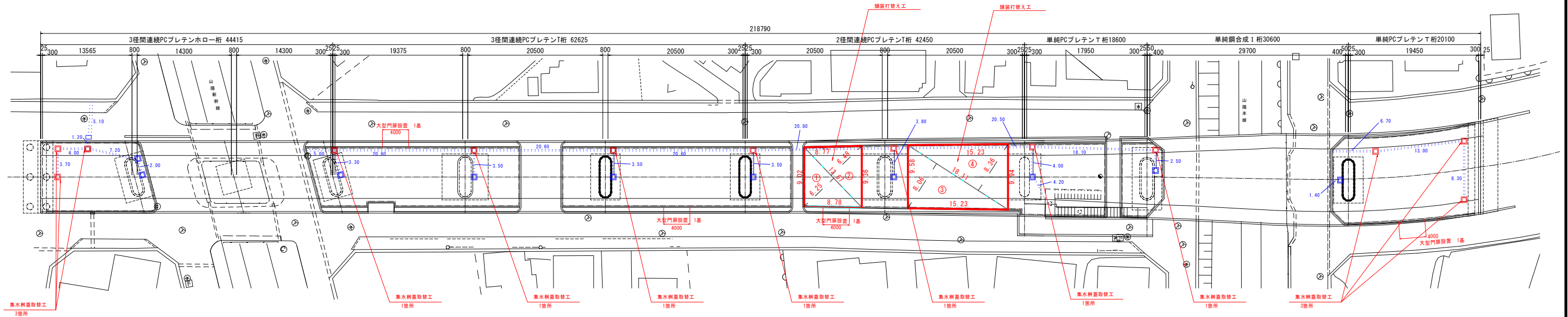
付帯工図

構造物撤去復旧工図

側面図

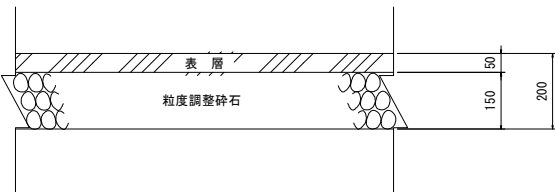


平面図 S=1:300



舗装構成図

S=1:10



※舗装厚は想定のため撤去時確認すること。

記号	底辺	高さ	倍面積
1	12.67	6.25	79.19
2	12.67	6.48	82.10
3	18.11	8.06	145.97
4	18.11	8.36	151.40
倍面積			458.66
面積			229.33

舗装切断工 (t=5cm)
L = 9.02+8.77+9.36+8.78+9.58+15.23+9.94+15.23 = 85.91m

復旧数量集計表

	A1	P1	P3	P4	P5	P6	P7	P8	P9	P10	A2	合計	備考
集水樹蓋取替工	3箇所	-	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	-	3箇所	13箇所	グレーチング蓋 700×700
集水樹清掃工	3箇所	3箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	1箇所	3箇所	24箇所	樹 600×600
排水管清掃工	14.00m (3.70+4.00+1.20+5.10)	8.40m (7.20+1.20)	8.30m (5.00+3.30)	24.10m (20.60+3.50)	24.10m (20.60+3.50)	24.10m (20.60+3.50)	24.60m (20.80+3.80)	24.50m (20.50+4.00)	20.60m (18.10+2.50)	1.40m	28.00m (6.70+13.00+8.30)	202.10m	φ200
U型側溝清掃工	-	-	-	-	-	-	-	4.20m	-	-	-	4.20m	
橋面排水パイプ清掃	7.00m	10.20m	12.00m	12.50m	13.00m	13.40m	16.00m	16.90m	16.20m	15.00m	5.80m	138.00m	橋面集水樹含む
大型門扉設置	-	-	1箇所	-	1箇所	1箇所	-	-	-	1箇所	-	4箇所	

令和4年度 事業	
魚住陸橋修繕耐震(その4)工事	
明石市魚住町西岡 地内	
付帯工図	30
縮尺	1:300
明石市	30

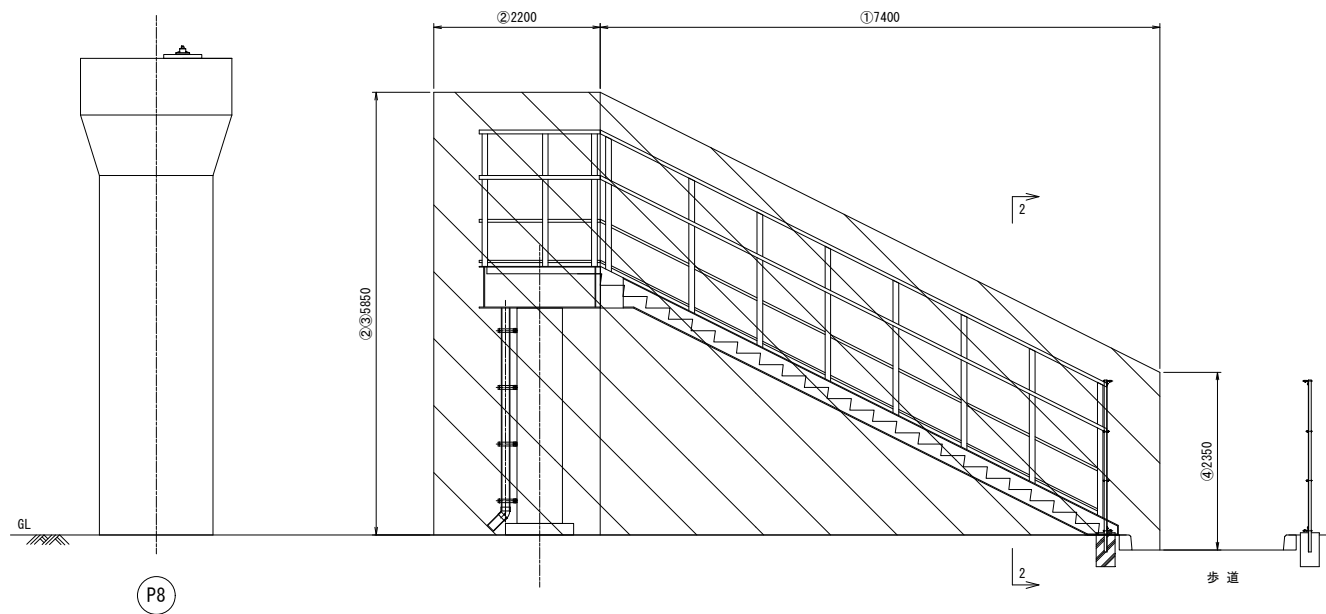
仮設工計画図（その1）《参考図》

足場工（その1）

4径間目 単管足場

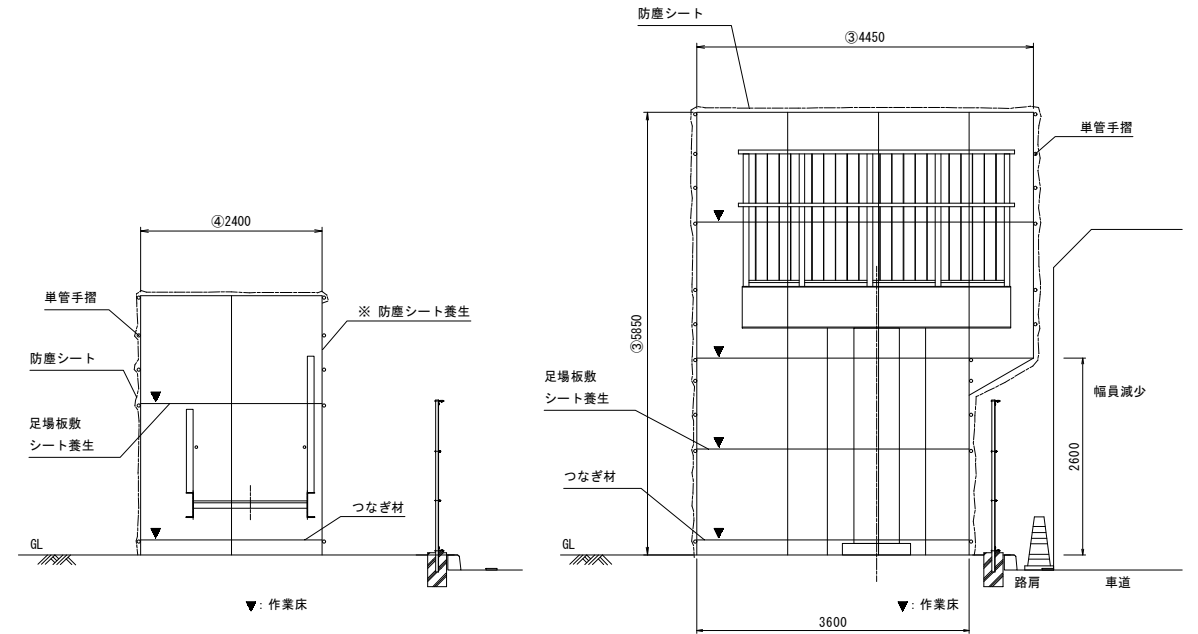
側面図 S=1:100

1-1



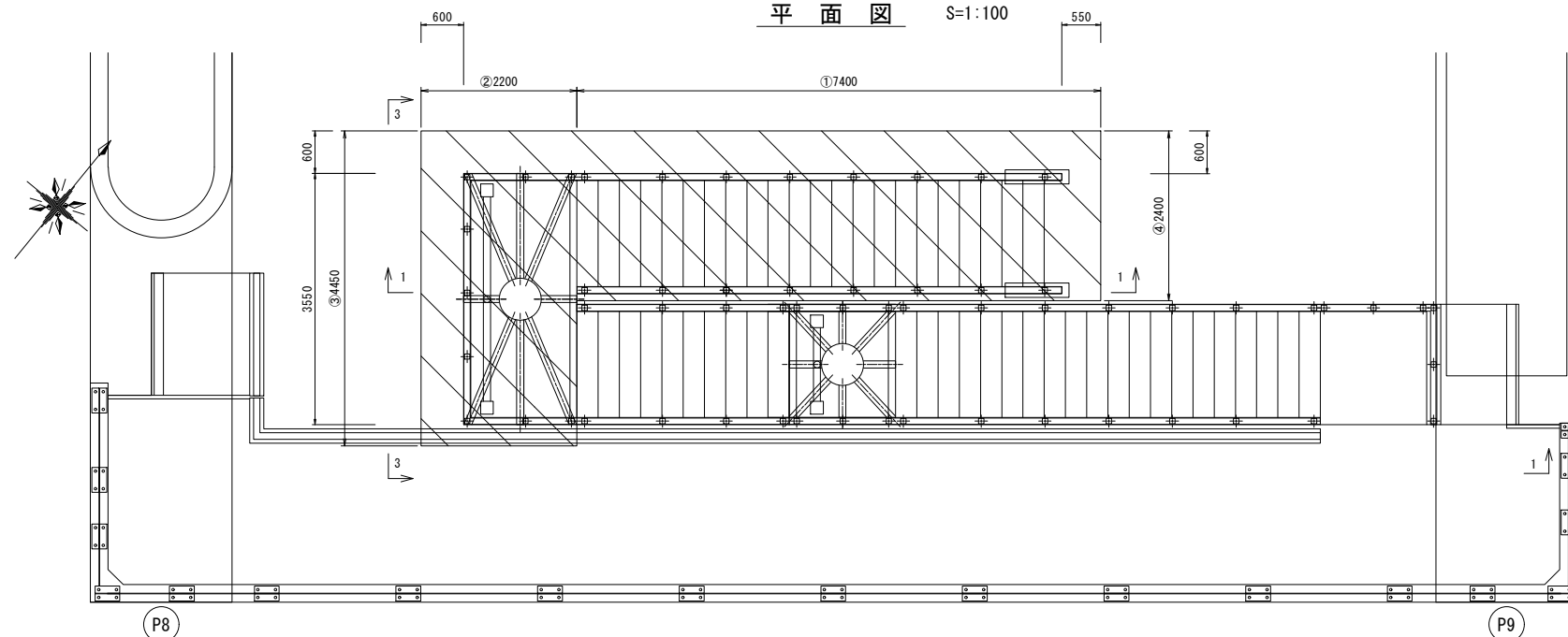
標準断面図 S=1:50

2-2



※ 剥離塗膜の飛散防止対策として、防塵シートは全周を囲って設置すること

平面図 S=1:100



単管足場 総数量表

位置	面積 (掛m ²)
①~④	75.163
⑤~⑨	224.935
⑩~⑬	39.060
合計	339.158

※明細は、数量計算書を参照のこと。

主体吊り足場 総数量表

位置	面積 (m ²)
⑭	41.650
合計	41.650

※明細は、数量計算書を参照のこと。

地覆り足場 総数量表

位置	面積 (m ²)
⑮~⑰	17.336
合計	17.336

※明細は、数量計算書を参照のこと。

上空シート養生（単管足場）
総数量表

位置	面積 (m ²)
①~④	27.550
⑤~⑨	31.000
⑩~⑬	8.680
合計	67.230

※明細は、数量計算書を参照のこと。

注記)

- この図面は、現地調査を基に作成したものであり、詳細寸法を確定したものではない。
①内寸法は想定値を示す。
- 施工にあたっては、現地調査を行い再計測、再確認を実施し、数量を算出して工事に反映させること。

令和4年度 事業	魚住陸橋修繕耐震（その4）工事
所在地	明石市魚住町西岡 地内
図面名称	仮設工計画図（その1） 《参考図》
縮尺	1:300
発行	明石市

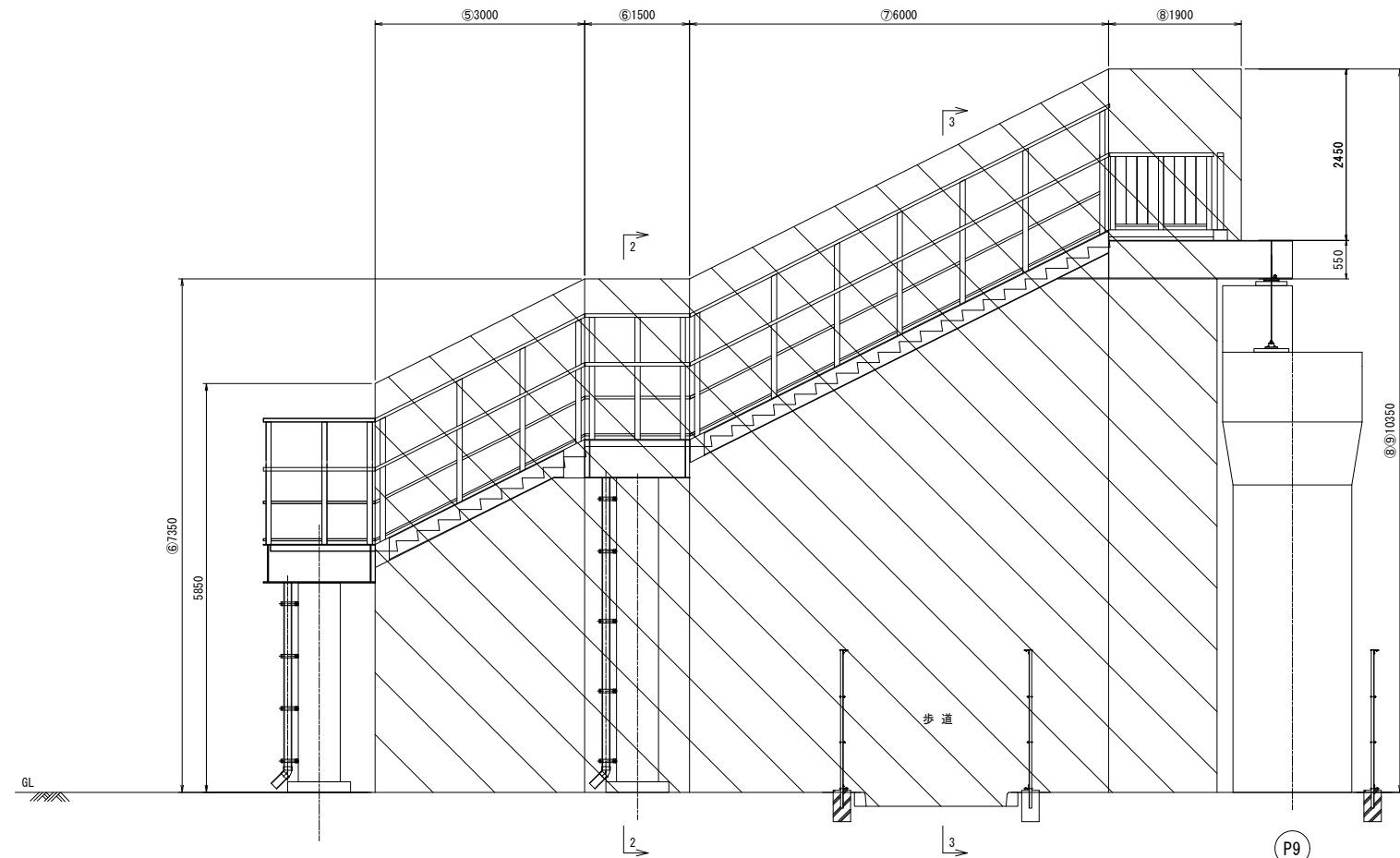
仮設工計画図（その2）《参考図》

足場工（その2）

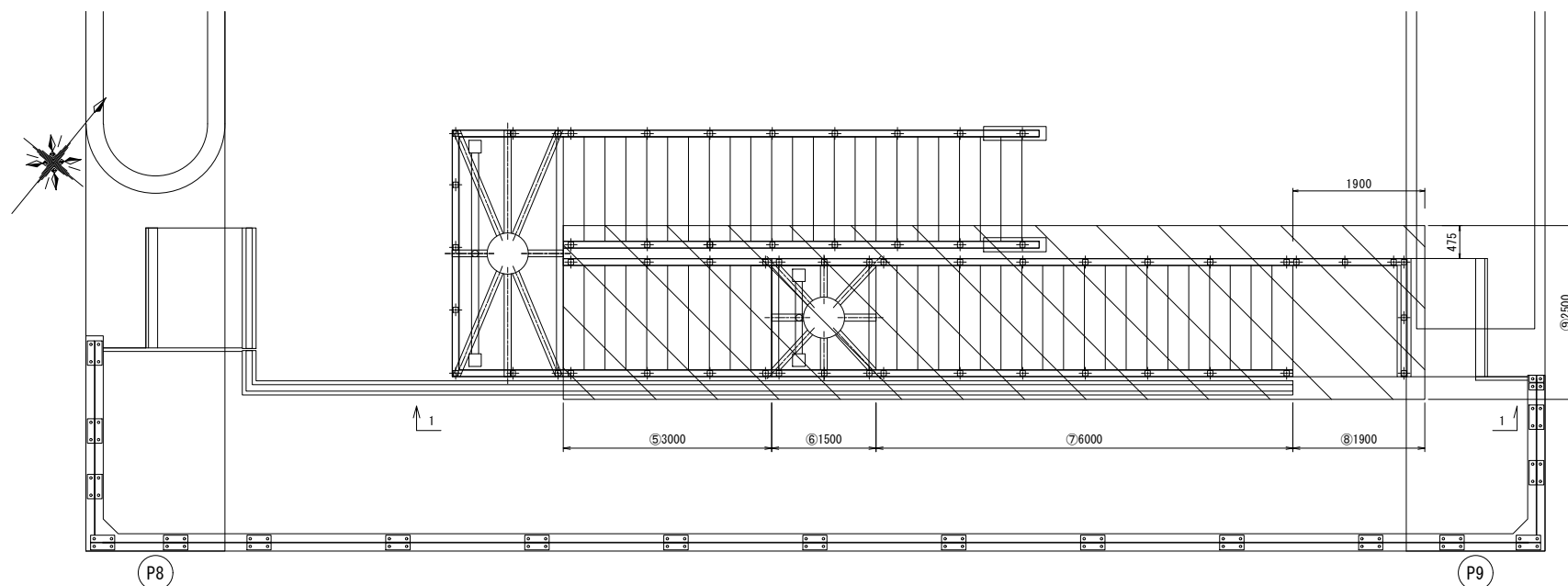
2、3径間目 単管足場

側面図 S=1:100

1-1

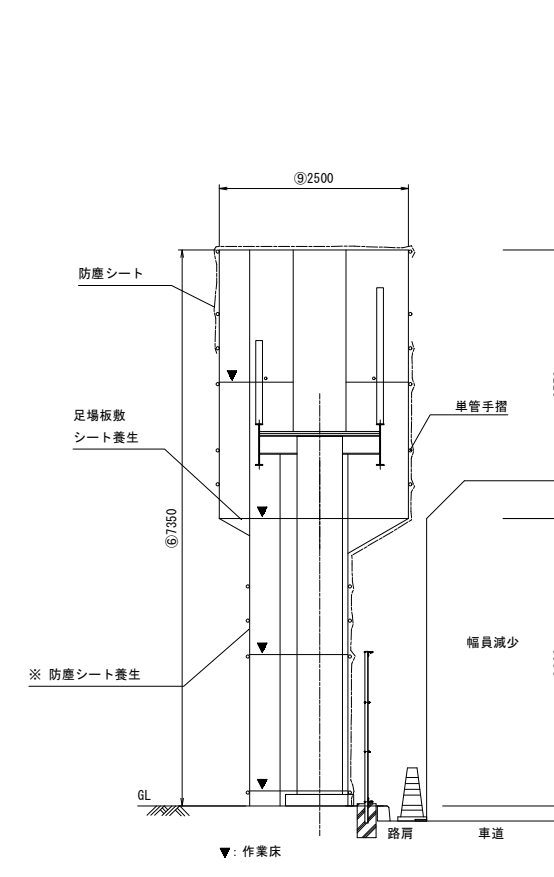


平面図 S=1:100

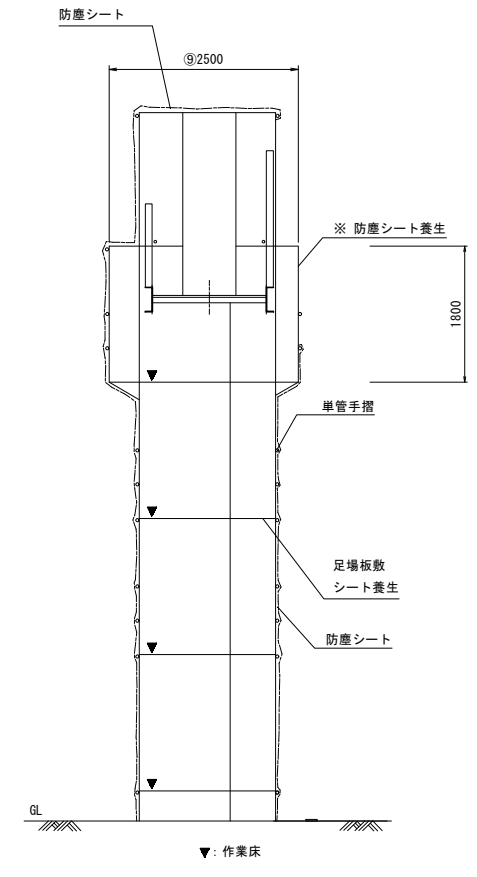


標準断面図 S=1:50

2-2



3-3



※ 剥離塗膜の飛散防止対策として、防塵シートは全周を囲って設置すること

- 注記)
- この図面は、現地調査を基に作成したものであり、詳細寸法を確定したものではありません。○内寸法は想定値を示す。
 - 施工にあたっては、現地調査を行い再計測、再確認を実施し、数量を算出して工事に反映させること。

令和4年度 事業	魚住陸橋修繕耐震（その4）工事
	明石市魚住町西岡 地内
仮設工計画図（その2） 《参考図》	
縮尺	1:300
明 石 市	

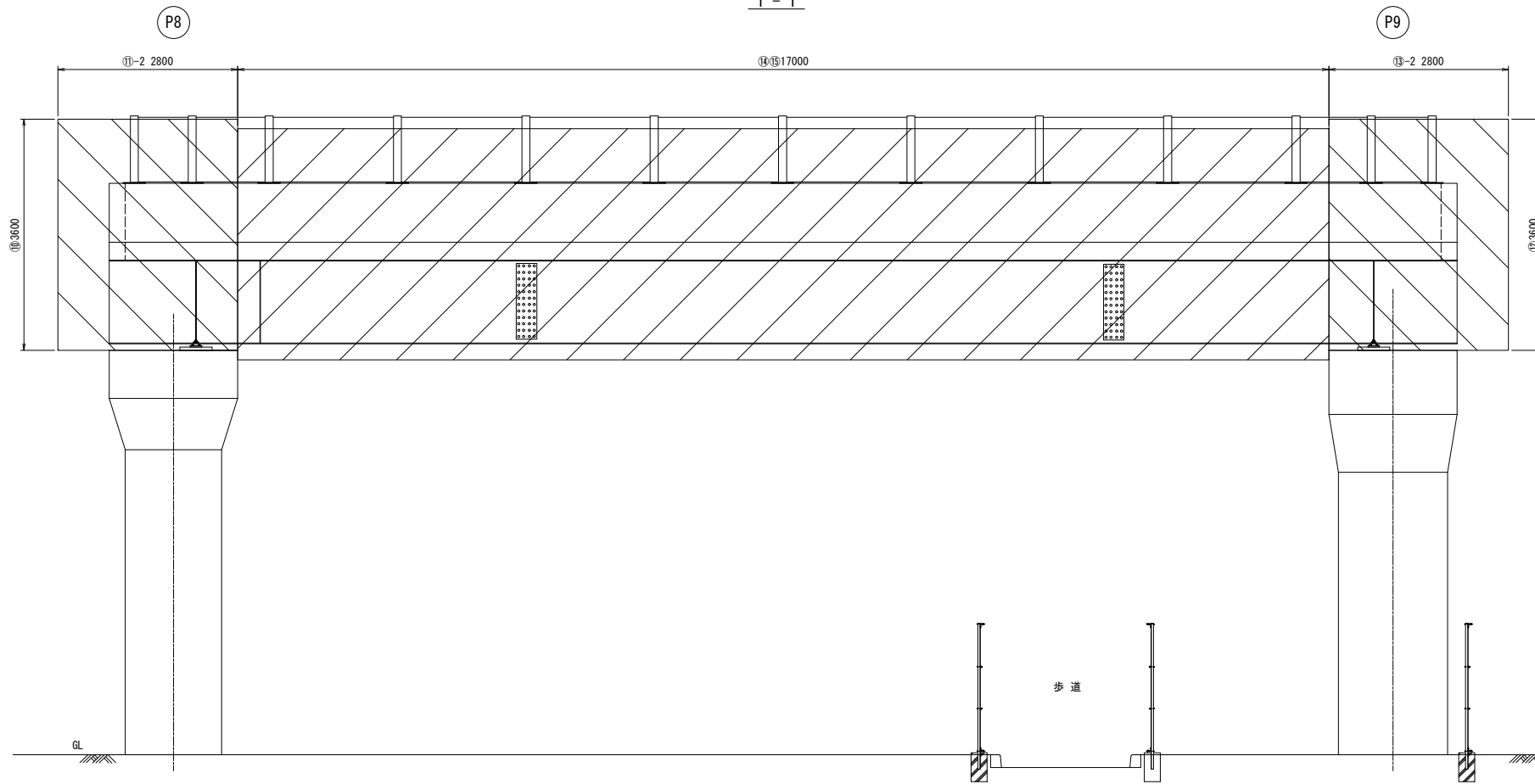
仮設工計画図（その3）《参考図》

足場工（その3）

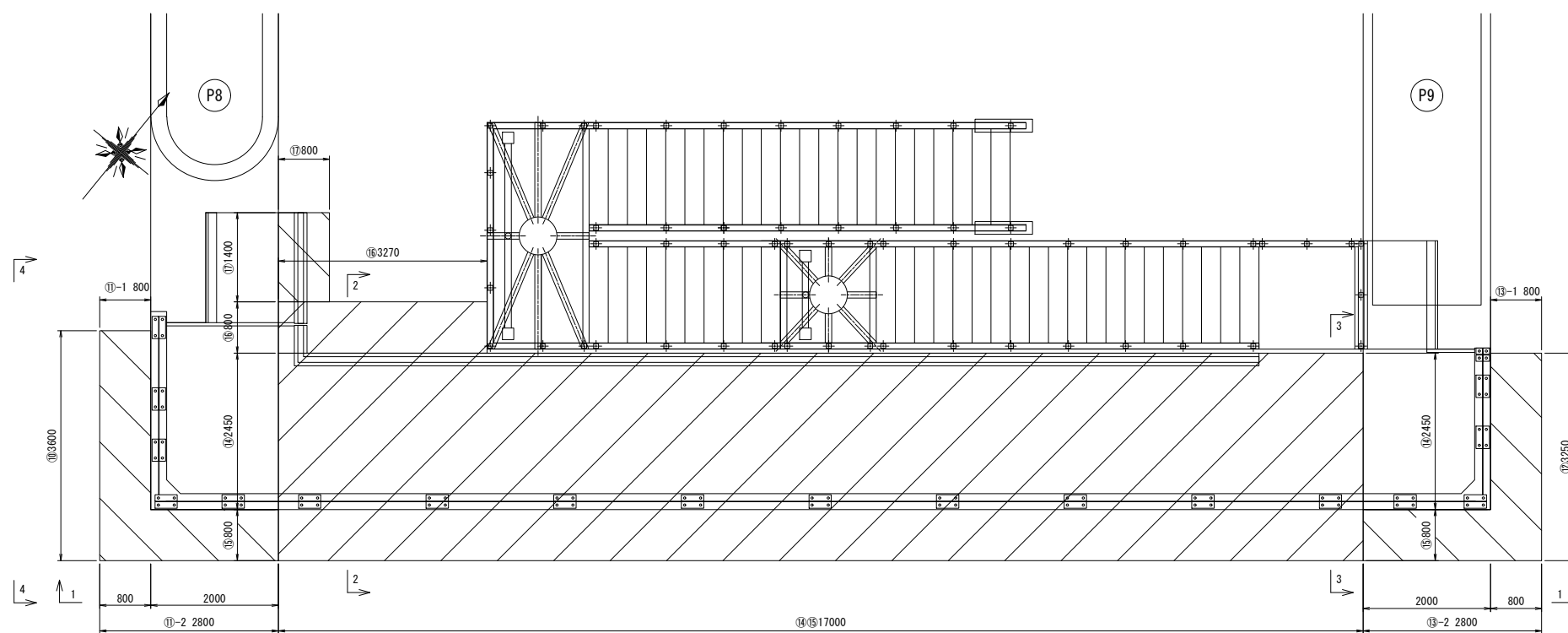
1径間目 吊足場・単管足場

側面図 S=1:100

1-1

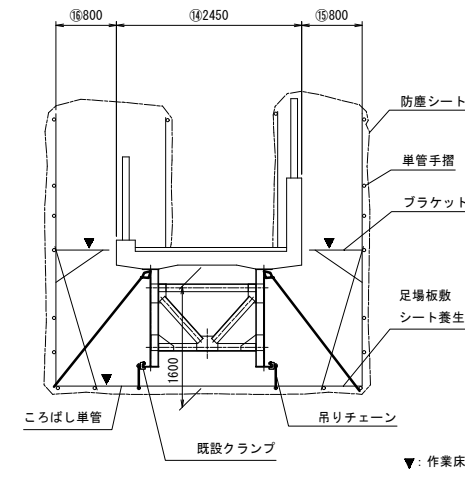


平面図 S=1:100

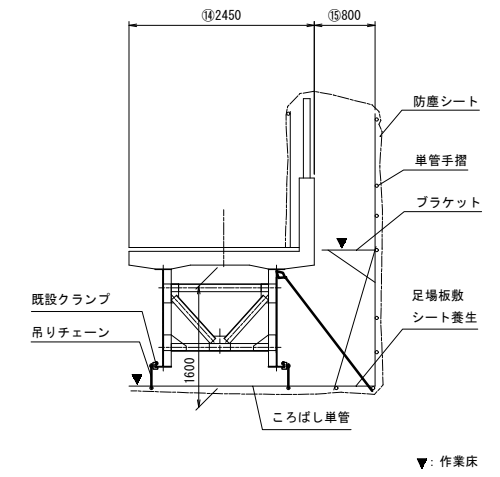


標準断面図 S=1:50

2-2

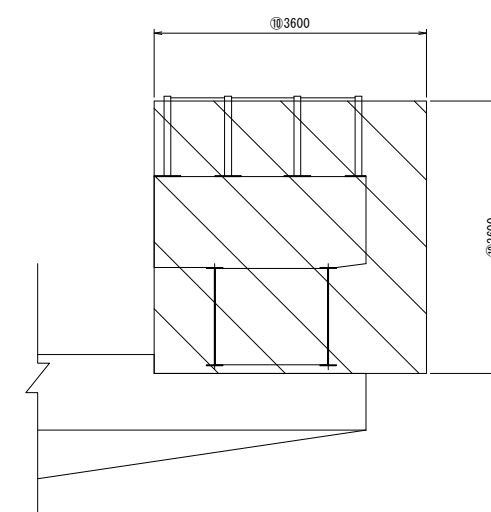


3-3



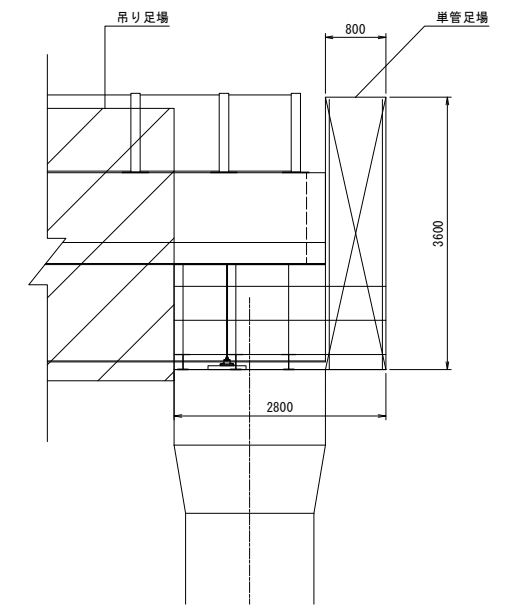
※ 剥離塗膜の飛散防止対策として、防塵シートは全周を囲って設置すること

4-4



P8・P9橋脚

単管足場参考図 S=1:50



※ 吊り足場と単管足場をつなげること

令和4年度 事業	魚住陸橋修繕耐震（その4）工事
明石市魚住町西岡 地内	
仮設工計画図（その3） 《参考図》	
縮尺	1:300
明石市	

令和04年度 魚住陸橋修繕耐震（その4）工事

見積参考図書
（当初設計）

工事番号

路線名等 市道魚住210号線

工事箇所 明石市魚住町西岡地内

工 種 橋梁保全

総括情報表

単価適用年月日	0-04.12.01(0)		
工種区分 (公共) 施工地域区分	今 回 31 橋梁保全 30 市街地(DID補正)(1)-1	前 回	

工事費内訳書

	費目・工種・種別・細目	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費											
橋梁保全工事											
舗装工											
薄層カー舗装工											
舗装版破碎											
		1			式						工種 第0001号明細表
薄層カー舗装											
		1			式						工種 第0002号明細表
橋梁付属物工											
伸縮継手工											
目地補修											
		1			式						工種 第0003号明細表

工事費内訳書

費目・工種・種別・細目	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
横断歩道橋工										
横断歩道橋工										
側板										
	1			式						工種 第0004号明細表
防鳥対策工										
	1			式						工種 第0005号明細表
橋梁補修工										
ひび割れ補修工										
低圧注入工法										
	1			式						工種 第0006号明細表
断面修復工										
左官工法										
	1			式						工種 第0007号明細表

工事費内訳書

費目・工種・種別・細目	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
下塗										
	1		式						工種 第0013号明細表	
中塗										
	1		式						工種 第0014号明細表	
上塗										
	1		式						工種 第0015号明細表	
構造物撤去工										
運搬処理工										
殻運搬										
	1		式						工種 第0016号明細表	
殻処分										
	1		式						工種 第0017号明細表	
仮設工										
足場工										

工事費内訳書

費目・工種・種別・細目	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
技術管理費										
				式						
土質等試験費										
	1			式					工種	第0023号明細表
安全費										
				式						
鉛等呼吸用保護具等費用										
	1			式					工種	第0024号明細表
共通仮設費率分										
				式						
純工事費計										
現場管理費										
				式						
工事原価計										
一般管理費等										
				式						

工事費内訳書

費目・工種・種別・細目	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
附帯工事費(1)										
道路維持										
道路清掃工										
排水施設清掃工										
側溝清掃(人力)										
管渠清掃	1			式					工種	第0025号明細表
柵清掃	1			式					工種	第0026号明細表
橋梁清掃工	1			式					工種	第0027号明細表
排水管清掃	1			式					工種	第0028号明細表

工事費内訳書

費目・工種・種別・細目	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
標識撤去・復旧										
	1			式						工種 第0044号明細表
排水構造物撤去工										
蓋版撤去										
	1			式						工種 第0045号明細表
道路付属施設撤去・復旧工										
立入防止柵復旧										
	1			式						工種 第0046号明細表
道路植栽撤去										
	1			式						工種 第0047号明細表
運搬処理工										
殻運搬										
	1			式						工種 第0048号明細表
殻処分										
	1			式						工種 第0049号明細表

工事費内訳書

	費目・工種・種別・細目	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	仮設工										
	足場工										
	高所作業車										
	交通管理工	1			式						工種 第0050号明細表
	交通誘導警備員										
		1			式						工種 第0051号明細表
	直接工事費計										
	共通仮設費計										
	技術管理費										
	土質等試験費						式				
		1			式						工種 第0052号明細表

工事費内訳書

	費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設費率分						
			式			
純工事費計						
現場管理費						
			式			
工事原価計						
一般管理費等						
			式			
工事価格						
消費税相当額						
			式			
合 計						
工事価格計						

工事費内訳書

	費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
消費税相当額						
総 計			式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
モルタル練 高炉 混合比→1:3 0.41+0.89=1.30	1	m ³			施工 第0-0003号内訳表
樹脂モルタル舗装工	28	m ²			施工 第0-0004号内訳表
ノンスリップ ハイステップスリム同等品以上 NSP-40 (S, F) 40×17mm ステンレス	74	m			
端部処理 見積り歩掛	59	m			施工 第0-0005号内訳表
枿清掃(人力清掃工) 有蓋 25cm未満	1	箇所			施工 第0-0006号内訳表
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
側板取外し 37.9+7.7=45.6	45	m2			施工 第0-0008号内訳表
側板取付 側板の加工費を含む 37.9+7.7=45.6	45	m2			施工 第0-0009号内訳表
ポリカーボネート樹脂版 (PC) t=3.0mm (特寸) 耐侯グレード 無色透明	45	m2			
Uボルト 呼び径80 (75)	694	個			
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
既設スパイク撤去					
	92	m			
鳥害対策スパイク設置 ピーコンスパイクVST同等品以上					
	92	m			
鳥害対策スパイク ピーコンスパイクVST同等品以上					
	92	m			
既設ネット撤去					
	54	m ²			
鳥害対策ネット設置 ピーコンネット50同等品以上					
	54	m ²			
鳥害対策ネット ピーコンネット50同等品以上					
	54	m ²			
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
水系塗膜剥離剤 ネオリバー泥パック橋梁用TypeⅡ同等品以上 水系（エマルジョン系）	1,250	kg			
塗膜除去工（塗膜剥離剤） 機材・労務 鈹桁構造・箱桁構造・時間制約なし	97	m2			
塗膜除去工（塗膜剥離剤） 機材・労務 横断歩道橋・側道橋・時間制約なし	990	m2			
廃材の回収・積込 手間のみ	1,090	m2			
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
塗替塗装 [清掃・水洗い]	48	m2			施工 第0-0016号内訳表
塗替塗装 [清掃・水洗い]	490	m2			施工 第0-0017号内訳表
塗替塗装 [素地調整] 2種ケレン (動力工具と手工具の併用)	48	m2			施工 第0-0018号内訳表
塗替塗装 [素地調整] 2種ケレン (動力工具と手工具の併用)	490	m2			施工 第0-0019号内訳表
合 計	1	式			

下塗

工種明細表

工種 第0013号明細表

頁0-0029/0152

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
塗替塗装〔下塗り〕 有機ゾンクリッチペイント(ハケ・ローラーⅡ)2回塗り/層	48	m2			施工 第0-0020号内訳表
塗替塗装〔下塗り〕 有機ゾンクリッチペイント(ハケ・ローラーⅡ)2回塗り/層	490	m2			施工 第0-0021号内訳表
塗替塗装〔下塗り〕 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(ハケ・ローラー)2層	48	m2			施工 第0-0022号内訳表
塗替塗装〔下塗り〕 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(ハケ・ローラー)2層	460	m2			施工 第0-0023号内訳表
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
化学防護服 D-13同等品以上 JIS T8115 type4	1,128	枚			
シューズカバー SF JIS T8115 type4の生地	1,128	足			
ニトリル手袋 消耗品	1,128	双			
廃棄袋 目安10kg/枚	256	枚			
負圧集じん機賃料 Novair2000同等品以上 (約56m ³ /min)	2.7	台月			
負圧集じん機基本管理料 1台×3か月	1	式			
負圧集じん機用1次フィルター 交換目安1枚/日	47	枚			
負圧集じん機用2次フィルター 交換目安1枚/3日	16	枚			
負圧集じん機用HEPAフィルター 交換目安3か月/個	1	個			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
排気用ポリチューブ 負圧集じん機用 0.1mm×φ350×100m	1	本			
吸気用PETクリアダクト 負圧集じん機用 φ300×30m	1	本			
吸気用インテークチャンバー 負圧集じん機用 吸気用	1	個			
エアーシャワー賃料 レンタル	2.7	台月			
エアーシャワー基本管理料 1台×3か月	1	式			
エアーシャワー用プレフィルター 交換目安1枚/週	7	枚			
エアーシャワー用HEPAフィルター 交換目安3か月/個	1	個			
セキュリティールームセット パイプ・シートセット (3部屋分) 約w=1.5m×d=4.5m×h=2.5m	1	セット			
出入口用ファスナー セキュリティールーム関連	2	個			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
足拭マット ニトクリーン同等品以上 600mm×900mm (30層)	1	個			
真空クリーナー賃料 GM80P同等品以上	2.7	台月			
真空クリーナー基本管理料 1台×3か月	1	式			
ブラホース・パイプ・ノズル3点セット 真空クリーナー用 消耗品	1	セット			
ダストパック 真空クリーナー用 消耗品	47	枚			
真空クリーナー用HEPAフィルター 交換目安3か月/個	1	個			
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
塗膜有害物質調査 (含有量試験) PCB	1	箇所			
塗膜有害物質調査 (溶出試験) PCB	1	箇所			
塗膜有害物質調査 (含有量試験) 鉛	1	箇所			
塗膜有害物質調査 (溶出試験) 鉛	1	箇所			
塗膜有害物質調査 (含有量試験) 六価クロム	1	箇所			
塗膜有害物質調査 (溶出試験) 六価クロム	1	箇所			
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
全面型電動ファンマスク Sy185-H同等品以上	6	台			
吸収缶 V3/OV同等品以上	564	個			
フィルターガード 汚れたら交換	6	個			
カバーガラス Sy185用	96	枚			
バッテリー Sy185用 BA-L2H	6	個			
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
型枠 一般型枠 小型構造物	2	m ²			施工 第0-0047号内訳表
鉄筋工 異形棒鋼 (SD345) D19mm	0.05	t			施工 第0-0048号内訳表
コンクリート 小型構造物	0.3	m ³			施工 第0-0049号内訳表
クロロレンゴム 単層 50mm	1	m ²			
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
落下物防止柵取替工 勾配 3%以上					
見積り歩掛	78	m			施工 第0-0052号内訳表
落下物防止柵取替工 道路照明部					
見積り歩掛	2	箇所			施工 第0-0053号内訳表
アンカーキャップ設置工					
見積り歩掛	180	本			施工 第0-0054号内訳表
合 計	1	式			

工種明細表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚->15cm以下	61	m			施工 第0-0041号内訳表
舗装版破碎(アスファルト舗装版) 撤去厚->4cmを超え10cm以下	10	m ²			施工 第0-0055号内訳表
土砂等運搬 (As) 土質->軟岩	0.5	m ³			施工 第0-0056号内訳表
処分費 アスファルト殻	1	式			施工 第0-0057号内訳表
床掘り 土砂 現場制約あり	3	m ³			施工 第0-0058号内訳表
土砂等運搬 土質->土砂(岩塊・玉石混り土含む)	3	m ³			施工 第0-0059号内訳表
処分費 土砂	1	式			施工 第0-0060号内訳表
型枠 一般型枠 小型構造物	23	m ²			施工 第0-0047号内訳表
コンクリート 小型構造物	4	m ³			施工 第0-0061号内訳表

下塗

工種明細表

工種 第0041号明細表

頁0-0060/0152

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
附属構造物塗替（鋼材露出部） 鉛・カムフー-さび止めペイント 下塗 防護柵類・落石防止柵類	270	m2			施工 第0-0064号内訳表
附属構造物塗替 鉛・カムフー-さび止めペイント 下塗 防護柵類・落石防止柵類	270	m2			施工 第0-0065号内訳表
附属構造物塗替 鉛・カムフー-さび止めペイント 下塗 防護柵類・落石防止柵類	270	m2			施工 第0-0065号内訳表
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
標識板撤去 [添架式標識板]	7	基			施工 第0-0068号内訳表
添架式標識取付金具設置 照明柱, 既設標識柱	7	基			施工 第0-0069号内訳表
標識板設置	7	基			施工 第0-0070号内訳表
警戒標識板 (アルミ全面反射) 耐食アルミ板 2mm厚 カプセルプリズム・カプセルレンズ型	10	m2			
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
名称・規格 抜根・除草 植込み地	150	m2			施工 第0-0072号内訳表
処分費 木の枝、幹、根	1	式			施工 第0-0073号内訳表
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準以外	30	m3			施工 第0-0074号内訳表
土砂等運搬 土質->土砂(岩塊・玉石混り土含む)	30	m3			施工 第0-0075号内訳表
処分費 土砂	1	式			施工 第0-0076号内訳表
下層路盤(歩道部) 全仕上り厚 t = 100 1層施工 再生クラッシャーラン RC-30, RC-40	153	m2			施工 第0-0077号内訳表
上層路盤(歩道部) 全仕上り厚 t = 100 1層施工 粒調碎石 M-25, M-30, M-40	153	m2			施工 第0-0078号内訳表
表層(歩道部) t = 50mm 密粒度アスコン[再](13)	153	m2			施工 第0-0079号内訳表
合計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
押抜き試験（剥落防止工） 報告書共	1	式			
付着試験（剥落防止工） 報告書共	1	式			
電磁波レーダ法 基本料	1	回			
電磁波レーダ法 下向き 1m×1m以内/箇所	2	箇所			
合 計	1	式			

コンクリートはつり
 [規格1] 平均はつり厚->3cmを超え6cm以下

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0001号内訳表

頁0-0072/0152
 m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	空気圧縮機 5m3/min [可搬式・エンジン駆動・スクェ型] 排出ガス対策型含			空気圧縮機(排出ガス対策型含) 可搬式エンジン 5.0m3/分			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	平均はつり厚 =2		3cmを超え6cm以下				

積込(コンクリート殻)
[規格1]

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0002号内訳表

頁0-0073/0152
m3 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)]			バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 0.8/0.6m3			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R							
Z1	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							

モルタル練
[規格1] 高炉 混合比->1:3

[規格2] 0.41+0.89=1.30

積算単価算出表

施工 第0-0003号内訳表

頁0-0074/0152
1
m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		セメント 高炉B 25kg袋入			高炉セメント(B種) (袋物25kg入り)			
Z2		砂 細目(洗い)			砂 洗砂			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	セメント種別	=3	高炉					
B	砂種類	=1	洗砂					
C	混合比	=3	1:3					

施工単価表

施工 第0-0005号内訳表

頁0-0076/0152

端部処理

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	単価	金額	備考
シリコン系シーリング 1成分形 JIS耐久区分9030G JIS A 5758 高モジュラス型	15.5	L			
土木一般世話役	1.0	人			1
普通作業員	1.0	人			1
防水工	3.0	人			1
諸雑費	3	%			
合 計	59.9	m			
単 位 当 り	1	m			

59.9 m 当り

施工単価表

施工 第0-0010号内訳表

頁0-0081/0152

ひび割れ補修工（低圧注入工法）

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
土木一般世話役		人			1
特殊作業員		人			1
普通作業員		人			1
注入材		kg			
シール材		kg			
低圧注入器具		個			
諸雑費		%			
単 位 当 り	1	構造物			
A 1 構造物当り補修延べ延長(m)		=14	1 構造物当り補修延べ延長(m)		
B ★★ 1 構造物当りの注入材使用量(kg)		=	★★ 1 構造物当りの注入材使用量(kg)		
C 1 構造物当りのシール材設計数量(kg)		=7	1 構造物当りのシール材設計数量(kg)		
D ★★ 1 構造物当りの低圧注入器具使用量(個)		=	★★ 1 構造物当りの低圧注入器具使用量(個)		
E ★★ 注入材の単価(円/kg)		=	★★ 注入材の単価(円/kg)		
F ★★ シール材の単価(円/kg)		=	★★ シール材の単価(円/kg)		
G ★★ 低圧注入器具の単価(円/個)		=	★★ 低圧注入器具の単価(円/個)		

施工単価表

施工 第0-0011号内訳表

頁0-0082/0152

断面修復工（左官工法）

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
土木一般世話役		人			1
特殊作業員		人			1
普通作業員		人			1
断面修復材		m3			
諸雑費		%			
単位当り	1	構造物			
A 作業区分		=1	鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理->有り		
B 1 構造物当りの延べ体積(m3)		=0.03	1 構造物当りの延べ体積(m3)		
C ★★断面修復材の単価(円/m3)		=	★★断面修復材の単価(円/m3)		

施工単価表

施工 第0-0012号内訳表

頁0-0083/0152

下地処理工

[規格1]足場施工・既設

[規格2]

[摘要]見積り歩掛

100

m2

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
工具 [ディスクサンダー] φ150	8	台			
ケレン刃	8	枚			
発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 2kVA	2	台			
レギュレーガソリン	16.5	L			1
油脂	20	%			
土木一般世話役	2	人			2
特殊作業員	6	人			2
普通作業員	2	人			2
諸雑費	10	%			
合 計	100	m2			
単 位 当 り	1	m2			

施工単価表

施工 第0-0013号内訳表

頁0-0084/0152

コンクリート剥落防止工

[規格1]超薄膜スクルトン[®]はく落防災コーティング[®]同等品以上 [規格2]足場施工・既設

[摘要]見積り歩掛

100

m2

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
MBSクリアガード 5L/缶	84	L			
ガラス連続繊維シート 100m2/本	110	m2			
専用シンナー 15kg/缶	8.4	kg			
土木一般世話役	3	人			
特殊作業員	6	人			
普通作業員	3	人			
諸雑費 消耗品・養生費	1	式			
合計	100	m2			
単位当り	1	m2			

施工単価表

施工 第0-0014号内訳表

頁0-0085/0152

紫外線硬化型FRPシート設置

[規格1]施工区分B (0.07m2以上0.15m2未満/枚)

[規格2]同等品以上、紫外線照射 有、不陸整正 大 [摘要] UVPPS工法見積り歩掛

1.5 m2 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
材料費 UVPPS工法 施工区分B 0.07m2以上0.15m2未満/枚	1.5	m2			
土木一般世話役	1	人			1
特殊作業員	1	人			1
普通作業員	1	人			1
作業車 UVPPS工法	1	台			1
発電機 UVPPS工法	1	台			1
紫外線照射機 UVPPS工法	3	台			1
諸雑費	8	%			
合 計	1.5	m2			
単 位 当 り	1	m2			

施工単価表

施工 第0-0015号内訳表

頁0-0086/0152

紫外線硬化型FRPシート設置

[規格1]施工区分A (0.07m2未満/枚)

[規格2]同等品以上、紫外線照射 有、不陸整正 大 [摘要] UVPPS工法見積り歩掛

0.8 m2 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
材料費 UVPPS工法 施工区分A 0.07m2未満/枚	0.8	m2			
土木一般世話役	1	人			1
特殊作業員	1	人			1
普通作業員	1	人			1
作業車 UVPPS工法	1	台			1
発電機 UVPPS工法	1	台			1
紫外線照射機 UVPPS工法	3	台			1
諸雑費	8	%			
合 計	0.8	m2			
単 位 当 り	1	m2			

殻運搬

[規格1] コンクリート(無筋)構造物とりこわし

[規格2]

積算単価算出表

[摘要]

施工 第0-0028号内訳表

頁0-0099/0152

1

m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 10t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K								
R1		運転手(一般)			運転手(一般)			
R								
Z1		軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	殻発生作業	=1	コンクリート(無筋)構造物とりこわし					
B	積込工法区分	=1	機械					
C	DID区間の有無	=2	有り					
D	運搬距離	=20	8.0km以下					

施工単価表

施工 第0-0030号内訳表

頁0-0101/0152

足場工設置・撤去

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
土木一般世話役		人			1
とび工		人			1
普通作業員		人			1
ラフテレンクレーン(排出ガス対策型含) 油圧伸縮ジブ型 25t吊 オペレータ付き		日			1
諸雑費		%			
合計	100	掛m2			
単位当り	1	掛m2			
A 工法 B 安全ネットの有無		=2 =1	単管足場 安全ネットなし		

施工単価表

施工 第0-0037号内訳表

頁0-0108/0152

管渠清掃作業(組合せ作業)

[規格1] φ200mm以上400mm未満

[規格2] 堆積率 50%未満

[摘要]

100

m

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			1
普通作業員		人			1
排水管清掃車運転		時間			
側溝清掃車運転		時間			
散水車運転		時間			
諸雑費		%			
合 計	100	m			
単 位 当 り	1	m			
A 管径別作業量区分		=1	φ 200mm以上400mm未満		
B 堆積率		=1	堆積率 50%未満		
C 散水車規格		=1	タンク容量 1800L		
D 移動距離(km)		=0	移動距離(km)		
E 清掃延長(m)		=330	清掃延長(m)		

舗装版切断(アスファルト舗装版)
[規格 1] As舗装版厚->15cm以下

[規格 2]

積算単価算出表

施工 第0-0041号内訳表

頁0-0109/0152
m 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		コンクリートカッタ 切削深20cm級 [ハキューム式・湿式]			コンクリートカッタ [ハキューム式・湿式] 20cm級			
K								
R1		特殊作業員			特殊作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R3		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		コンクリートカッタ(プレート) 径22インチ			舗道版切断 カッタープレート 径22インチ			
Z2		ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	舗装版種別	=1		アスファルト舗装版				
B	アスファルト舗装版厚	=1		15cm以下				

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	コンクリート圧砕機(単体) [大割機] 開口幅735~850mm 破碎力550~980kN			バックホ用アタッチメント [コンクリート圧砕装置(大割機)] 開口幅735~850mm 破碎力550~980kN			
K2	バックホ 山積0.45m3(平積0.35m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含			バックホ(排出ガス対策型含) 油圧式クローラ型山積0.45m3級			
K							
R1	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	舗装版種別	=1	アスファルト舗装版				
B	障害等の有無	=1	無し				
C	騒音振動対策	=2	必要				
D	舗装版厚	=1	15cm以下				
F	積込作業の有無	=1	有り				

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 10t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K								
R1		運転手(一般)			運転手(一般)			
R								
Z1		軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	殻発生作業	=3	舗装版破碎					
B	積込工法区分	=2	機械(騒音対策不要)	15cm超or騒音対策必要)				
C	DID区間の有無	=2	有り					
D	運搬距離	=34	17.5km以下					

不陸整正

[規格1] 補足材料->有り (29mm以上34mm未満)

[規格2] 粒調碎石 M-25, M-30, M-40

積算単価算出表

施工 第0-0045号内訳表

頁0-0113/0152

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		モータロータ プレート幅3.1m [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)]			モータロータ [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)] 3.1m			
K2		ロッドロー 質量10t [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)]			ロッドロー [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)] 10t			
K3		タイヤロー 質量8~20t 排出ガス対策型含			タイヤロー(排出ガス対策型含) 8~20t			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		普通作業員			普通作業員			
R4		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		再生クラッシャーラン RC-40			粒調碎石 (0~25mm・0~30mm・0~40mm)			
Z2		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	補足材料の有無	=2	有り					
B	補足材料平均厚さ	=9	29mm以上34mm未満					
C	補足材料	=3	粒調碎石 M-25, M-30, M-40					

表層(車道・路肩部)
[規格1] t = 50mm

[規格2] 密粒度アスコン[再](13)

積算単価算出表

施工 第0-0046号内訳表

1
頁0-0114/0152
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	アスファルトフィニッシャ 舗装幅2.3~6.0m [ホイール型] 排出ガス対策型含			アスファルトフィニッシャ(排出ガス対策型含) ホイール型 舗装幅2.3~6.0m			
K2	タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型含			タイヤローラ(排出ガス対策型含) 8~20t			
K3	ロッドローラ 質量10~12t [マカダム] 排出ガス対策型含			ロッドローラ(排出ガス対策型含) マカダム 10~12t			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	密粒度アスコン TOP20 t=50mm			再生密粒度アスコン TOP13			
Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用			アスファルト乳剤 PK-3(プライムコート用)			
Z3	軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							

型枠
[規格1] 一般型枠

[規格2] 小型構造物

積算単価算出表

施工 第0-0047号内訳表

1
頁0-0116/0152
m2 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K								
R1		型わく工			型わく工			
R2		普通作業員			普通作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z								
					計			
積算単価 =								
A	型枠の種類	=1	一般型枠					
B	構造物の種類	=2	小型構造物					

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R3		特殊作業員			特殊作業員			
R								
Z1		生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%			生コンクリート 24-12-20BB 水セメント比55%以下			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	構造物種別	=2	小型構造物					
B	打設工法	=4	人力打設					
C	コンクリート規格	=18	24-12-20BB[水セメント比 55%以下]					
E	養生工の種類	=2	一般養生					
G	現場内小運搬の有無	=1	有り					

アンカー(落橋防止)
 [規格1] 適用アンカー径->25mm以下

[規格2] 削孔方向->下方向

積算単価算出表

施工 第0-0051号内訳表

頁0-0120/0152
 本 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K								
R1		特殊作業員			特殊作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R3		普通作業員			普通作業員			
R								
Z								
					計			
積算単価 =								
A	適用アンカー材径	=1	25mm以下					
B	削孔方向	=2	下方向					

施工単価表

施工 第0-0052号内訳表

頁0-0121/0152

落下物防止柵取替工

[規格1] 勾配 3%以上

[規格2]

[摘要] 見積り歩掛

30

m 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
不燃アルミ樹脂積層複合板 ブラメタルFRC405 (不燃材) 同等品以上 t=4mm 標準色 1000×2000	15	枚			
既設板・枠取外し H=1000	30	m			1
撤去部壁高欄天端清掃 研磨は含まない	30	m			1
パネル取替工 旧板取り外し・バラシ・新板加工・組み込み 勾配 3%以上	30	m			1
新規板・流用枠設置 枠下：バックアップ材(クッション材)、シーリング前後 枠：バックアップ材(クッション材)、シーリング前後	30	m			材工含む H=1000 1
ばね金具 落下物防止柵用	30	個			
諸雑費	20	%			
合 計	30	m			
単 位 当 り	1	m			

施工単価表

施工 第0-0053号内訳表

頁0-0122/0152

落下物防止柵取替工

[規格1]道路照明部

[規格2]

[摘要]見積り歩掛

10

箇所 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備	考
不燃アルミ樹脂積層複合板 ブラメタルFRC405（不燃材）同等品以上 t=4mm 標準色 1000×2000	10	枚				
既設板・枠取外し 街灯部	10	箇所				1
パネル取替工 旧板取り外し・バラシ・新板加工・組み込み 街灯部	10	箇所				1
新規板設置 板組み込み後 SUS取付ボルト含む	10	箇所			H=1000	1
諸雑費	20	%				
合 計	10	箇所				
単 位 当 り	1	箇所				

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	空気圧縮機 3.5~3.7m3/min [可搬式・エンジン駆動・スクェ型] 排出ガス対策型含			空気圧縮機(排出ガス対策型含) 可搬式エンジン 3.5~3.7m3/分			
K2	さく岩機 20kg級 [コンクリートブレイカ]			さく岩機 [コンクリートブレイカ] 20kg級			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員			
R2	普通作業員			普通作業員			
R							
Z1	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	舗装版種別 =1		アスファルト舗装版				
B	障害等の有無 =2		有り				
D	舗装版厚 =5		4cmを超え10cm以下				
F	積込作業の有無 =1		有り				

土砂等運搬 (As)
[規格1] 土質→軟岩

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0056号内訳表

頁0-0125/0152
m3 当り

1

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	ダンプトラック[オロト・ディーゼル] 2t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 2t積級[オロト・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K							
R1	運転手(一般)			運転手(一般)			
R							
Z1	軽油 1.2号 ハトル給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	土砂等発生現場	=3	現場制約あり				
B	積込機種・規格	=7	人力				
C	土質	=2	軟岩				
D	DID区間の有無	=2	有り				
E	運搬距離	=42	23.0km以下				

土砂等運搬

[規格1] 土質->土砂(岩塊・玉石混り土含む)

[規格2]

積算単価算出表

[摘要]

施工 第0-0059号内訳表

頁0-0128/0152

1

m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		ダンプトラック[オロト・ディーゼル] 2t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 2t積級[オロト・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K								
R1		運転手(一般)			運転手(一般)			
R								
Z1		軽油 1.2号 ハートル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	土砂等発生現場	=3	現場制約あり					
B	積込機種・規格	=7	人力					
C	土質	=1	土砂(岩塊・玉石混り土含む)					
D	DID区間の有無	=2	有り					
E	運搬距離	=18	8.0km以下					

積算単価算出表

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R3		特殊作業員			特殊作業員			
R								
Z1		生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%			生コンクリート 18-8-40BB 水セメント比60%以下			
Z								
					計			
積算単価	=							
A	構造物種別	=2		小型構造物				
B	打設工法	=4		人力打設				
C	コンクリート規格	=9		18-8-40BB[水セメント比 60%以下]				
E	養生工の種類	=2		一般養生				
G	現場内小運搬の有無	=2		無し				

附属構造物塗替
[規格1] 塗料(各種)

[規格2] 防護柵類・落石防止柵類

積算単価算出表

施工 第0-0063号内訳表

頁0-0132/0152
m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		塗装工			塗装工			
R								
Z1		長油性フッ酸樹脂塗料(JIS K 5516 2種) 淡彩色 上塗用			亜鉛メッキ塗料 亜鉛含有率95%以上 塗布量250g/m2・回、塗膜厚40μ/回			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	塗装種別	=33	塗料(各種)					
B	構造物区分	=4	防護柵類・落石防止柵類					
C	ペイント使用量(kg/100m2/回)	=3	20kg超30kg以下					
D	塗替回数	=2	2回					
E	塗料(各種)の単価コード	=1	塗料(各種)の単価コード					

付属構造物塗替（鋼材露出部）
 [規格1] 鉛・クロムワ-さび止めペ-ント 下塗

[規格2] 防護柵類・落石防止柵類

積算単価算出表

施工 第0-0064号内訳表

頁0-0133/0152
 m2 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K							1	
R1		塗装工			塗装工			
R								
Z1		鉛・クロムワ-さび止めペ-ント			鉛・クロムワ-さび止めペ-ント 下塗り 赤さび			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	塗装種別	=1						
B	構造物区分	=4			鉛・クロムワ-さび止めペ-ント 下塗 防護柵類・落石防止柵類			

掘削
[規格1] 土砂 上記以外(小規模)

[規格2] 標準以外

積算単価算出表

施工 第0-0074号内訳表

頁0-0143/0152
m3 当り

[摘要]

1

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		小型バックホウ積0.13m3(平積0.10m3) [クローラ型・排出ガス型(第2次基準値)]			小型バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 0.13/0.10m3			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R								
Z1		軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	土質	=1	土砂					
B	施工方法	=5	上記以外(小規模)					
F	施工数量	=8	標準以外					

土砂等運搬

[規格1] 土質->土砂(岩塊・玉石混り土含む)

[規格2]

積算単価算出表

[摘要]

施工 第0-0075号内訳表

頁0-0144/0152

1

m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		ダンプトラック[オロト・ディーゼル] 2t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 2t積級[オロト・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K								
R1		運転手(一般)			運転手(一般)			
R								
Z1		軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	土砂等発生現場	=2	小規模					
B	積込機種・規格	=6	バックホ山積0.13m3(平積0.1m3)					
C	土質	=1	土砂(岩塊・玉石混り土含む)					
D	DID区間の有無	=2	有り					
E	運搬距離	=15	6.5km以下					

下層路盤(歩道部)

[規格1] 全仕上り厚 t = 100 1層施工

[規格2] 再生クラッシャーレン RC-30, RC-40

積算単価算出表

施工 第0-0077号内訳表

頁0-0146/0152

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		小型バックホウ 山積0.11m3(平積0.08) [クローラ型] 排出ガス対策型含			小型バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧式クローラ型 山積0.11m3級			
K2		振動ローラ(舗装用) 質量3~4t [搭乗コンバインド式] 排出ガス対策型含			振動ローラ(排出ガス対策型含) 搭乗式コンバインド型 3~4t			
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R3		特殊作業員			特殊作業員			
R								
Z1		再生クラッシャーレン RC-40 全厚t=100mm			再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)			
Z2		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	全仕上り厚	=100		全仕上り厚				
B	施工区分	=1		1層施工				
C	材料	=3		再生クラッシャーレン RC-30, RC-40				

上層路盤(歩道部)

[規格1] 全仕上り厚 t = 100 1層施工

[規格2] 粒調碎石 M-25, M-30, M-40

積算単価算出表

施工 第0-0078号内訳表

頁0-0147/0152

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		小型バックホウ 山積0.11m3(平積0.08) [クローラ型] 排出ガス対策型含			小型バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧式クローラ型 山積0.11m3級			
K2		振動ローラ(舗装用) 質量3~4t [搭乗コンパインド式] 排出ガス対策型含			振動ローラ(排出ガス対策型含) 搭乗式コンパインド型 3~4t			
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R3		特殊作業員			特殊作業員			
R								
Z1		再生粒度調整碎石 RM-30 全厚t=100mm			粒調碎石 (0~25mm・0~30mm・0~40mm)			
Z2		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	全仕上り厚	=100		全仕上り厚				
B	施工区分	=1		1層施工				
C	材料	=1		粒調碎石 M-25, M-30, M-40				

表層(歩道部)
[規格1] t=50mm

[規格2] 密粒度アスコン[再](13)

積算単価算出表

施工 第0-0079号内訳表

1
頁0-0148/0152
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	振動ローラ(舗装用) 質量0.5~0.6t [ハンドガイド式]			振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 0.5~0.6t			
K2	振動コンパクタ 質量40~60kg [前進型]			振動コンパクタ [前進型] 40~60kg			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	再生密粒度アスコン TOP13 t=40mm			再生密粒度アスコン TOP13			
Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用			アスファルト乳剤 PK-3(プライムコート用)			
Z3	カソリン レキユラー スタント			レキユラーカソリン			
Z4	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	平均幅員	=1	1.4m未満(1層当り平均厚50mm以下)				
B	1層当り平均仕上り厚(mm)	=50	1層当り平均仕上り厚(mm)				
C	材料	=6	密粒度アスコン[再](13)				

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		トラック ベーストラック4～4.5t積 2.9t吊 [クレーン装置付]			トラック [クレーン装置付] 4～4.5t級 2.9t吊			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価	=							
A	トラック機種	=2	クレーン装置付4～4.5t積2.9t吊					
B	片道運搬距離(km)	=2	5.0km以下					
C	1回当り平均積載質量(t)	=9	2.0t超2.6t以下					

積算参考資料（試行）

本工事の積算で設定した見積単価及び特別調査単価を以下に示す。

注) 本積算参考資料は、あくまで発注者が予定価格を算出する際の積算条件を参考までに示した資料であり、何ら契約上の拘束力を生じるものではない。

<材料のみ>

名称	規格	単位	採用単価（円）
鳥害対策スパイク （鳥害対策工）	ピーコンスパイク同等品以上	m	2,880
鳥害対策ネット （鳥害対策工）	ピーコンネット 50 同等品以上	m ²	807
MBS クリアガード （剥落防止工）	5L/缶	L	13,000
ガラス連続繊維シート （剥落防止工）	100m ² /本	m ²	1,300
専用シンナー （剥落防止工）	15kg/缶	kg	700
ケレン刃 （剥落防止工）		枚	6,160
材料費 （紫外線硬化型 FRP シート設置工）	UVPPS 工法 施工区分 B 0.07m ² 以上 0.15m ² 未満/枚	m ²	109,100
材料費 （紫外線硬化型 FRP シート設置工）	UVPPS 工法 施工区分 A 0.07m ² 未満/枚	m ²	159,100
作業車 （紫外線硬化型 FRP シート設置工）	UVPPS 工法	台	9,000
発電機 （紫外線硬化型 FRP シート設置工）	UVPPS 工法	台	1,300
紫外線照射機 （紫外線硬化型 FRP シート設置工）	UVPPS 工法	台	6,330
負圧集じん機賃料 （塗装塗替工）	Novair2000 同等品以上 （約 56m ³ /min）	台月	250,000
負圧集じん機基本管理料 （塗装塗替工）	1 台×3 ヲ月	式	34,300
負圧集じん機 1 次フィルター （塗装塗替工）	交換目安 1 枚/日	枚	1,100
負圧集じん機 2 次フィルター （塗装塗替工）	交換目安 1 枚/3 日	枚	3,630
負圧集じん機 HEPA フィルター （塗装塗替工）	交換目安 3 ヲ月/個	個	130,000
排気用ポリチューブ （塗装塗替工）	負圧集じん機用 0.1mm×φ350×100m	本	8,500
吸気用 PET クリアダクト （塗装塗替工）	負圧集じん機用 φ300×30m	本	64,500

吸気用インタークチャンバー (塗装塗替工)	負圧集じん機用 吸気用	個	85,000
エアージャワー賃料 (塗装塗替工)	レンタル	台月	250,000
エアージャワー基本管理料 (塗装塗替工)	1台×3ヵ月	式	34,300
エアージャワー用プレフィルター (塗装塗替工)	交換目安1枚/週	枚	5,000
エアージャワー用HEPAフィルター (塗装塗替工)	交換目安3ヵ月/個	個	100,000
セキュリティールームセット (塗装塗替工)	パイプ・シートセット (3部屋分) 約 w1.5×d4.5×h2.5m	セット	384,000
出入口用ファスナー (塗装塗替工)	セキュリティールーム関連	個	12,300
足拭きマット (塗装塗替工)	ニトクリーン同等品以上 600×900mm (30層)	個	18,000
真空クリーナー賃料 (塗装塗替工)	GM80P 同等品以上	台月	72,000
真空クリーナー基本管理料 (塗装塗替工)	1台×3ヵ月	式	34,300
ブラホース・パイプ・ノズル3点セット (塗装塗替工)	真空クリーナー用 消耗品	セット	35,200
ダストパック (塗装塗替工)	真空クリーナー用 消耗品	枚	523
真空クリーナー用HEPAフィルター (塗装塗替工)	交換目安3ヵ月/個	個	70,000
全面型電動ファンマスク (塗装塗替工)	Sy185-H 同等品以上	台	96,400
吸収缶 (塗装塗替工)	V3/OV 同等品以上	個	2,290
フィルターガード (塗装塗替工)	汚れたら交換	個	950
カバーガラス (塗装塗替工)	Sy185 用	枚	550
バッテリー (塗装塗替工)	Sy185 用 BA-L2H	個	19,600
化学防護服 (塗装塗替工)	D-13 同等品以上 JIS T8115 type4	枚	1,680
シューズカバー (塗装塗替工)	SF JIS T8115 type4 の生地	足	300
ニトリル手袋 (塗装塗替工)	消耗品	双	536
廃棄袋 (塗装塗替工)	目安10kg/枚	枚	290
不燃アルミ樹脂積層複合板 (落下物防止柵取替工)	プラメタルFRC405 (不燃材) 同等品以上 t=4mm 標準色 1000×2000	枚	51,500
ばね金具 (落下物防止柵取替工)	落下物防止柵用	個	1,140

アンカーキャップ (落下物防止柵取替工)	M22 ダブルナット用 硬質塩化ビニル製 グレー	個	793
常温亜鉛メッキ塗料 (落下物防止柵塗装塗替工)	亜鉛含有率 95%以上 塗布量 250g/m ² ・回、塗膜厚 40 μ /回	kg	2,847

<材工共>

名称	規格	単位	採用単価 (円)
諸雑費 (剥落防止工)	剥落防止材設置工の諸雑費 消耗品・養生費	式	58,966
押抜き試験 (剥落防止工)	報告書共	式	180,000
付着試験 (剥落防止工)	報告書共	式	80,000
新規板・流用枠設置 (落下物防止柵取替工)	勾配 3%以上 H1000 複合板材料費は含まない 枠・枠下のバックアップ材・シーリング前後の材工含	m	21,710
新規板設置 (落下物防止柵取替工)	道路照明部 複合板材料費は含まない 枠組み込み後、SUS 取付ボルト含む	箇所	12,280

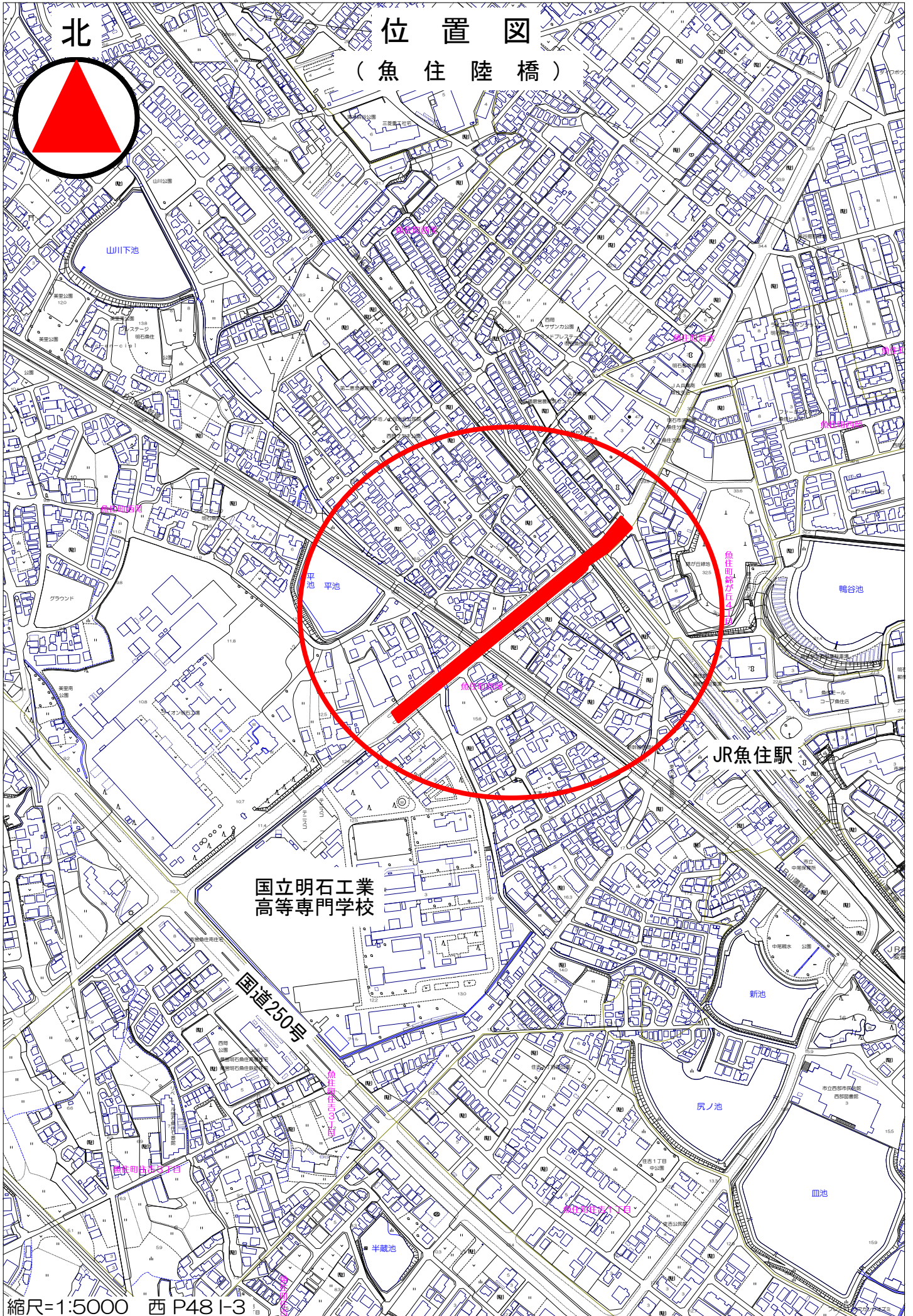
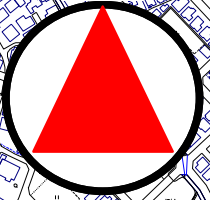
<手間のみ>

名称	規格	単位	採用単価 (円)
既設スパイク撤去 (鳥害対策工)	機・労	m	1,160
鳥害対策スパイク設置 (鳥害対策工)	ピーコンスパイク同等品以上 機・労	m	2,760
既設ネット撤去 (鳥害対策工)	機・労	m ²	1,160
鳥害対策ネット設置 (鳥害対策工)	ピーコンネット 50 同等品以上 機・労	m ²	5,130
既設板・枠取り外し (落下物防止柵取替工)	勾配 3%以上 H1000	m	1,920
撤去部壁高欄天端清掃 (落下物防止柵取替工)	勾配 3%以上 研磨は含まない	m	980
パネル取替工 (落下物防止柵取替工)	勾配 3%以上 旧板取り外し・バラシ ・新板加工・組み込み	m	5,820
既設板・枠取り外し (落下物防止柵取替工)	街灯部	箇所	3,880
パネル取替工 (落下物防止柵取替工)	街灯部 旧板取り外し・バラシ ・新板加工・組み込み	箇所	19,200
アンカーキャップ設置 (落下物防止柵取替工)	簡易清掃・簡易さび落とし・ 必要時出代切断・メッキ補修材塗布・ シリコン材充填工	本	1,360

北

位置図

(魚住陸橋)



山川下池

平池 平池

鴨谷池

JR魚住駅

国立明石工業
高等専門学校

国道250号

新池

灰ノ池

皿池

半蔵池